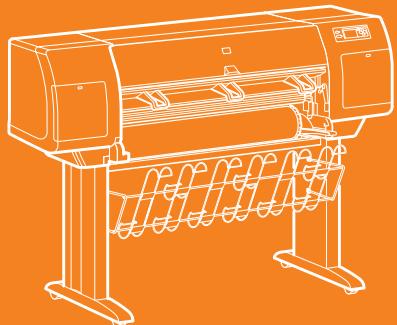


HP Designjet 4000 および 4000ps プリンタ



ユーザーズ ガイド



法律に関する注記

このマニュアルに記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

弊社は、本マニュアルの特殊目的に対する適合性、市場性などについて、一切の保証をいたしかねます。

また、本マニュアルにおける誤り、あるいは備品、パフォーマンス等に関連した損傷についても保証いたしかねます。

本マニュアルの内容の一部または全部を、無断でコピーしたり他の言語に翻訳することは、法律で禁止されています。

商標

Adobe®、Acrobat®、Adobe Photoshop®、およびPostScript®は、Adobe Systems Incorporatedの商標です。

Microsoft®およびWindows®は、Microsoft Corporationの米国における登録商標です。

PANTONE®は、Pantone, Inc.のカラー標準であり、商標です。

連絡先

Hewlett-Packard Company

Inkjet Commercial Division

Avenida Graells, 50108174

Sant Cugat del Vallès

Barcelona, Spain

目次

1	はじめに	7
	このガイドの使用方法	7
	プリンタの主な機能	8
	プリンタの主なコンポーネント	9
	フロントパネル	10
	プリンタ ソフトウェア	12
2	プリンタを組み立てるには	13
	はじめに	13
	プリンタを開梱するには	14
	スタンドを組み立てるには	16
	プリンタにスタンドを取り付けるには	21
	プリンタから梱包材を取り除くには	25
	用紙スタッカを取り付けるには	28
	初めてプリンタの電源をオンにするには	33
	インクカートリッジを取り付けるには	34
	付属のプリントヘッドを取り外すには	38
	プリントヘッドを取り付けるには	41
	プリントヘッドクリーナを取り付けるには	43
	ロール紙をスピンドルに取り付けるには	46
	用紙をプリンタに取り付けるには	48
	プリンタを接続するには	53
	アクセサリを取り付けるには	55
3	プリンタ ソフトウェアを設定するには	61
	使用する接続方法を選択するには	61
	プリンタをネットワークに接続するには (Windows)	62
	プリンタをネットワークに接続するには (Mac OS X)	64
	プリンタをネットワークに接続するには (Mac OS 9)	67
	プリンタをコンピュータに直接接続するには (Windows)	69
	プリンタをコンピュータに直接接続するには (Mac OS X)	69
	プリンタをコンピュータに直接接続するには (Mac OS 9)	71
	プリンタ ドライバをアンインストールするには (Windows)	72
	プリンタ ドライバをアンインストールするには (Mac OS 9)	72
4	プリンタを操作するには	75
	プリンタの電源のオン/オフを切り替えるには	75
	プリンタを再起動するには	76
	フロントパネルの言語を変更するには	77
	内蔵Webサーバにアクセスするには	77
	内蔵Webサーバの言語を変更するには	79

内蔵Webサーバをパスワードで保護するには	79
特定のエラーが発生した際に電子メールで通知されるようにするには	80
スリープ モード設定を変更するには	80
ブザーをオフにするには	80
フロントパネルのコントラストを変更するには	80
測定単位を変更するには	81
標高を調整するには	81
5 用紙を取り付けるには	83
ロール紙をスピンドルに取り付けるには	83
ロール紙をプリンタに取り付けるには	86
ロール紙をプリンタから取り外すには	91
カット紙を取り付けるには	92
カット紙を取り外すには	96
サポートされている用紙の種類を選択するには	96
用紙に関する情報を表示するには	98
メディア プロファイルをダウンロードするには	99
HP純正用紙以外の用紙を使用するには	99
乾燥時間をキャンセルするには	100
乾燥時間を変更するには	100
6 インク システムを取り扱うには	101
インクカートリッジを取り外すには	101
インクカートリッジを取り付けるには	105
プリントヘッドを取り外すには	107
プリントヘッドを取り付けるには	111
プリントヘッドのモニタ状況を管理するには	114
プリントヘッドを修復(クリーニング)するには	114
プリントヘッドの電極部分をクリーニングするには	114
プリントヘッドの軸合わせを行うには	120
プリントヘッドクリーナを取り外すには	121
プリントヘッドクリーナを取り付けるには	123
インク システムのステータスを確認するには	124
インクカートリッジ情報を確認するには	125
プリントヘッド情報を確認するには	126
プリンタの使用状況に関する情報を確認するには	126
7 印刷イメージを調整するには	127
ページ サイズを変更するには	127
カスタム ページ サイズを作成するには	127
印刷品質を変更するには	129
印刷品質設定を選択するには	129
最高速度で印刷するには	131
マージンを調整するには	132
オーバーサイズの用紙サイズに印刷するには	132

目次

用紙の印刷の向きを変更するには	133
イメージを回転するには	134
左右反転印刷を行うには	134
イメージを拡大縮小するには	135
パレットの設定を変更するには	136
重なった線の処理方法を変更するには	137
グラフィック言語の設定を変更するには	138
8 プリンタで高いカラー精度を得るには.....	139
カラー キャリブレーションを実行するには	139
黒点の補正を実行するには	140
レンダリング用途を設定するには	141
カラー エミュレーション モードを選択するには	142
他のHP Designjetプリンタの印刷物と一致する印刷を実現するには ...142	
Adobe Photoshop CS (HP-GL/2 & RTL ドライバ) で高いカラー精度 を得るには	142
Adobe Photoshop CS (PostScript ドライバ) で高いカラー精度を得 るには	147
Adobe InDesign CSで高いカラー精度を得るには	151
QuarkXPress 6で高いカラー精度を得るには	156
Autodesk AutoCAD 2002で高いカラー精度を得るには	159
Microsoft Office 2003で高いカラー精度を得るには	159
ESRI ArcGIS 9で高いカラー精度を得るには	159
9 印刷ジョブを管理するには.....	163
ジョブを送信するには	163
ジョブを保存するには	164
保存したジョブを印刷するには	164
ジョブのインクと用紙の使用状況を確認するには	164
ジョブをキャンセルするには	165
印刷キューを管理するには	165
ジョブをネスティングしてロール紙を節約するには	167
10 プリンタの保守を行うには.....	171
プリンタの外側のクリーニングを行うには	171
プラテンのクリーニングを行うには	171
プリントヘッド キャリッジを潤滑にするには	174
インクカートリッジの保守を行うには	175
プリンタを移動または保管するには	175
プリンタのファームウェアをアップデートするには	175
11 イメージ診断印刷を使用するには.....	177
イメージ診断印刷を印刷するには	177
イメージ診断印刷を使用するには	178
イメージ診断パート1を使用して問題を特定するには	178
イメージ診断パート2を使用して問題を特定するには	180
イメージ診断パート3を使用して問題を特定するには	183

問題が解決されない場合には	184
12 拡張精度キャリブレーションを実行するには.....	185
13 印刷品質の問題.....	191
一般的なヒント	191
帯状のムラがある (イメージに横線)	192
線が印刷されない、または細い印刷品質の問題	193
イメージの上に帯状や線状の塗りつぶしが現れる	193
ざらつきが発生する	195
用紙が平らになっていない	195
触れたときに印刷が汚れる	196
用紙にインクが残る	196
印刷の開始近くで不具合が発生する	198
線が段状になる	198
線が二重または間違った色で印刷される	199
線が連続していない問題	200
線がぼやけている (インクが線でにじむ)	200
線が少しゆがんでいる	201
カラー精度の問題	201
PANTONEカラー精度の問題	201
他のHP Designjetと色が一致しない	203
14 イメージ エラーの問題.....	207
まったく印刷されない	207
一部しか印刷されない	207
イメージの一部が印刷されない	208
イメージが印刷可能の範囲に小さく印刷される	209
イメージが誤った向きに回転される	209
イメージが左右反対に印刷される	209
印刷が歪むまたは不鮮明になる	210
同じシート上でイメージが別のイメージと重なる	210
ペンの設定が適用されない	210
15 インク システムの問題.....	211
インクカートリッジを取り付けられない	211
プリントヘッドを取り付けられない	211
プリントヘッドクリーナを取り付けられない	211
フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換する ようにメッセージが表示される	212
インクカートリッジのステータス メッセージが表示される	212
プリントヘッドのステータス メッセージが表示される	212
プリントヘッドクリーナのステータス メッセージが表示される	213
16 用紙の問題.....	215
用紙が正しく取り付けられない	215
紙詰まりの問題 (プリンタの紙詰まり)	217
印刷物が用紙スタッカに正しく積み重ねられない	220

目次

プリントヘッドの軸合わせで大量の用紙が使用される	220
17 その他の問題.....	221
プリンタのスタートアップが完了しない	221
フロントパネルにメッセージが表示される	222
「プリントヘッドのモニタリング中」というメッセージが表示される	225
「プリントヘッドの品質が低下しています」というメッセージが表示される	226
プリンタで印刷ができない	226
印刷ジョブがタイムアウトまで待機している	227
プリンタの印刷が遅い	227
コンピュータとプリンタの間の通信に問題がある	228
ブラウザから内蔵Webサーバにアクセスできない	229
メモリ不足エラーが発生する	229
AutoCAD 2000でメモリアロケーションエラーが発生する	230
プラテンローラーからきしみ音がする	230
18 プリンタについて.....	233
カラー エミュレーションモードについて	233
プリンタの接続について	235
プリンタ背面のランプについて	236
プリンタの印刷メニューについて	236
予防保守について	237
19 内蔵Webサーバについて.....	239
20 インクシステムについて.....	241
インクカートリッジについて	241
プリントヘッドについて	243
プリントヘッドクリーナについて	244
インクシステムに関するヒント	245
21 用紙について.....	247
用紙の使用方法について	247
乾燥時間について	248
22 プリンタの仕様について.....	249
プリンタ機能の仕様について	249
物理的仕様について	252
メモリの仕様について	252
電源の仕様について	252
エコロジーに関する仕様について	253
動作環境の仕様について	253
動作音に関する仕様について	253
23 注文できるサプライ品とアクセサリについて.....	255
注文できるインクサプライ品について	255
注文できる用紙について	256
注文できるアクセサリについて	258

24 困ったときにご利用できるサービスについて	261
HPインスタント サポートについて	261
HPカスタマ・ケアについて	261
HP Designjet Onlineについて	263
その他の情報について	263
25 法律情報	265
全世界共通の無償保証 — HP Designjet 4000プリンタ シリーズ	265
Hewlett-Packardソフトウェア使用許諾書	269
オープン ソースについて	270
規格適合情報	271
適合宣言 (DECLARATION OF CONFORMITY)	274
索引	277

1 はじめに

- 7 ページの [このガイドの使用方法]
- 8 ページの [プリンタの主な機能]
- 9 ページの [プリンタの主なコンポーネント]
- 10 ページの [フロントパネル]
- 12 ページの [プリンタ ソフトウェア]

このガイドの使用方法

[ユーザーズ ガイド] および [クイック リファレンス ガイド] は、以下の章で構成されています。

はじめに

この章では、本プリンタを初めて使用するユーザのために、本プリンタおよびマニュアルについて簡単に説明します。

使用方法

この章では、用紙の取り付け方法やインクカートリッジの交換方法など、さまざまな操作の手順について説明します。手順は、大部分が図を使用して説明されています。一部の手順では、アニメーションも使用されています（[ユーザーズ ガイド] のみ）。

トラブルシューティング

この章では、印刷中に発生する問題の解決方法について説明します。

詳細

[ユーザーズ ガイド] にのみ記載されています。この章では、プリンタの仕様や各種用紙の製品番号、インク サプライ品、その他のアクセサリなどのリファレンス情報を参照できます。

法律情報

この章には、HPの限定保証条項、ソフトウェアライセンス契約、オープンソースの承認、規格適合情報、および適合宣言(DECLARATION OF CONFORMITY)が記載されています。

索引

目次の他に、索引を使用してトピックをすぐに見つけることができます。

プリンタの主な機能

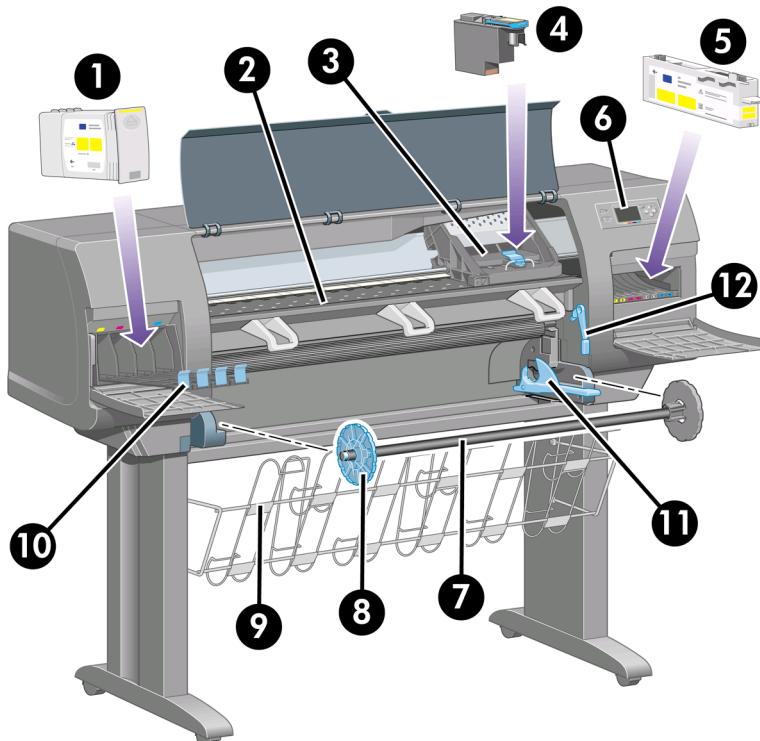
このプリンタは、最大幅1.06m(42インチ)の用紙に高品質のイメージを印刷するために設計されたカラーインクジェットプリンタです。主な機能を以下に示します。

- 最大印刷速度1.5m²/分(16ft²/分)(HPスタンダード普通紙で**[高速]**印刷品質オプションと**[描画/テキスト]**最適化オプションを使用した場合)
- 入力時1200×1200dpiのイメージを最大2400×1200dpiの最適化された解像度で印刷(**[高品質]**印刷品質オプション、**[高精細]**オプション、および**[イメージ]**最適化オプションで光沢紙を使用した場合)(印刷解像度の詳細については、「249ページの[プリンタ機能の仕様について]」を参照)
- 400mlインクカートリッジと長さ90m(300フィート)のロール紙を使用した無人印刷が可能(「241ページの[インクカートリッジについて]」を参照)
- マルチファイルジョブ送信、ジョブのプレビュー、キューリング、ネスティングなど、プリンタの内蔵Webサーバを使用した高生産性を実現する機能(「239ページの[内蔵Webサーバについて]」を参照)
- インクと用紙の使用状況を、フロントパネルおよび内蔵WebサーバによるWeb上で確認可能
- 一貫した高精度のカラーを再現するいくつかの機能
 - 米国、ヨーロッパ、日本標準の印刷エミュレーション、およびカラーモニタのRGBエミュレーション(「233ページの[カラー エミュレーション モードについて]」を参照)
 - 自動カラー キャリブレーション

プリンタの主なコンポーネント

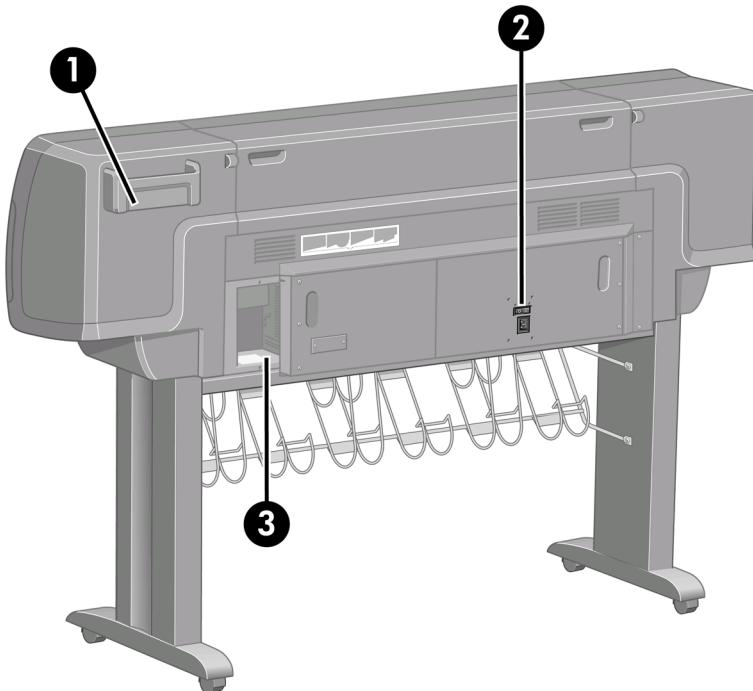
以下のプリンタ前面図および背面図で、主なコンポーネントについて説明します。

前面図



1. インクカートリッジ
2. プラテン
3. プリントヘッド キャリッジ
4. プリントヘッド
5. プリントヘッドクリーナ
6. フロントパネル
7. スピンドル
8. 青いストップ (取り外し可能)
9. 用紙スタッカ
10. インクカートリッジ用の引き出し
11. スピンドル レバー
12. 用紙取り付けレバー

背面図

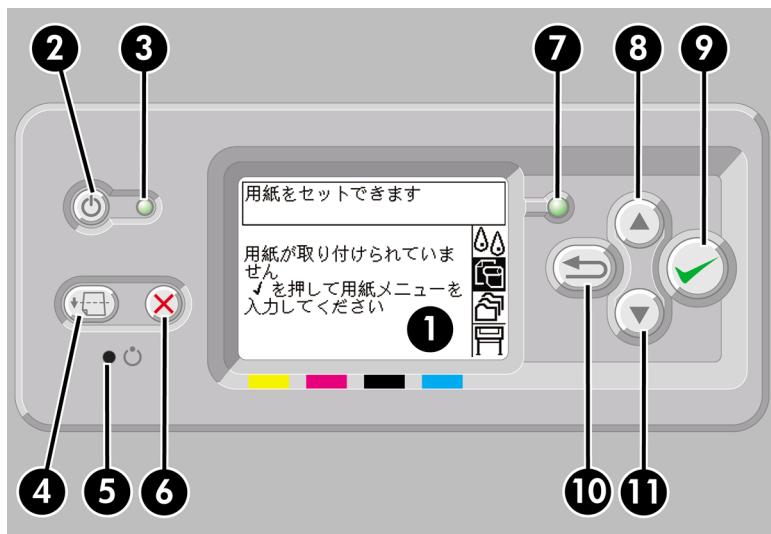


1. 『クイック リファレンス ガイド』 フォルダ
2. AC電源コンセントおよび電源スイッチ
3. 接続ケーブルおよびオプション アクセサリ用ソケット

フロントパネル

プリンタのフロントパネルは、プリンタ前面の向かって右側にあります。フロントパネルには、以下の重要な機能があります。

- 用紙の取り付け、取り外しなどの操作を実行する際に使用します。
- プリンタ、インクカートリッジ、プリントヘッド、用紙、印刷ジョブのステータスに関して、最新情報が表示されます。
- プリンタの使用手順が表示されます。
- 場合に応じて、警告やエラー メッセージが表示されます。
- プリンタの設定値を変更したり、プリンタの操作を変更する際に使用します。ただし、プリンタの設定は、内蔵Webサーバやドライバの設定が優先されます。



フロントパネルには、以下のコンポーネントがあります。

1. ディスプレイ部分。情報、アイコン、メニューが表示されます。
2. 電源 ボタン。プリンタの電源のオンとオフを切り替えます。プリンタがスリープ モードの状態にある場合は、このボタンを押すと起動します。
3. プリンタの電源がオフの状態にある場合、電源ランプは消灯しています。スリープ モードの場合は黄色、電源がオンの場合は緑色に点灯し、プリンタの電源がオフからオン、またはその逆へ移行中の場合は、緑色に点滅します。
4. 排紙/カット ボタン。通常は、カット紙が取り付けられている場合は用紙を排出し、ロール紙が取り付けられている場合はロール紙をカットします。ただし、プリンタが他のページのネスティングを待機中である場合は、このボタンを押すと待機時間がキャンセルされ、印刷可能なページが直ちに印刷されます。
5. リセット ボタン。プリンタを再起動します(電源ボタンをオフにして再びオンにした場合と同じです)。先の細い道具を使用して、リセット ボタンを押すことで実行できます。
6. キャンセル ボタン。現在の操作をキャンセルします。多くの場合、現在の印刷ジョブの印刷を停止する場合に使用します。
7. ステータス ランプが消灯している場合は、プリンタが印刷可能な状態ではありません。電源がオフになっているか、スリープ モードの状態になっています。プリンタが印刷可能な状態でアイドリング中の場合は緑色に点灯し、プリンタがビジー状態の場合は緑色に点滅します。深刻な内部エラーが発生している場合は黄色に点灯し、ユーザの操作を待っている場合は黄色に点滅します。
8. 上矢印 ボタン。リストの前の項目に移動したり、数値を増やします。

9. **選択(チェックマーク)** ボタン。現在ハイライトされている項目を選択します。

10. **戻る** ボタン。前のメニューに戻ります。このボタンを繰り返し押すか、押したままになると、直ちにメインメニューに戻ります。

11. **下矢印** ボタン。リストの次の項目に移動したり、数値を減らします。

フロントパネルのメニュー項目をハイライトさせるには、その項目がハイライトするまで **上矢印** または **下矢印** ボタンを繰り返し押します。

フロントパネルのメニュー項目を**選択**するには、まずその項目をハイライトさせ、次に **選択(チェックマーク)** ボタンを押します。

フロントパネルの4つのアイコンは、すべてメインメニューに表示されます。アイコンを選択するかハイライトさせる場合、またはフロントパネルにアイコンが表示されていない場合は、アイコンが表示されるまで **戻る** ボタンを繰り返し押します。

このガイドで、フロントパネルの一連の項目が **[項目1]** - **[項目2]** - **[項目3]** のように記述されている場合は、**[項目1]**、**[項目2]**、**[項目3]**の順に選択してください。

フロントパネルの特定の使用方法についての詳細は、このガイドで順を追つて説明します。

プリンタ ソフトウェア

このプリンタには、以下のソフトウェアが付属しています。

- 内蔵Webサーバ。プリンタ内で動作し、これを使用すると、どのコンピュータでもWebブラウザを使用して印刷ジョブの送信および管理、インク残量やプリンタのステータスの確認を行うことができます。
- HP-GL/2およびRTL ドライバ (Windows用)
- PostScript ドライバ (Windows用)
- PostScript ドライバ (Mac OS 9およびMac OS X用)
- AutoCAD 14用ADI ドライバ

2 プリンタを組み立てるには

- 13 ページの [はじめに]
- 14 ページの [プリンタを開梱するには]
- 16 ページの [スタンドを組み立てるには]
- 21 ページの [プリンタにスタンドを取り付けるには]
- 25 ページの [プリンタから梱包材を取り除くには]
- 28 ページの [用紙スタッカを取り付けるには]
- 33 ページの [初めてプリンタの電源をオンにするには]
- 34 ページの [インクカートリッジを取り付けるには]
- 38 ページの [付属のプリントヘッドを取り外すには]
- 41 ページの [プリントヘッドを取り付けるには]
- 43 ページの [プリントヘッドクリーナを取り付けるには]
- 46 ページの [ロール紙をスピンドルに取り付けるには]
- 48 ページの [用紙をプリンタに取り付けるには]
- 53 ページの [プリンタを接続するには]
- 55 ページの [アクセサリを取り付けるには]

はじめに

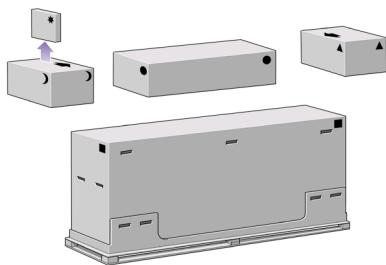
以下のトピックでは、新しく購入したプリンタの組み立て方法について説明します（この内容は[セットアップ手順]にも記載されています）。

このプリンタに使用されている部品の中には非常に大きく重いものがあるため、移動するには最大4人必要になることがあります。また、最低でも3×5m (10×16フィート) の設置面積が必要です。所要時間は約2時間です。

箱にはそれぞれ、内容物を示す記号が描かれています。記号の意味については、以下の表を参照してください。

記号	内容物
■	プリンタ本体
●	スタンドと用紙スタッカ
○	消耗品
★	メンテナンス キット (安全な場所に保管してください)
▲	予備の箱 (スタンドをプリンタに取り付けるときに使用)

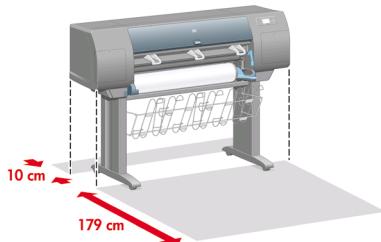
プリンタを組み立てるには



プリンタを開梱するには

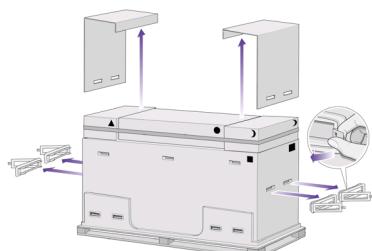
プリンタを開梱するには

開梱する前に、組み立てたプリンタの設置場所を決めてください。プリンタの前面と背面に、スペースが必要になります。推奨するスペースは以下のようになります。



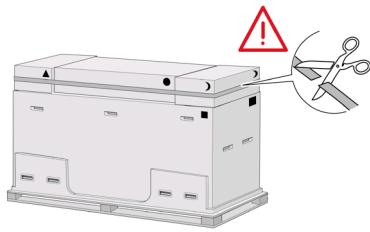
設置する場所を決めたら、開梱を始めます。

1. 両横のカバーを取り外します。次に、箱の横に取り付けられているプラスチックのハンドル4つ(両横に2つずつ)をすべて取り外します。

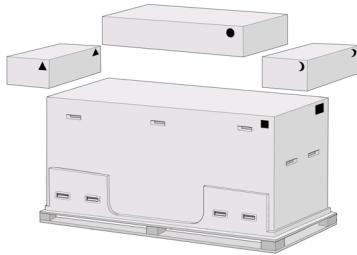


2. ボックスを固定しているストラップを切断します。このとき、ボックスが落下する危険があるので注意してください。

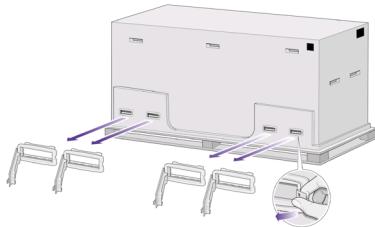
プリンタを組み立てるには



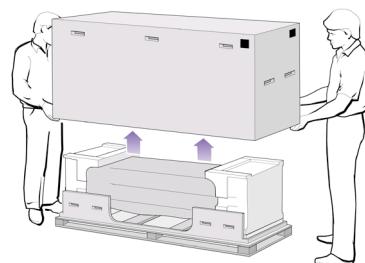
3. プリンタ本体が収められている箱の上部から、ボックスをすべて取り外します。



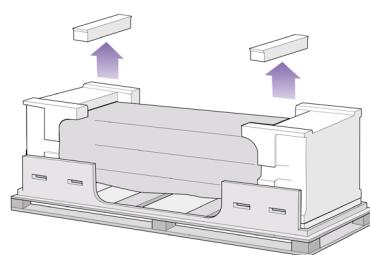
4. 箱の前面と背面の左右に取り付けられているプラスチックのハンドル8つをすべて取り外します。



5. プリンタ本体が収められている箱を取り外します。



6. 2つある梱包材を取り除きます。

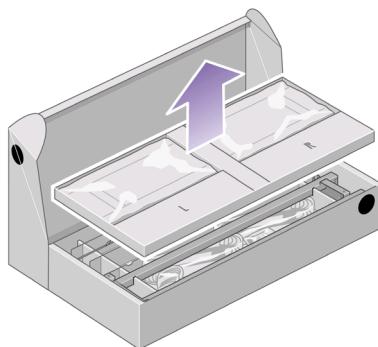


プリンタを組み立てるには

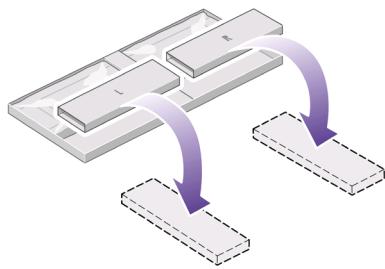
スタンドを組み立てるには

⚠ 警告 脚部アセンブリを開梱し、足部の一方のキャスターに滑り止めが付いていることを確認してください。この滑り止めは、この時点ではまだ取り外さないでください。

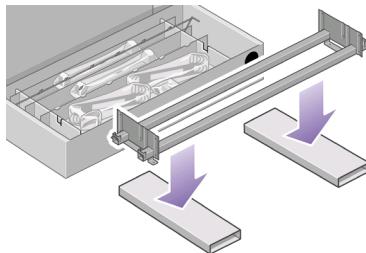
1. スタンド/用紙スタッカの箱を開け、一番上のトレイを取り出します。



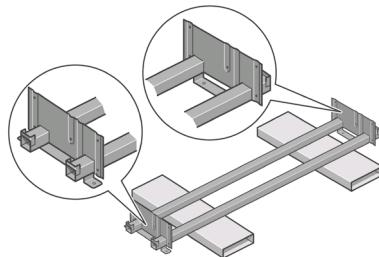
2. 取り出したトレイから、L(左)およびR(右)という文字が書かれている2つの箱を取り出し、図のように床の上に置きます。



3. LおよびRの箱の上にクロスブレイスを置きます。



4. クロスブレイスの左右の向きが合っていることを確認します。



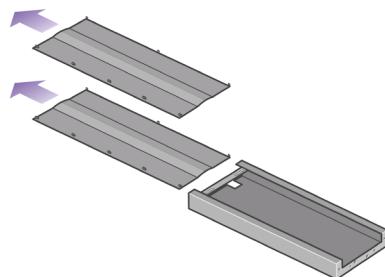
(1) 左 (2) 右 (3) 穴 (1つ) (4) 穴 (2つ)

5. 付属のネジとドライバを用意します。このドライバは磁石になっています。

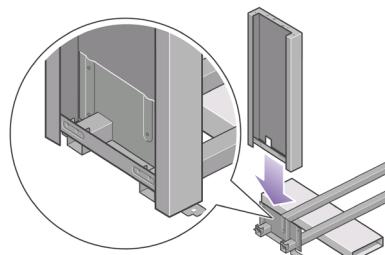
プリンタを組み立てるには



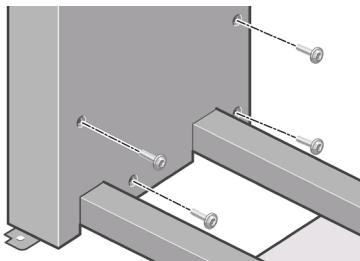
6. 左脚部から、2枚ある脚部カバーを取り外します。



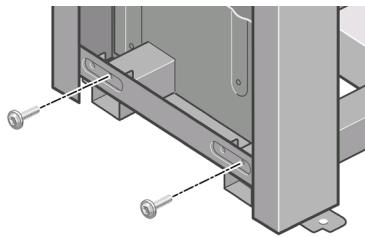
7. 左脚部を、クロスブレイスの左側に差し込みます。左脚部は、クロスブレイスの左側にのみ取り付けることができます。



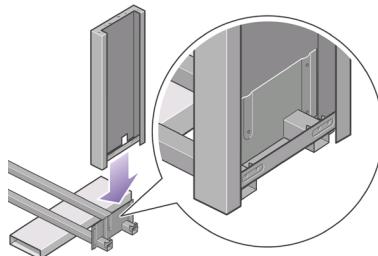
8. 左脚部を、内側からネジ4本でクロスブレイスに固定します。



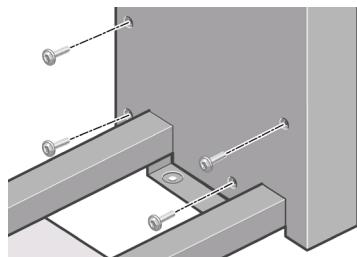
9. 左脚部を、外側からネジ2本でクロスプレイスに固定します。



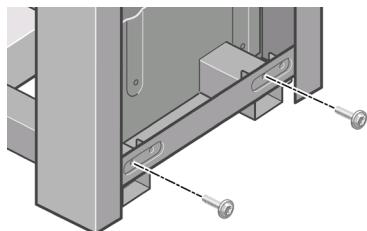
10. 右脚部を、クロスプレイスの右側に差し込みます。右脚部は、クロスプレイスの右側にのみ取り付けることができます。



11. 右脚部を、内側からネジ4本でクロスプレイスに固定します。



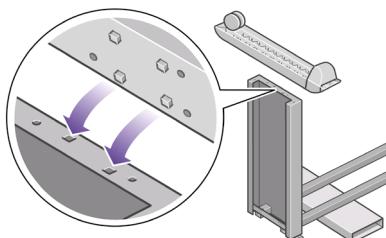
12. 右脚部を、外側からネジ2本でクロスブレイスに固定します。



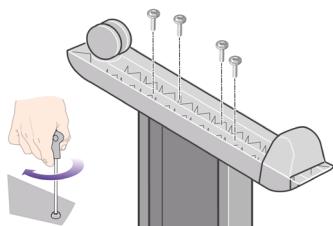
プリンタを組み立てるには

13. 足部の一方を、左脚部の所定の位置に合わせます。足部のピンを利用して、正しい位置に合わせてください。

注記 キャスターに付いている滑り止めは取り外さないでください。

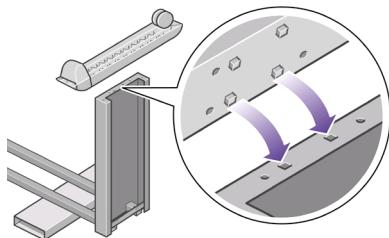


14. 左足部をネジ4本で固定します。

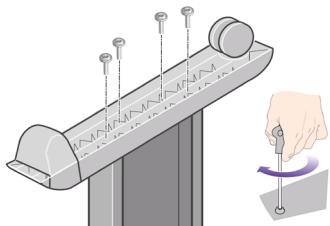


15. 足部のもう一方を、右脚部の所定の位置に合わせます。足部のピンを利用して、正しい位置に合わせてください。

注記 キャスターに付いている滑り止めは取り外さないでください。

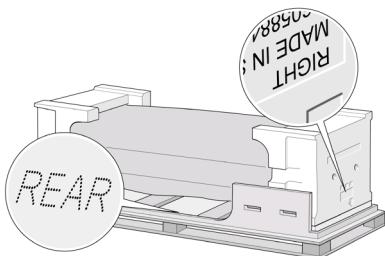


16. 右足部をネジ4本で固定します。

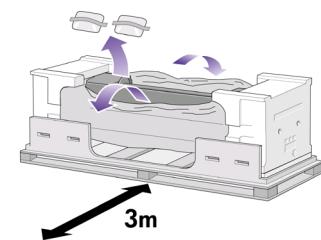


プリンタにスタンドを取り付けるには

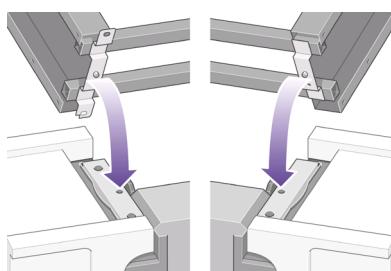
1. プリンタの左右の向きを確認してください。プリンタの左右の向きについては、梱包用発泡スチロールの表面にも記載されています。プリンタの背面がどちらかも確認してください。(RIGHT=右、REAR=背面)



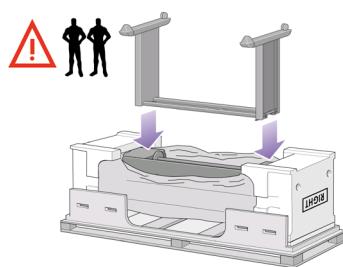
2. 保護用ビニールシートを引っ張って開き、プリンタの底部が見えるようにします。プリンタの背面側には、3mの空きスペースを確保してください。
2つある乾燥剤の袋を取り除きます。



3. この後の手順では、スタンドのピンを必ずプリンタ本体のブラケットの中心にある穴に合わせるようにしてください。

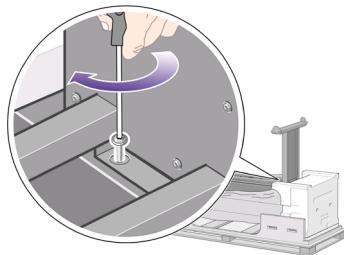


組み立てたスタンドを、プリンタ本体の上に載せます。滑り止めが、プリンタの背面側を向くようにしてください。

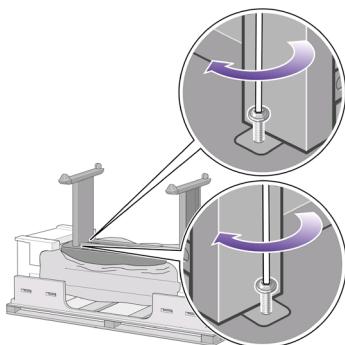


4. スタンドの右側を、ネジ1本でプリンタに固定します。ネジはしっかりと締めてください。

プリンタを組み立てるには

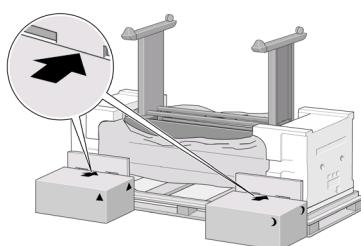


5. スタンドの左側を、ネジ2本でプリンタに固定します。ネジはしっかりと締めてください。



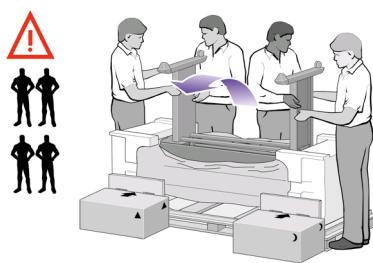
6. 消耗品の箱と予備の箱を、プリンタの箱の背面側に密着させて置きます。箱に記載されている矢印が、プリンタの側を向くようにしてください。

左右の後部キャスターに滑り止めが付いていることを確認します。

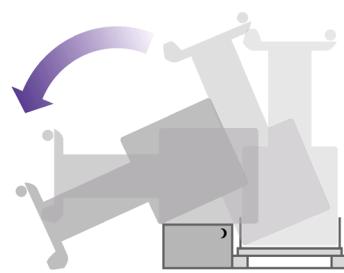


7. 4人で、消耗品の箱と予備の箱の上にプリンタを載せて回転させます。

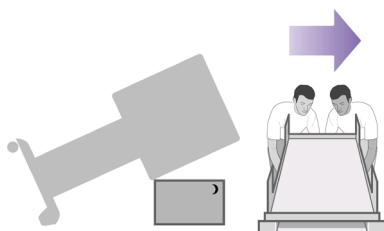
プリンタを組み立てるには



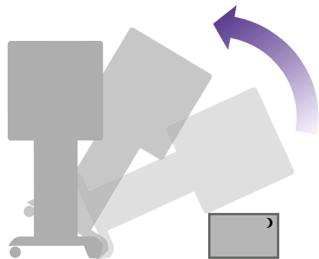
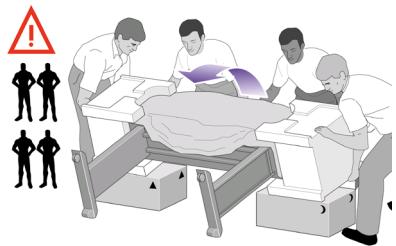
プリンタの背面を2つの箱の上に完全に載せます。次に、プリンタを滑り止めの付いたキャスターが床に着くまで起こします。



8. プリンタを垂直に立たせる前に、パレットを取り除きます。



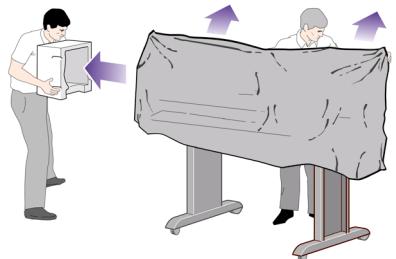
9. 手でプリンタ本体の背面を押さえながら、4人で協力してプリンタを慎重に持ち上げます。滑り止めがあるので、プリンタが手前側に滑ることはありません。



プリンタを組み立てるには

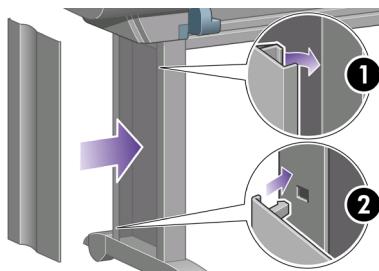
プリンタから梱包材を取り除くには

1. 2つの梱包用発泡スチロールと、プリンタを覆っているシートを取り除きます。

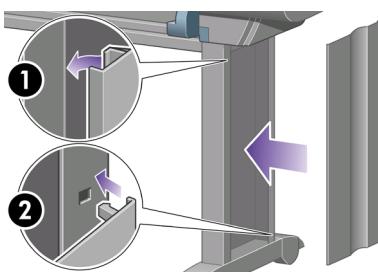


2. 左脚部のカバーを左脚部の前面の側に合わせ(1)、後ろ側の下端を所定の位置にはめ込みます(2)。

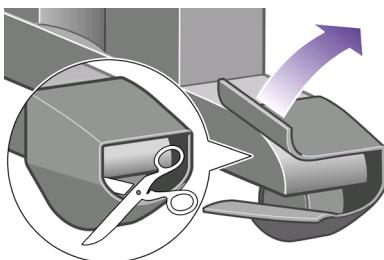
プリンタを組み立てるには



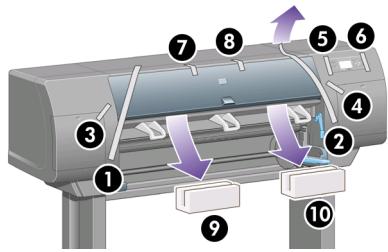
- 右脚部のカバーを右脚部の前面の側に合わせ(1)、後ろ側の下端を所定の位置にはめ込みます(2)。



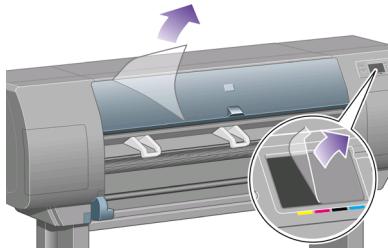
- 組み立てたスタンドの左右の後部キャスターに付いている滑り止めを取り外します。



- 梱包テープ1~8を剥がします。 ウィンドウを開いて、ウィンドウ緩衝材9、10を取り外します。

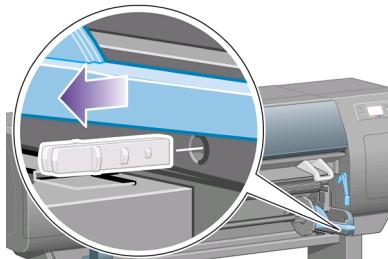


6. ウィンドウとフロントパネルの保護カバーを剥がします。

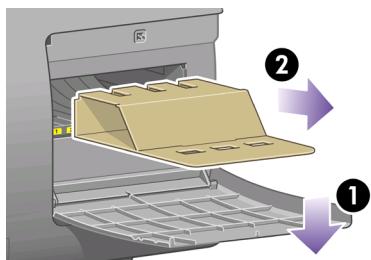


プリンタを組み立てるには

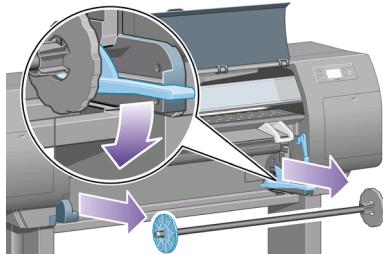
7. スピンドルの固定用部品を取り外します。



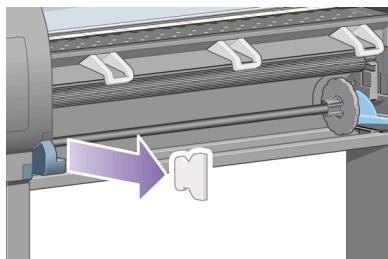
8. 右のドアを開き、梱包材を取り除いてから、ドアを閉じます。



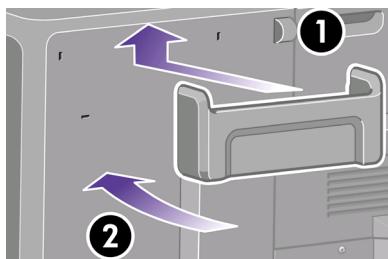
9. スピンドルのレバーを下に押すと、スピンドルの右端の固定が解除されます。まずスピンドルの右側を取り外してから、左側を取り外します。このとき、右端を先に引き出します。



10. スピンドルの固定用梱包材を取り除いてから、スピンドルを取り付け直します。

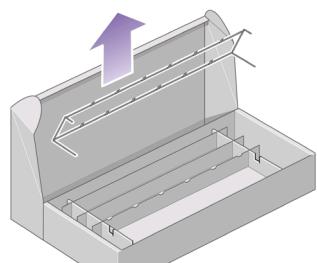


11. 『クイック リファレンス ガイド』 フォルダを取り付けます。フォルダ上部を斜めにして(1)、2つのフックをプリンタ背面の所定の位置に合わせ、フォルダ下部を所定の位置にはめ込みます(2)。

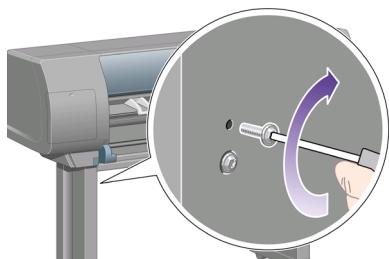


用紙スタッカを取り付けるには

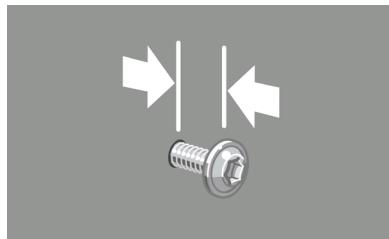
1. 用紙スタッカの部品を用意します。



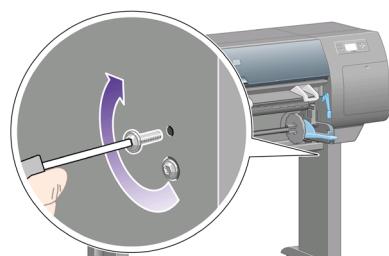
2. スタンドの左脚部の内側に、ネジを1本取り付けます。



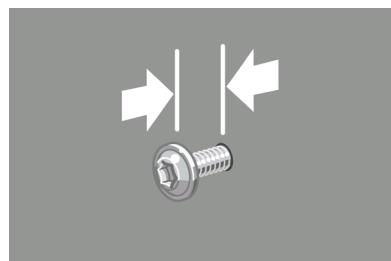
3. ネジは完全に締めないでください。



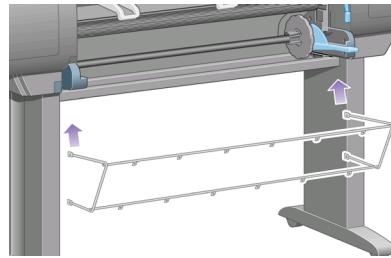
4. スタンドの右脚部の内側に、ネジを1本取り付けます。



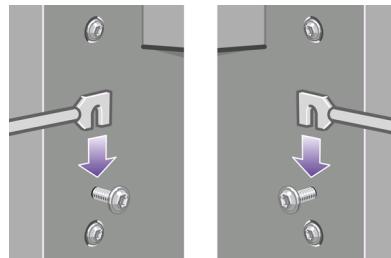
5. ネジは完全に締めないでください。



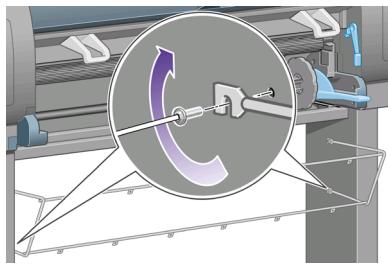
- 用紙スタッカの外枠をプリンタ前面の所定の位置に合わせます。



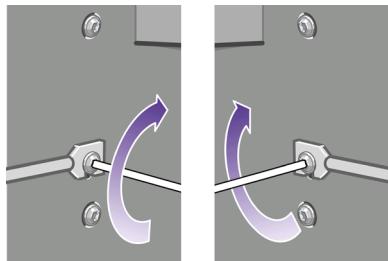
- 用紙スタッカの上部アームを、先ほど取り付けた2本のネジに引っ掛けて取り付けます。



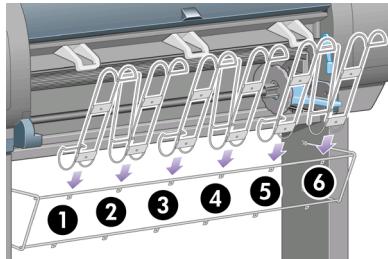
- 用紙スタッカの下部アームを、スタンドの左右の脚部にそれぞれネジで固定します。



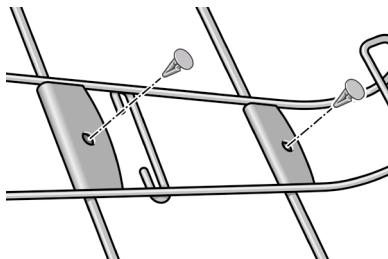
9. 上部の2本のネジをしっかりと締めます。



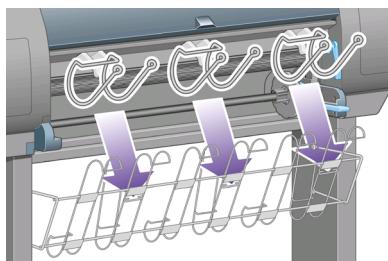
10. 6つのループすべてを、用紙スタッカの枠にはめ込みます。後部が長くなっているループは、図の2、4、6の位置にはめ込んでください。



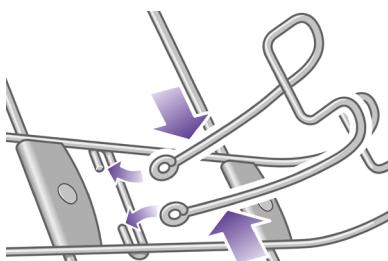
11. 6つのループすべてを、それぞれ2本のクリップで枠に固定します。



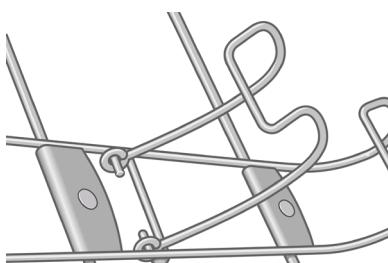
12. 3つの可動式ストッパすべてを、図のようにそれぞれ3つのループに取り付けます。



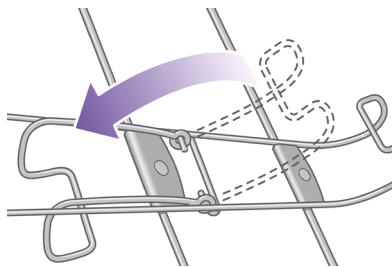
13. 可動式ストッパを軽く握って幅を狭くし、ループの所定の位置に合わせます。



14. 所定の位置に合わせ、手を離し、ストッパの幅を元に戻します。

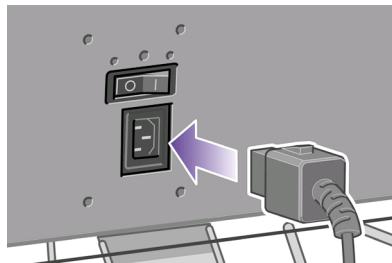


15. 3つの可動式ストッパを図のように格納します。可動式ストッパは、長さが900mm未満の用紙（最大A1サイズ）に印刷する場合にのみ使用します。

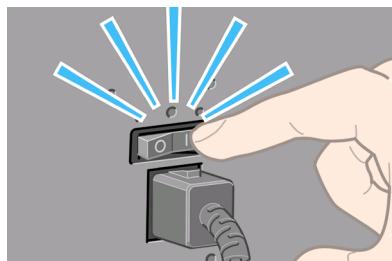


初めてプリンタの電源をオンにするには

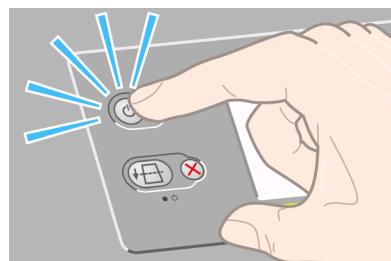
1. 電源ケーブルをプリンタ背面に差し込み、反対側をAC電源コンセントに差し込みます。



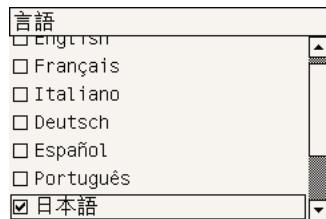
2. プリンタ背面の電源スイッチをオンにします。



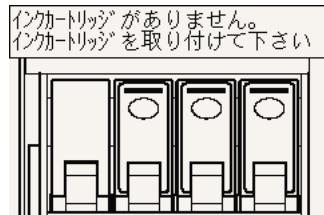
3. フロントパネルの電源ランプが点灯しない場合は、電源ボタンを押してプリンタの電源を入れます。



- しばらくすると、図のようなメニューがフロントパネルに表示されます。上矢印および下矢印ボタンを使用して、フロントパネルで使用する言語をハイライトさせ、選択(チェックマーク)ボタンを押します。

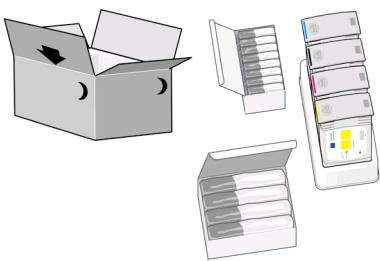


- フロントパネルに図のようなメッセージが表示されます。

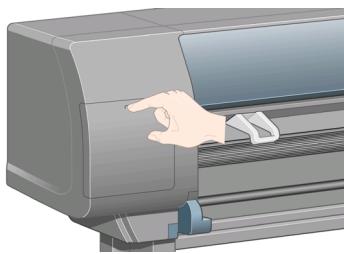


インクカートリッジを取り付けるには

- 消耗品の箱からプリントヘッド、プリントヘッドクリーナ、インクカートリッジを取り出します。

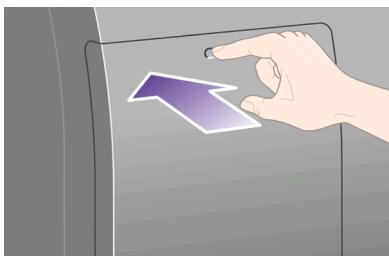


2. インクカートリッジは、プリンタの左側に取り付けます。

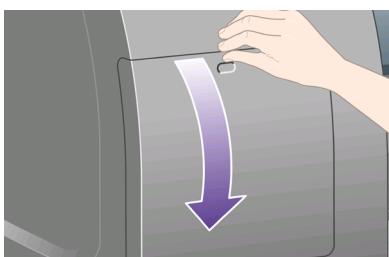


プリンタを組み立てるには

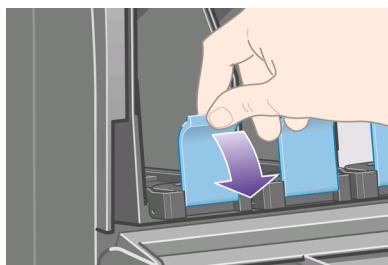
3. カチッと音がするまでドアを押します。



4. ドアが開きます。

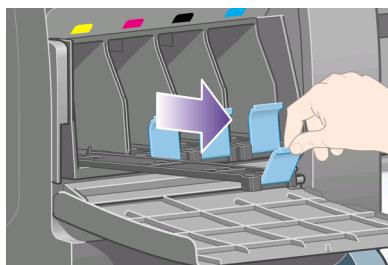


5. 青いタブを下げるとき、インクカートリッジ用の引き出しのロックが解除されます。



プリントを組み立てるには

6. インクカートリッジ用の引き出しを手前に引きます。



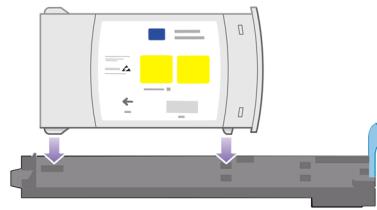
7. インクカートリッジを引き出しの上に設置します。



注記 引き出しには、取り付ける位置が示されています。



8. 印に従って、インクカートリッジを引き出しの奥に置きます。

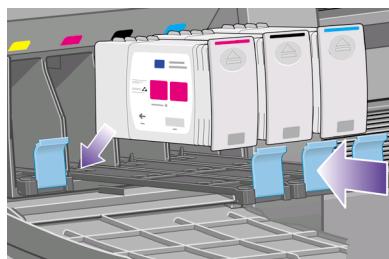


9. インクカートリッジ用の引き出しを、所定の位置に固定されるまでプリンタの中に押し込みます。



取り付けにくい場合は、「211 ページの [インクカートリッジを取り付けられない]」を参照してください。

10. 同じ方法で、残りの3つのインクカートリッジを取り付けます。

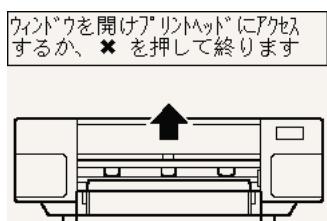


11. ドアを閉じます(カチッと音がするまで押します)。

プリントヘッドを取り外すには

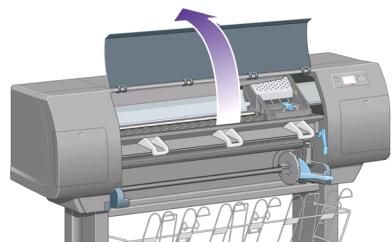


12. 1分ほどすると、図のようなメッセージがフロントパネルに表示されます。

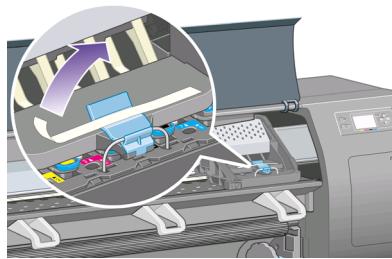


付属のプリントヘッドを取り外すには

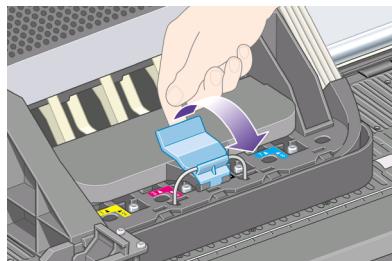
1. ウィンドウを開きます。



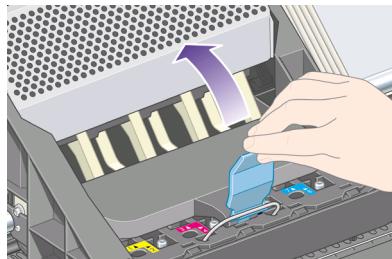
2. プリントヘッド キャリッジ ラッチを固定している梱包テープを剥がします。



3. キャリッジ上部のラッチを引き上げて、ロックを解除します。

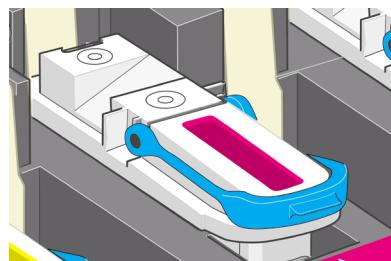


4. カバーを持ち上げ、付属のプリントヘッドを確認してください。

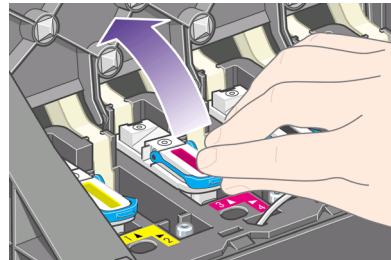


5. 付属のプリントヘッドを取り外す前に、各プリントヘッドの上部にある窓からインクがあるかどうかを確認してください。インクがない場合は、カスタマ サービスにお問い合わせください。

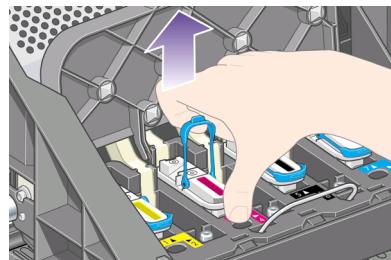
プリンタを組み立てるには



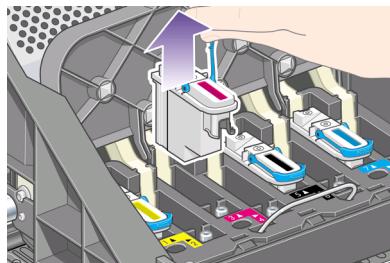
- 付属のプリントヘッドを取り外すには、青いハンドルを持ち上げます。



- 持ち上げた青いハンドルを使って、キャリッジから付属のプリントヘッドを静かに取り外します。

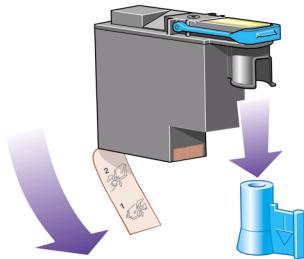


- そのまま、キャリッジから取り外します。他のプリントヘッドも、同様にして取り外します。

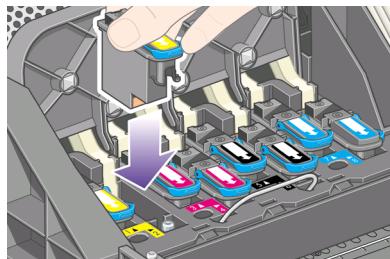


プリントヘッドを取り付けるには

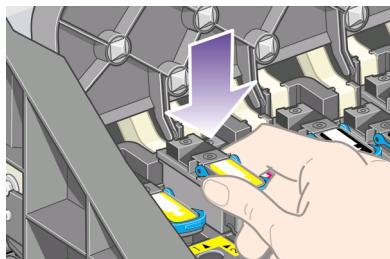
1. プリントヘッドから青い保護キャップを取り外し、透明の保護テープを剥がします。



2. すべてのプリントヘッドを、正しい位置に垂直に差し込みます。

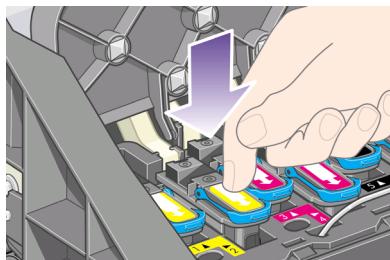


3. 所定の位置に、静かに注意して取り付けます。

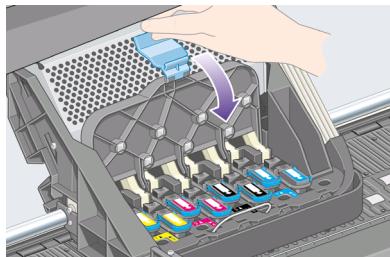


取り付けにくい場合は、「211ページの[プリントヘッドを取り付けられない]」を参照してください。

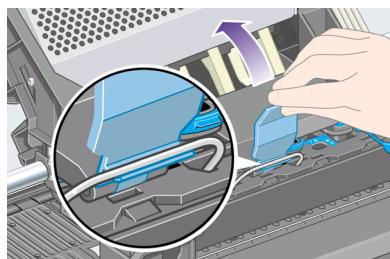
4. プリントヘッドが正しい位置に取り付けられていることを確認します。すべてのプリントヘッドを取り付けると、フロントパネルに「プリントヘッドカバーとウィンドウを閉じます」というメッセージが表示されます。



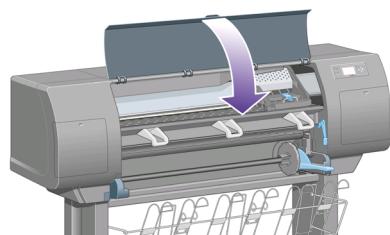
5. フロントパネルに[プリントヘッドエラー：交換してください]というメッセージが表示される場合は、「212ページの[フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される]」を参照してください。
6. カバーを閉じます。



7. ラッチを正しくはめます。



8. ウィンドウを閉じます。

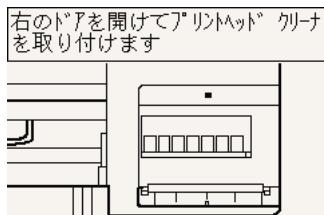


プリンタを組み立てるには

9. プリンタによるプリントヘッドのチェックが終了するまで、1分ほど待ちます。

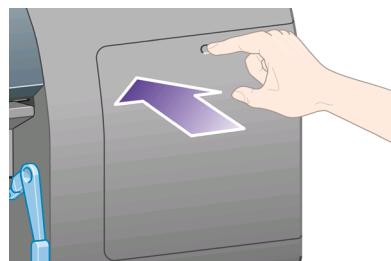
プリントヘッドクリーナを取り付けるには

1. プリントヘッドを取り付けてしばらくすると、図のようなメッセージがフロントパネルに表示されます。

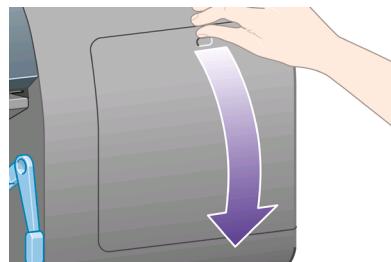


2. プリンタの右のドアを押します。

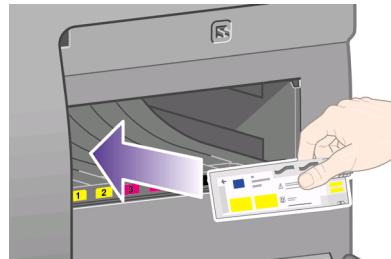
プリンタを組み立てるには



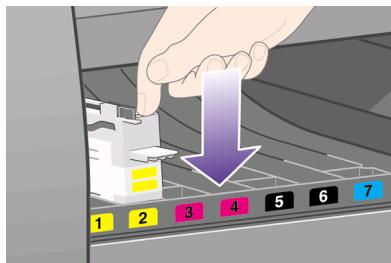
3. ドアが開きます。



4. プリントヘッドクリーナを、該当する色のスロットに挿入します。



5. プリントヘッドクリーナを奥まで挿入し、カチッと音がして所定の位置に収まるまで上から押し込みます。



取り付けにくい場合は、「211 ページの [プリントヘッドクリーナを取り付けられない]」を参照してください。

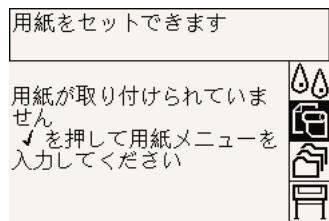
6. 残りの7つのプリントヘッドクリーナを、該当するスロットに挿入します。



7. ドアを閉じます。

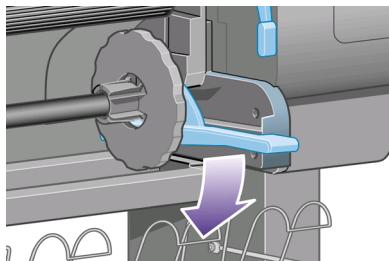


8. しばらくすると、図のようなメッセージがフロントパネルに表示されるので、表示されたら選択(チェックマーク)ボタンを押します。

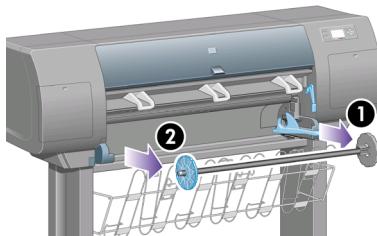


ロール紙をスピンドルに取り付けるには

1. スピンドル レバーを下げます。



2. まずスピンドルの右端 (1) をプリンタから取り外し、次に右に移動させてスピンドルの左端 (2) を取り外します。このとき、右端を先に引き出します。

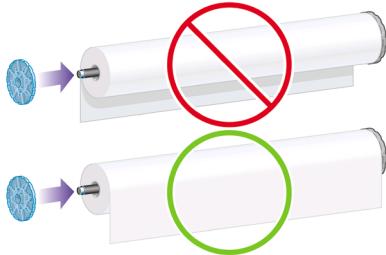


3. スピンドルの左端から青いストッパー(1)を取り外します。スピンドルは水平のままにしておきます。

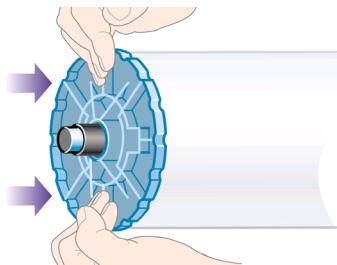


4. プリンタに同梱されているロール紙をスピンドルにスライドさせて取り付けます。ロール紙の向きが図のようになっていることを確認してください。

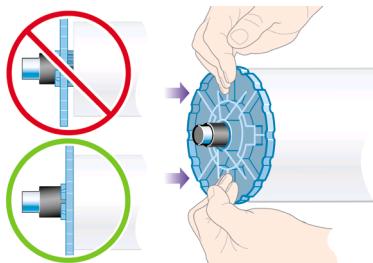
 注記 スピンドルのラベルにも、正しい向きが表示されています。



5. 青いストッパを取り付け、押し込むところまで適度な力で押し込みます。

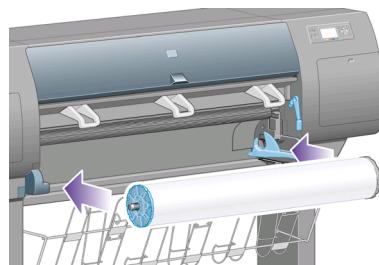


6. 青いストッパが正しく取り付けられていることを確認してください。

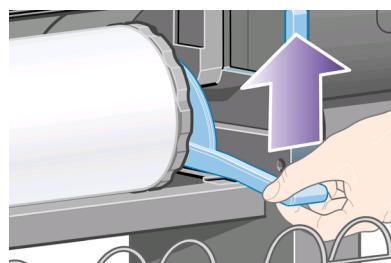


7. 青いストッパが左側に来るよう、スピンドルをプリンタにスライドさせて取り付けます。スピンドルを挿入すると、青いスピンドル レバーが自動的に下がります。

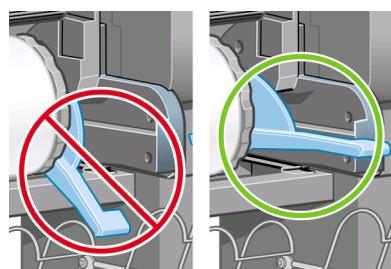
プリンタを組み立てるには



8. 動かなくなるところまで挿入したら、青いレバーを持ち上げてスピンドルを正しく取り付けます。

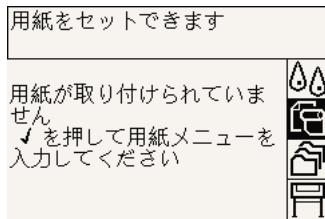


9. スピンドルが正しく挿入されると、スピンドル レバーは水平になります。

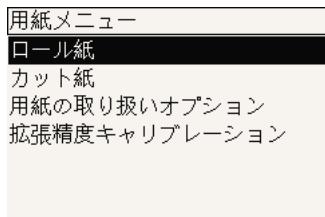


用紙を取り付けるには

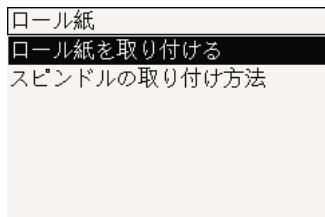
1. フロントパネルで、アイコンをハイライトさせ、選択(チェックマーク)ボタンを押します。



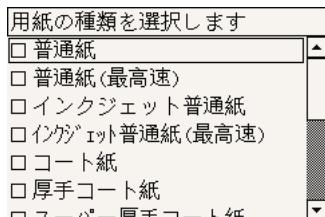
2. [ロール紙] をハイライトさせ、選択(チェックマーク) ボタンを押します。



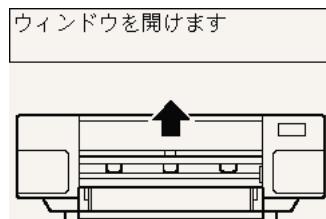
3. [ロール紙を取り付ける] をハイライトさせ、選択(チェックマーク) ボタンを押します。



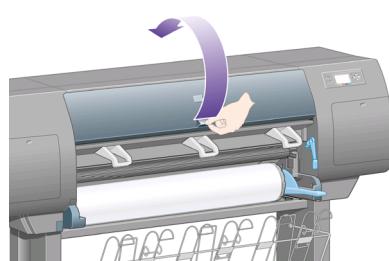
4. 取り付けた用紙の種類をハイライトさせ、選択(チェックマーク) ボタンを押します。



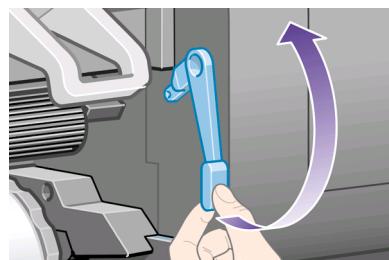
5. しばらくすると、「ウィンドウを開けます」というメッセージが表示されます。



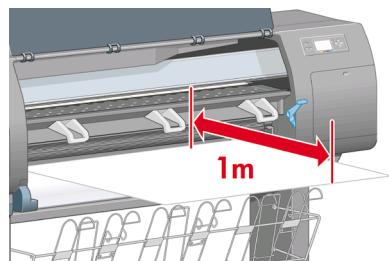
6. ウィンドウを開けます。



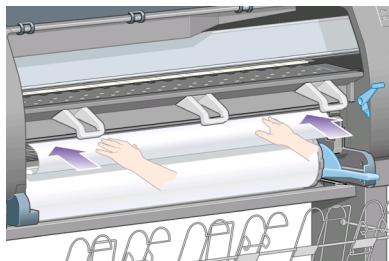
7. 用紙取り付けレバーを上げます。



8. ロール紙を約1m(3フィート)引き出します。

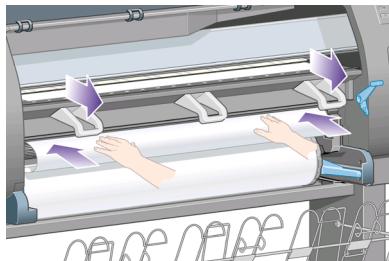


9. ロール紙の先端を、黒いローラーの上に挿入します。



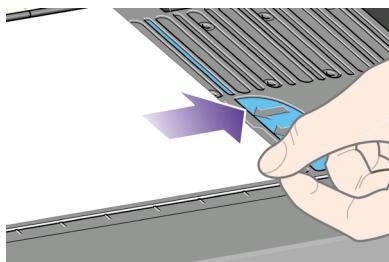
! **警告** 用紙を取り付ける作業中、プラテンのゴムのホイールに触れ
ないようにしてください。ホイールが回転して皮膚や髪、衣服を
巻き込むおそれがあります。

10. そのまましばらくすると、用紙が下の図のようにプリンタから出てきます。



 **注記** 用紙の取り付け作業中に予期しない問題が発生した場合
は、「215 ページの [用紙が正しく取り付けられない]」を参照して
ください。

11. 用紙がプラテン上の青い線と半円の位置に来るようになります。



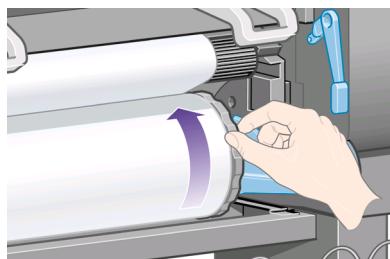
12. 用紙取り付けレバーを下げます。



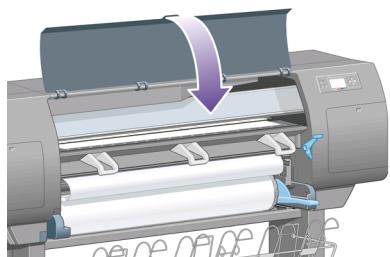
13. フロントパネルに、図のようなメッセージが表示されます。



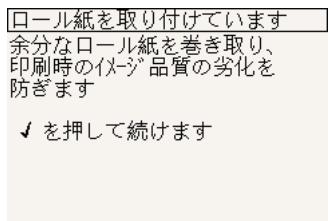
14. ストップを使用して、用紙の余分な部分をスピンドルに巻き戻します。



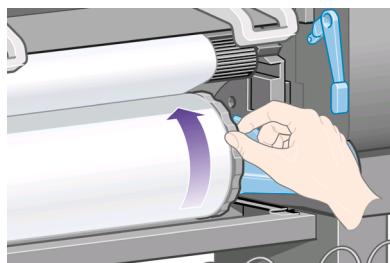
15. ウィンドウを閉じます。



16. 用紙が送られたり巻き戻されたりして調整が行われますが、その後フロントパネルに、下の図のようなメッセージが表示されます。



17. ストップパを使用して、用紙の余分な部分をスピンドルに巻き戻します。

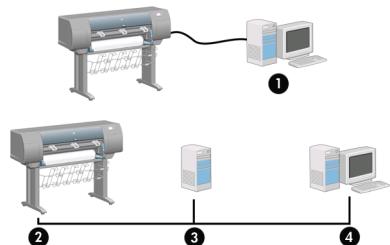


プリンタを組み立てるには

18. 取り付けた用紙の種類に合わせて、プリントヘッドの軸合わせとカラーキャリブレーションが自動的に実行されます。この処理中、実際の印刷を開始する前に、最大で3m(≈10フィート)の用紙が排出されます。プリントヘッドの軸合わせを正常に行うために必要ですので、この用紙送りは停止しないでください。軸合わせとキャリブレーションの処理には約20分かかります。この間にプリンタの接続作業を開始することができます。詳細は、「53ページの[プリンタを接続するには]」を参照してください。

プリンタを接続するには

1. プリンタは、1台のコンピュータに直接接続するか、または複数のコンピュータにネットワーク経由で接続することができます。

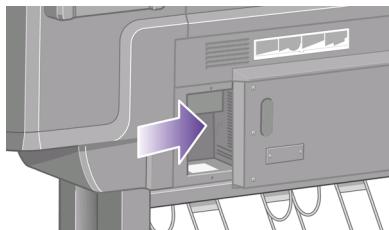


(1) PC、Macintosh、またはワークステーション
(2) プリンタ

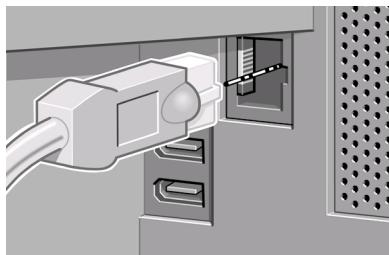
プリンタを組み立てるには

(3) サーバ
(4) PC、Macintosh、またはワークステーション

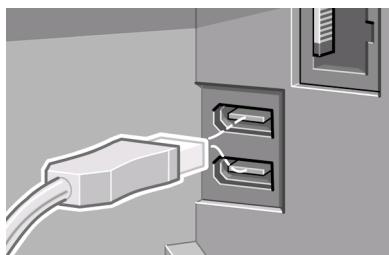
2. プリンタ背面にあるコネクタに、コンピュータまたはネットワークを接続するか、別売のオプションを取り付けます。



3. ネットワーク接続用のファストイーサネットソケットは1つ用意されています。



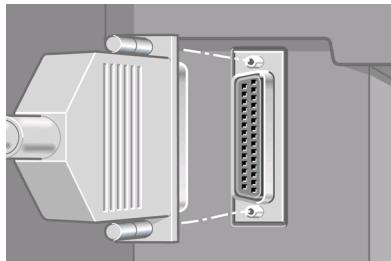
4. コンピュータに直接接続するためのIEEE1394ソケットは2つ用意されています。



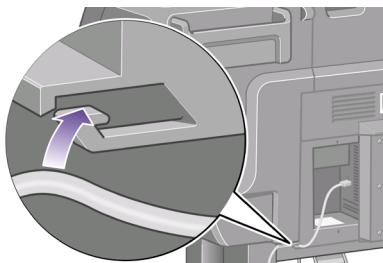
 **注記** このプリンタには、IEEE1394ケーブルは付属していませんが、1394 Trade Association推奨ケーブルならどれでも使用することができます。

5. 別売のオプションを取り付けるための、大きめのソケットも用意されています。

 注意 このソケットには、別売のオプション以外接続しないでください。



6. ネットワーク ケーブルは、プリンタ背面のフックにかけます。



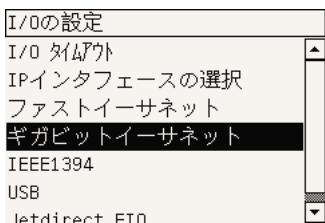
プリンタを組み立てるには

アクセサリを取り付けるには

別売オプションとしてさまざまなアクセサリが発売されており、プリンタをお使いの間は、いつでも取り付けることができます。各アクセサリの取り付け方法については、アクセサリに同梱されているポスターに図で説明されています (Jetdirectプリントサーバについてのみ例外として、以下に説明が記載されています)。ここでは、アクセサリを取り付ける作業が完了した後の手順について説明します。

ギガビットイーサネットソケット

ギガビットイーサネットソケットが正しく取り付けられていることを確認するには、フロントパネルで  アイコンを選択し、次に [I/Oの設定] - [ギガビットイーサネット] の順に選択します。

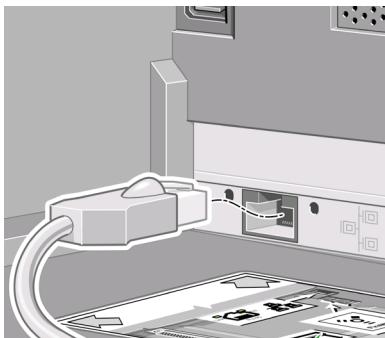


フロントパネルに、ソケットの状況に応じて [インストール済み] または [インストールされていません] のいずれかが表示されます。

それぞれ該当する手順に従って、プリンタをネットワークに接続します。

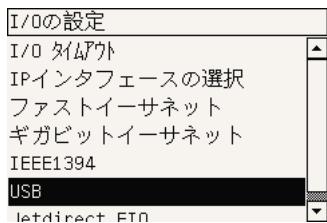
- 62 ページの [プリンタをネットワークに接続するには (Windows)]
- 64 ページの [プリンタをネットワークに接続するには (Mac OS X)]
- 67 ページの [プリンタをネットワークに接続するには (Mac OS 9)]

下の図のように、ネットワークケーブルを差し込みます。



USB 2.0ソケット

USB 2.0ソケットが正しく取り付けられていることを確認するには、フロントパネルで  アイコンを選択し、次に [I/Oの設定] - [USB] の順に選択します。

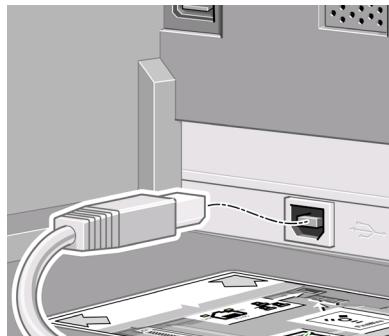


フロントパネルに、ソケットの状況に応じて [インストール済み] または [インストールされていません] のいずれかが表示されます。

それぞれ該当する手順に従って、プリンタをコンピュータに接続します。

- 69 ページの [プリンタをコンピュータに直接接続するには (Windows)]
- 69 ページの [プリンタをコンピュータに直接接続するには (Mac OS X)]
- 71 ページの [プリンタをコンピュータに直接接続するには (Mac OS 9)]

以下の図のように、USBケーブルを差し込みます。

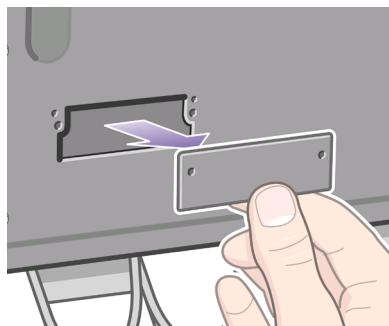
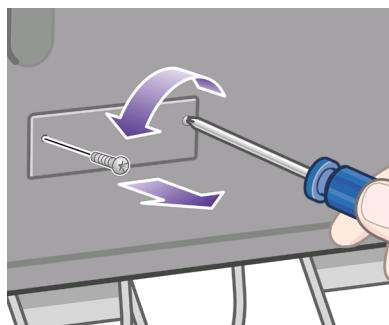


Jetdirectプリントサーバ

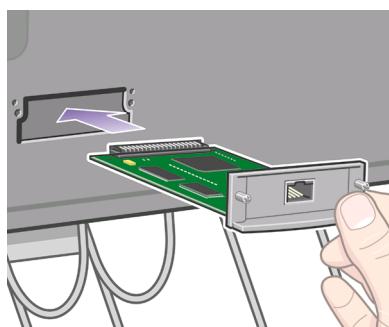
Jetdirectカードを取り付けるには、以下の手順に従います。

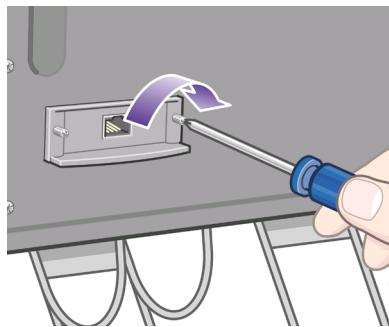
1. プリンタ背面の左側近くにある、2本のネジで留められた小さなカバー板を取り外します。

プリンタを組み立てるには



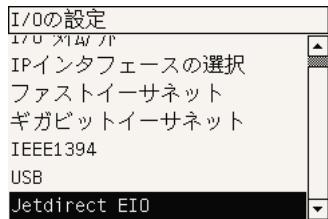
2. Jetdirectカードを挿入し、カードに付属のネジでしっかりと固定します。





3. カバー板とネジは、Jetdirectカードを外す場合に備えて保管しておきます。

カードが正しく取り付けられていることを確認するには、フロントパネルで アイコンを選択し、次に [I/Oの設定] - [Jetdirect EIO] の順に選択します。

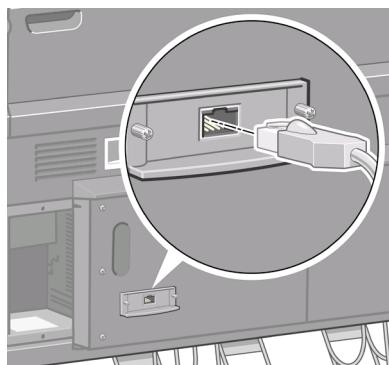


フロントパネルに、プリントサーバの状況に応じて [インストール済み] または [インストールされていません] のいずれかが表示されます。

それぞれ該当する手順に従って、プリンタをネットワークに接続します。

- 62 ページの [プリンタをネットワークに接続するには (Windows)]
- 64 ページの [プリンタをネットワークに接続するには (Mac OS X)]
- 67 ページの [プリンタをネットワークに接続するには (Mac OS 9)]

以下の図のように、ネットワークケーブルを差し込みます。



メモリ拡張カード

256MBメモリ拡張カードが正しく取り付けられていることを確認するには、フロントパネルで アイコンを選択し、次に [情報メニュー] - [プリンタ情報の表示] の順に選択します。フロントパネルに、プリンタに関するさまざまな情報項目が表示され、その中に [メモリ] も表示されています。



ここでメモリ サイズが512MBと表示されていたら、メモリ拡張カードは正しく取り付けられています。

3 プリンタ ソフトウェアを設定するには

- 61 ページの [使用する接続方法を選択するには]
- 62 ページの [プリンタをネットワークに接続するには (Windows)]
- 64 ページの [プリンタをネットワークに接続するには (Mac OS X)]
- 67 ページの [プリンタをネットワークに接続するには (Mac OS 9)]
- 69 ページの [プリンタをコンピュータに直接接続するには (Windows)]
- 69 ページの [プリンタをコンピュータに直接接続するには (Mac OS X)]
- 71 ページの [プリンタをコンピュータに直接接続するには (Mac OS 9)]
- 72 ページの [プリンタ ドライバをアンインストールするには (Windows)]
- 72 ページの [プリンタ ドライバをアンインストールするには (Mac OS 9)]

使用する接続方法を選択するには

プリンタを接続するには、以下の方法を使用できます。

接続の種類	速度	ケーブルの長さ	その他
ファストイーサネット	高速。ネットワーク トラフィックによって速度は異なります。	長い (100m=328 フィート)	追加機材 (スイッチ) 要。
ギガビットイーサネット (別売オプション)	きわめて高速。ネットワーク トラフィックによって速度は異なります。	長い (100m=328 フィート)	追加機材 (スイッチ) 要。
Jetdirectプリントサーバ(別売オプション)	普通。ネットワーク トラフィックによって速度は異なります。	長い (100m=328 フィート)	追加機材 (スイッチ) 要。 AppleTalk接続、およびNovellでの印刷に便利です。
IEEE1394	きわめて高速	短い (4.5m=15フィート)	
USB 2.0 (別売オプション)	きわめて高速	短い (5m=16フィート)	

[3] プリンタ ソフトウェアを設定する



注記1 ネットワーク接続速度は、ネットワーク上のすべてのコンポーネントに左右されます。これには、ネットワーク インタフェース カード、ハブ、ルータ、スイッチ、ケーブルなどがあります。コンポーネントのいずれかが高速処理に対応していない場合、接続速度は遅くなります。また、ネットワーク上の他のデバイスから送信される総トランジット量も、接続速度に影響を与えます。

注記2 ギガビット イーサネット アクセサリおよびUSB2.0 アクセサリは、プリンタの同じスロットが取り付け先となるため、同時に両方のアクセサリを接続することはできません。Jetdirect プリントサーバーアクセサリは接続する場所が別にあるので、影響はありません。

注記3 プリンタをネットワークに接続する方法にはさまざまなものがありますが、実行できる方法は1度に1つに限られます。ただし、Jetdirect プリントサーバーは例外で、他のネットワーク接続と同時にアクティブにすることができます。

プリンタをネットワークに接続するには (Windows)

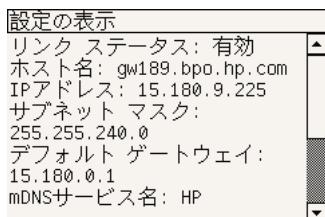
ネットワーク接続を設定するには、プリンタのIPアドレスを設定する必要があります。設定方法には2通りあり、これはネットワークのIPアドレス設定の種類により異なります。使用しているネットワークアーキテクチャに対応する手順にのみ従ってください。

- IPアドレスの自動設定：プリンタが自動的にIPアドレスを取得
- IPアドレスの手動設定：手動でIPアドレスを入力

IPアドレスの自動設定

この設定の場合、ネットワークケーブルを接続してプリンタの電源を入れると、プリンタが自動的にIPアドレスを取得します。この値を確認し、それから、以下の手順に従ってネットワークのプリンタの設定を行います。

1. フロントパネルで、アイコンを選択し、次に [I/Oの設定] - [ファストイーサネット] (または [ギガビットイーサネット]) - [設定の表示] を選択します。
2. フロントパネルに、プリンタのIPアドレスなどの情報が表示されます。IPアドレスをメモします。

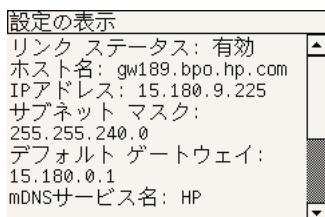


3. コンピュータに、[HP Designjet 4000 シリーズ プリンタ ソフトウェア セットアップ (HP Designjet 4000 Series Printer Software Setup) Windows 版] CD を挿入します。
4. 言語を選択します。
5. [HP Designjet 4000 シリーズ (日本語版) セットアップ ウィザードへようこそ] ダイアログの情報を読み、[次へ] をクリックします。
6. 使用許諾書を読み、同意する場合は [使用許諾契約の条項に同意します] を選択して [次へ] をクリックします。
7. [ネットワークを介して接続] をクリックします。
8. [PCまたはサーバ用の基本的なネットワーク設定(推奨)] をクリックします。
9. 設定プログラムによりネットワークに接続されたプリンタの検出が行われるため、検出が終了するまで待ちます。検出が終了すると、プリンタのリストが表示されます。IPアドレスを参照してプリンタを識別し、リストでそのプリンタを選択して、[次へ] をクリックします。
10. 設定プログラムによりネットワークとプリンタの分析が行われるため、分析が終了するまで待ちます。ネットワークの設定が検出され、プリンタを設定する際の推奨設定が表示されます。通常はこの設定を変更する必要はありません。[次へ] をクリックします。
11. プリンタのモデルを選択して、[次へ] を選択します。
12. 画面に表示される指示に従って操作を続け、インストールを完了します。

IPアドレスの手動設定

これは、インストールの開始時にIPアドレスが割り当てられていない場合の手順です。インストールの手順として、まずプリンタを検出し、IPアドレスを設定し、この設定を使用してドライバをインストールします。以下の手順に従ってください。

1. フロントパネルで、 アイコンを選択し、次に [I/Oの設定] - [ファストイーサネット] (または [ギガビットイーサネット]) - [設定の表示] を選択します。
2. フロントパネルに、プリンタのMACアドレスなどの情報が表示されます。MACアドレスをメモします。



3. コンピュータに、[HP Designjet 4000 シリーズ プリンタ ソフトウェア セットアップ (HP Designjet 4000 Series Printer Software Setup) Windows 版] CDを挿入します。
4. 言語を選択します。
5. [HP Designjet 4000 シリーズ (日本語版) セットアップウィザードへようこそ] ダイアログの情報を読み、[次へ] をクリックします。
6. 使用許諾書を読み、同意する場合は [使用許諾契約の条項に同意します] を選択して [次へ] をクリックします。
7. [ネットワークを介して接続] をクリックします。
8. [PCまたはサーバ用の基本的なネットワーク設定(推奨)] をクリックします。
9. 設定プログラムによりネットワークに接続されたプリンタの検出が行われるため、検出が終了するまで待ちます。検出が終了すると、プリンタのリストが表示されます。MACアドレスを参照してプリンタを識別し、リストでそのプリンタを選択して、[次へ] をクリックします。
10. 設定プログラムによりネットワークとプリンタの分析が行われるため、分析が終了するまで待ちます。TCP/IPパラメータが設定されていないため、IPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイの入力を求めるメッセージが表示されます。ネットワークの設定に従ってこれらの値を入力します。IPアドレスとサブネットマスクを入力する際には、現在のネットワークデバイスと競合しない値を選択するよう気をつけてください。これらの値は、ネットワーク管理者から取得することをお勧めします。
11. プリンタのモデルを選択して、[次へ] を選択します。
12. インストールが終了すると、プリンタを操作するためのドライバの設定が完了し、有効なIPアドレスがプリンタに割り当てられた状態になります。割り当てられたIPアドレスをフロントパネルに表示するには、[アイコンを選択し、次に [I/Oの設定] - [ファストトイーサネット] (または [ギガビットトイーサネット]) - [設定の表示] を選択します。

プリンタをネットワークに接続するには (Mac OS X)

Mac OS X環境でプリンタをネットワークに接続する場合、以下の方法を使用できます。

- Rendezvous
- AppleTalk
- TCP/IP

 **注記** バージョン10.3以前のMac OS Xでは、[プリンタ設定ユーティリティ] は [プリントセンター] と呼ばれていました。

Rendezvousによる方法

手順を実行する前に、以下のことを確認してください。

- プリンタがセットアップされていて、電源が入っている。
- イーサネット ハブまたはルータの電源が入っていて、正常に機能している。
- ネットワーク上のすべてのコンピュータの電源が入っていて、ネットワークに接続されている。
- プリンタがネットワークに接続されている。
- プリンタ ドライバがインストールされている。ドライバをインストールするには、ドライバのCDを挿入して画面の指示に従います。

Rendezvousを使用してプリンタを接続するには、以下の手順に従います。

1. フロントパネルで、 アイコンを選択し、次に [I/Oの設定] - [ファストイーサネット] (または、こちらのオプションを使用している場合は [ギガビットイーサネット]) - [設定の表示] を選択します。フロントパネルに表示されるプリンタのmDNSサービス名をメモします。この情報は、後ほど必要になります。
2. デスクトップ上の [Finder] アイコンを選択して、[プリンタ設定ユーティリティ] を開きます。 [Finder] 画面の右上隅にある [アプリケーション] アイコンをクリックし、リストから [ユーティリティ] を選択します。 [ユーティリティ] リストから、[プリンタ設定ユーティリティ] を選択します。
3. [追加] ボタンをクリックします。 [プリンタリスト] ダイアログ ボックスが表示されます。
4. ポップアップメニューから、[Rendezvous] を選択します。
5. プリンタの名前をクリックします。 プリンタを名前で区別できない場合は、さきほどメモしたmDNSサービス名を使用します。
6. 接続が自動的に設定され、プリンタをネットワークで使用できるようになります。

AppleTalkによる方法

 **注記** AppleTalkは、オプションのJetdirectプリントサーバでしかサポートされていません。

手順を実行する前に、以下のことを確認してください。

- プリンタがセットアップされていて、電源が入っている。
- イーサネット ハブまたはルータの電源が入っていて、正常に機能している。
- ネットワーク上のすべてのコンピュータの電源が入っていて、ネットワークに接続されている。

- プリンタがネットワークに接続されている。
- プリンタ ドライバがインストールされている。 ドライバをインストールするには、ドライバのCDを挿入して画面の指示に従います。

AppleTalkを使用してプリンタを接続するには、以下の手順に従います。

1. フロントパネルで、アイコンを選択し、次に [I/Oの設定] - [Jetdirect EIO] - [設定の表示] を選択します。
2. フロントパネルに、プリンタのAppleTalk名などの情報が表示されます。 AppleTalk名をメモします。
3. [Dock] メニュー バーの [システム環境設定] アイコンをダブルクリックし、[ネットワーク] を選択して、AppleTalkプロトコルが [使用] になっていることを確認します。 [表示] メニューで [**内蔵Ethernet**] および [**AppleTalk**] を選択し、AppleTalkが [AppleTalk使用] になっていることを確認します。
4. デスクトップ上の [Finder] アイコンを選択して、[プリンタ設定ユーティリティ] を開きます。 [Finder] 画面の右上隅にある [アプリケーション] アイコンをクリックし、リストから [**ユーティリティ**] を選択します。 [**ユーティリティ**] リストから、[プリンタ設定ユーティリティ] を選択します。
5. [プリンタリスト] で、[追加] ボタンをクリックしてプリンタを追加します。 [プリンタリスト] ダイアログ ボックスが表示されます。
6. ポップアップメニューから、[AppleTalk] を選択します。 [ローカル AppleTalkゾーン] を選択します。
7. リストからプリンタを選択します。 このとき、手順2でメモした AppleTalk名が必要となる場合があります。
8. [追加] ボタンをクリックして、[プリンタ設定ユーティリティ] を閉じます。

TCP/IPによる方法

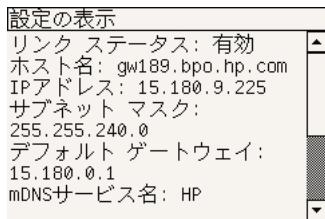
手順を実行する前に、以下のことを確認してください。

- プリンタがセットアップされていて、電源が入っている。
- イーサネット ハブまたはルータの電源が入っていて、正常に機能している。
- ネットワーク上のすべてのコンピュータの電源が入っていて、ネットワークに接続されている。
- プリンタがネットワークに接続されている。
- プリンタ ドライバがインストールされている。 ドライバをインストールするには、ドライバのCDを挿入して画面の指示に従います。

TCP/IPを使用してプリンタを接続するには、以下の手順に従います。

1. フロントパネルで、アイコンを選択し、次に [I/Oの設定] - [ファストイーサネット] (または [ギガビットイーサネット]) - [設定の表示] を選択します。

2. フロントパネルに、プリンタのIPアドレスなどの情報が表示されます。IPアドレスをメモします。



3. デスクトップ上の [Finder] アイコンを選択して、[プリンタ設定ユーティリティ] を開きます。[Finder] 画面の右上隅にある [アプリケーション] アイコンをクリックし、リストから [ユーティリティ] を選択します。[ユーティリティ] リストから、[プリンタ設定ユーティリティ] を選択します。
4. [追加] ボタンをクリックします。[プリンタリスト] ダイアログ ボックスが表示されます。
5. ポップアップメニューから、[IPプリント] を選択します。
6. [プリンタのアドレス] フィールドに、プリンタのIPアドレス (手順2でメモしたもの) を入力します。
7. [プリンタの機種] フィールドで、[HP] を選択し、次に [HP Designjet 4000ps] を選択します。
8. [追加] ボタンをクリックします。[プリンタ設定ユーティリティ] を閉じます。

プリンタをネットワークに接続するには (Mac OS 9)

Mac OS 9環境でプリンタをネットワークに接続する場合、以下の方法を使用できます。

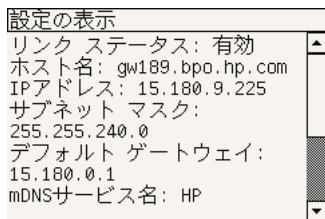
- TCP/IP
- AppleTalk

TCP/IPによる方法

手順を実行する前に、プリンタの電源が入っていることとネットワークに接続されていることを確認してください。

TCP/IPを使用してプリンタを接続するには、以下の手順に従います。

1. フロントパネルで、 アイコンを選択し、次に [I/Oの設定] - [ファストイーサネット] (または [ギガビットイーサネット]) - [設定の表示] を選択します。
2. フロントパネルに、プリンタのIPアドレスなどの情報が表示されます。IPアドレスをメモします。



3. コンピュータで、デスクトッププリンタユーティリティを開きます。これは、ハードディスクの [HP Designjet 4000ps] フォルダにあります。
4. [プリンタ] には [AdobePS] を、[デスクトップに作成...] には [プリンタ (LPR)] を選択します。[OK] をクリックします。
5. [PostScriptプリンタ記述 (PPD) ファイル] の [変更] をクリックして、PostScriptプリンタ記述 (PPD) ファイルに [HP Designjet 4000 PS3] を選択します。
6. [LPRプリンタの選択] の [変更] をクリックして、[プリンタ アドレス] フィールドにプリンタのIPアドレスを入力します。[検証] をクリックしてから、[OK] をクリックします。
7. 変更内容が画面に正しく表示されていることを確認し、[作成] をクリックします。
8. [保存] をクリックして、デスクトップに新しいプリンタ設定を保存します。

AppleTalkによる方法

 注記 AppleTalkは、オプションのJetdirectプリントサーバでしかサポートされていません。

手順を実行する前に、プリンタの電源が入っていることとネットワークに接続されていることを確認してください。

AppleTalkを使用してプリンタを接続するには、以下の手順に従います。

1. フロントパネルで、アイコンを選択し、次に [I/Oの設定] - [Jetdirect EIO] - [設定の表示] を選択します。フロントパネルに表示されるプリンタのAppleTalk名をメモしておきます。この情報は、後ほど必要になります。
2. Appleメニューから、[セレクタ] を選択します。
3. Adobe PostScriptドライバのアイコンをクリックします。



- [AppleTalkゾーン] リストで、プリンタが配置されている(存在している場合) AppleTalkゾーンを選択します。AppleTalkプロトコルが [使用] になっていることを確認します。
- セレクタにより、ゾーン内のAppleTalkで接続されているすべてのHP Designjetプリンタが検出されます。
- プリンタを選択します。類似したプリンタが複数ある場合は、AppleTalk名を使用して正しいプリンタを識別します。
- [セレクタ] 内の [作成] ボタンをクリックして、プリンタをセットアップします。
- プリンタの種類は自動的に選択されます。新しいプリンタのアイコンが、デスクトップに表示されます。
- [セレクタ] を閉じます。アイコンがデスクトップに表示されます。

プリンタをコンピュータに直接接続するには (Windows)

ネットワークを介さずにプリンタを直接コンピュータに接続するには、プリンタの内蔵IEEE1394ソケット (Windows 2000、XP、2003 Serverで対応) またはオプションのUSB 2.0ソケット (Windows 98 SE、Me、2000、XP、2003 Serverで対応) を使用します。

- この時点では、まだコンピュータをプリンタに接続しないでください。**
最初に、以下の手順でコンピュータにプリンタ ドライバ ソフトウェアをインストールする必要があります。
- CDドライブに、[HP Designjet 4000 シリーズ プリンタ ソフトウェア セットアップ (HP Designjet 4000 Series Printer Software Setup) Windows 版] CDを挿入します。CDが自動的に起動しない場合は、CDのルート (一番上の) フォルダ内のSETUP.EXEを実行します。
- 画面に表示される指示に従います。
- プリンタの接続方法を確認するメッセージが表示されたら、**[このコンピュータに直接接続]** を選択します。
- 接続方法を選択したら、**[次へ]** を選択します。
- プリンタのモデルを選択して、**[次へ]** を選択します。
- コンピュータをプリンタに接続するように指示するメッセージが表示されたら、IEEE1394ケーブルまたはUSBケーブルを接続します。プリンタの電源が入っていることを確認してください。プリンタ ソフトウェアによってプリンタが検出され、インストール手順が自動的に完了します。

[HP] プリンタ ソフトウェアを設定する

プリンタをコンピュータに直接接続するには (Mac OS X)

ネットワークを介さずにプリンタを直接コンピュータに接続するには、プリンタの内蔵IEEE1394ソケットまたはオプションのUSB 2.0ソケットを使用します。

- プリンタの電源がオフになっていることを確認します。

2. CD ドライブに、[HP Designjet ソフトウェア セットアップ (HP Designjet Software Setup)] CD を挿入します。
3. Finder で CD を表示します。
4. [OS X HP DJ 4000ps Install] をダブルクリックして、インストーラを起動します。
5. 画面の指示に従って、インストール用のダイアログ ボックスを表示します。
6. [インストール] ボタンをクリックします。
7. プリンタ ドライバがインストールされ、ステータスバーが表示されます。表示される指示に従って操作を行い、インストールが完了したらインストーラを終了します。

IEEE1394を使用した接続

1. IEEE1394ケーブルでプリンタとコンピュータを接続します。
2. プリンタの電源を入れます。
3. デスクトップ上の [Finder] アイコンを選択して、[プリンタ設定ユーティリティ] を開きます。[Finder] 画面の右上隅にある [アプリケーション] アイコンをクリックし、リストから [ユーティリティ] を選択します。[ユーティリティ] リストから、[プリンタ設定ユーティリティ] を選択します。
4. [追加] ボタンをクリックします。[プリンタリスト] ダイアログ ボックスが表示されます。
5. ポップアップメニューから、[HP FireWire] を選択します。
6. プリンタの名前をクリックします。
7. [追加] ボタンをクリックします。

USBを使用した接続

1. USBケーブルでプリンタとコンピュータを接続します。
2. プリンタの電源を入れます。
3. デスクトップ上の [Finder] アイコンを選択して、[プリンタ設定ユーティリティ] を開きます。[Finder] 画面の右上隅にある [アプリケーション] アイコンをクリックし、リストから [ユーティリティ] を選択します。[ユーティリティ] リストから、[プリンタ設定ユーティリティ] を選択します。
4. プリンタのアイコンが、使用可能なプリンタのリストに自動的に追加されます。



注記 Mac OS X 10.2環境の場合のみ、新しいプリンタは一般プリンタとして表示されます。この問題を修正するには、まず一般プリンタのアイコンを削除します。次に [追加] ボタンをクリックして、[プリンタリスト] ダイアログのポップアップメニューから [USB] を選択し、プリンタの名前を選択して [追加] ボタンをクリックします。

プリンタの共有



注記 Macユーザ間でのプリンタの共有は、Mac OS X v10.2.xおよびv10.3でサポートされています。

コンピュータがネットワークに接続されている場合に、コンピュータに直接接続されたプリンタを同じネットワーク上にある別のコンピュータで使用できます。

1. デスクトップ上のDockメニューバーの [システム環境設定] アイコンをクリックします。
2. プリンタの共有を有効にするには、[共有] - [サービス] - [プリンタ共有] を選択します。
3. クライアントコンピュータの [プリンタ設定ユーティリティ] で、利用可能なプリンタのリストに使用するプリンタが表示されます。

プリンタをコンピュータに直接接続するには (Mac OS 9)

ネットワークを介さずにプリンタを直接コンピュータに接続するには、オプションのUSB 2.0ソケットを使用します。

1. プリンタの電源がオフになっていることを確認します。
2. CDドライブに、[HP Designjet ソフトウェアセットアップ (HP Designjet Software Setup)] CDを挿入します。
3. FinderでCDを表示します。
4. [OS 9 HP DJ 4000ps Install] をダブルクリックして、インストーラを起動します。
5. 画面の指示に従って、インストール用のダイアログボックスを表示します。ここでは、[簡易インストール] オプションを選択することをお勧めします。
6. [インストール] ボタンをクリックします。
7. プリンタドライバがインストールされ、ステータスバーが表示されます。
8. [再起動] をクリックして、コンピュータを再起動します。
9. USBケーブルでプリンタとコンピュータを接続します。
10. プリンタの電源を入れます。
11. [HP Designjet 4000ps] フォルダにあるデスクトッププリンタユーティリティを起動します。
12. ドライバには [AdobePS]、接続には [USB] を選択します。
13. [USBプリンタ選択] セクションで [変更] をクリックして、プリンタを選択します。
14. [自動セットアップ] ボタンをクリックすると、プリンタは自動的にセットアップされます。[変更] ボタンをクリックすると、PostScriptプリンタ記述 (PPD) ファイルを選択できます。
15. 正しいPPDファイルを選択したら、[作成] ボタンをクリックしてデスクトッププリンタを保存します。

HPには
プリンタソフトウェアを設定する

プリンタの共有

Mac OS 9.1以降を使用し、コンピュータがTCP/IP経由でネットワークに接続されている場合は、コンピュータに直接接続されたプリンタを同じネットワーク上にある別のコンピュータで使用できます。

1. Appleメニューで、[コントロールパネル] - [USB Printer Sharing] を選択します。
2. [開始] ボタンをクリックします。
3. [マイ プリンタ] タブをクリックします。 プリンタが表示されます。 プリンタ名の横にあるボックスをオンにして、共有を有効にします。
4. 別のMacintoshマシンをプリンタに接続するには、まずプリンタ ドライバ ソフトウェアをインストールします。インストールを行うには、ドライバのCDを挿入して画面の指示に従います。
5. Appleメニューで、[コントロールパネル] - [USB Printer Sharing] を選択します。
6. [ネットワーク プリンタ] タブをクリックします。 共有プリンタのリストが表示されます。
7. お使いのプリンタがリストに表示されていたら、プリンタ名の横にある [使用] チェック ボックスをオンにします。
プリンタがリストに表示されていない場合は、[追加] ボタンをクリックし、プリンタを共有するネットワークを開いてプリンタを選択します。
8. [HP Designjet 4000ps] フォルダにあるデスクトップ プリンタ ユーティリティを起動します。
9. ドライバには [AdobePS]、接続には [USB] を選択します。
10. [USBプリンタ選択] セクションで [変更] をクリックして、プリンタを選択します。
11. [自動セットアップ] ボタンをクリックすると、プリンタは自動的にセットアップされます。 [変更] ボタンをクリックすると、PostScriptプリンタ記述 (PPD) ファイルを選択できます。
12. 正しいPPDファイルを選択したら、[作成] ボタンをクリックしてデスクトップ プリンタを保存します。

プリンタ ドライバをアンインストールするには (Windows)

1. CD ドライブに、[HP Designjet 4000 シリーズ プリンタ ソフトウェア セットアップ (HP Designjet 4000 Series Printer Software Setup) Windows 版] CDを挿入します。 CDが自動的に起動しない場合は、CDのルート (一番上の) フォルダ内のSETUP.EXEを実行します。
2. 画面の指示に従って、プリンタ ドライバをアンインストールします。

プリンタ ドライバをアンインストールするには (Mac OS 9)

1. CD ドライブに、[ソフトウェア セットアップ (Software Setup)] CDを挿入します。

2. FinderでCDを表示します。
3. [OS 9 HP DJ 4000ps Install] をダブルクリックして、インストーラを起動します。
4. 画面の指示に従って、インストール用のダイアログ ボックスを表示します。以下の2つのオプションが表示されます。
 - [簡易インストール]
 - [アンインストール]

[アンインストール] を選択します。
5. プリンタ ドライバがアンインストールされ、ステータスバーが表示されます。アンインストールが完了したら、インストーラを終了します。

プリンタ ソフトウェアを設定する
には

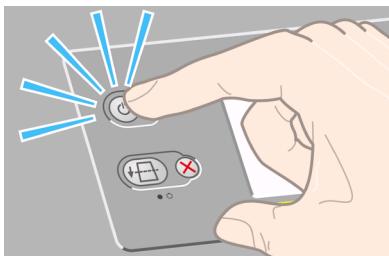
プリントソフトウェアを設定する
には

4 プリンタを操作するには

- 75 ページの [プリンタの電源のオン/オフを切り替えるには]
- 76 ページの [プリンタを再起動するには]
- 77 ページの [フロントパネルの言語を変更するには]
- 77 ページの [内蔵Webサーバにアクセスするには]
- 79 ページの [内蔵Webサーバの言語を変更するには]
- 79 ページの [内蔵Webサーバをパスワードで保護するには]
- 80 ページの [特定のエラーが発生した際に電子メールで通知されるようにするには]
- 80 ページの [スリープ モード設定を変更するには]
- 80 ページの [ブザーをオフにするには]
- 80 ページの [フロントパネルのコントラストを変更するには]
- 81 ページの [測定単位を変更するには]
- 81 ページの [標高を調整するには]

プリンタの電源のオン/オフを切り替えるには

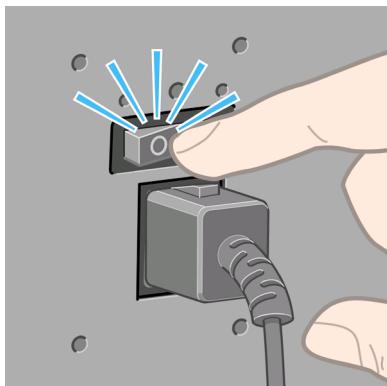
プリンタの電源のオン/オフを切り替えるには、通常はフロントパネルの **電源** ボタンを使用することをお勧めします。



電源ボタンを使用してプリンタの電源をオフにすると、プリントヘッドが自動的にプリントヘッドクリーナと接する形で格納され、プリントヘッドの乾燥を防止します。

長期間（丸一日以上）プリンタを使用しない場合は、**電源** ボタンで電源をオフにした後、背面の電源スイッチも切ることをお勧めします。

プリンタを操作するには



電源を入れ直すには、背面の電源スイッチをオンにしてから、**電源ボタン**を押します。

一定時間(デフォルトでは30分)使用しない場合、プリンタはスリープモードに移行して電力を節約します。ただし、少しでも何らかの操作を行うと直ちにアクティブモードに戻り、印刷を再開できます。

プリンタを再起動するには

状況によって、プリンタの再起動を勧めるメッセージが表示される場合があります。その場合は、以下の手順に従います。

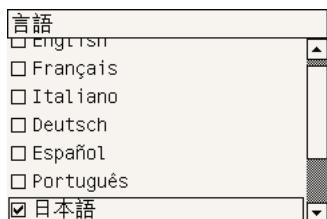
1. フロントパネルの**電源ボタン**を押してプリンタの電源を切り、しばらく待ちます。次に**電源ボタン**をもう一度押します。これでプリンタが再起動されます。再起動されない場合は、手順2に進んでください。
2. フロントパネルの**リセットボタン**を使用します。先の細い道具を使用して、**リセットボタン**を押すことで実行できます。通常、これは手順1と同じ結果になりますが、手順1が機能しない場合にこの操作を行います。
3. 手順1と手順2のいずれを試しても再起動できない場合は、プリンタの背面にある電源スイッチをオフにします。
4. 電源コードを電源ソケットから取り外します。
5. 10秒間ほど待ちます。
6. 電源コードを電源ソケットに差し込み、電源スイッチを押してプリンタの電源を入れます。
7. フロントパネルの電源ランプが点灯しているかどうかを確認してください。点灯しない場合は、**電源ボタン**を押してプリンタの電源を入れます。

フロントパネルの言語を変更するには

フロントパネルのメニューおよびメッセージの言語を変更するには、まずプリンタの電源をオフにします。

1. フロントパネルで、**選択(チェックマーク)** ボタンを押します。
2. **選択(チェックマーク)** ボタンを押したままの状態で、**電源** ボタンを押します。
3. フロントパネルの左側にある緑色のランプが点滅し始めるまで、両方のボタンを押したままにします。これには約1秒かかります。緑色のランプがすぐに点滅し始めた場合は、やり直す必要があります。
4. **選択(チェックマーク)** ボタンと **電源** ボタンを放します。

フロントパネルに言語選択メニューが表示されます。



内蔵Webサーバにアクセスするには

内蔵Webサーバを使用すると、コンピュータで一般的に使用されるWebブラウザから、プリンタおよび印刷ジョブをリモート管理することができます。

 **注記** 内蔵Webサーバを使用するためには、プリンタの接続方法がTCP/IPを使用したものである必要があります。プリンタの接続方法がAppleTalkまたはNovellを使用したものである場合、またはUSB接続の場合は、内蔵Webサーバは使用できません。

内蔵Webサーバは、以下のブラウザでアクセスできます。

- Internet Explorer 5.5以降 (Windows)
- Internet Explorer 5.2.1以降 (Mac OS 9)
- Internet Explorer 5.1以降 (Mac OS X)
- Netscape Navigator 6.01以降
- Mozilla 1.5以降
- Safari

プリンタを操作するには

内蔵Webサーバにアクセスするには、以下のいずれかの方法を使用します。

- コンピュータ上でWebブラウザを開き、プリンタのアドレスを入力します。プリンタのアドレス(**http:**から始まる)を確認するには、フロントパネルで  アイコンをハイライトさせます。
- プリンタ ドライバの [サービス] タブ(Windows)または[サービス] パネル(Mac OS)から、[プリンタのステータス]、[使用できるメディアの確認]、または[プリンタのキュー管理]を選択します。
- プリンタ ソフトウェアがインストールされているWindows環境のコンピュータのデスクトップで、[HP プリンタ アクセス ツール] アイコンをダブルクリックして、使用的するプリンタを選択します。

この手順に従っても内蔵Webサーバにアクセスできない場合は、「229ページの [ブラウザから内蔵Webサーバにアクセスできない]」を参照してください。

Mac OS X 10.3でのIP over FireWireの使用

Mac OS X 10.3環境にあり、プリンタにFireWireが接続されている場合は、プリンタのIPアドレスを設定して内蔵Webサーバを使用することができます。設定するには、以下の手順に従います。

- [システム環境設定]を開き、[ネットワーク]をクリックします。
- [表示]ポップアップメニューから[ネットワークポート設定]を選択します。
- [新規]をクリックし、[ポート]ポップアップメニューから[内蔵FireWire]を選択します。新しいポート設定には、FireWireなどのように名前を付けることができます。
- 新しいポート設定を[ポート設定]リストの先頭にドラッグします。この操作を行うことで、ポートにIPアドレスが確実に割り当てられます。
- [今すぐ適用]をクリックします

FireWireポート設定を[ポート設定]リストの先頭にドラッグしなかった場合は、[IPv4を設定]ポップアップメニューから[手入力](または[DHCPを使ってアドレスを手入力])を選択し、IPアドレスを入力します。IP over FireWireを有効にする方法の詳細または最新情報については、<http://www.apple.com/jp/> を参照してください。

FireWireを使用してプリンタが接続されている場合は、FireWireモジュールを使用してプリンタを追加することをお勧めします。FireWire印刷を十分に活用でき、IP over FireWireのみを使用してプリンタの内蔵Webサーバにアクセスできるようになります。

FireWire経由で接続されたプリンタがファストイーサネットまたはギガビットイーサネット経由でもネットワークに接続されている場合は、プリンタのIP over FireWireを使用することも、[プリンタ]ダイアログボックスから内蔵

Webサーバにアクセスすることもできません。ただし、FireWireを使用して印刷を行うことはできます。

また、プリンタをFireWireで共有している場合も、リモートユーザは、[プリンタ] ダイアログ ボックスから内蔵Webサーバにアクセスすることはできませんが、印刷を行うことはできます。

内蔵Webサーバの言語を変更するには

内蔵Webサーバは、日本語、英語、ポルトガル語、スペイン語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語に対応しています。Webブラウザのオプションで指定された言語がここでは選択されます。内蔵Webサーバが対応していない言語が指定されている場合は、英語が使用されます。

言語を変更するには、Webブラウザの [言語の優先順位] 設定を変更してください。たとえば、Internet Explorerのバージョン6を使用している場合は、[ツール] メニューに移動し、[インターネットオプション] を選択して、次に [言語] を選択します。[言語の優先順位] ダイアログ ボックスで、使用する言語がリストの最上部に表示されていることを確認します。

内蔵Webサーバをパスワードで保護するには

1. 内蔵Webサーバで、[設定] タブにある [セキュリティ] ページに移動します。
2. 使用するパスワードを [新しいパスワード] フィールドに入力します。
3. 確認のため、[パスワードの確認] フィールドにもう一度入力します。
4. [パスワードの設定] をクリックします。

これで、パスワードを入力しない限り、内蔵Webサーバで以下の操作を実行できなくなります。

- キュー内の印刷ジョブの管理(キャンセル、削除)
- 印刷ジョブのプレビュー表示
- 保存ジョブの削除
- アカウンティング情報のクリア
- プリンタのファームウェアのアップデート

 **注記** パスワードを忘ってしまった場合は、「229ページの[ブラウザから内蔵Webサーバにアクセスできない]」を参照してください。

プリンタを操作するには

特定のエラーが発生した際に電子メールで通知されるようにするには

1. 内蔵Webサーバで、[設定] タブにある [メール サーバ] ページに移動し、以下のフィールドが正しく入力されていることを確認します。
 - **[SMTP サーバ]**：プリンタから送信されるすべての電子メール メッセージを処理する送信メール サーバ (SMTP) のIPアドレスです。メール サーバに認証が必要な場合は、電子メール通知は機能しません。
 - **[プリンタのメール アドレス]**：プリンタから送信される各電子メール メッセージには、返信用アドレスを含める必要があり、このアドレスは実際には機能しなくとも、固有のアドレスである必要があります。メッセージの受信者が送信元のプリンタを識別できるようにするためです。
2. [設定] タブにある [通知] ページに移動します。
3. **[新規]** をクリックして新しい通知を要求するか、**[編集]** をクリックして既存の通知を編集します。通知が送信される先の電子メール アドレスを入力し、発生した場合に通知メッセージを送信する項目を選択します。一般的に最もよく指定される項目が最初に表示されます。すべてを表示するには、**[すべてのアラートを表示]** ボタンをクリックします。

スリープ モード設定を変更するには

プリンタの電源をオンにしたまま一定時間使用しない場合、プリンタは電力節約のため自動的にスリープ モードへ移行します。プリンタがスリープ モードへ移行するまでの待機時間を変更するには、フロントパネルで  アイコンを選択し、次に [設定メニュー] - [スリープ モード待ち時間] を選択します。

ブザーをオフにするには

プリンタのブザーのオン/オフを切り替えるには、フロントパネルで  アイコンを選択し、次に [設定メニュー] - [ブザー] を選択します。

フロントパネルのコントラストを変更するには

フロントパネルの表示のコントラストを変更するには、 アイコンを選択し、次に [設定メニュー] - [コントラスト] の順に選択して、上矢印 または 下

矢印 ボタンで値を選択します。選択したら、**選択(チェックマーク)** ボタンを押して、その値を設定します。

測定単位を変更するには

フロントパネルに表示される測定単位を変更するには、 アイコンを選択し、次に [設定メニュー] - [単位の選択] を選択して、[インチ] または [メートル] を選択します。

標高を調整するには

およその値でも標高を設定しておくと、プリンタの動作が向上します。標高を設定するには、フロントパネルで  アイコンを選択し、次に [設定メニュー] - [標高] を選択して、範囲を選択します。

プリンタを操作するには

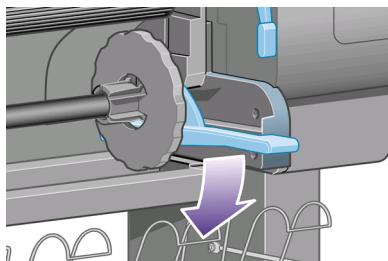
プリンタを操作するには

5 用紙を取り付けるには

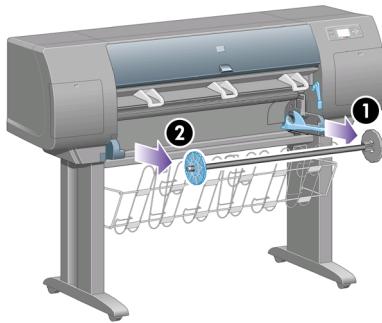
- 83 ページの [ロール紙をスピンドルに取り付けるには]
- 86 ページの [ロール紙をプリンタに取り付けるには]
- 91 ページの [ロール紙をプリンタから取り外すには]
- 92 ページの [カット紙を取り付けるには]
- 96 ページの [カット紙を取り外すには]
- 96 ページの [サポートされている用紙の種類を選択するには]
- 98 ページの [用紙に関する情報を表示するには]
- 99 ページの [メディア プロファイルをダウンロードするには]
- 99 ページの [HP純正用紙以外の用紙を使用するには]
- 100 ページの [乾燥時間をキャンセルするには]
- 100 ページの [乾燥時間を変更するには]

ロール紙をスピンドルに取り付けるには

1. プリンタのキャスターがロックされ (ブレーキ レバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。
2. スピンドル レバーを下げます。



3. まずスピンドルの右端 (1) をプリンタから取り外し、次に右に移動させてスピンドルの左端 (2) を取り外します。このとき、右端を先に引き出します。

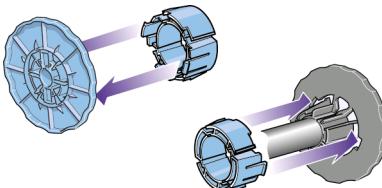


スピンドルの両端には、ロール紙を正しい位置に固定するストップが付いています。左端の青いストップは、新しいロール紙を取り付けるため取り外すことができます。また、どのような幅のロール紙でも固定できるように、スピンドルに沿ってスライドさせることができます。

4. スピンドルの左端から青いストップ(1)を取り外します。

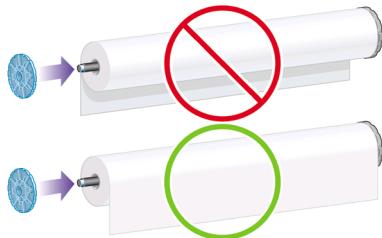


5. 厚紙製3インチ芯のロール紙を使用する場合は、プリンタに同梱されている芯アダプタを取り付けます。下の図を参照してください。

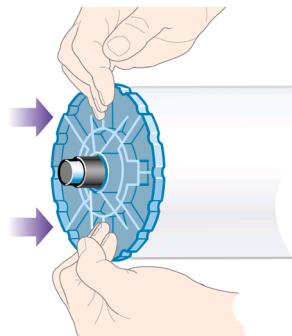


6. ロール紙は非常に長いため、スピンドルは台に水平に置き、その台上で取り付けるようしてください。この作業には、2人必要になる場合があります。
7. 新しいロール紙をスピンドルに取り付けます。用紙の向きは、図のようになるように注意してください。向きを間違えた場合は、ロール紙を外して180度回転し、再度取り付け直します。

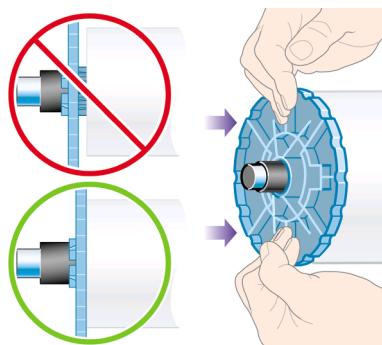
 注記 スピンドルのラベルにも、正しい向きが表示されています。



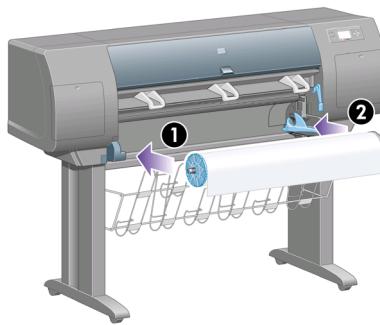
8. スピンドルの左端に青いストッパーを取り付け、ロール紙の端に向けて押し込みます。



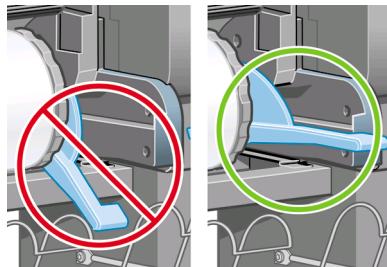
9. ロール紙の端に突き当たるまで押し込みます。無理やり押し込まないようにしてください。



10. 青いストッパーを左側にして、図の矢印(1)と(2)が示すように、スピンドルの左側をまずプリンタに差し込み、次に右側を差し込みます。



11. スピンドルの右端が所定の位置にあるかどうかは、スピンドル レバーの位置が上(水平)になっているかどうかで確認できます。必要に応じて、レバーを動かしてください。

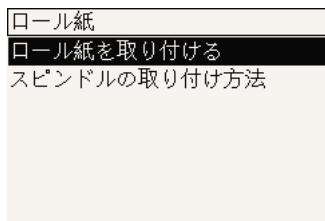


さまざまな種類の用紙を日常的に使用する場合は、異なる種類の用紙をあらかじめ取り付けたスピンドルを複数準備しておくと、ロール紙の交換をすばやく行うことができます。追加のスピンドルは別途購入できます。

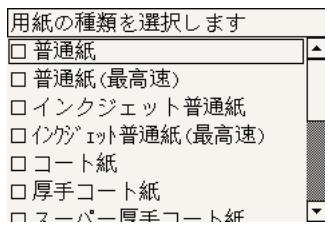
ロール紙をプリンタに取り付けるには

 **注記** この手順を始める前に、ロール紙をスピンドルに取り付けておく必要があります。詳細は、「83ページの[ロール紙をスピンドルに取り付けるには]」を参照してください。

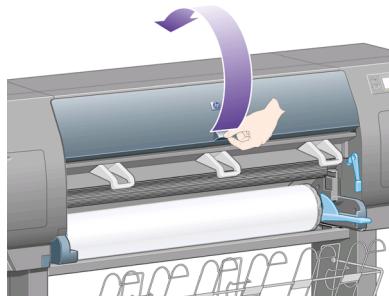
1. プリンタのフロントパネルで、アイコンを選択し、次に [ロール紙] - [ロール紙を取り付ける] を選択します。



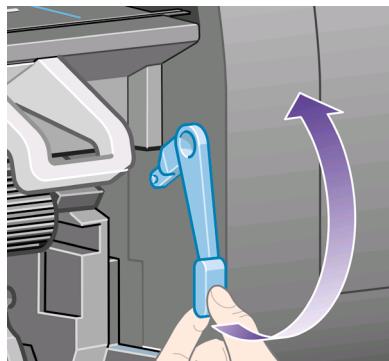
2. フロントパネルに、用紙の種類のリストが表示されます。



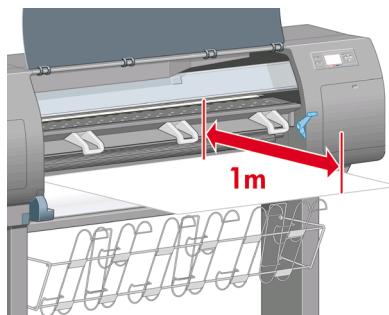
3. 使用する用紙の種類を選択します。どれを選択すべきか分からぬ場合は、「96 ページの [サポートされている用紙の種類を選択するには]」を参照してください。
4. しばらくすると、フロントパネルにウィンドウを開くように要求するメッセージが表示されます。



5. 用紙取り付けレバーを持ち上げます。



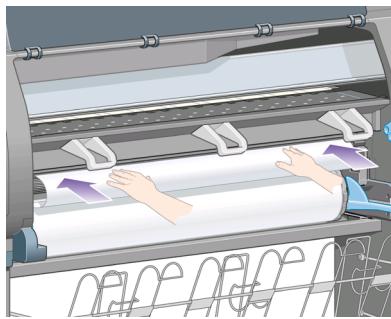
6. 用紙を1m(3フィート)ほど引き出します。



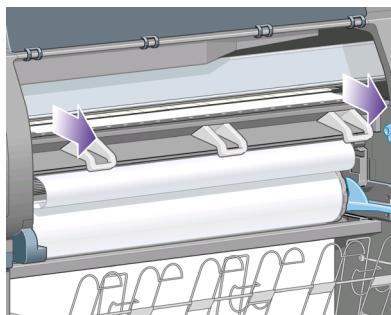
7. ロール紙の先端を、黒いローラーの上に慎重に挿入します。

! **警告 1** 用紙を取り付ける作業中、プラテンのゴムのホイールに触れないようしてください。ホイールが回転して皮膚や髪、衣服を巻き込むおそれがあります。

警告 2 プリンタの用紙経路に指を入れないように注意してください。指が入る十分なスペースがないため、怪我をするおそれがあります。

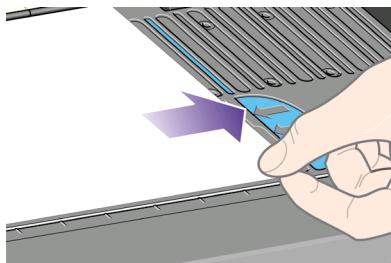


- そのまましばらくすると、用紙が下の図のようにプリンタから出てきます。

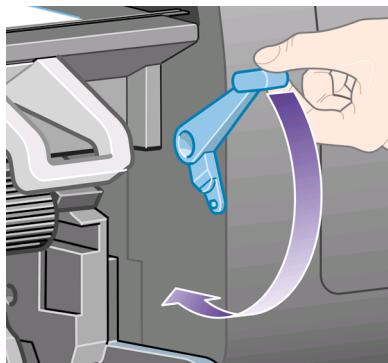


 **注記** 用紙の取り付け作業中に予期しない問題が発生した場合は、「215 ページの [用紙が正しく取り付けられない]」を参照してください。

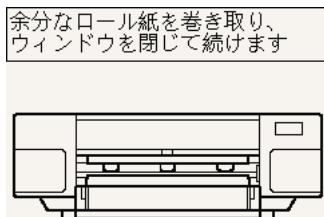
- 用紙の右端を、プラテンの右側にある青い線と半円マークの左端の位置に合わせます。



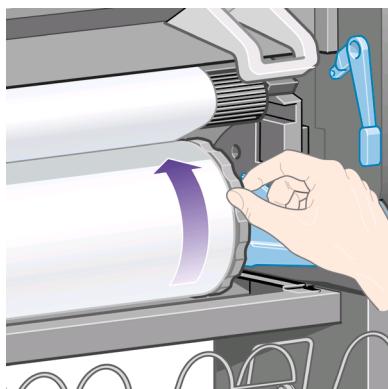
- 用紙を青い線と半円の位置に正しく合わせたら、用紙取り付けレバーを下げます。



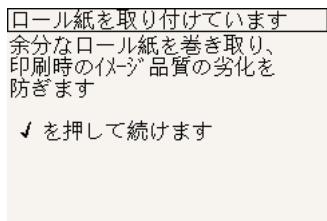
11. フロントパネルに、用紙のたるんだ部分をロール紙に巻き直すよう要求するメッセージが表示されます。



12. 用紙のたるんだ部分をロール紙に巻き直します。それには、ストッパを使用してロール紙を図の方向に回転させます。



13. ウィンドウを閉じます。
14. フロントパネルに、用紙のたるんだ部分をロール紙に巻き直すよう要求するメッセージが再度表示されます。

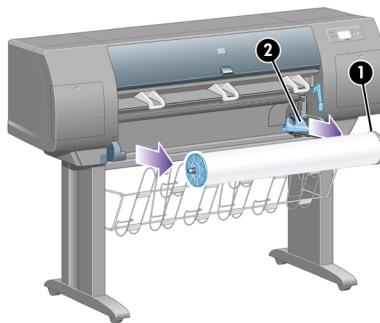


15. 使用する用紙の種類でまだキャリブレーションが行われていない場合、カラー キャリブレーション機能がオンになっていると、ここでカラー キャリブレーションが実行されます。詳細は、「139 ページの [カラー キャリブレーションを実行するには]」を参照してください。
16. フロントパネルに、[印刷可能です]というメッセージが表示され、プリンタが印刷できる状態になります。

ロール紙をプリンタから取り外すには

ロール紙の残りが30cm以上ある場合は、以下の手順に従います。

1. プリンタのフロントパネルで、□アイコンを選択し、次に [用紙を取り外す] を選択します。
2. 通常は、これでプリンタから用紙が排出されます。
用紙が自動的に排出されない場合は、フロントパネルに表示されるメッセージに従い、用紙取り付けレバーを持ち上げ、ストップ(1)を手で回してプリンタの内部から用紙を完全に取り外します。用紙を取り外したら、用紙取り付けレバーを下げます。
3. ストップ(1)を手で回して、用紙をロールに完全に巻きつけます。
4. 選択(チェックマーク)ボタンを押します。
5. スピンドル レバー(2)を押し下げ、プリンタからロール紙を取り外します。このとき、右端を先に引き出します。



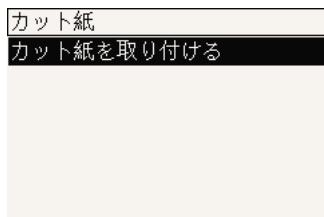
ロール紙の残りが30cm以下の場合は、以下の手順に従います。

1. フロントパネルで [用紙を取り外す] を選択した場合は、**キャンセル** ボタンを押して、操作をキャンセルします。
2. 用紙取り付けレバーが下向きになっていることを確認して、**排紙/カット** ボタンを2回（または用紙が排出されるまで）押します。
3. 用紙取り付けレバーを上げて、用紙を手動で引き出します。
4. スピンドル レバー(2)を押し下げ、プリンタからスピンドルを取り外します。このとき、右端を先に引き出します。

カット紙を取り付けるには

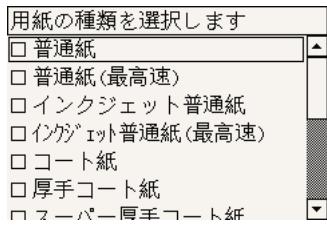
カット紙を取り付けるには、その前にロール紙を取り外す必要があります。詳細は、「91ページの [ロール紙をプリンタから取り外すには]」を参照してください。

1. プリンタのフロントパネルで、**[]** アイコンを選択し、次に **[カット紙] - [カット紙を取り付ける]** を選択します。

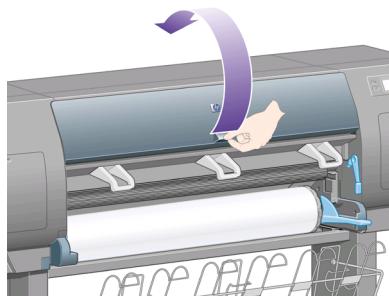


注記 このオプションを選択する場合も、**選択(チェックマーク)** ボタンを押す必要があります。

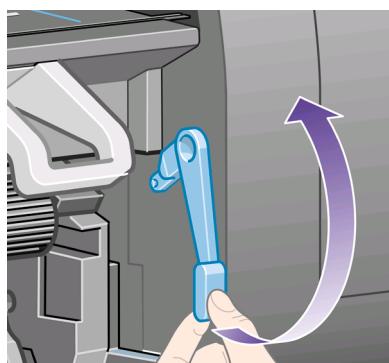
2. フロントパネルに、用紙の種類のリストが表示されます。



3. 使用する用紙の種類を選択します。どれを選択すべきか分からぬ場合は、「96 ページの [サポートされている用紙の種類を選択するには]」を参照してください。
4. しばらくすると、フロントパネルにウィンドウを開くように要求するメッセージが表示されます。



5. 用紙取り付けレバーを持ち上げます。



6. 下の図のように、カット紙をプリンタに挿入します。



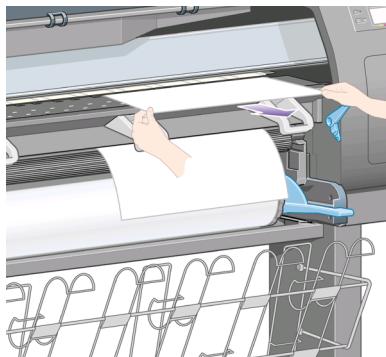
7. 下の図のように、用紙の先端がプリンタから出てくるまで挿入します。

! **警告 1** 用紙を取り付ける作業中、プラテンのゴムのホイールに触れないようしてください。ホイールが回転して皮膚や髪、衣服を巻き込むおそれがあります。

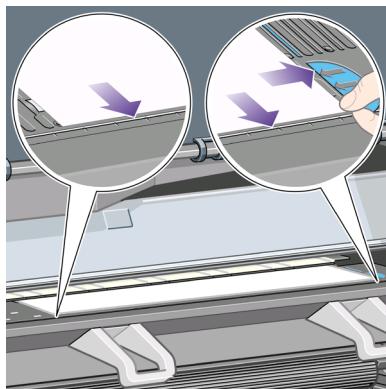
警告 2 プリンタの用紙経路に指を入れないように注意してください。指が入る十分なスペースがないため、怪我をするおそれがあります。



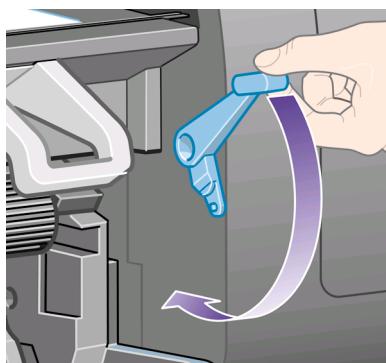
8. 上の位置からカット紙を引き出します。



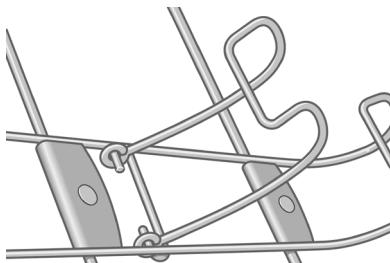
9. 用紙の先端を、プラテンの棒状の金属突起に合わせます。
用紙の右端は、下の図のようにプラテン上の半円マークの左端の位置に合わせます。



10. ウィンドウを閉じます。
11. 用紙取り付けレバーを下げます。



12. 用紙が正しく取り付けられた場合は、フロントパネルに[印刷可能です]というメッセージが表示され、プリンタが印刷できる状態になります。用紙の取り付け位置や合わせ方に問題がある場合は、フロントパネルに表示される指示に従います。
13. 長さが900mm未満の用紙(最大A1サイズ)に印刷する場合は、用紙スタッカの3つの可動式ストップを起こします。



 **注記 1** カット紙に印刷する場合は、印刷品質を**[標準]**または**[高品質]**に選択することをお勧めします。詳細については、「129 ページの [印刷品質を変更するには]」を参照してください。

注記 2 用紙の取り付け作業中に予期しない問題が発生した場合は、「215 ページの [用紙が正しく取り付けられない]」を参照してください。

カット紙を取り外すには

プリンタのフロントパネルで、アイコンを選択し、次に**[用紙を取り外す]**を選択します。

インクを乾かすため、カット紙はプリンタにしばらく保持されます(詳細については、「248 ページの [乾燥時間について]」を参照してください)。

サポートされている用紙の種類を選択するには

次の表に、このプリンタで使用できるHPの用紙の種類と、用紙を取り付けるときにフロントパネルで選択する表示名を示します。推奨する用紙の種類は、十分に検査されており、このプリンタで使用した場合に最高品質の印刷を実現できることが確認されています。「他のサポートされている」用紙の種類は、このプリンタで使用できますが、最高品質の印刷は保証されません。用紙の製品番号、幅、重量については、「256 ページの [注文できる用紙について]」を参照してください。。

 **注記** 以下の表の内容は、将来変更される場合があります。最新情報については、<http://www.hp.com/go/designjet>を参照してください。

推奨する用紙の種類

製品名	フロントパネルでの表示名
HP インクジェット普通紙	インクジェット普通紙 インクジェット普通紙(最高速)
HP マットフィルム	マットフィルム
HP クリアフィルム	クリアフィルム
HP モノクロ&カラー トレーシングペーパー	トレーシングペーパー
HP 半透明ボンド紙	半透明ボンド紙
HP ベラム紙	ベラム紙
HP コート紙	コート紙
HP 厚手コート紙	厚手コート紙
HP 厚手コート紙 (long roll)	厚手コート紙
HP 光沢フォト用紙2	光沢フォト用紙2
HP 半光沢フォト用紙2	光沢フォト用紙2
HP Photo Paper RC Matte	光沢フォト用紙
HP Proofing Paper RC Satin	光沢フォト用紙
HP スタンダード光沢フォト用紙	光沢フォト用紙
HP スタンダード半光沢フォト用紙	光沢フォト用紙
HP スタンダード普通紙	普通紙 普通紙(最高速)

その他のサポートされている用紙の種類

製品名	フロントパネルでの表示名
HP Polyester Film Opaque White Glossy	光沢フォト用紙
HP スタンダードコート紙	インクジェット普通紙 インクジェット普通紙(最高速)
HP スタンダード厚手コート紙	厚手コート紙

その他のサポートされている用紙の種類(続き)

製品名	フロントパネルでの表示名
HPスタンダードスーパー厚手コート紙	スーパー厚手コート紙
HPバナーマテリアル(Tyvek)	スーパー厚手コート紙
HPビニール(粘着タイプ)	光沢フォト用紙
HP Backlit Film Reverse Print Matte	マットフィルム
HPキャンバス	キャンバス(140g)
HP Outdoor Billboard Paper Blue Back	スーパー厚手コート紙
HP Canvas Matte	キャンバス(140g)
HP Outdoor Paper	スーパー厚手コート紙
HP Canvas Paper 140 gsm	キャンバス(140g)
HP Canvas Paper 180 gsm	キャンバス(140g)
HP Fine Art Paper、Aquarella	スーパー厚手コート紙
HP Fine Art Paper、Cream	スーパー厚手コート紙
HP Fine Art Paper、Sahara	スーパー厚手コート紙
HP Indoor Paper Self-Adhesive	スーパー厚手コート紙

用紙に関する情報を表示するには

プリンタのフロントパネルで、□または□アイコンをハイライトさせます。

フロントパネルに、以下の情報が表示されます。

- 紙給方法(ロール紙またはカット紙)
- 用紙の製造者名
- 選択した用紙の種類
- 用紙の幅の全長(mm)(プリンタが測定できる場合)

用紙が取り付けられていない場合は、[用紙が取り付けられていません。選択(チェックマーク)ボタンを押して用紙メニューを入力してください]というメッセージが表示されます。

内蔵Webサーバの[サプライ品]ページにも、製造者名を除いて同じ情報が表示されます。

メディア プロファイルをダウンロードするには

サポートされている用紙の種類にはそれぞれ独自の特徴があります。最適な印刷品質を実現するため、使用する用紙の種類によってプリンタの印刷方法が変更されます。たとえば、多量のインクを必要とする用紙もあれば、乾燥に長い時間を要する用紙もあります。したがって、用紙の種類ごとに必要な設定の詳細をプリンタに伝える必要があります。この詳細を「メディア プロファイル」といいます。メディア プロファイルには、用紙の色の特徴を記述するICCプロファイルが含まれます。また、色とは直接関連がない用紙の特徴および要件も含まれます。このプリンタの既存のメディア プロファイルは、プリンタのソフトウェアにすでにインストールされています。

ただし、プリンタで使用可能なすべての用紙をリストにして表示するとスクロールに不便と考えられるため、このプリンタでは、一般的に最もよく使用される用紙の種類のメディア プロファイルのみが用意されています。メディア プロファイルのない種類の用紙を購入した場合、フロントパネルでその用紙の種類は選択できないはずです。該当するメディア プロファイルをダウンロードするには、<http://www.hp.com/support/designjet-downloads/>にアクセスし、プリンタ名を選択して、[icc プロファイル]を選択します。

必要なメディア プロファイルがWeb上にない場合、プリンタの最新のファームウェアに追加されている場合があります。ファームウェアのリリースノートを参照して、情報を確認してください。詳細は、「175 ページの [プリンタのファームウェアをアップデートするには]」を参照してください。

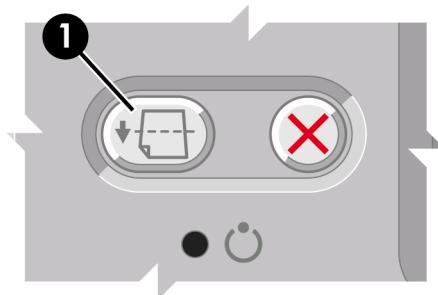
HP純正用紙以外の用紙を使用するには

HP純正用紙は、このプリンタでの使用について完全にテスト済みであるため、最高の印刷品質を期待いただけます。

しかし、他のメーカーの用紙にも印刷は可能です。その場合は、フロントパネルで、使用する用紙に最も近い種類のHP純正用紙を選択してください。結果が不確かである場合は、複数の異なるHP純正用紙の設定を試してみて、最も適した印刷品質になる設定を選択してください。どの用紙でも印刷結果に完全に満足できない場合は、「191 ページの [一般的なヒント]」を参照してください。

乾燥時間をキャンセルするには

フロントパネルの **排紙/カット** ボタン (1) を押します。

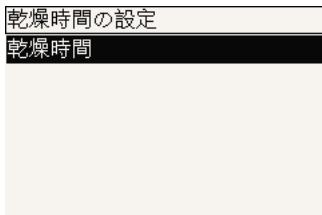


注意 乾燥時間が足りないと、印刷品質が低下することがあります。

乾燥時間を変更するには

印刷状況によっては、乾燥時間を変更する必要があります。

⚙️ アイコンを選択し、次に **[乾燥時間の設定]** - **[乾燥時間]** を選択します。 次に、[長い]、[最適]、[短い]、[なし] のいずれかを選択します。



詳細は、「248 ページの [乾燥時間について]」を参照してください。

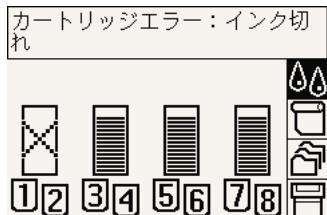
6 インク システムを取り扱うには

- 101 ページの [インクカートリッジを取り外すには]
- 105 ページの [インクカートリッジを取り付けるには]
- 107 ページの [プリントヘッドを取り外すには]
- 111 ページの [プリントヘッドを取り付けるには]
- 114 ページの [プリントヘッドのモニタ状況を管理するには]
- 114 ページの [プリントヘッドを修復(クリーニング)するには]
- 114 ページの [プリントヘッドの電極部分をクリーニングするには]
- 120 ページの [プリントヘッドの軸合わせを行うには]
- 121 ページの [プリントヘッドクリーナを取り外すには]
- 123 ページの [プリントヘッドクリーナを取り付けるには]
- 124 ページの [インク システムのステータスを確認するには]
- 125 ページの [インクカートリッジ情報を確認するには]
- 126 ページの [プリントヘッド情報を確認するには]
- 126 ページの [プリンタの使用状況に関する情報を確認するには]

インクカートリッジを取り外すには

インクカートリッジを取り外す場合として、2通りが考えられます。

- インクカートリッジの残量がかなり低いため、無人印刷を行うには充分な量のインクカートリッジと交換する必要がある場合(交換前のカートリッジに残っているインクは、都合の良いときに使い切ることができます)。
- インクカートリッジが空になったか、または、インクカートリッジに問題があり、交換しないと印刷を続けられない場合。



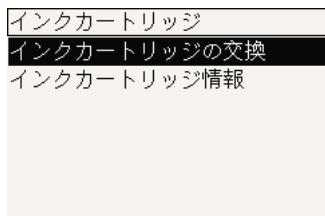
注意 1 印刷中はインクカートリッジを取り外さないでください。

注意 2 インクカートリッジを取り外す場合は、新しいインクカートリッジを用意してからにしてください。

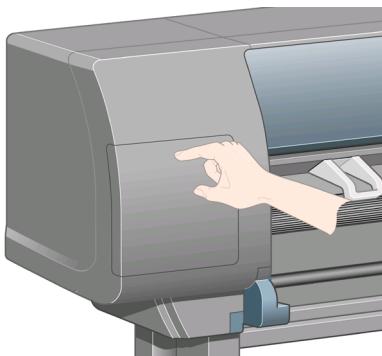
インク システムを取り扱うには

! **警告** プリンタのキャスタがロックされ(ブレーキレバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。

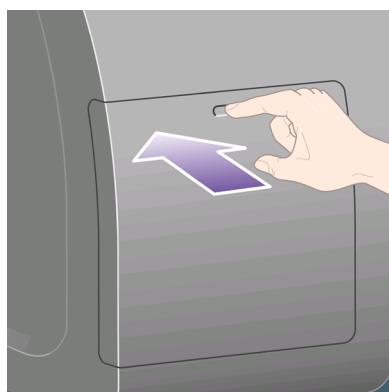
1. プリンタのフロントパネルで、アイコンを選択し、[インクカートリッジ] - [インクカートリッジの交換] を選択します。



2. インクカートリッジは、プリンタの左側に取り付けます。

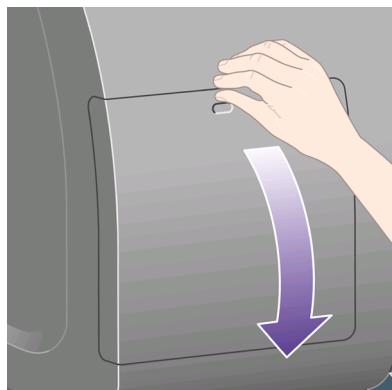


3. カチッと音がするまでドアの上部を押して、ドアを緩めます。



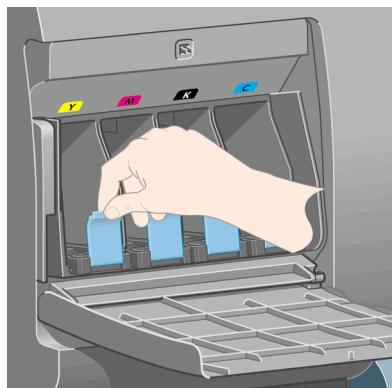
イントラシステムを取り扱うには

4. ドアを引いて完全に開きます。



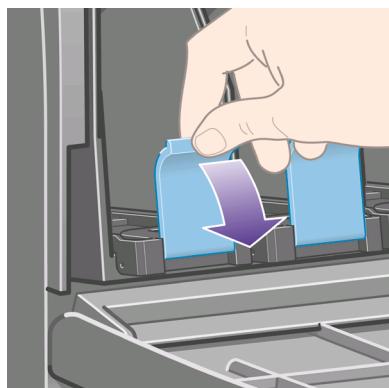
インクシステムを取り扱うには

5. 取り外すカートリッジの前面にある青いタブをつかみます。

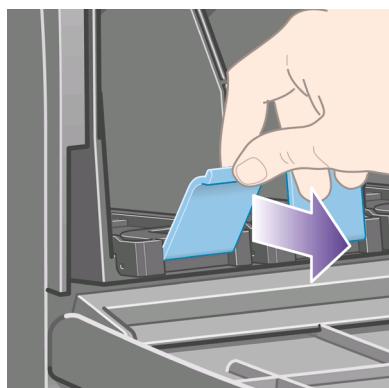


6. 青いタブを下げます。

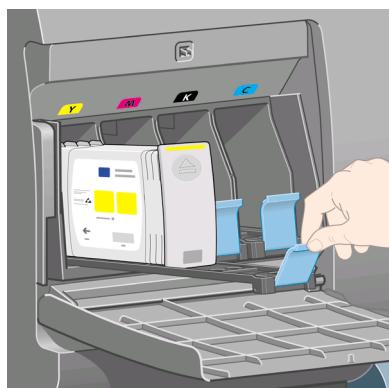
インクシステムを取り扱うには



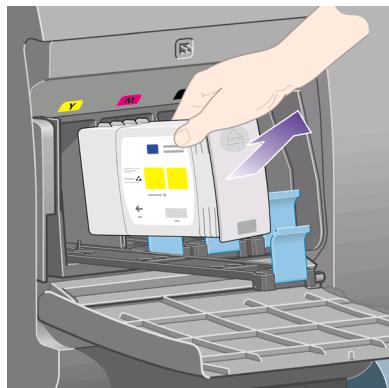
7. 次に、タブを手前に引きます。



8. カートリッジが引き出しに載って出でてきます。



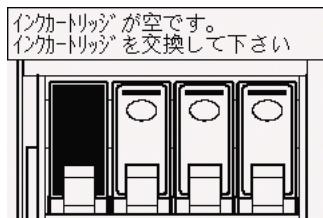
9. インクカートリッジを引き出しから取り出します。



注記 1 プリンタとの接続部分には触らないでください。接続部分にインクが付着していることがあります。

注記 2 一部使用済みのインクカートリッジを保管する場合は、接続部分を下にしないようにしてください。

10. フロントパネルに、取り付けられていないインクカートリッジがあることが表示されます。



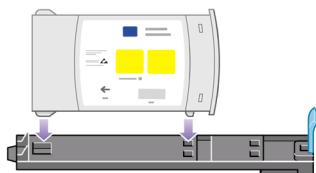
インクカートリッジを取り付けるには

1. 新しいインクカートリッジを用意し、ラベルを参照してインクの色を確認してください。色が記載されたラベルが手前から見て上部に見えるようにインクカートリッジを持ちます。
2. プリンタの空いたスロットの上部にあるラベルの色と、カートリッジのラベルの色が同じであることを確認します。
3. インクカートリッジを、カートリッジ用の引き出しに取り付けます。

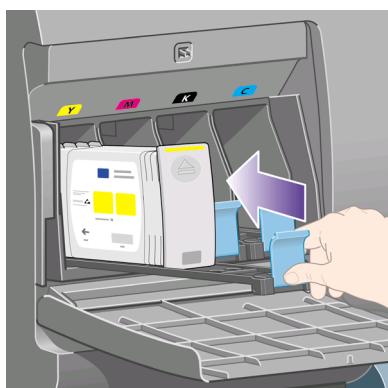
インクシステムを取り扱うには



カートリッジは、下の図のように引き出しの奥に置きます。



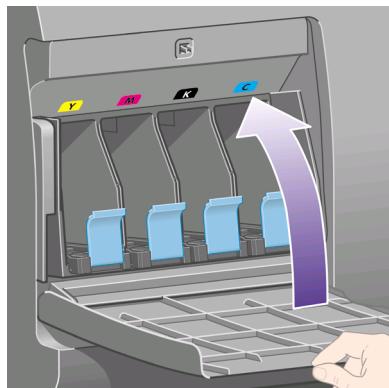
4. カートリッジを設置した引き出しをスロットの中にスライドさせ、所定の位置に固定されるまで押し込みます。



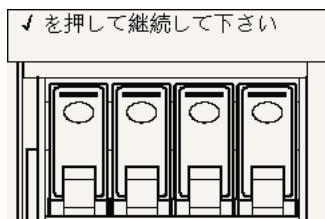
取り付けにくい場合は、「211 ページの [インクカートリッジを取り付けられない]」を参照してください。

5. すべてのカートリッジを取り付けたら、ドアを閉めます (カチッと音がするまで押します)。

インクシステムを取り扱うには



6. フロントパネルに、すべてのカートリッジが正しく取り付けられたことが示されます。

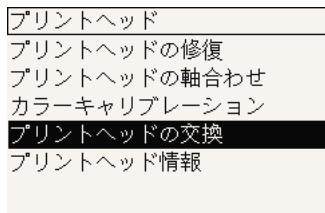


プリントヘッドを取り外すには

⚠ 警告 プリンタのキャスタがロックされ(ブレーキレバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。

プリントヘッドの交換は、プリンタの電源スイッチをオンにしたままで行ってください。

1. プリンタのフロントパネルで、アイコンを選択し、[プリントヘッド]-[プリントヘッドの交換]を選択します。



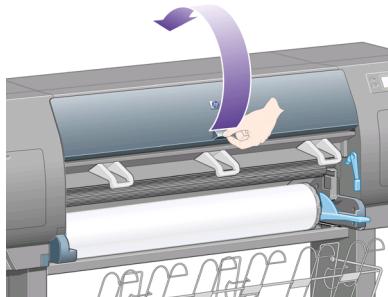
2. キャリッジが適切な位置に移動します。

インクシステムを取り扱うには

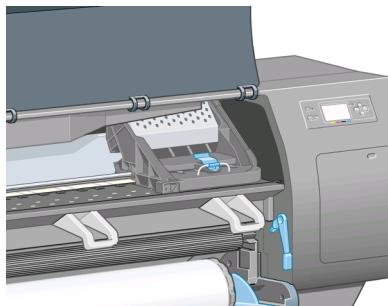


注意 キャリッジは、プリンタの中央部分に移動してから7分以上そのまま放置されると、右端の通常の位置に戻ります。

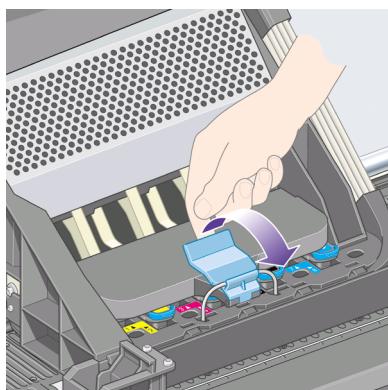
3. キャリッジが停止したら、ウィンドウを開くようフロントパネルにメッセージが表示されます。



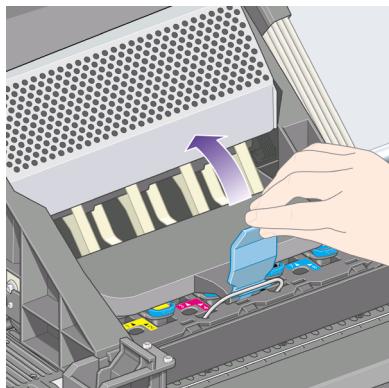
4. キャリッジを確認します。



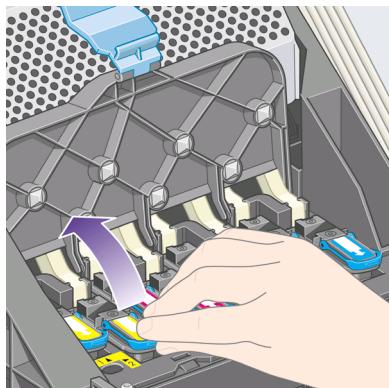
5. キャリッジ上部のラッチを引き上げて、ロックを解除します。



6. キャリッジのラッチを解除する カバーを持ち上げ、プリントヘッドを確認してください。



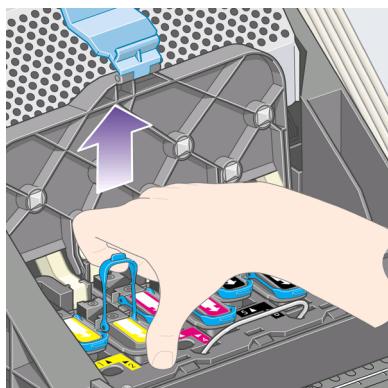
7. 取り外すプリントヘッドの青いハンドルを持ち上げます。



インクシステムを取り扱うには

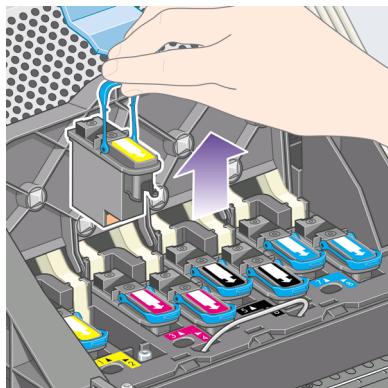
8. 持ち上げた青いハンドルを使って、プリントヘッドを静かに取り外します。

インクシステムを取り扱うには

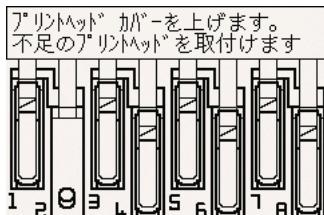


9. プリントヘッドがキャリッジから外れるまで、青いハンドルをゆっくりと引き上げます。

△ 注意 あわてて引き上げるとプリントヘッドが破損する可能性がありますので、ゆっくりと引き上げてください。

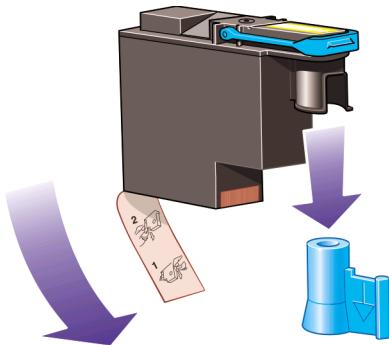


10. フロントパネルに、取り付けられていないプリントヘッドがあることが示されます。



プリントヘッドを取り付けるには

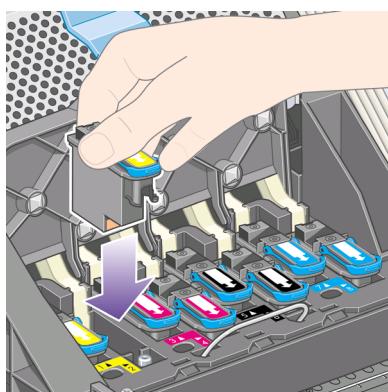
1. 新しいプリントヘッドを取り付ける場合は、以下の手順に従ってください。
 - a. 青い保護キャップを下に引っぱって取り外します。
 - b. 紙のタブを引っぱって、プリントヘッドのノズルから透明の保護テープを剥がします。



プリントヘッドは、間違った位置には取り付けられないよう設計されています。プリントヘッドのラベルの色と、プリントヘッドを取り付ける先のキャリッジのラベルの色が合っていることを確認してください。

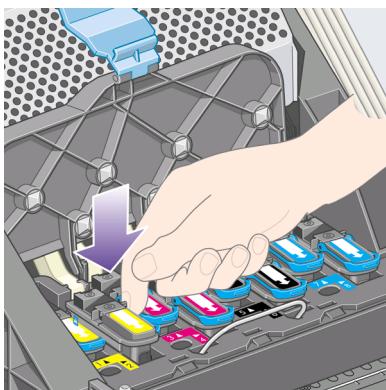
2. 新しいプリントヘッドを、キャリッジの該当する位置に取り付けます。

△ 注意 プリントヘッドは、ゆっくりと垂直に下ろして取り付けてください。急に下ろしたり、斜めに取り付けたり、取り付ける際に回したりすると、破損することがあります。



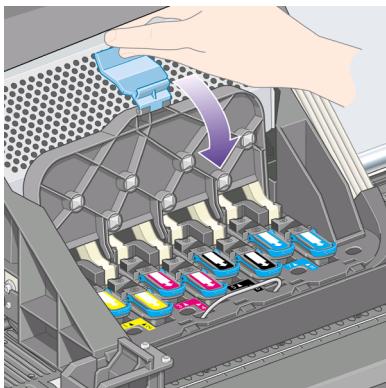
3. 図の矢印のとおりに、プリントヘッドを下に押し込みます。

インクシステムを取り扱うには



新しいプリントヘッドを取り付ける場合、いくらか抵抗感を感じことがあるので、しっかりと、ただしゆっくりと押し込んでください。取り付けにくい場合は、「211 ページの [プリントヘッドを取り付けられない]」を参照してください。

- 必要なプリントヘッドをすべて取り付けたら、キャリッジ カバーを閉じます。

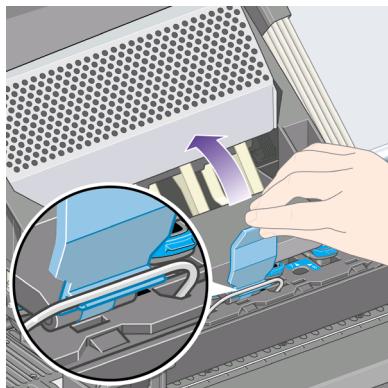


すべてのプリントヘッドが正しく取り付けられてプリンタがそのことを認識すると、プリンタのブザーが鳴ります。

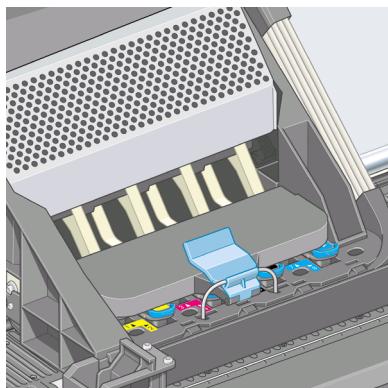
 **注記** プリントヘッドを取り付けてもブザーが鳴らず、フロントパネルに[プリントヘッドエラー：交換して下さい]というメッセージが表示された場合は、プリントヘッドを取り付け直してください。

- キャリッジ カバーのラッチを閉めます。

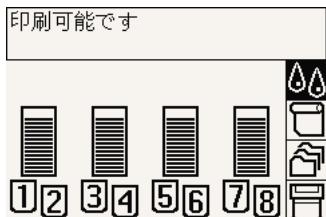
インク システムを取り扱うには



キャリッジのラッチが正しく固定されると、下の図のようになります。



6. ウィンドウを閉じます。
7. フロントパネルに、すべてのプリントヘッドが正しく取り付けられたことが示されます。



8. 交換したプリントヘッドのプリントヘッドクリーナを交換します。 詳細は、「121 ページの [プリントヘッドクリーナを取り外すには]」および「123 ページの [プリントヘッドクリーナを取り付けるには]」を参照してください。

 **注意** 古いプリントヘッドクリーナをプリンタに残したままの場合、新しいプリントヘッドの寿命が短くなり、プリンタが故障することがあります。

プリントヘッドのモニタ状況を管理するには

プリンタは、時々プリントヘッドの状態を自動的にチェックして、プリントヘッドの調子をモニタし、印刷品質に影響を与える可能性のある問題を検出します。このチェックの実行頻度を最適化することで、高いスループットを維持することができます。

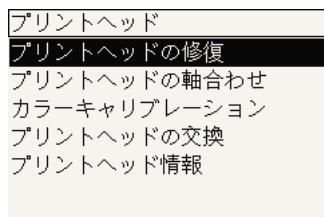
プリントヘッドのモニタの頻度を増やし、問題を早急に検出できるようにするには、アイコンを選択し、次に【設定メニュー】-[プリントヘッドのモニタ]-【強化】を選択します。プリンタが印刷中で、プリントヘッドのモニタが【強化】に設定されている場合、フロントパネルおよび内蔵Webサーバのステータスには、[印刷中。プリントヘッドのモニタリング中]と表示され、ただの[印刷中]という表示ではなくなります。

 **注記** 【強化】が選択されている間は、プリントヘッドのチェックが頻繁に行われるため、プリンタのスループットは低下します。

モニタの実行頻度をデフォルト設定に戻すには、アイコンを選択し、次に【設定メニュー】-[プリントヘッドのモニタ]-【最適化】を選択します。

プリントヘッドを修復(クリーニング)するには

プリントヘッドのクリーニングを行うと、問題を解決できる場合があります。クリーニングを行うには、プリンタのフロントパネルで、アイコンを選択し、次に【プリントヘッド】-[プリントヘッドの修復]を選択します。クリーニングには2~4分かかります。

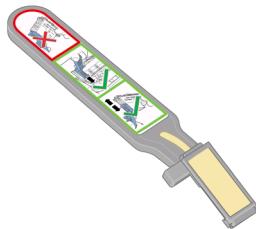


プリントヘッドの電極部分をクリーニングするには

ごくまれに、プリントヘッドを取り付けてもプリンタがプリントヘッドを認識しないことがあります。これは、プリントヘッドとプリントヘッドキャリッジが接触する電極部分に、インクがたまって付着していることが原因です。このような場合は、プリントヘッドの電極部分をクリーニングすること

をお勧めします。特に問題がなければ、電極部分を定期的にクリーニングする必要はありません。

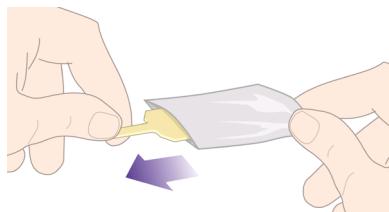
プリンタのメンテナンス キット ボックスには、キャリッジ接点ワイパーが入っています。



フロントパネルに、[取り付け]または[交換]メッセージが表示され続ける場合は、キャリッジ接点ワイパーを使用してプリントヘッド キャリッジとプリントヘッドの両方の電極部分をクリーニングします。

1. クリーニングは、フロントパネルでプリントヘッドの横に[再度取付けて下さい]または[交換して下さい]というメッセージがずっと表示される場合に行ってください。

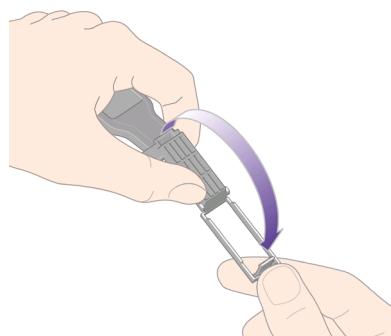
インクシステムを取り扱うには



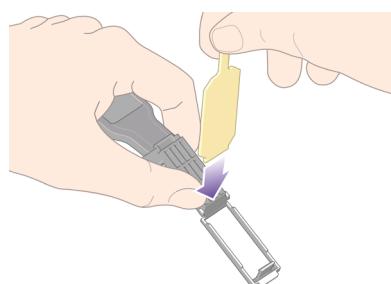
ワイパーのスポンジを袋から取り出します。スポンジの替えはワイパーと一緒にボックスに入っています。スポンジの替えをすべて使い切り、さらに必要な場合は、カスタマ サービスにお問い合わせください。

2. キャリッジ接点ワイパーを開きます。

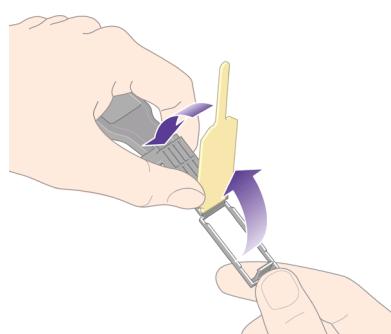
インク システムを取り扱うには



3. スポンジをキャリッジ接点ワイパーに取り付けます。スponジの短いほうの端をキャリッジ接点ワイパーの取り付け用スロットに入れます。



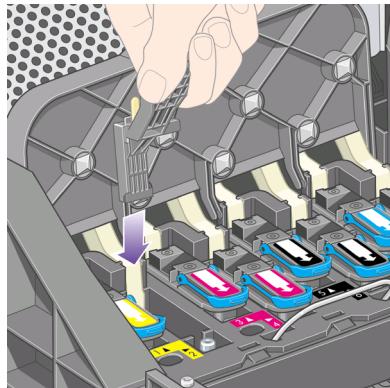
4. キャリッジ接点ワイパーを閉じて、スponジをはさみ込みます。



5. プリントヘッド キャリッジのラッチを開き、フロントパネルに表示されている問題のプリントヘッドを取り外します。 詳細は、「107 ページの [プリントヘッドを取り外すには]」を参照してください。
6. キャリッジ接点ワイパーをプリントヘッド スロットの奥に差し込みます。 スロットの奥の電極部分とスチール製のバネの間に、スponジが電

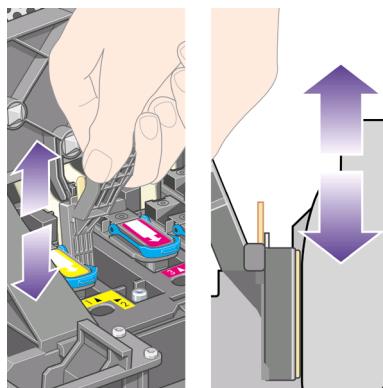
極の方を向くようにワイパーを入れ、電極を拭きます。このとき、スロットの底にたまつたインクをすくい上げないようにしてください。

△ 注意 キャリッジは、プリンタの中央部分に移動してから7分以上そのまま放置されると、右端の通常の位置に戻ります。



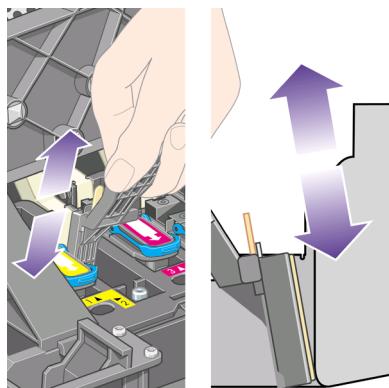
インクシステムを取り扱うには

7. スポンジを軽く動かし、フレックスコネクタの底まで(何もしなくてもワイパーが止まるところまで)、電極を拭きます。

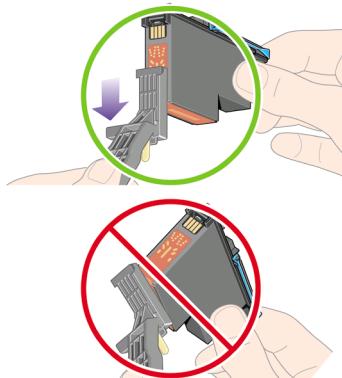


8. すべての電極を慎重にクリーニングします。コネクタの底の部分の電極も忘れずにクリーニングしてください。

インクシステムを取り扱うには



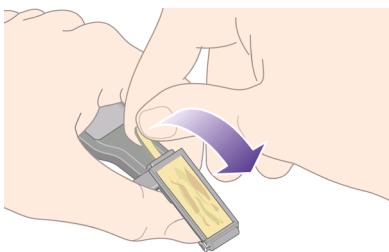
9. プリントヘッドが新しいものではない場合は、同じスポンジを使用して、プリントヘッドの下側にある電極ストリップをクリーニングします。上側の電極には触らないでください。



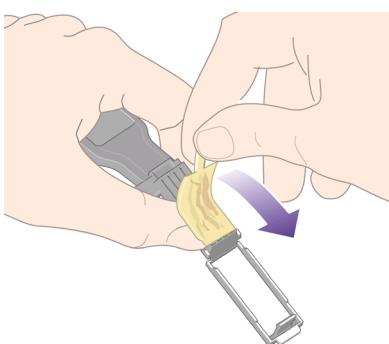
△ 注意 ノズルがある面には触らないでください。破損しやすくなっています。

10. 両方のコネクタが乾くまでしばらく待ちます。乾いたら、プリントヘッドをプリントヘッド キャリッジに取り付けます。詳細は、「111 ページの [プリントヘッドを取り付けるには]」を参照してください。
11. クリーニング作業が完了したら、スポンジのタブを引いてキャリッジ接点ワイパーを開きます。

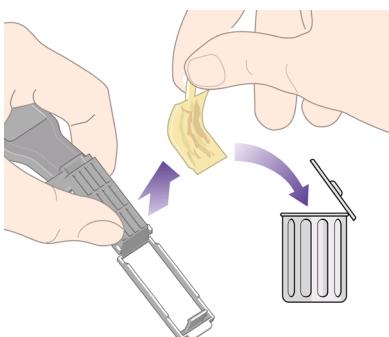
インクシステムを取り扱うには



12. キャリッジ接点ワイパーから汚れたスポンジを取り外します。



13. 手や服にインクが付かないように、汚れたスポンジは適切な場所に捨ててください。



フロントパネルに[再度取付けて下さい]または[交換して下さい]というメッセージがまだ表示される場合は、プリントヘッドを交換するか、カスタマサービスにお問い合わせください。

プリントヘッドの軸合わせを行うには

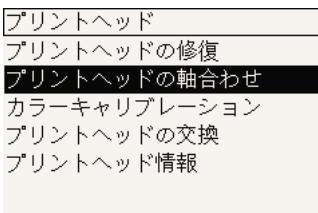
プリントヘッドを交換する毎に、通常はプリントヘッドの軸合わせが行われます。プリントヘッドを交換した際に用紙が取り付けられていない場合は、次に用紙を取り付けたときに軸合わせが行われます。



注記 この自動軸合わせはオフにすることができます。オフにするには、フロントパネルで アイコンを選択し、次に [設定メニュー] - [プリントヘッド自動軸合わせ - オフ] を選択します。

また、プリントヘッドの軸合わせは、イメージ診断印刷で軸合わせエラーが確認された場合にも行う必要があります。詳細は、「177 ページの [イメージ診断印刷を使用するには]」を参照してください。

1. 不透明のロール紙がプリンタに取り付けられていることを確認します。最高の結果を得るために、普段印刷に使用している用紙の種類を使用してください。カット紙ならびに、半透明ボンド紙、クリア フィルム、マットフィルム、トレーシングペーパ、ベラム紙などの透明紙は、プリントヘッドの軸合わせに適していません。
2. プリントヘッドの軸合わせが自動的に実行されない場合、手動で実行するには、フロントパネルで アイコンを選択し、次に [プリントヘッド] - [プリントヘッドの軸合わせ] を選択します。



3. ロール紙を初めて使用するかまたはそれに近い場合、プリントヘッドの軸合わせが開始される前に最大3m (≈10フィート) の用紙が排出される可能性があるというメッセージが、フロントパネルに表示されます。これは、正常に軸合わせを行うために必要な処理です。この場合、以下のいずれかを選択できます。
 - 必要なだけ用紙が排出されることを容認して、プリントヘッドの軸合わせを続行する
 - 先に数メートルの用紙を印刷に使用し、その後でプリントヘッドの軸合わせが行われるようにスケジュールする
 - プリントヘッドの軸合わせをキャンセルする
4. プリントヘッドの軸合わせの続行を選択すると、イメージを印刷中でない限りすぐにプリントヘッドの軸合わせが実行されます。印刷中の場合は、現在の印刷ジョブの終了後すぐに実行されます。

軸合わせの処理には、12 分ほどかかります。

プリントヘッドクリーナを取り外すには

プリントヘッドを交換すると、フロントパネルにプリントヘッドクリーナの交換を求めるメッセージが表示されます。

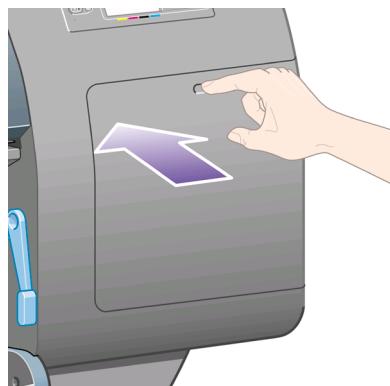
△ 注意 プリントヘッドを交換した場合、対応するプリントヘッドクリーナも必ず交換してください。古いクリーナをプリンタに残したままの場合、新しいプリントヘッドの寿命がきわめて短くなり、プリンタが故障することがあります。新しいプリントヘッドには、新しいプリントヘッドクリーナが同梱されています。

プリントヘッドクリーナを取り外す場合は、以下のことに注意してください。

- 手にインクが付かないように気を付けてください。取り外したプリントヘッドクリーナは、中にインクが残り、外側にもインクが付着していることがあります。
- 取り外したプリントヘッドクリーナを扱うか保管する際には、インクがこぼれないように、必ず上向きにするようにしてください。

▲ 警告 プリンタのキャスタがロックされ(ブレーキレバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。

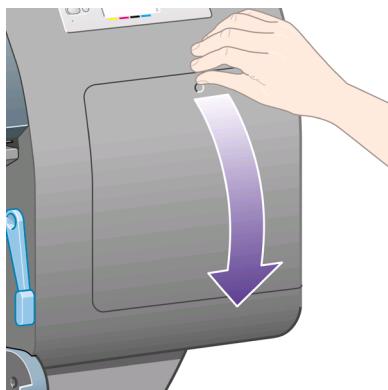
- プリントヘッドクリーナは、プリンタ前面のフロントパネルの下に位置するスロットにあります。右のドアの上部を押して、ドアを緩めます。



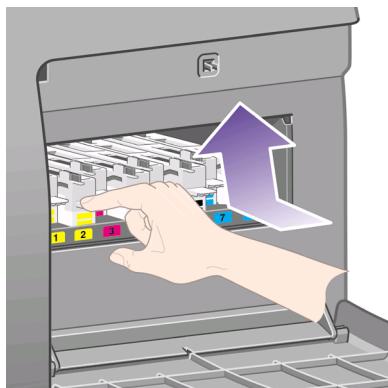
- ドアを開きます。

インクシステムを取り扱うには

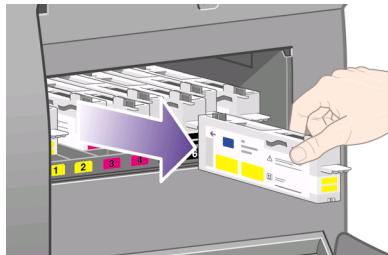
インクシステムを取り扱うには



- 各プリントヘッドクリーナには、前面にハンドルがあります。クリーナを取り外すには、下の図の矢印のように奥に押しながら上向きに押し上げます。そうするとクリーナが固定位置から外れます。



- プリントヘッドクリーナを持ち上げてスロットから取り外し、下の図のように水平に取り出します。



詳細は、「123 ページの [プリントヘッドクリーナを取り付けるには]」を参照してください。

プリントヘッドクリーナを取り付けるには

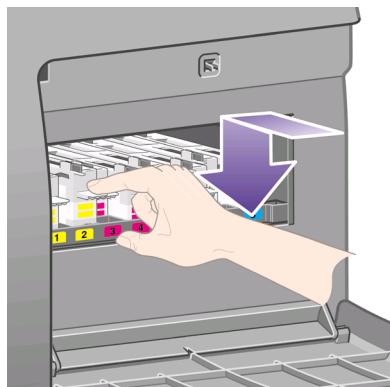
新しいプリントヘッドクリーナが入っていた袋は、古いプリントヘッドとプリントヘッドクリーナを捨てる際に使用できます。

- 各プリントヘッドクリーナを、下の図の矢印の方向どおりに、サービスステーション内の該当する色のスロットに挿入します。



インクシステムを取り扱うには

- プリントヘッドクリーナが奥まで入ったら、カチッと音がするまで、下の図の矢印のように奥に押しながら下向きに押し下げます。



取り付けにくい場合は、「211ページの[プリントヘッドクリーナを取り付けられない]」を参照してください。

 **注記** 右のドアを閉めるまで、フロントパネルに新しいプリントヘッドクリーナは表示されません。

- プリントヘッドクリーナをプリンタに取り付け終えたら、右のドアを閉めます。



 **注記** 印刷を続行するには、インクカートリッジ、プリントヘッド、プリントヘッドクリーナをすべて取り付ける必要があります。

- 用紙が取り付けられていない場合は、フロントパネルに用紙の取り付けを指示するメッセージが表示されます。

新しいプリントヘッドとクリーナを取り付けると、通常はプリントヘッドの軸合わせとカラー キャリブレーションが実行されます。最高の品質で印刷するため、両方とも実行することをお勧めします。場合によっては、もう少し印刷作業を続け、それまでプリントヘッドの軸合わせを延期することもあります。

 **注記** 品質を多少下げても時間を節約したい場合は、これらの処理が自動的に実行される機能をオフにします。オフにするには、フロントパネルで  アイコンを選択し、次に [設定メニュー] - [プリントヘッド自動軸合わせ] - [オフ] を選択し、さらに [設定メニュー] - [カラーキャリブレーション] - [オフ] を選択します。

フロントパネルに、プリントヘッドの軸合わせに適した用紙を取り付けるよう要求するメッセージが表示される場合があります。プリントヘッドの軸合わせを実行する場合、不透明のロール紙が必要です。カット紙または透明や半透明の用紙は使用できません。

フロントパネルに [印刷可能です] というメッセージが表示されたら、印刷を開始できます。

 **注記** サプライ品を交換したら、ウィンドウと右のドアを必ず閉めてください。開いていると印刷は開始されません。

インク システムのステータスを確認するには

- 内蔵Webサーバにアクセスします(詳細は、「77 ページの [内蔵Webサーバにアクセスするには]」を参照してください)。

2. [サプライ品] ページに移動します。

The screenshot shows the printer's internal web interface with the following details:

Supplies

Bar Chart:

Color	Level (ml)
Y	~350
M	~200
K	~380
C	~180

Table: Ink Cartridge Status

Cartridge	Status	Ink Level (ml)	Capacity	Warranty	HP Order Ref.
Yellow	OK	395	400	[OK]	HE № 30105096A
Magenta	OK	201	226	[OK]	HE № 30105092A
Black	OK	396	400	[OK]	HE № 30105098A
Cyan	OK	203	226	[OK]	HE № 30105090A

Table: Print Head Cleaning Status

Print Head	Status	Warranty	Cleaning Status
Yellow	OK	[OK]	OK
Magenta	OK	[OK]	OK
Black	OK	[OK]	OK

[サプライ品] ページには、インクカートリッジ(インク残量など)、プリントヘッド、プリントヘッドクリーナ、および取り付けられている用紙に関するステータスが表示されます。

インクシステムを取り扱うには

インクカートリッジ情報を確認するには

インクカートリッジの情報を確認するには、以下の手順に従います。

- フロントパネルで、 アイコンを選択します。
- [インクカートリッジ]-[インクカートリッジ情報]を選択し、情報を確認するカートリッジを選択します。
- フロントパネルに、以下の情報が表示されます。
 - 色
 - 製品名
 - シリアル番号
 - ステータス
 - インク残量(該当する場合)
 - 容量(ml)
 - 保証期限

内蔵Webサーバを使用すると、コンピュータから離れなくても上記の情報の大半を確認できます。

インクカートリッジのステータスメッセージの詳細については、「212 ページの[インクカートリッジのステータスメッセージが表示される]」を参照してください。

プリントヘッド情報を確認するには

プリントヘッドの情報を確認するには、以下の手順に従います。

1. フロントパネルで、アイコンを選択します。
2. [プリントヘッド] - [プリントヘッド情報] を選択し、情報を確認するプリントヘッドを選択します。
3. フロントパネルに、以下の情報が表示されます。
 - 色
 - 製品番号
 - シリアル番号
 - プリントヘッドのステータス
 - 使用済みインク量
 - 保証期限
 - クリーナのステータス

内蔵Webサーバを使用すると、コンピュータから離れなくても上記の情報の大半を確認できます。

プリントヘッドとプリントヘッドクリーナのステータスメッセージの詳細については、「212ページの[プリントヘッドのステータスメッセージが表示される]」および「213ページの[プリントヘッドクリーナのステータスメッセージが表示される]」を参照してください。

保証期限が[保証に関する注記を参照]の場合は、HP製以外のインクが使用されていることを示します。詳細は、「265ページの[全世界共通の無償保証—HP Designjet 4000プリンタシリーズ]」を参照してください。

プリンタの使用状況に関する情報を確認するには

1. 内蔵Webサーバにアクセスします(詳細は、「77ページの[内蔵Webサーバにアクセスするには]」を参照してください)。
2. [使用状況] ページに移動します。
3. [履歴] タブで、使用初日からのプリンタの累積使用状況を確認します。
4. [スナップショット] タブで、使用初日からの累積使用状況の記録を保存します。また、[累積] タブのカウンタをゼロにリセットします。
5. [累積] タブで、最後のスナップショット以降の累積使用状況を確認します。

7 印刷イメージを調整するには

- 127 ページの [ページ サイズを変更するには]
- 127 ページの [カスタム ページ サイズを作成するには]
- 129 ページの [印刷品質を変更するには]
- 129 ページの [印刷品質設定を選択するには]
- 131 ページの [最高速度で印刷するには]
- 132 ページの [マージンを調整するには]
- 132 ページの [オーバーサイズの用紙サイズに印刷するには]
- 133 ページの [用紙の印刷の向きを変更するには]
- 134 ページの [イメージを回転するには]
- 134 ページの [左右反転印刷を行うには]
- 135 ページの [イメージを拡大縮小するには]
- 136 ページの [パレットの設定を変更するには]
- 137 ページの [重なった線の処理方法を変更するには]
- 138 ページの [グラフィック言語の設定を変更するには]

ページ サイズを変更するには

ページ サイズは、以下の方法で指定することができます。

- Windows用プリンタ ドライバの場合 : [用紙/品質] タブを選択して [用紙 サイズ] を選択します。
- Mac OS用プリンタ ドライバの場合 : [ページ属性] パネルを選択して [用紙 サイズ] を選択します。
- 内蔵Webサーバを使用する場合 : [ジョブの送信] ページの [ページ サイズ] セクションに移動します。
- フロントパネルを使用する場合 :  アイコンを選択し、次に [印刷デフォルトメニュー] - [用紙オプション] - [用紙サイズ] を選択します。



注記 プリンタ ドライバまたは内蔵Webサーバで用紙サイズが設定されている場合、フロントパネルで設定した用紙サイズよりもこちらが優先されます。

印刷イメージを調整するには

カスタム ページ サイズを作成するには

プリンタ ドライバまたは内蔵Webサーバを使用して、カスタム ページ サイズを作成することができます。

HP-GL/2 & RTL ドライバ (Windows用) の場合

1. [用紙/品質] タブを選択します。
2. [ユーザ設定] ボタンをクリックします。

3. 新しい[ユーザ定義用紙サイズ]に付ける名前に、[カスタム サイズ1:]から[カスタム サイズ5:]のいずれかを選択します。
4. 幅と長さの値を入力します。
5. [OK]ボタンをクリックします。

PostScriptプリンタ ドライバ(Windows XPまたはWindows2000用)の場合

1. [用紙/品質]タブを選択します。
2. [ユーザ設定]ボタンをクリックします。
3. 新しい[ユーザ定義用紙サイズ]に付ける名前を入力します。
4. 幅と長さの値を入力します。
5. [保存]ボタンをクリックします。

PostScriptプリンタ ドライバ(Windows MeまたはWindows 98用)の場合

1. [用紙/品質]タブを選択します。
2. [用紙サイズ]リストから[サイズ指定用紙1]、[サイズ指定用紙2]、[サイズ指定用紙3]のいずれかを選択します。
3. 新しいカスタムページの幅と長さを選択します。
4. [OK]ボタンをクリックします。

PostScriptプリンタ ドライバ(Windows NT用)の場合

1. [用紙/品質]タブを選択します。
2. 用紙サイズのリストから[PostScriptカスタムページサイズ]を選択します。
3. カスタムページサイズの幅と長さを選択します。
4. [OK]ボタンをクリックします。

PostScriptプリンタ ドライバ(Mac OS X用)の場合

1. [ファイル]メニューから[ページ設定]を選択します。
2. [カスタム用紙サイズ]パネルを選択します。
3. [新規]ボタンをクリックします。
4. 新しいカスタムページサイズに付ける名前を入力します。
5. 幅と長さの値を入力します。
6. [保存]ボタンをクリックします。

PostScriptプリンタ ドライバ(Mac OS 9用)の場合

1. [ファイル]メニューから[ページ設定]を選択します。
2. [ページ属性]パネルを選択します。
3. [カスタムページ設定]パネルを選択します。
4. 新しいカスタムページサイズに付ける名前を入力します。
5. 幅と長さの値を入力します。
6. [追加]ボタンをクリックします。

内蔵Webサーバを使用する場合

1. [ジョブの送信] ページの [ページ サイズ] セクションに移動します。
2. [カスタム] オプションを選択します。
3. ページ サイズの幅と長さを選択します。

印刷品質を変更するには

このプリンタには、3種類の印刷品質オプションが用意されています。[高品質]、[標準] および [高速] の3種類です。また、印刷品質に影響を与える補足的なオプションとして、[最適化：描画/テキスト] または [最適化：イメージ]、および [高精細] の2種類も用意されています。これらのオプションの選択に関する詳細は、「129 ページの [印刷品質設定を選択するには]」を参照してください。

印刷品質は、以下の方法で指定することができます。

- Windows用プリンタ ドライバを使用する場合：[用紙/品質] タブの [印刷品質] セクションに移動します。
- Mac OS用プリンタ ドライバを使用する場合は：[イメージ品質] パネルに移動します。
- 内蔵Webサーバを使用する場合：[ジョブの送信] ページの [イメージ品質] セクションに移動します。
- フロントパネルを使用する場合： アイコンを選択し、次に [印刷デフォルトメニュー] - [印刷品質] を選択します。



注記 1 プリンタ ドライバまたは内蔵Webサーバで印刷品質が設定されている場合、フロントパネルで設定した印刷品質よりもこちらが優先されます。

注記 2 プリンタに送信中または送信済みのページの印刷品質は、印刷がまだ開始されていない場合でも変更できません。

印刷品質設定を選択するには

以下の表は、ロール紙を使用している場合に推奨される印刷品質設定と用紙の種類を、印刷物の種類ごとにまとめたものです。必ずしもこの表に従う必要はありませんが、用紙を選択する際に参考してください。

カット紙を使用する場合は、印刷品質を [高品質] に設定することをお勧めします。

印刷品質設定の変更方法については、「129 ページの [印刷品質を変更するには]」を参照してください。



注記 印刷密度の高いイメージには、厚い用紙(厚手紙または光沢紙)を使用してください。

印刷イメージを調整するには

印刷内容	印刷品質の設定			用紙の種類(フロン トパネル)
	印刷品質	最適化	高精細	
線(ドラフ ト)	高速	描画/テキス ト	オン	インクジェット普通 紙 普通紙 半透明紙* コート紙
線	標準	描画/テキス ト	オフ	インクジェット普通 紙 普通紙 半透明紙* コート紙
線と塗りつ ぶし	高品質	描画/テキス ト	オフ	インクジェット普通 紙 普通紙 半透明紙* コート紙 厚手コート紙 光沢フォト用紙2
線とイメー ジ	高品質	描画/テキス ト	オン	コート紙 厚手コート紙 光沢フォト用紙2
店内広告	標準	イメージ	オフ	コート紙 厚手コート紙 光沢フォト用紙2

(続き)

印刷内容	印刷品質の設定			用紙の種類(フロントパネル)
	印刷品質	最適化	高精細	
レンダリング 	高品質	イメージ	オフ	厚手コート紙 光沢フォト用紙2
写真 	高品質	イメージ	オフ	光沢フォト用紙2

*半透明紙には、ベラム紙、半透明ボンド紙、トレーシングペーパ、クリアフィルム、マットフィルムが含まれます。

印刷解像度の技術的な詳細については、「249ページの[プリンタ機能の仕様について]」を参照してください。

最高速度で印刷するには

フロントパネルには、最高速度で印刷するための用紙設定が2種類([インクジェット普通紙(最高速)]*と[普通紙(最高速)]†)用意されています。この2種類の用紙に推奨される印刷品質設定は、次のとおりです。

印刷内容	印刷品質の設定			用紙の種類(フロントパネル)
	印刷品質	最適化	高精細	
線(ドラフト) 	高速	描画/テキスト	オフ	インクジェット普通紙(最高速)* 普通紙(最高速)†

*インクジェット普通紙(最高速)を使用する場合は、HPインクジェット普通紙を取り付け、フロントパネルの用紙の種類のリストからインクジェット普通紙(最高速)を選択してください。

†普通紙(最高速)を使用する場合は、HPスタンダード普通紙を取り付け、フロントパネルの用紙の種類のリストから普通紙(最高速)を選択してください。

マージンを調整するには

プリンタのマージンを調整することで、アプリケーションで使用できるページの印刷可能範囲を決めることができます。マージンには、[広い]と[ふつう]の2種類のオプションが用意されています。マージンの寸法については、「249 ページの[プリンタ機能の仕様について]」を参照してください。

マージンは、以下の方法で指定することができます。

- Windows HP-GL/2プリンタ ドライバの場合：デフォルトで[ふつう]が選択されています。[広い]を選択するには、[用紙/品質]タブを選択して**[拡張マージン]**チェックボックスをオンにします。
- Windows PostScriptプリンタ ドライバの場合：[用紙/品質]タブを選択し、**[用紙サイズ]**を選択します。**[用紙サイズ - 拡張マージン]**を選択します。
- Mac OS用プリンタ ドライバの場合：[ページ属性]パネルを選択して**[用紙サイズ]**を選択します。用紙サイズを選択し、次にマージンを選択します。
Mac OS 10.1 ドライバの場合は、[ふつう]しか選択できません。
- 内蔵Webサーバを使用する場合：[ジョブの送信]ページを選択して**[マージン]**を選択します。
- フロントパネルを使用する場合：アイコンを選択し、次に**[印刷デフォルトメニュー]**-**[用紙オプション]**-**[マージン設定]**を選択します。

 **注記** プリンタ ドライバまたは内蔵Webサーバでマージンが設定されている場合は、フロントパネルで設定したマージンよりもこちらが優先されます。

オーバーサイズの用紙サイズに印刷するには

技術上の理由から、用紙の幅や長さに完全に合致するイメージを印刷することはできません。イメージの周囲には必ずある程度のマージンが必要です。たとえば、A3サイズのイメージをマージンなしで印刷する場合は、通常どお

リイメージの周囲にマージンを残してA3より大きな用紙に印刷し、印刷後にマージンを切り落とすようにする必要があります。

オーバーサイズの用紙サイズは、この目的のために使用します。この用紙サイズはどれも、標準サイズの用紙にマージンを合わせても十分にカバーできるだけの大きさがあります。

オーバーサイズの用紙サイズは、以下の方法で指定することができます。

- Windows HP-GL/2プリンタ ドライバの場合：[用紙サイズ] リストの [オーバーサイズ] からいずれかの用紙サイズを選択します。
- Windows PostScriptプリンタ ドライバの場合：[用紙/品質] タブを選択し、[用紙サイズ] を選択します。[用紙サイズ - オーバーサイズ] を選択します。
- Mac OS 9 (または10.1) プリンタ ドライバの場合：マージン幅なしのカスタム ページサイズを作成します。その際、最終的なジョブにはプリンタのフロントパネルで設定したマージンが追加されることを忘れないでください。
- 最新のMac OS用プリンタ ドライバの場合：[ページ属性] パネルを選択して [用紙サイズ] を選択します。オーバーサイズの用紙サイズを選択して、マージンを選択します。
- 内蔵Webサーバを使用する場合：PDF、TIFFおよびJPEGのジョブでオーバーサイズの用紙サイズを自動的に選択させるには、マージンの設定を [デフォルト] にします。[ふつう] または [広い] を選択した場合は、通常の用紙サイズが使用されます。
内蔵Webサーバでは、HP-GL/2、RTL、CALS G4またはPostScriptのジョブについては、オーバーサイズの用紙サイズはサポートされていません（プリンタ ドライバを使用する必要があります）。
- フロントパネルを使用する場合：PDF、TIFFおよびJPEGのジョブでは、フロントパネルの設定は無視され、すべてオーバーサイズの用紙サイズが使用されると考えられます。
フロントパネルでは、HP-GL/2、RTL、CALS G4またはPostScriptのジョブについては、オーバーサイズの用紙サイズはサポートされていません（プリンタ ドライバを使用する必要があります）。

用紙の印刷の向きを変更するには

プリンタ ドライバまたは内蔵Webサーバを使用して、用紙の印刷の向きを縦置きまたは横置きのいずれかに選択できます。

- PostScriptプリンタ ドライバ (Windows NT用) を使用する場合：[ページ設定] タブの [印刷の向き] セクションに移動します。
- 他のプリンタ ドライバ (Windows用) を使用する場合：[レイアウト] タブの [印刷の向き] セクションに移動します。

- PostScriptプリンタ ドライバ (Mac OS用) を使用する場合 : [ファイル] メニューをクリックし、[ページ設定] を選択して、[ページ属性] パネルの [方向] セクションに移動します。
- 内蔵Webサーバを使用する場合 : [ジョブの送信] ページの [印刷の向き] セクションに移動します。

イメージを回転するには

イメージは通常、縦方向に印刷されます。用紙を節約するため、イメージを90度回転させることができます。イメージの回転は、以下の方法で行うことができます。

- Windows用プリンタ ドライバの場合 : [レイアウト] タブを選択して [90度回転] を選択します。
- Mac OS用プリンタ ドライバの場合 : [仕上げ] パネルを選択して [90度回転] を選択します。
- 内蔵Webサーバを使用する場合 : [ジョブの送信] ページを選択して [回転] を選択します。
- フロントパネルを使用する場合 :  アイコンを選択し、次に [印刷デフォルトメニュー] - [用紙オプション] - [回転] を選択します。



注記1 プリンタ ドライバまたは内蔵Webサーバで回転が設定されている場合は、フロントパネルで設定した回転よりもこちらが優先されます。

注記2 ジョブを回転させる際には、ページサイズの長さを増やしてイメージが途切れないようにすることができますが、これは、通常は左右のマージンよりも上下のマージンのほうが大きいためです。

イメージが途切れる場合

ロール紙でもカット紙でも、縦置きのイメージを横置きに回転させると、用紙の幅がイメージよりも狭くなるためイメージが途切れことがあります。たとえば、縦置きのA1サイズのイメージを横置きにしてA1サイズ用紙に印刷すると、イメージが途切れます。内蔵Webサーバを使用している場合は、このような際にはプレビュー画面に警告の三角マークが表示されます。

左右反転印刷を行うには

クリアフィルム (バックリット) を使用する場合、イメージを左右反転させて印刷すると、フィルムの背面から光をあてて投射した際に正しい向きのイメ

一覧が投影されます。アプリケーションでイメージを変更せずに左右反転させた印刷を行うには、以下の手順に従います。

- Windows用プリンタ ドライバの場合：[レイアウト] タブを選択して [**左右反転**] を選択します。
- Mac OS用プリンタ ドライバの場合：[仕上げ] パネルを選択して [**左右反転**] を選択します。
- 内蔵Webサーバを使用する場合：[ジョブの送信] ページを選択して [**左右反転**] を選択します。
- フロントパネルを使用する場合： アイコンを選択し、次に [**印刷デフォルトメニュー**] - [**用紙オプション**] - [**左右反転**] を選択します。



注記 プリンタ ドライバまたは内蔵Webサーバで左右反転が設定されている場合は、フロントパネルで設定した左右反転よりもこちらが優先されます。

イメージを拡大縮小するには

イメージを特定のサイズでプリンタに送信し、プリンタの側でサイズを拡大縮小(たいていは拡大)するように指定することができます。これは、次のような場合に便利です。

- 使用しているソフトウェアで大判印刷がサポートされていない場合。
- ファイルサイズが大きすぎてプリンタのメモリでは対応できない場合。このような場合、ソフトウェアではページサイズを小さくし、印刷時にフロントパネルのメニューを使用して拡大することができます。

プリンタでの拡大縮小は、以下の方法で行うことができます。

- Windows用プリンタ ドライバの場合：[効果] タブを選択して [**サイズ変更オプション**] を選択します。
 - [**文書を印刷する用紙**] オプション (**[用紙に合わせて調節]** チェックボックスをオンにした場合) を使用すると、プリンタの設定で選択したページサイズで印刷できるように、イメージサイズを調整できます。たとえば、ISO A2をページサイズに選択し、A4サイズのイメージを印刷する場合、A2ページに合うようにイメージは拡大されます。ISO A3をページサイズに選択し、イメージのサイズがこれより大きい場合、A3サイズに合うようにイメージは縮小されます。
 - [**[% (元のサイズに対する比率)**] オプションを使用すると、元のページの印刷可能範囲を指定した比率で拡大し、プリンタマージンを追加して出力ページサイズを調整できます。
- Mac OS用プリンタ ドライバの場合：[仕上げ] パネルを選択して [**文書を印刷する用紙**] を選択します。

[拡大/縮小] オプションは表示されませんが、それはこの機能が常に有効になっているためです。イメージサイズは、プリンタの設定で選択されたページサイズで印刷できるように必ず調整されます。

- 内蔵Webサーバを使用する場合：[ジョブの送信] ページを選択して [次のサイズに拡大/縮小] を選択します。
- フロントパネルを使用する場合： アイコンを選択し、次に [印刷デフォルトメニュー] - [用紙オプション] - [スケール] を選択します。
1枚の用紙に印刷する場合は、イメージをページ内に収めることができるか確認してください。イメージが途切れる可能性があります。

パレットの設定を変更するには

デフォルトのパレットは変更できませんが、パレットAとパレットBは、選択内容に応じて定義することができます。

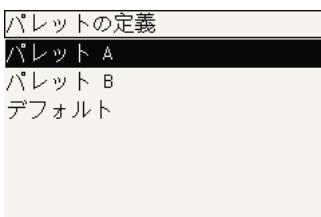
これらのパレットは、ソフトウェアによりパレットが埋め込まれていない HP-GL/2のジョブにのみ適用されます。



注記 プリンタに同梱されているHP-GL/2ドライバによって生成された HP-GL/2ジョブの場合、すべてのジョブにソフトウェアのパレットが埋め込まれるため、フロントパネルで行ったパレットの設定は無視されます。

パレットAを再定義するには、以下の手順に従います。

- フロントパネルで、 アイコンを選択し、次に [印刷デフォルトメニュー] - [HP-GL/2の設定] - [パレットの定義] - [パレットA] を選択します。



- 変更するペン番号までスクロールし、**選択(チェックマーク)**ボタンを押します。
- このペンに割り当てられている現在の幅が表示されます。たとえば、[幅 : 0.35mm]などと表示されます。これを変更するには、以下の手順に従います。
 - 選択(チェックマーク)**ボタンを押します。
 - 指定する幅の値までスクロールします。
 - 選択(チェックマーク)**ボタンをもう一度押します。
- 戻るボタンを押すと、前のメニューの [カラー]、[幅] に戻ります。戻らない場合は、[パレットA] まで戻ります。

8. このペンに割り当てられている現在のカラーが表示されます。たとえば、[カラー : 110]と表示されます。これを変更するには、以下の手順に従います。
9. **選択(チェックマーク)ボタン**を押します。
10. 指定するカラーの値までスクロールします。
11. **選択(チェックマーク)ボタン**をもう一度押します。
12. 戻るボタンを押すと、前のメニューに戻ります。
13. 幅とカラーの値が正しければ、戻るボタンを押します。
14. 次に変更するペン番号までスクロールし、**選択(チェックマーク)ボタン**を押して、上記の手順を繰り返します。
15. すべてのペンの定義が正しければ、戻るボタンを押して、メニューを終了します。



注記 ここで定義したパレットは、現在のパレットとして選択したとき有効になります。

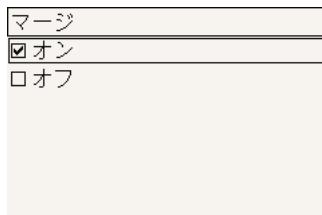
期待した結果が得られない場合は、「210 ページの [ペンの設定が適用されない]」を参照してください。

重なった線の処理方法を変更するには

[マージ] 設定では、イメージ内で線が重なった場合の見栄えを制御できます。[オフ] と [オン] の2種類の設定があります。

- [マージ] を [オフ] にすると、線が交差している場合、上側の線の色のみが印刷されます。
- [マージ] を [オン] にすると、線が交差している場合、2つの線の色がマージされます。

[マージ] を [オン] にするには、アイコンを選択し、次に [印刷デフォルトメニュー] - [HP-GL/2の設定] - [マージ] : [オン] を選択します。一部のアプリケーションでは、ソフトウェアからマージを設定できます。ソフトウェアの設定は、フロントパネルの設定よりも優先されます。

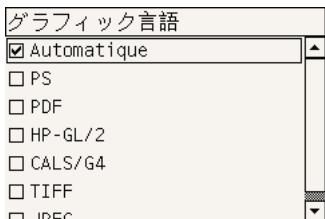


注記 マージ設定はPostScriptファイルには影響しません。

グラフィック言語の設定を変更するには

以下で説明する問題が発生していない場合は、デフォルト設定 (**[自動]**) を変更する必要はありません。特定のグラフィック言語を設定すると、その言語のファイルしか印刷できなくなるため、設定の変更はお勧めできません。

グラフィック言語の設定を変更するには、アイコンを選択し、次に [**印刷デフォルトメニュー**] - [**グラフィック言語**] を選択して、メニュー項目の下に表示されるオプションのいずれかを選択します。



- **[自動]** を選択すると、プリンタにより受信ファイルの種類が特定されます。この設定は、大半のソフトウェア アプリケーションに適用されます。
- **[HP-GL/2]** は、PostScriptファイル以外でイメージ位置またはタイミングに関する問題が発生した場合に選択します。
- **[PostScript]** は、印刷しているのがPostScriptファイルのみであり、PostScriptジョブが標準のPostScriptヘッダから開始されず、PDL言語切り替えコマンドが含まれていない場合に選択します。
または、PostScriptフォントのダウンロード中に問題が発生した場合にも、**[PostScript]** を選択します。この場合は、フォントのダウンロードが完了したら、**[自動]** を再度選択します。

USB接続でフォントをダウンロードしている場合は、アイコンを選択し、次に [**印刷デフォルトメニュー**] - [**PostScriptの設定**] - [**エンコード**] - [**ASCII**] を選択します。

- **[ユーティリティ]** リストから、**[TIFF]**、**[JPEG]**、**[PDF]**、または **[CALS/G4]** は、該当する種類のファイルを、プリンタ ドライバを経由せずにプリンタに直接送信する場合にのみ選択します。このような送信は通常、内蔵Webサーバからのみ行われます。この場合、言語は内蔵Webサーバによって設定され、ユーザ自身が設定する必要はありません。

 **注記** **[PostScript]** および **[PDF]** は、PostScriptプリンタでのみ使用できます。

8 プリンタで高いカラー精度を得るには

- 139 ページの [カラー キャリブレーションを実行するには]
- 140 ページの [黒点の補正を実行するには]
- 141 ページの [レンダリング用途を設定するには]
- 142 ページの [カラー エミュレーションモードを選択するには]
- 142 ページの [他のHP Designjetプリンタの印刷物と一致する印刷を実現するには]
- 142 ページの [Adobe Photoshop CS (HP-GL/2 & RTL ドライバ) で高いカラー精度を得るには]
- 147 ページの [Adobe Photoshop CS (PostScript ドライバ) で高いカラー精度を得るには]
- 151 ページの [Adobe InDesign CS で高いカラー精度を得るには]
- 156 ページの [QuarkXPress 6 で高いカラー精度を得るには]
- 159 ページの [Autodesk AutoCAD 2002 で高いカラー精度を得るには]
- 159 ページの [Microsoft Office 2003 で高いカラー精度を得るには]
- 159 ページの [ESRI ArcGIS 9 で高いカラー精度を得るには]

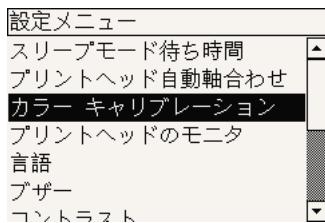
カラー キャリブレーションを実行するには

カラー キャリブレーションを実行すると、印刷物間、およびプリンタ間で色調をそろえることができます。

通常、カラー キャリブレーションは、プリントヘッドを交換した場合、必ず実行する必要があります。また、新しいプリントヘッドでキャリブレーションを実行したことがない場合や、新しい用紙の種類を使用する場合にも、実行する必要があります。ただし、既に認識されている用紙の種類については、カラー キャリブレーションをオフにして、デフォルトのカラー調整を使用できます。

1. フロントパネルから  アイコンを選択し、次に [設定メニュー] - [カラー キャリブレーション] を選択します。

プリンタで高いカラー精度を得るには



2. カラー キャリブレーションには以下のオプションがあります。
 - **[オン]**：プリンタは、現在のプリントヘッドでキャリブレーションを実行したことがない、新しい用紙の種類を使用する場合には、必ずカラー キャリブレーションを実行します。このキャリブレーションによって行われたカラー調整は、以後、この用紙の種類を使用した同じ印刷品質設定の印刷に使用されます。
 - **[オフ]**：プリンタは、用紙の種類と印刷品質の設定ごとに、デフォルトのカラー調整を使用します。
3. プリンタは、キャリブレーション用の帯状のパターンを印刷して、それを内蔵光センサーでスキャンし、必要なカラー調整を算出することで、カラー キャリブレーションを実行します。帯状のパターンは、光沢紙を使用した場合は幅が269mm、長さが18mmとなり、その他の種類の用紙の場合は、長さが109mmとなります。カラー キャリブレーションの実行には、3分から6分ほどかかります。時間は用紙の種類によって異なります。

 注記 カラー キャリブレーションは、いつでもフロントパネルから手動で実行することができます。実行するには、 アイコンを選択し、次に「プリントヘッド」-「カラー キャリブレーション」を選択します。

黒点の補正を実行するには

[黒点の補正] オプションでは、カラー スペース間でカラー変換を行ったときに、黒点の差異を調整するかどうかを指定します。このオプションを選択すると、変換元スペースのダイナミック レンジが変換先スペースのダイナミック レンジにマッピングされます。このオプションにより、変換元スペースの黒点が変換先スペースの黒点より濃い場合に、暗い部分が表示されなくなるのを防ぐことができます。このオプションは、レンダリング用途の [相対カラー メトリック] が選択されている場合のみ使用できます（詳細は、「141 ページの「レンダリング用途を設定するには」」を参照してください）。

墨点の補正は、以下の方法で指定することができます。

- Windows用プリンタ ドライバの場合：[カラー] タブを選択し、[黒点の補正] を選択します。
- Mac OS用プリンタ ドライバの場合：[カラー品質] パネルを選択し、[黒点の補正] を選択します。

- 内蔵Webサーバを使用する場合：[ジョブの送信] ページを選択し、[黒点の補正] を選択します。
- フロントパネルを使用する場合： アイコンをクリックし、[印刷デフォルトメニュー] - [カラー オプション] - [黒点の補正] を選択します。

レンダリング用途を設定するには

レンダリング用途とは、カラー変換を行う際の設定の1つです。印刷する色によっては、プリンタでその色を再現できない場合があります。レンダリング用途では、このような「色域外の色」を再現するための方法を、次の4つの中から選択することができます。

- [彩度]：明るい、鮮やかな色を使用するプレゼンテーション用のグラフィック、表、またはイメージに最適です。
- [知覚的(写真、写実的)]：中間色が多数含まれた写真またはイメージに最適です。カラーの全体的な見栄えは、可能な限り維持されます。
- [相対カラー メトリック]：特定のカラーと調和させる場合に最適です。主にプルーフ用に使用され、正確にカラーを印刷できる状態では、正確なカラーが確実に印刷されます。これ以外のオプションでは、より望ましい色の範囲が再現される場合もありますが、特定の色が正確に印刷されるとは限りません。また、このオプションでは、入力カラー スペースの白が、印刷する用紙の白にマッピングされます。
- [絶対カラー メトリック]：相対カラー メトリックと同様ですが、白のマッピングは行われません。このレンダリングも主にプルーフ用に使用されますが、この場合のプルーフは、1台のプリンタの出力のシミュレーション(白点を含む)を目的に行います。

レンダリング用途は、以下の方法で指定することができます。

- Windows用プリンタ ドライバの場合：[カラー] タブを選択し、[レンダリング用途] を選択します。
- Mac OS用プリンタ ドライバの場合：[カラー品質] パネルを選択し、[レンダリング用途] を選択します。
- 内蔵Webサーバを使用する場合：[ジョブの送信] ページを選択し、[レンダリング用途] を選択します。
- フロントパネルを使用する場合： アイコンをクリックし、[印刷デフォルトメニュー] - [カラー オプション] - [レンダリング用途] を選択します。

プリンタで高いカラー精度を得るために

カラー エミュレーション モードを選択するには

カラー エミュレーション モードは、以下の方法で設定することができます。

- Windows用プリンタ ドライバの場合 : [カラー] タブの [カラーマネージメント] セクションを選択します。
- Mac OS用プリンタ ドライバの場合 : [カラー オプション] パネルを選択します。
- 内蔵Webサーバを使用する場合 : [ジョブの送信] ページの [カラーマネジメント] セクションを選択します。
- フロントパネルを使用する場合 :  アイコンを選択し、次に [印刷デフォルトメニュー] - [カラー オプション] を選択します。

詳細は、「233 ページの [カラー エミュレーション モードについて]」を参照してください。

他のHP Designjetプリンタの印刷物と一致する印刷を実現するには

詳細は、「203 ページの [他のHP Designjetと色が一致しない]」を参照してください。

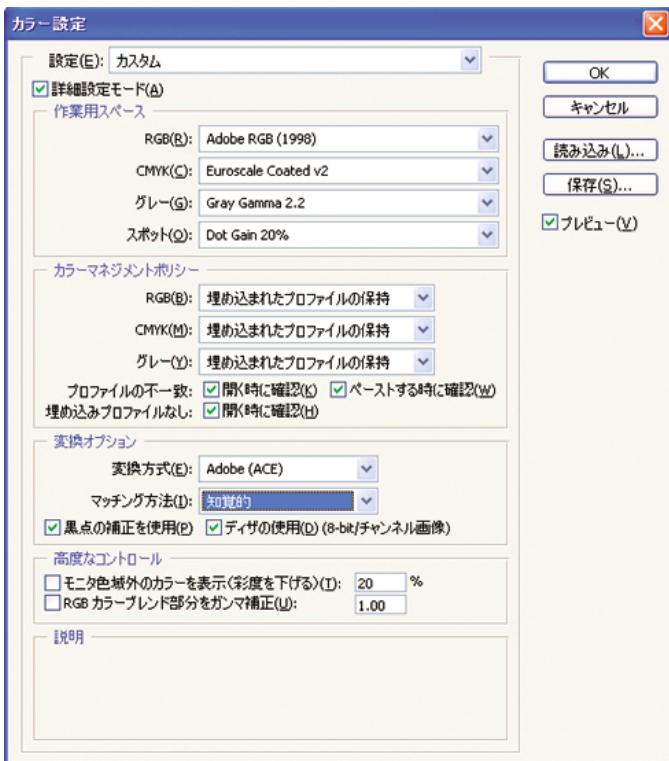
Adobe Photoshop CS (HP-GL/2 & RTL ドライバ) で高いカラー精度を得るには

プリンタで印刷されるカラーの精度を高める方法は多数ありますが、このトピックでは、そのうちの1つについて概略を説明します。ここではハードウェアについて説明します。開始する前に、使用する用紙の種類のキャリブレーションが済んでいることを確認してください。

アプリケーションの設定

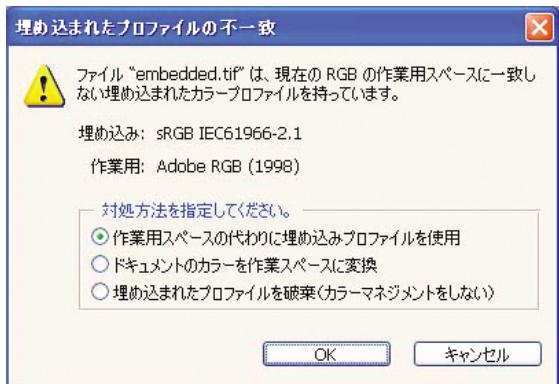
1. Adobe Photoshopを開き、[編集] メニューをクリックし、[カラー設定] をクリックします。
 - [作業用スペース] : 作業用スペースは、イメージを操作するときに使用するカラー スペースです。イメージに固有のカラー スペースがある場合は、これを使用することをお勧めします(下記の「カラーマネジメントポリシー」を参照)。ない場合は、次のデフォルト設定を使用することをお勧めします。[RGB] : [Adobe RGB 1998]、[CMYK] : [U.S. Web Coated (SWOP) v2] (米国の場合)、または [Euroscale Coated v2] (米国以外)。
 - [カラーマネジメントポリシー] : [埋め込まれたプロファイルの保持] を選択します。

- **[マッチング方法]**: 「141 ページの [レンダリング用途を設定するには]」を参照してください。
- **[黒点の補正を使用]**: [マッチング方法] に [相対的な色域を維持] を選択した場合は、このオプションをオンにすることをお勧めします。詳細は、「140 ページの [黒点の補正を実行するには]」を参照してください。



2. イメージを開きます。カラー プロファイルが埋め込まれている場合は、それを使用します。

プリントで高いカラー精度を得るために



埋め込まれていない場合は、デフォルト設定を使用します。



3. 作業に使用するカラー スペースを定義したら、必要に応じてソフトプルーフを作成できます。ソフトプルーフでは、イメージが印刷されたときの結果を画面でエミュレートできます。これを実行するには、モニタの ICC プロファイルが必要です。[ビュー] - [校正設定] - [カスタム] を選択します。[校正設定] ダイアログ ボックスで、以下のオプションを設定します。
 - [プロファイル] : 使用するプリンタの機種、用紙の種類、印刷品質に応じて、プロファイルを選択します。
 - [カラー値の保持] : このチェック ボックスをオンにすると、カラーをドキュメント スペースからプルーフ プロファイル スペースに変換せずに、ドキュメントの外観をシミュレートする方法が指定されます。ドキュメントのカラー値がドキュメント プロファイルではなくプルーフ プロファイルで変換されたときの、カラーの変化がシミュレートされます。このオプションの使用はお勧めできません。
 - [マッチング方法] : このメニューでは、ドキュメント スペースからシミュレーション スペースへの変換で使用するレンダリング方法を選択でき、各レンダリングの効果の違いをプレビューできます。詳細

は、「141ページの[レンダリング用途を設定するには]」を参照してください。

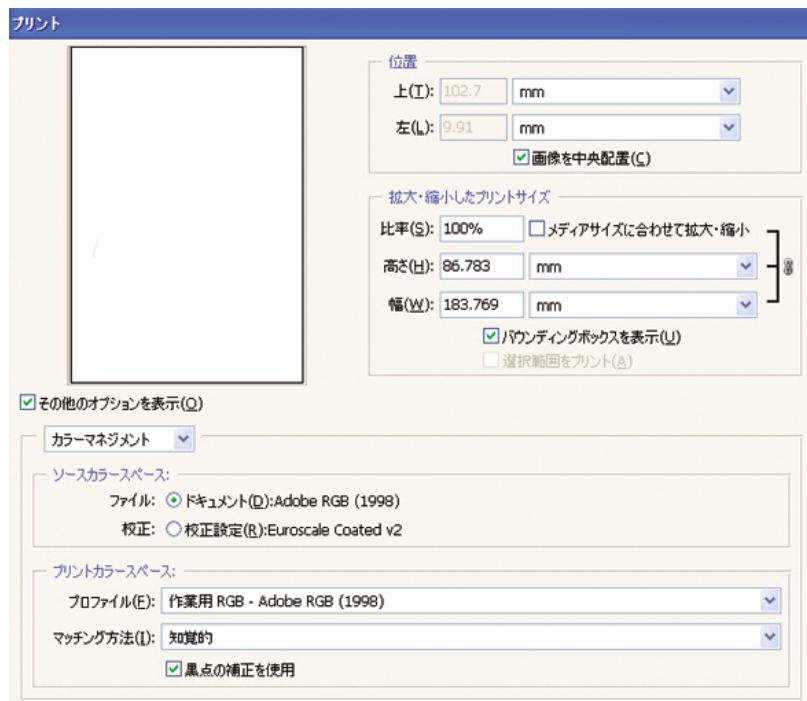
- **[黒点の補正を使用]** : [マッチング方法] に [相対的な色域を維持] を選択した場合は、このオプションをオンにすることをお勧めします。詳細は、「140ページの[黒点の補正を実行するには]」を参照してください。
- **[紙色]** : このチェックボックスをオンにすると、用紙の白さがモニタでエミュレートされます。[マッチング方法] に [絶対的な色域を維持] を選択したときと同じ効果が得られます。
- **[黒インキ]** : このチェックボックスをオンにすると、シミュレーションからモニタへのレンダリングでの黒点の補正がオフになります。シミュレーションスペースの黒がモニタの黒よりも明るい場合は、モニタにあせた黒が表示されます。このオプションの使用はお勧めできません。
- **[プレビュー]** : このチェックボックスをオンにすると(推奨)、このダイアログボックスで行った変更がすぐにイメージに反映されます。



4. イメージを印刷する準備ができたら、[ファイル] メニューをクリックし、[プリントプレビュー] をクリックして、[プリント] ダイアログボックスを開きます。[カラーマネージメント] セクションで、以下のオプションを設定します。

- **[ソースカラースペース]** : [ドキュメント] を選択します(デフォルトで選択されています)。
- **[プロファイル]** : 使用するプロファイルを選択します。Adobe RGBを使用することをお勧めします。Adobe RGBまたはsRGBのいずれも選択しない場合は、用紙に応じたICCプロファイルを選択し、後でドライバの[アプリケーションで管理]オプションを選択します。
- **[マッチング方法]** : 「141ページの[レンダリング用途を設定するには]」を参照してください。

プリントで高いカラー精度を得るために



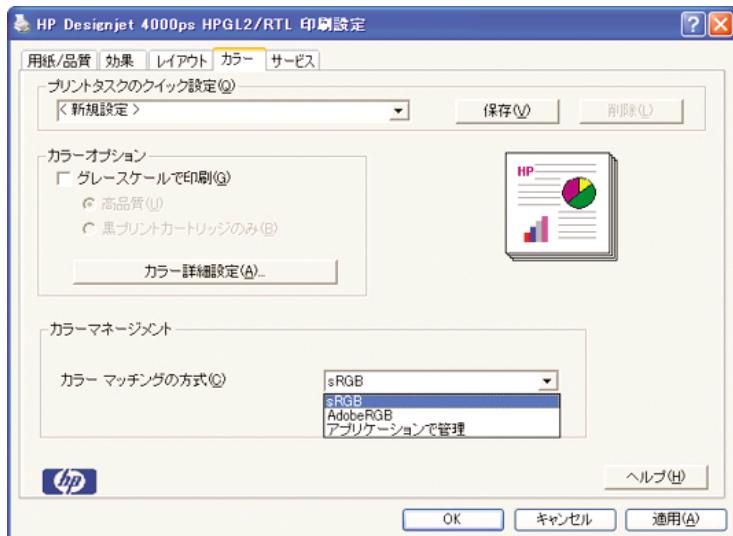
ドライバの設定

[プロパティ] ダイアログ ボックスの [用紙/品質] タブで、[印刷品質] を [高品質(最高画質)] に設定します。

[カラー] タブには、以下の [カラー マネージメント] オプションが用意されています。上記の [プリント] ダイアログ ボックスの [プリントカラースペース] の [プロファイル] で選択したものと同じオプションを選択します。

- **[sRGB]** : デフォルトのカラー スペースです。RGB入力データが、選択した用紙の種類と印刷品質に応じて、プリンタの内部カラーマップによりCMYKに変換されます。このカラー マップは最も幅が広く、CADアプリケーションや業務アプリケーションの鮮やかな色を再現できます。また、写真イメージでもよい結果が得られます。
- **[AdobeRGB]** : sRGBに似ていますが、AdobeRGBからCMYKへの内部カラーマップが使用されます。このカラー マップはAdobeRGB入力データ用に設計されたもので、より広いソース色域が設定されています。デジタル写真に最適です。
- **[アプリケーションで管理]** : ドライバでカラー調整を行いません。このオプションは、カスタムRGBプリンタ プロファイルを作成し、それらをアプリケーション内で適用する場合に使用します(アプリケーションでは、カスタムRGBプリンタ プロファイルを使用して正しいカラーマネージメントが適用されます)。この場合は、アプリケーションの [プリント]

ダイアログ ボックスで、[プリントカラースペース] の [プロファイル] に適切なメディア プロファイルが選択されていることを確認してください(上記を参照)。



プリンタの設定

フロントパネルの用紙の種類に、使用する用紙と同じ種類の用紙が選択されていることを確認します。

Adobe Photoshop CS (PostScript ドライバ) で高いカラー精度を得るには

プリンタで印刷されるカラーの精度を高める方法は多数ありますが、このトピックでは、そのうちの1つについて概略を説明します。ここではハードブルーフについて説明します。開始する前に、使用する用紙の種類のキャリブレーションが済んでいることを確認してください。

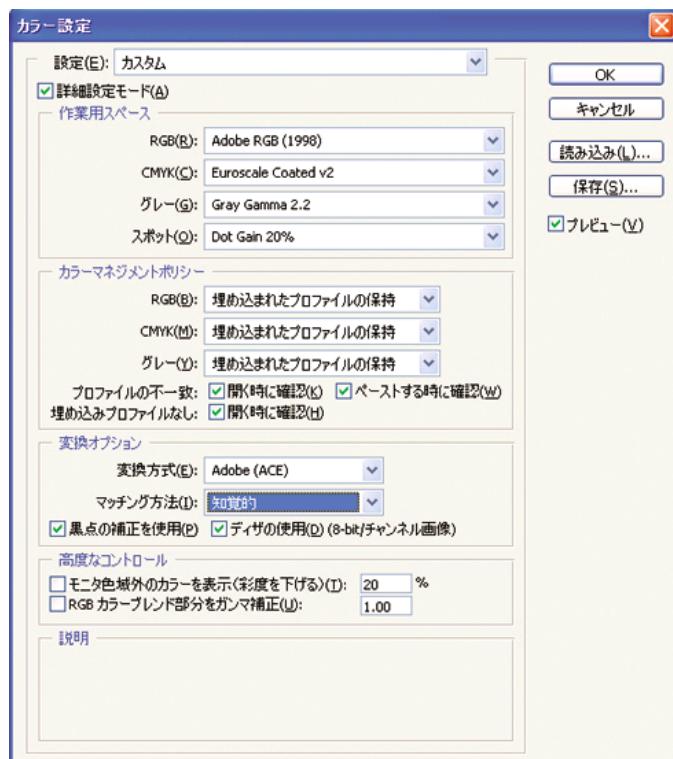
アプリケーションの設定

1. Adobe Photoshopを開き、[編集] メニュー(Windows)または[Photoshop] メニュー(Mac OS)をクリックし [カラー設定] をクリックします。
 - [作業用スペース]：作業用スペースは、イメージを操作するときに使うカラー スペースです。イメージに固有のカラー スペースがある場合は、これを使用することをお勧めします(下記の「カラーマネージメントポリシー」を参照)。ない場合は、次のデフォルト設定を使用することをお勧めします。[RGB] : [Adobe RGB 1998]、

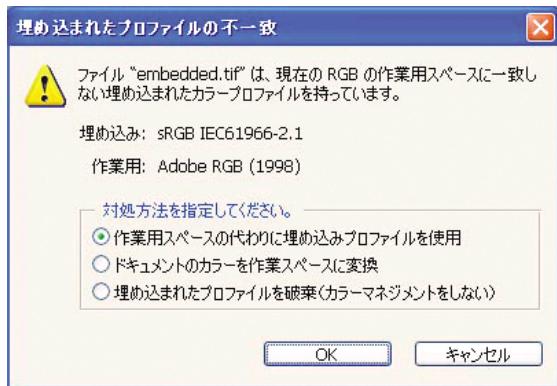
プリンタで高いカラー精度を得るには

[CMYK] : [U.S. Web Coated (SWOP) v2] (米国の場合)、または [Euroscale Coated v2] (米国以外)。

- [カラーマネジメントポリシー] : [埋め込まれたプロファイルの保持] を選択します。
- [マッチング方法] : 「141ページの[レンダリング用途を設定するには]」を参照してください。
- [黒点の補正を使用] : [マッチング方法] に [相対的な色域を維持] を選択した場合は、このオプションをオンにすることをお勧めします。 詳細は、「140ページの[黒点の補正を実行するには]」を参照してください。



2. イメージを開きます。カラー プロファイルが埋め込まれている場合は、それを使用します。



埋め込まれていない場合は、デフォルト設定を使用します。



3. 作業に使用するカラー スペースを定義したら、必要に応じてソフトプルーフを作成できます。ソフトプルーフでは、イメージが印刷されたときの結果を画面でエミュレートできます。これを実行するには、モニタの ICC プロファイルが必要です。[ビュー] - [校正設定] - [カスタム] を選択します。[校正設定] ダイアログ ボックスで、以下のオプションを設定します。
 - [プロファイル]：使用するプリンタの機種、用紙の種類、印刷品質に応じて、プロファイルを選択します。
 - [カラー値の保持]：このチェック ボックスをオンにすると、カラーをドキュメント スペースからプルーフ プロファイル スペースに変換せずに、ドキュメントの外観をシミュレートする方法が指定されます。ドキュメントのカラー値がドキュメント プロファイルではなくプルーフ プロファイルで変換されたときの、カラーの変化がシミュレートされます。このオプションの使用はお勧めできません。
 - [マッチング方法]：このメニューでは、ドキュメント スペースからシミュレーション スペースへの変換で使用するレンダリング方法を選択でき、各レンダリングの効果の違いをプレビューできます。詳細

プリントで高いカラー精度を得るために
は

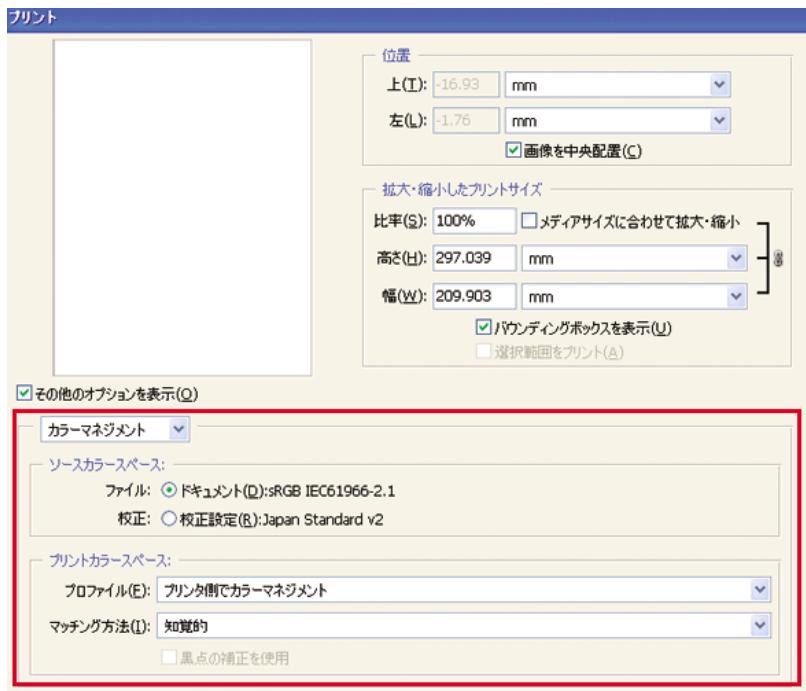
は、「141ページの[レンダリング用途を設定するには]」を参照してください。

- **[黒点の補正を使用]** : [マッチング方法] に [相対的な色域を維持] を選択した場合は、このオプションをオンにすることをお勧めします。 詳細は、「140ページの[黒点の補正を実行するには]」を参照してください。
- **[紙色]** : このチェックボックスをオンにすると、用紙の白さがモニタでエミュレートされます。 [マッチング方法] に [絶対的な色域を維持] を選択したときと同じ効果が得られます。
- **[黒インキ]** : このチェックボックスをオンにすると、シミュレーションからモニタへのレンダリングでの黒点の補正がオフになります。 シミュレーションスペースの黒がモニタの黒よりも明るい場合は、モニタにあせた黒が表示されます。 このオプションの使用はお勧めできません。
- **[プレビュー]** : このチェックボックスをオンにすると(推奨)、このダイアログボックスで行った変更がすぐにイメージに反映されます。



4. イメージを印刷する準備ができたら、[ファイル]メニューをクリックし、[プリントプレビュー]をクリックして、[プリント]ダイアログボックスを開きます。[カラーマネジメント]セクションで、以下のオプションを設定します。
 - **[ソースカラースペース]** : [ドキュメント]を選択します(デフォルトで選択されています)。これは、イメージを編集する際に使用するカラースペースです。
 - **[プロファイル]** : [プリント側カラーマネジメント]を選択します。このオプションを使用すると、プリントスペースへの変換に使用するソースプロファイルとレンダリング方法が、アプリケーションによりドライバに指定されます。この場合、ドライバでは、「ドキュメント」プロファイルと以下の[マッチング方法]で選択されたレンダリング方法が使用されます。これは、ドライバの[入力プロファイル]および[レンダリング用途]の設定よりも優先されます。
 - **[マッチング方法]** : 「141ページの[レンダリング用途を設定するには]」を参照してください。

プリントで高いカラーコントラストを得るには



ドライバの設定

アプリケーションで [プリント側でカラーマネジメント] オプションが設定されている場合は、こちらがドライバのカラー設定 ([入力プロファイル] および [レンダリング用途]) よりも優先され、アプリケーションの「ドキュメント」プロファイルとレンダリング方法がドライバで使用されます。ドライバでは、以下の設定のみを行います。

- [プロパティ] ダイアログボックスの [用紙/品質] タブで、[印刷品質] を [高品質(最高画質)] に設定します。
- [カラー] タブで、[自動PANTONE(R)キャリブレーション] チェックボックスをオンにします。

プリンタの設定

フロントパネルの 用紙の種類 に、使用する用紙と同じ種類の用紙が選択されていることを確認します。

Adobe InDesign CSで高いカラー精度を得るには

プリンタで印刷されるカラーの精度を高める方法は多数ありますが、このトピックでは、そのうちの1つについて概略を説明します。ここではハードプリーフについて説明します。ハードプリーフとは、印刷機で印刷したときのカラー再現状況をプリンタで印刷して確認するものです。開始する前に、使用

する用紙の種類のキャリブレーションが済んでいることを確認してください。

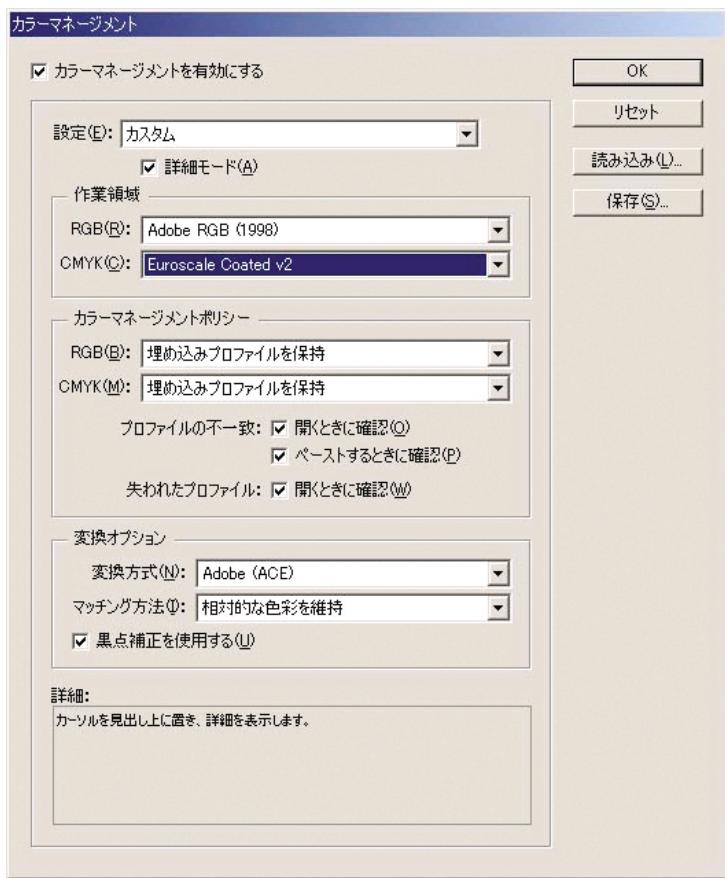


注記 EPS、PDF、およびグレースケールイメージは、ページレイアウトアプリケーションでカラーを変更することはできません。また、これらのイメージはモニタ上ではきれいに表示されません。

アプリケーションの設定

1. Adobe InDesignを開き、[編集]メニュー(Windows)または[InDesign]メニュー(Mac OS)をクリックし [カラーマネージメント]をクリックします。
 - [作業領域]：作業領域は、イメージを操作するときに使用するカラー スペースです。イメージに固有のカラー スペースがある場合は、これを使用することをお勧めします(下記の「カラーマネージメントポリシー」を参照)。ない場合は、次のデフォルト設定を使用することをお勧めします。[RGB] : [Adobe RGB 1998]、[CMYK] : [U.S. Web Coated (SWOP) v2] (米国の場合)、または [Euroscale Coated v2] (米国以外)。
 - [カラーマネージメントポリシー] : [埋め込みプロファイルを保持]を選択します。
 - [レンダリング用途] : 「141 ページの [レンダリング用途を設定するには]」を参照してください。
 - [黒点補正を使用する] : [マッチング方法]に [相対的な色域を維持]を選択した場合は、このオプションをオンにすることをお勧めします。詳細は、「140 ページの [黒点の補正を実行するには]」を参照してください。

プリントで高いカラー精度を得るには



2. 固有のまたは適切なカラー スペースのあるイメージを作成するか開きます。必要に応じてイメージを修正します。
3. イメージを出力デバイスに送信する準備ができたら、出力デバイスでどのように印刷されるかを、プリンタでシミュレートします。イメージをソース プロファイルまたは作業プロファイルから出力CMYKデバイスに変換し、出力CMYKデバイスからプリンタ プロファイルに変換(キャリブレーション)します。
InDesignで、[校正設定] ([表示] - [校正設定] - [カスタム]) を使用することをお勧めします。[校正設定] では、印刷に使用するソース スペースの「フルーツ プロファイル」を選択できます。また、モニタでシミュレーションを確認できます。以下のように選択することをお勧めします。

プリンタで高いカラー精度を得るために

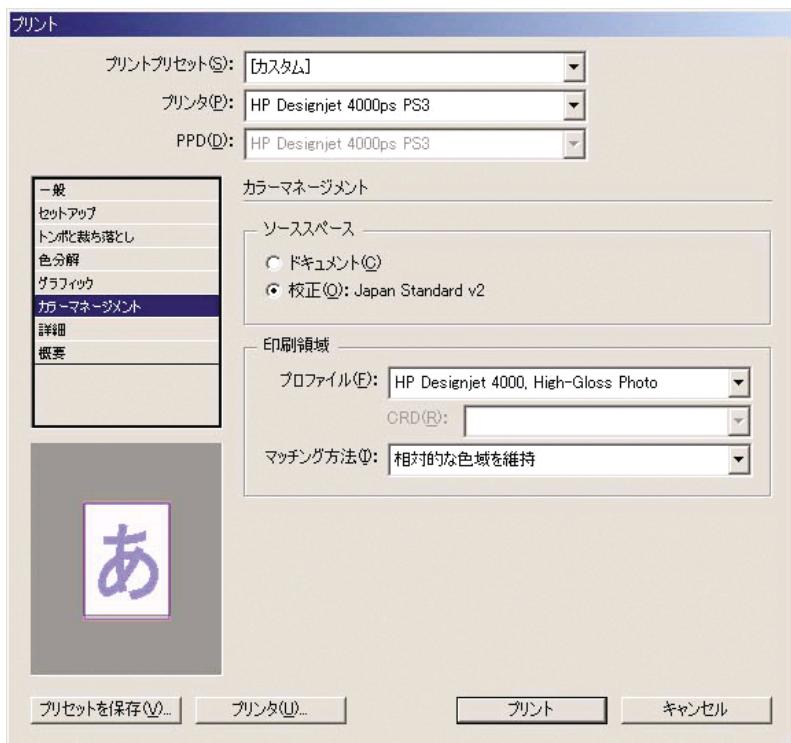


InDesignの各オブジェクトには、それぞれ固有のカラーマネージメントが設定されています。InDesign要素(ネイティブ)では、[カラーマネジメント]で定義した作業領域(デフォルトプロファイル)とマッチング方法が使用されます。配置されたオブジェクトには、それぞれプロファイルとマッチング方法が割り当てられます。各要素は、固有のマッチング方法で、それぞれのカラースペースからシミュレーションカラースペースに変換されます。

- [プロファイル] : エミュレートするデバイスに合わせてプロファイル(通常は特定のプレス プロファイルまたは標準のプレス プロファイル)を選択します。
- [白紙] : このチェック ボックスをオンにすると、用紙の白さがモニタでエミュレートされます。[マッチング方法] に [絶対的な色域を維持] を選択したときと同じ効果が得られます。
- [黒インキ] : このチェック ボックスをオンにすると、シミュレーションからモニタへのレンダリングでの黒点の補正がオフになります。シミュレーション スペースの黒がモニタの黒よりも明るい場合は、モニタにあせた黒が表示されます。このオプションの使用はお勧めできません。

4. [ファイル] - [プリント] をクリックしてイメージを印刷します。プリンタ、用紙の種類、印刷品質に応じて、イメージは出力スペースに変換されます。

- 左側のボックスから [色分解] を選択し、CMYKプロファイルを表示するために [コンポジットCMYK] を選択します。
- 左側のボックスから [カラーマネージメント] を選択し、以下のオプションを設定します。
- [ソーススペース] : [校正] を選択して、そのブルーフのカラースペースをエミュレートします。
- [プロファイル] : 使用するプリンタの機種、用紙の種類、印刷品質オプションに応じて、プロファイルを選択します。
- [マッチング方法] : [相対的な色域を維持] または [絶対的な色域を維持] を選択します。[絶対的な色域を維持] では、印刷機で使用される用紙の背景色がエミュレートされます。[相対的な色域を維持] では、印刷機の用紙の色がプリンタの用紙の色にマップされます。



ドライバの設定

ページレイアウト アプリケーションの場合、PostScript ドライバを使用することをお勧めします。CMYKデータ、RGBデータ、または両方を同時にカラー管理できます。

[プロパティ] ダイアログ ボックスの [用紙/品質] タブで、[印刷品質] を [高品質(最高画質)] に設定します。

[カラー] タブで、[アプリケーションで管理] を選択し、[自動PANTONE(R)キヤリブレーション] チェック ボックスをオンにします。アプリケーションによりカラーがプリンタのカラー スペースに変換された場合、プリンタは、これらのカラーを変更せずにそのまま受け入れます。上記の [プリント] ダイアログ ボックスで [プリントスペース] の [プロファイル] に適切なメディアプロファイルが選択されていることを確認してください。

プリントで高いカラー精度を得るために

プリンタの設定

フロントパネルの用紙の種類に、使用する用紙と同じ種類の用紙が選択されていることを確認します。

QuarkXPress 6で高いカラー精度を得るには

プリンタで印刷されるカラーの精度を高める方法は多数ありますが、このトピックでは、そのうちの1つについて概略を説明します。ここではハードプルーフについて説明します。ハードプルーフとは、印刷機で印刷したときのカラー再現状況をプリンタで印刷して確認するものです。開始する前に、使用する用紙の種類のキャリブレーションが済んでいることを確認してください。



注記 EPS、PDF、およびグレースケールイメージは、ページレイアウトアプリケーションでカラーを変更することはできません。また、これらのイメージはモニタ上ではきれいに表示されません。

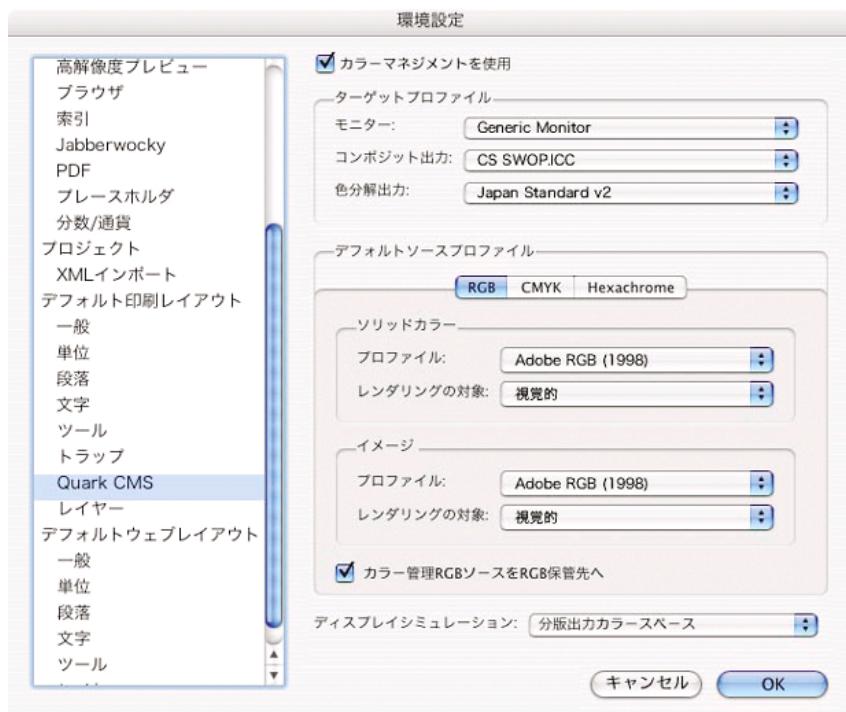
アプリケーションの設定

- QuarkXPressを開き、[編集]メニュー(Windows)または[QuarkXPress]メニュー(Mac OS)をクリックし、[環境設定]をクリックします。次に、[Quark CMS]を選択します。
 - [カラーマネジメントを使用]チェックボックスをオンにします。
 - [ターゲットプロファイル]エリアで、使用するデバイスに応じて、[モニター]、[コンポジット出力]、および[色分解出力]のプロファイルを選択します。[色分解出力]には、プリンタでエミュレートする出力デバイス(印刷機)のプロファイルを選択します。[コンポジット出力]には、使用するプリンタの機種、用紙の種類、印刷品質オプションに応じたプリンタプロファイルを選択します。
 - [デフォルトソースプロファイル]エリアでは、プロファイルの埋め込まれていないソリッドカラーとイメージのデフォルトプロファイルを設定します。各プロファイルには、以下のデフォルトプロファイルを選択することをお勧めします。[RGB]タブ:[Adobe RGB(1998)]、[CMYK]タブ:[U.S. Web Coated (SWOP) v2](米国の場合)または[Euroscale Coated v2](米国以外)。また、QuarkXpressでのすべての変換に使用されるレンダリング方法を、[レンダリングの対象]で選択します。レンダリング方法が不明な場合は、[相対カラー測定]を選択します。詳細は、「141ページの[レンダリング用途を設定するには]」を参照してください。
 - [デフォルトソースプロファイル]の[RGB]タブの[カラー管理RGBソースをRGB保管先へ]チェックボックスをオンにし、[CMYK]タブ

の【カラー管理CMYKソースをCMYK保管先へ】チェックボックスをオンにします。

- [ディスプレイスミュレーション]では、表示シミュレーションの方法を指定します。
 - [オフ]：表示シミュレーションを行いません。
 - [モニターカラースペース]：ソースプロファイルからディスプレイプロファイルへの変換を行う、表示のみのオプションです。
 - [コンポジット出力カラースペース]：コンポジットプリンタの表示シミュレーションを行います。インクジェットプリンタなど、カラーごとのプレートがないプリンタ用のオプションです。
 - [分版出力カラースペース]：色分解プリンタの表示シミュレーションを行います。デジタル印刷機など、カラーごとのプレートがあるプリンタ用のオプションです。

表示シミュレーションのみを行う場合は、[モニターカラースペース]を選択します。モニタで出力デバイスのシミュレーションを確認する場合は、[分版出力カラースペース]を選択します。最終出力のシミュレーションを、プリンタ(ハードプルーフ)とモニタ(ソフトプルーフ)で行うことができます。



プリンタで高いカラー精度を得るために

2. ドキュメントを開き、必要に応じて修正します。

3. [ファイル] - [印刷] - [設定] - [プリンタ記述] をクリックし、プリンタを選択します。
4. [ファイル] - [印刷] - [プロファイル] をクリックします。
 - [色分解] (エミュレーション用) および [コンポジット] (プリンタ用) で、適切な出力プロファイルを選択します。
 - シミュレーションを行う場合は、[コンポジット時に色分解をシミュレート] チェックボックスをオンにします。



注記 QuarkXpressの各オブジェクトには、それぞれ固有のカラー マネージメントが設定されています。ソリッド カラーでは、[環境設定] ダイアログ ボックスの [Quark CMS] の [デフォルトソースプロファイル] で選択した [ソリッドカラー] ([RGB] タブ、[CMYK] タブ、または [Hexachrome] タブ) のカラー プロファイルとレンダリング方法が使用されます。インポートしたオブジェクトには、それぞれプロファイルとレンダリング方法が割り当てられています。QuarkXPressでは、イメージ カラースペースからシミュレーション カラースペースへの変換と、シミュレーション カラースペースからプリンタ カラースペースへの変換の両方で、イメージに割り当てられているレンダリング方法が使用されます。

ドライバの設定

ページレイアウト アプリケーションの場合、PostScript ドライバを使用することが最適です。CMYKデータ、RGBデータ、または両方を同時にカラー管理できます。

[イメージ品質] パネルで、[印刷品質] を [高品質(最高画質)] に設定します。[カラー品質] パネルで、[アプリケーションで管理] を選択し、[自動 PANTONE(R)キャリブレーション] チェックボックスをオンにします。アプリケーションによりカラーがプリンタのカラースペースに変換された場合、

プリンタは、これらのカラーを変更せずにそのまま受け入れます。[環境設定] ダイアログ ボックスの [コンポジット出力] で適切なメディア プロファイルが選択されていることを確認してください。

プリンタの設定

フロントパネルの [用紙の種類] に、使用する用紙と同じ種類の用紙が選択されていることを確認します。

Autodesk AutoCAD 2002で高いカラー精度を得るには

AutoCADにはカラー マネージメント設定がないため、ドライバを適切に設定する必要があります。HP-GL/2 & RTL ドライバを使用している場合は、[プロパティ] ボタンをクリックし、以下のようにドライバを設定します。

- [用紙/品質] タブで、[印刷品質] を [高品質(最高画質)] に設定します。
- [カラー] タブで、[グレースケールで印刷] チェック ボックスをオフにし、[カラー マッチングの方式] を [sRGB] に設定します。

Microsoft Office 2003で高いカラー精度を得るには

Microsoft Officeにはカラー マネージメント設定がないため、ドライバを適切に設定する必要があります。HP-GL/2 & RTL ドライバを使用している場合は、[プロパティ] ボタンをクリックし、以下のようにドライバを設定します。

- [用紙/品質] タブで、[印刷品質] を [高品質(最高画質)] に設定します。
- [カラー] タブで、[グレースケールで印刷] チェック ボックスをオフにし、[カラー マッチングの方式] を [sRGB] に設定します。

ESRI ArcGIS 9で高いカラー精度を得るには

ArcGISは、地図データの作成、管理、統合、分析、および配布に使用するスケーラブルなソフトウェア システムです。個人ユーザからネットワークで接続された各国ユーザに至るまで、あらゆる組織に対応しています。

このアプリケーションでは、RGBデータが常にプリンタ ドライバに送信されます。ユーザは複数のプリンタ エンジンから使用するエンジンを選択できます。プリンタ エンジンにより、ArcMapがプリンタ ジョブをプリンタに送信するときの形式と方法が決定されます。ライセンスとプリンタの設定に応じて、1種類から3種類のオプションを使用できます。

- [Windows] : デフォルトです。使用するプリンタに関係なく、いつでも使用できます。インストールされているHP-GL/2 & RTL ドライバを使用できます。
- [PostScript] : プリンタがPostScriptをサポートしており、[Name] セクションでPostScript ドライバが選択されている場合にのみ、使用できます。この場合は、ファイルをPostscriptファイルとして出力できます。

プリンタで高いカラー精度を得るには

このオプションは、特定の状況では便利ですが、通常の使用にはお勧めできません。

- **[ArcPress]** : ArcGISの印刷用拡張機能です。別途購入が必要です。これはソフトウェアRIPで、元のメタファイルをプリンタに送信する前にラスタデータに変換します。従って、プリンタでラスタデータに変換する必要がなくなります。プリンタにラスタデータへの変換機能がないか、プリンタに大きなジョブを処理できるだけのメモリがない場合に便利です。ArcPressは常にHP RTL (RGB) TrueColorで使用します。

Windowsプリンタ エンジンを使用した印刷

1. HP-GL/2 & RTL ドライバがインストールされていることを確認します。
2. 印刷する準備ができたら、[ファイル] - [ページ設定/印刷設定] をクリックし、HP-GL/2 & RTL ドライバを選択します。



- [プロパティ] ボタンをクリックし、以下のようにドライバを設定します。
 - [用紙/品質] タブで、[印刷品質] を [高品質(最高画質)] に設定します。
 - [カラー] タブで、[グレースケールで印刷] チェック ボックスをオフにし、[カラー マッチングの方式] を [sRGB] に設定します。
- [OK] ボタンをクリックします。

5. [ファイル] - [印刷] をクリックします。

- [プリンタ エンジン] : [Windows Printer] を選択します (選択したラスター ドライバが使用されます)。
- [出力画像の品質 (リサンプリング率)] : ArcMapの印刷ファイル生成時のサンプル ピクセル数を変更します。また、プリンタに送信するファイルの作成に使用される、地図ドキュメントのピクセル数を指定します。
 - 粗い(速い) = 1:5
 - 標準 = 1:3
 - 精密(遅い) = 1:1 (そのまま)

[精密(遅い)] を選択すると、印刷ジョブの処理に大量のリソースを消費します。地図のサイズによっては、処理の完了に時間がかかるか、メモリ不足を示すメッセージが表示される場合があります。このような場合は、[出力画像の品質] を [精密(遅い)] よりも低くしてください。プリンタの入力解像度より高い解像度のイメージを送信しても、印刷品質が向上するわけではありませんので、注意してください。



プリントで高いカラー精度を得るには

6. [OK] ボタンをクリックして、印刷を開始します。

ArcPressプリンタ エンジンを使用した印刷

- 必要なドライバがインストールされていることを確認します。ただし、このドライバはポートとしてのみ機能します。

- 印刷する準備ができたら、[ファイル] - [ページ設定/印刷設定] をクリックします。ドライバを選択し(ドライバの設定は影響しません)、[OK] ボタンをクリックします。
- [ファイル] - [印刷] をクリックします。
 - [プリンタ エンジン] : [ArcPress プリンタ] を選択します。
 - [プロパティ] ボタンをクリックします。HP RTL (RGB) TrueColor ドライバを選択し、ドライバに送信される解像度を選択します。



- ガンマ、明るさ、コントラスト、または彩度を調整する場合は、[色調整] タブを選択します。変更結果はプレビューで確認できます。



プリントで高いカラー精度を得るには

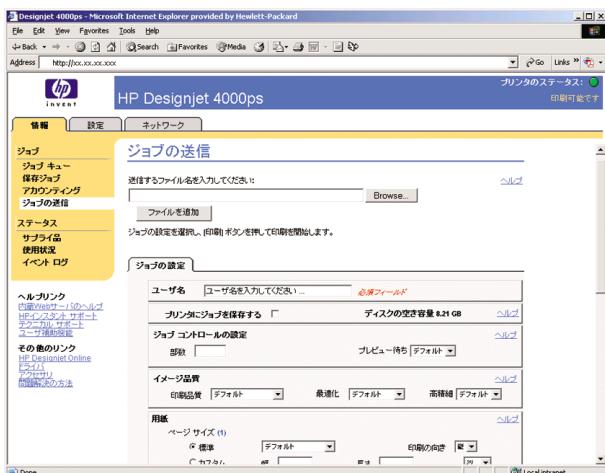
4. [OK] ボタンをクリックして、このダイアログ ボックスを閉じます。

9 印刷ジョブを管理するには

- 163 ページの [ジョブを送信するには]
- 164 ページの [ジョブを保存するには]
- 164 ページの [保存したジョブを印刷するには]
- 164 ページの [ジョブのインクと用紙の使用状況を確認するには]
- 165 ページの [ジョブをキャンセルするには]
- 165 ページの [印刷キューを管理するには]
- 167 ページの [ジョブをネスティングしてロール紙を節約するには]

ジョブを送信するには

1. 内蔵Webサーバにアクセスします(詳細は、「77 ページの [内蔵Webサーバにアクセスするには]」を参照してください)。
2. [ジョブの送信] ページに移動します。



3. [参照] でコンピュータ内を移動し、印刷するファイルを選択します。



注記 内蔵Webサーバ経由でジョブを送信して印刷する場合は、プリンタ ドライバは必要ありません。また、ファイルのネイティブ アプリケーションがコンピュータにインストールされている必要もありません。

4. 複数のファイルを送信する場合は、[ファイルを追加] ボタンをクリックして、ファイルを追加します。

5. ジョブのオプションを設定します。
オプションを【デフォルト】のままにした場合、ジョブに保存されている設定が使用されます。ジョブにオプションが設定されていない場合は、プリンタの設定が使用されます。プリンタの設定はフロントパネルから変更できます。内蔵Webサーバの【デバイスの設定】ページで変更できる場合もあります。
6. 【印刷】ボタンをクリックします。

ジョブを保存するには

ジョブ設定(サイズや品質など)を後で変更してジョブを再印刷する場合は、ジョブをプリンタに保存しておくと再送信する必要がなくなります。



注記 変更せずに再印刷する場合は、ジョブを保存しなくても印刷のキューから再印刷できます。

ジョブは、印刷のために送信中のときのみ保存できます。

1. 内蔵Webサーバにアクセスします(詳細は、「77ページの【内蔵Webサーバにアクセスするには】」を参照してください)。
2. 【ジョブの送信】ページに移動します。
3. [参照]でコンピュータ内を移動し、印刷するファイルを選択します。
4. 複数のファイルを送信する場合は、【ファイルを追加】ボタンをクリックして、ファイルを追加します。同時に送信されるファイルは、すべて同じジョブ設定になります。
5. ジョブの設定で、【プリンタにジョブを保存する】オプションを選択することをお勧めします。
6. 他のジョブオプションも設定します。
7. 【印刷】ボタンをクリックします。

保存したジョブを印刷するには

1. 内蔵Webサーバにアクセスします(詳細は、「77ページの【内蔵Webサーバにアクセスするには】」を参照してください)。
2. 【保存ジョブ】ページに移動します。
3. 各ジョブ名の横にあるチェックボックスをオンにして、印刷するジョブを選択します(複数可)。
4. 【印刷】ボタンをクリックして、ジョブを元の設定で印刷します。または、【印刷の詳細設定】をクリックして、設定を変更します。

ジョブのインクと用紙の使用状況を確認するには

1. 内蔵Webサーバにアクセスします(詳細は、「77ページの【内蔵Webサーバにアクセスするには】」を参照してください)。

- [アカウンティング] ページに移動します。プリンタで最近印刷されたジョブの情報がすべて表示されます。
- または、[ジョブ キュー] ページに移動し、情報を確認するジョブの名前をクリックします。ジョブのプロパティ ページが表示されます。

ジョブをキャンセルするには

ジョブはキャンセルすることができます。それには、フロントパネルの キャンセル ボタンを押すか、内蔵Webサーバでジョブを選択し、[キャンセル] アイコンを選択します。

印刷終了時と同じように用紙が排出されます。

 **注記** 複数ページのジョブや大きいファイルの場合、他のファイルよりも印刷が停止するまでに時間がかかります。

印刷キューを管理するには

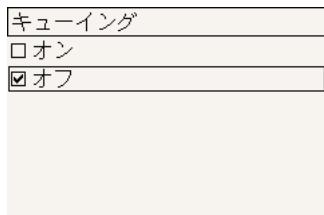
ここに記載された情報は、プリンタに同梱のドライバかまたは内蔵Webサーバを使用して印刷ジョブを送信する場合にのみ該当します。

このプリンタでは、現在のページの印刷中に他のページをキューに保存することができます。キューには複数のジョブのページを保存できます。

 **注記** ジョブを印刷中にプリンタが停止した際、キュー機能がオンになっている場合は、一部しか印刷されていないジョブはプリンタが再起動したとき、キューに「一時停止しています」と表示されます。ジョブを再開すると、中断されたページから印刷が開始されます。

キューをオフにする

必要に応じてキューをオフにすることができます。内蔵Webサーバで、[設定] タブ - [デバイスの設定] - [キューイング] を選択します。または、フロントパネルで、 アイコンを選択して [キューイング] を選択します。



[印刷の開始] オプション

 **注記** [印刷の開始] オプションは、PostScriptジョブでは使用できません。

キューにあるファイルの印刷を開始する時期を選択できます。内蔵Webサーバで、[設定]タブ - [デバイスの設定] - [印刷の開始]を選択します。または、フロントパネルで、アイコンを選択して [印刷の開始] を選択します。

選択できるオプションは3つあります。

- **[処理後]**：ページ全体の処理が終わってから印刷が開始されます。処理速度は最低で、印刷品質は最高になります。
- **[すぐに]**：ページを処理しながら印刷が行われます。処理速度は最高ですが、データ処理のため印刷が途中で停止することがあります。濃色を使用した複雑なイメージにはお勧めできません。
- **[最適化]**：デフォルトの設定です。ページの印刷開始に最適な時期をプリントタガ算出します。通常、[処理後] および [すぐに] の中間に位置する設定になります。

キュー内のジョブを識別する

キューの内容を確認するには、内蔵Webサーバ ([情報] - [ジョブキュー]) を使用するのが最適です。キューの管理や、各ジョブの詳細情報の確認を行うことができます (情報を確認するには、ファイル名をクリックします)。

また、キューはフロントパネルから管理することもできます。フロントパネルからキューを管理するには、アイコンを選択して [キューの管理] を選択します。キュー内のジョブの一覧が表示されます。

各ジョブには識別子が付いていて、以下の形式で表示されます。

<キュー内の位置>: <イメージ名>

現在印刷中のジョブは、位置が「0」になります。次に印刷されるジョブは「1」、直前に印刷されたジョブは「-1」になります。

キュー内のジョブに優先順位を付ける

キュー内の任意のジョブを次に印刷されるように指定するには、ジョブを選択して [再印刷] (内蔵Webサーバ) または [キューの先頭に移動する] (フロントパネル) を選択します。

ネスティングがオンになっている場合は、優先させたジョブも他のジョブと一緒にネスティングに残ります。このジョブのみを次に印刷するには、ネスティングをオフにしてから、上記の手順でジョブをキューの先頭に移動します。

ジョブをキューから削除する

通常は、印刷後にジョブをキューから削除する必要はありません。新しいファイルが送信されると、ジョブはキューの末尾から自動的に削除されます。ただし、ファイルを間違って送信し、これは印刷しないという場合は、その

ファイルを削除することができます。ファイルを選択して [削除] (内蔵Webサーバまたはフロントパネル) を選択します。

同じ方法で、まだ印刷されていないジョブを削除することもできます。

現在印刷中のジョブ (内蔵Webサーバでステータスが[印刷しています]、またはフロントパネルでキューの位置が「0」のジョブ) をキャンセルして削除するには、内蔵Webサーバで [キャンセル] アイコンをクリックするか、フロントパネルの キャンセル ボタンを押し、次にジョブをキューから削除します。

キュー内のジョブのコピーを作成する

キュー内のジョブのコピーを作成するには、内蔵Webサーバでジョブを選択し、[再印刷] アイコンをクリックして、部数を指定します。ジョブがキューの先頭に移動します。

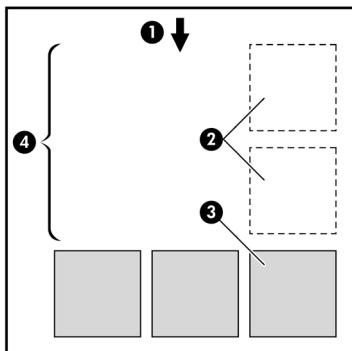
この作業はフロントパネルから行うこともできます。フロントパネルで [部数] を選択し、部数を指定して 選択(チェックマーク) ボタンを押します。上記の設定は、ソフトウェアで指定された値より優先されます。

 **注記** [回転] が [オン] になっている場合は、各コピーもすべて回転した状態で印刷されます。

ジョブの印刷が終了している場合は、[キューの先頭に移動する] を使用して、ジョブをキューの先頭に移動します。

ジョブをネスティングしてロール紙を節約するには

ネスティングとは、ページを順々にではなく並べて用紙に配置することができます。これにより、用紙を節約することができます。



1. 用紙送りの方向
2. ネスティングがオフ
3. ネスティングがオン
4. ネスティングによって節約された用紙

プリンタがページをネスティングする場合

次の両方に当てはまる場合に、ページがネスティングされます。

- プリンタにカット紙ではなくロール紙が取り付けられている。
- フロントパネルの [ジョブ管理] メニューまたは内蔵Webサーバの [デバイス設定] ページで、[ネスティング] がオンになっている。

ネスティングが可能なページ

ページが大きすぎてロール紙に並べて収まらない場合を除いて、すべてのページをネスティングできます。

ネスティングに適したページ

同じネスト内にページを入れるには、個々のページが次のすべてに当てはまる必要があります。

- すべてのページが同じ品質設定 ([高速(ドラフト)]、[標準(高画質)]、または [高品質(最高画質)]) になっている。
- すべてのページで、[描画/テキスト] が最適化されているか、または [イメージ] が最適化されている。
- すべてのページの [高精細] 設定が同じである。
- すべてのページの [マージン] 設定が同じである ([広い]、または [ふつう])。
- すべてのページの [左右反転] 設定が同じである。
- すべてのページの [レンダリング用途] 設定が同じである。
- すべてのページの [カッター] 設定が同じである。
- すべてのページのカラー調整が同じである。これらの設定は、Windows ドライバでは [カラー詳細設定]、Mac OS ドライバでは [CMYK設定] と呼ばれています。
- ページがすべて同じカラーか、すべてグレースケールである（一部がカラー、一部がグレースケールではない）。
- すべてのページが次の2つのグループのいずれかに属している（2つのグループは同じネストに混在できない）。
 - HP-GL/2、RTL、CALS G4
 - PostScript、PDF、TIFF、JPEG
- 解像度が300dpiを超えるJPEG、TIFF、およびCALS G4ページは、他のページとネスティングできない場合がある。

プリンタが別のファイルを待機する時間

プリンタはネスティングを最適化できるように、ファイルを受け取ってから待機して、その後に続くページがファイルにネスティングされているか、既にキューに入っているページにネスティングされているかを確認します。この待機時間は、ネスティング待ち時間と呼ばれます。工場出荷時のデフォルトのネスティング待ち時間は、2分です。つまり、プリンタは、最後のファイ

ルを受け取ってから、最後のネストを印刷するまでに最大2分間待機することになります。この待ち時間は、プリンタのフロントパネルから変更できます。アイコンをクリックして、[ネスティングの設定] - [待ち時間] を選択します。使用可能な範囲は、1~99分です。

プリンタがネスティングのタイムアウトまで待機している間、残り時間がフロントパネルに表示されます。ネストの印刷(ネスティング待機のキャンセル)は、**キャンセルボタン**を押すことで実行できます。

10 プリンタの保守を行うには

- 171 ページの [プリンタの外側のクリーニングを行うには]
- 171 ページの [プラテンのクリーニングを行うには]
- 174 ページの [プリントヘッド キャリッジを潤滑にするには]
- 175 ページの [インクカートリッジの保守を行うには]
- 175 ページの [プリンタを移動または保管するには]
- 175 ページの [プリンタのファームウェアをアップデートするには]

プリンタの外側のクリーニングを行うには

プリンタの外側や、通常の操作で触れるその他の部分 (インクカートリッジの引き出し用のハンドルなど) のクリーニングを行います。必要に応じて、湿らせたスポンジや柔らかい布と、研磨剤の入っていない液状の石鹼など、刺激の少ない家庭用洗剤を使用します。

⚠ 警告 感電を防ぐために、クリーニングの前に、プリンタのスイッチがオフになっていて、電源コードが抜いてあることを確認してください。プリンタ内部に水が入らないようにしてください。

△ 注意 プリンタに研磨剤入り洗剤を使用しないでください。

プラテンのクリーニングを行うには

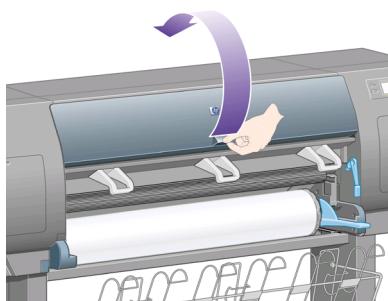
数か月ごとに、または必要に応じて定期的に、プリンタのプラテンのクリーニングを行う必要があります。

筆記 特定の用紙をしばらく使用した後で、それより幅の広い用紙に印刷を行うと、プラテンの左側が汚れ、クリーニングしないとインクが用紙の裏面に残る場合があります。

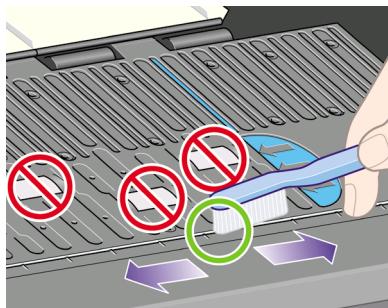
以下の手順に従って、プラテンのクリーニングを行います。

1. プリンタからすべての用紙を取り外します。
2. ウィンドウを開きます。

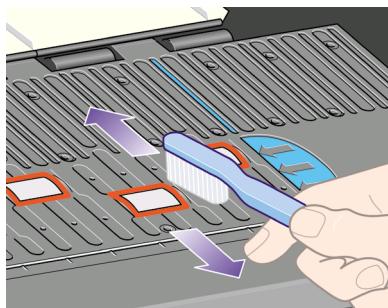
プリンタの保守を行うには



- 乾いたブラシで、カッターの溝からインクの付着を取り除きます。

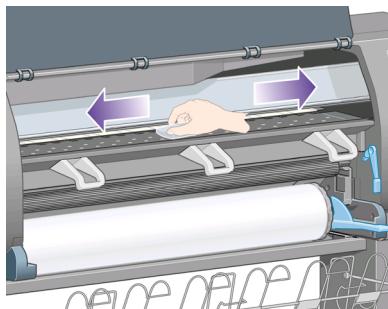


- 同じ乾いたブラシで、プラテンの表面からインクの付着を取り除きます。



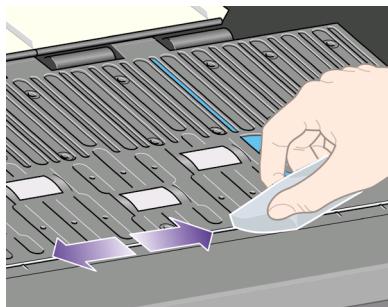
- 吸収性のあるきれいな柔らかい布に、イソプロピル アルコールを少し付けて、プラテンから落ちたインクの付着を拭き取ります。

 **注記** イソプロピル アルコールは、メンテナンス キットに含まれていません。

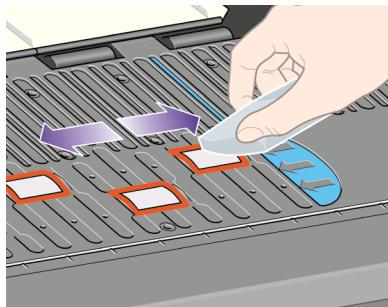


△ 注意 市販の洗剤や研磨剤入り洗剤は使用しないでください。 プラテンに水分が残るため、プラテンを直接濡らさないでください。 また、ラバー ホイールを濡らさないでください(布の使用も不可)。

6. 湿った布で、カッターの傾斜面のクリーニングを行います。



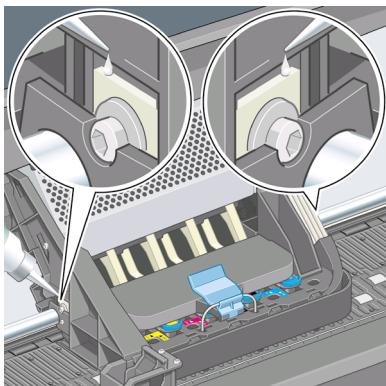
7. 乾いた布で、ホイールの露出している部分のクリーニングを行います。 できれば、このホイールの周辺全体のクリーニングを行ってください。



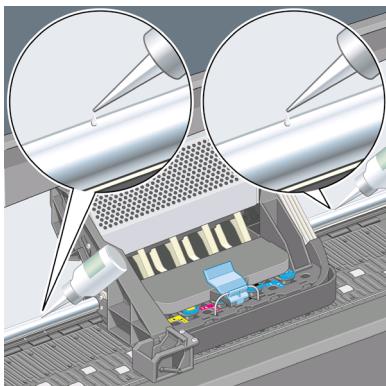
プリントヘッド キャリッジを潤滑にするには

プリントヘッド キャリッジは、年に1度程度、潤滑油をさして、スライダ ロッドがスライドしやすいようにします。

1. キャリッジを所定の位置に移動するには、フロントパネルで  アイコンを選択し、次に [プリントヘッド] - [プリントヘッドの交換] を選択します。キャリッジがプリントタの中央部分にスライドします。
-  **注意** キャリッジは、プリントタの中央部分に移動してから7分以上そのまま放置されると、右端の通常の位置に戻ります。
2. プリンタに付属のメンテナンス キットから、潤滑油を取り出します。必要に応じて、交換用のキットを注文できます。
3. ウィンドウを開き、キャリッジの両側のパッドに、数滴の潤滑油をさします。



4. キャリッジの両側のスライダ ロッドに直接、数滴の潤滑油をさします。



インクカートリッジの保守を行うには

インクカートリッジは、通常の使用期間内であれば特別な保守は必要ありません。ただし、最高の印刷品質を維持するため、使用期限に達したカートリッジは交換してください。

プリンタを移動または保管するには

プリンタを移動したり、長期間保管する必要がある場合は、適切な準備作業を行い、プリンタの損傷を防ぐ必要があります。プリンタの準備作業を行うには、以下の手順に従います。

1. インクカートリッジ、プリントヘッド、またはプリントヘッドクリーナーは取り外さないでください。
2. 用紙が取り付けられていないことを確認します。
3. プリントヘッドキャリッジが、プリンタ右端のサービスステーションにあることを確認します。
4. フロントパネルに、[印刷可能です]と表示されていることを確認します。
5. フロントパネルの電源ボタンを押して、電源をオフにします。
6. プリンタの背面にある電源スイッチもオフにします。
7. プリンタに接続されているケーブルをすべて取り外します。
8. 元の梱包材でプリンタを梱包します。

プリンタのファームウェアをアップデートするには

プリンタのさまざまな機能は、プリンタ内のソフトウェアによって制御されています。このソフトウェアは、ファームウェアとも呼ばれます。

ファームウェアのアップデートは、隨時、Hewlett-Packardから入手することができます。このアップデートにより、プリンタの性能が向上し、プリンタの機能が拡張されます。ファームウェアは、内蔵Webサーバの【ファームウェアのアップデート】ページ（【設定】タブにあります）を使用して、インターネットからダウンロードしてプリンタにインストールすることができます。

プリンタの接続にTCP/IPを使用していない（USBまたはAppleTalkを使用している場合など）ために内蔵Webサーバを使用できない場合は、次のWebページからファームウェアのアップデートとインストール ソフトウェアを入手できます。

- <http://www.hp.com/support/designjet/fw4000/> または
- <http://www.hp.com/support/designjet/fw4000ps/>

プリントの保守を行うには

11 イメージ診断印刷を使用するには

- 177 ページの [イメージ診断印刷を印刷するには]
- 178 ページの [イメージ診断印刷を使用するには]
- 178 ページの [イメージ診断パート1を使用して問題を特定するには]
- 180 ページの [イメージ診断パート2を使用して問題を特定するには]
- 183 ページの [イメージ診断パート3を使用して問題を特定するには]
- 184 ページの [問題が解決されない場合には]

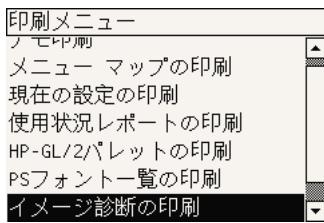
イメージ診断印刷を印刷するには

イメージ診断印刷では、印刷品質の問題を明確にするためのパターンが印刷されます。これを使用すると、印刷品質に問題があるかどうかを確認し、問題がある場合は、問題の原因と解決方法を特定できます。

イメージ診断印刷を使用する前に、適切な印刷品質設定を使用しているかどうか確認してください(詳細は、「129 ページの [印刷品質設定を選択するには]」を参照してください)。

イメージ診断印刷を印刷するには、以下の手順に従います。

1. A3サイズ (29.7 × 42cm = 11.7 × 16.5インチ) 以上の用紙がプリンタに取り付けられていることを確認してください。問題が検出された時と同じ用紙の種類を使用します。
2. フロントパネルに、問題が検出された時と同じ印刷品質が設定されていることを確認します(詳細は、「129 ページの [印刷品質を変更するには]」を参照してください)。イメージ診断印刷では、[描画/テキスト] と [イメージ] の違いは、[イメージ]の方がパート2で多くのインクを使用するため、色が暗くなるという点のみです。
[イメージ] を選択した場合、印刷には2分15秒かかります。[描画/テキスト] を選択した方が、印刷時間が短くなる場合があります。ただし、これは用紙の種類により異なります。
3. プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に [情報メニュー] - [印刷メニュー] - [イメージ診断の印刷] - [描画/テキスト] または [イメージ] を選択します。



プリンタが印刷可能になったら、「178 ページの [イメージ診断印刷を使用するには]」を参照してください。

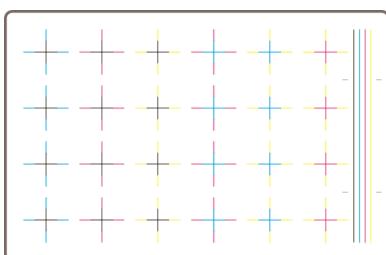
イメージ診断印刷を使用するには

イメージ診断印刷は、番号が付いた3つのパートに分かれています。

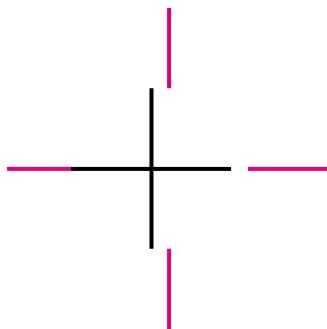
1. パート1では、プリントヘッドの軸合わせのテストが行われています。
詳細は、「178 ページの [イメージ診断パート1を使用して問題を特定するには]」を参照してください。
2. パート2では、プリントヘッドの動作と用紙送り機構がテストされています。
詳細は、「180 ページの [イメージ診断パート2を使用して問題を特定するには]」を参照してください。
3. パート2でプリントヘッドに問題があると確認された場合、パート3では、8つのプリントヘッドのどれに問題があるのかが特定されます。
詳細は、「183 ページの [イメージ診断パート3を使用して問題を特定するには]」を参照してください。
パート2で何も問題が確認されなかった場合は、パート3の内容は無視してください。

イメージ診断パート1を使用して問題を特定するには

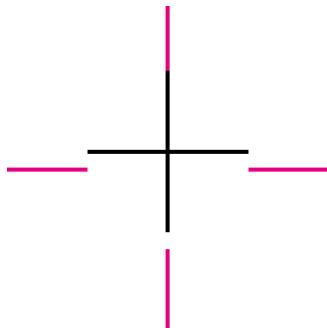
パート1では、カラーの軸合わせおよび両方向の軸合せの問題を確認します。



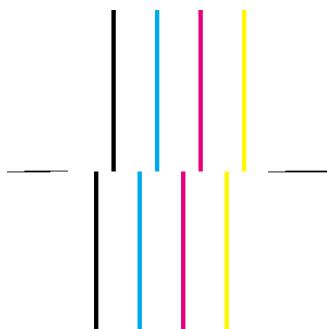
水平方向の軸合わせ不良がある場合、次のように表示されます。



垂直方向の軸合わせ不良がある場合、次のように表示されます。



両方向の軸合わせ不良がある場合、次のように表示されます。



イメージ診断印刷を使用するには

補正処理

- 可能であれば、印刷品質が不適切だったときと同じ用紙の種類を使用して、プリントヘッドの軸合わせを行います（一部の用紙はプリントヘッドの軸合わせに適していません）。詳細は、「120 ページの [プリントヘッドの軸合わせを行うには]」を参照してください。

- 印刷品質が改善されない場合は、カスタマ サービスにお問い合わせください。

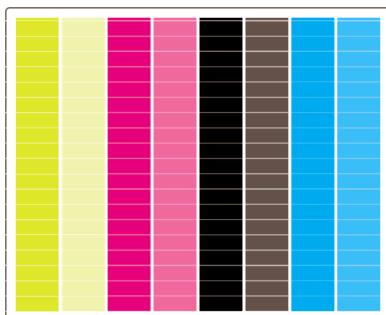
イメージ診断パート2を使用して問題を特定するには

パート2では、プリントヘッドおよび用紙送りの機構が正しく動作しているかどうかを確認できます。このパートは、色の一貫性や精度の確認には使用しないでください。

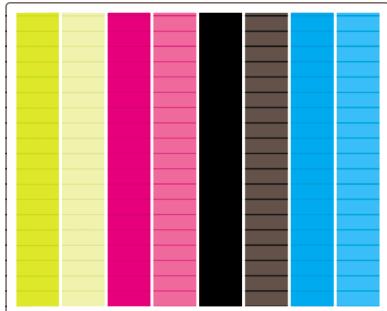


帯状のムラ

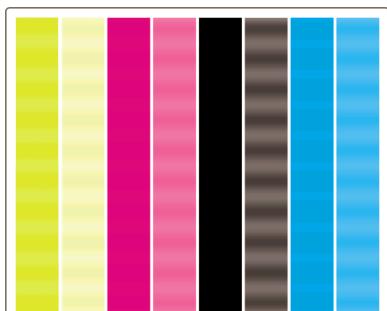
帯状のムラは、印刷したイメージに水平方向の帯状のムラが繰り返し表示される場合に発生します。次のように、薄い帯状のムラが表示される場合があります。



次のように、濃い帯状のムラが表示される場合もあります。



または、次のように、段階的な波状のムラが表示される場合もあります。

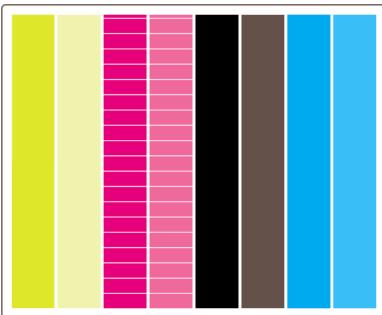


特定の色にのみ表示される水平方向の帯状のムラ

プリントヘッドに問題があると、特定の色にのみ、水平方向の帯状のムラが表示されます。または、特定の色に表示される水平方向のムラが、他の色のムラよりも顕著に表示されます。



注記 グリーンに表示されるムラはあまり目立ちません。このムラは、イエローのプリントヘッドまたはシアンのプリントヘッドに原因がある場合があります。グリーンにのみ帯状のムラが表示される場合は、イエローのプリントヘッドが原因です。グリーンとシアンに帯状のムラが表示される場合は、シアンのプリントヘッドが原因です。



補正処理

- 適切な印刷品質設定を使用しているかどうか確認してください。 詳細は、「129 ページの [印刷品質設定を選択するには]」を参照してください。
- プリントヘッドをクリーニングします。 詳細は、「114 ページの [プリントヘッドを修復(クリーニング)するには]」を参照してください。
- もう一度、イメージ診断印刷を実行してください。 それでもムラが表示される場合は、手順4、5に進んでください。
- 色ごとに2つのプリントヘッドがあるため、イメージ診断印刷のパート3を見て、どのプリントヘッドに問題があるかを確認します。 詳細は、183 ページの [パート 3]を参照してください。
- 問題があるプリントヘッドを交換してください。 詳細は、「107 ページの [プリントヘッドを取り外すには]」および「111 ページの [プリントヘッドを取り付けるには]」を参照してください。

すべての色に表示される水平方向の帯状のムラ

プリンタの用紙送りに問題がある場合、すべての色で水平方向の帯状のムラが発生します。



注記 グリーンに表示されるムラは、あまり目立ちません。

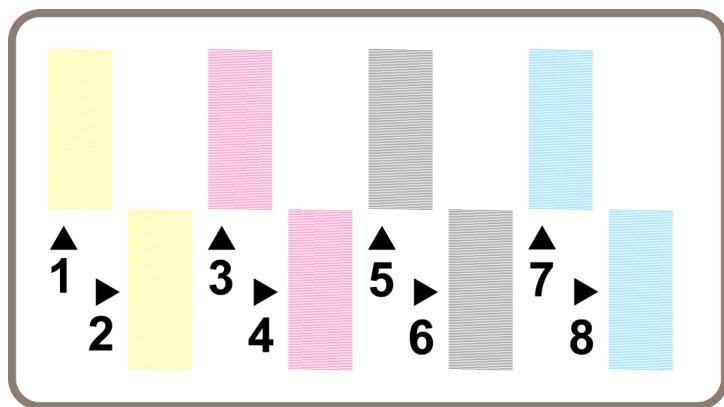
補正処理

- 適切な印刷品質設定を使用しているかどうか確認してください。 詳細は、「129 ページの [印刷品質設定を選択するには]」を参照してください。
- 低品質の用紙を使用している場合は、高品質の用紙に変更してみてください。 プリンタのパフォーマンスは、推奨されている用紙を使用する場合にのみ保証されます。 詳細は、「96 ページの [サポートされている用紙の種類を選択するには]」を参照してください。

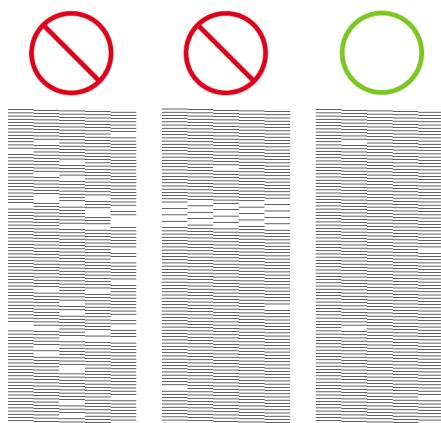
- 最終印刷に使用するのと同じ用紙の種類で、拡張精度キャリブレーションを実行します。詳細は、「185ページの[拡張精度キャリブレーションを実行するには]」を参照してください。
- 印刷品質が改善されない場合は、カスタマサービスにお問い合わせください。

イメージ診断パート3を使用して問題を特定するには

パート2でプリントヘッドに問題があることを確認した場合、パート3では、特定のプリントヘッドに問題があるかどうかを確認します。このプロットの各長方形には、印刷したプリントヘッドの番号のラベルが付いています。



以下の3つは、黒い長方形の1つを拡大したものです、細い線が長方形を形成していることが分かります。



上の図のうち左の2例は、印刷されない線が多くあるため、プリントヘッドに問題がある可能性があります。左から3番目の例の場合、わずかに数行が欠けていますが、プリンタにより問題が補正されるためプリントヘッドに問題はありません。

補正処理

パート3でプリントヘッドの問題を検出し、パート2では問題がなかった場合は、ただちに補正処理を行う必要はありません。これは、プリンタによって問題が補正され印刷品質が維持されているためです。ただし、パート2でも問題を検出した場合は、以下の手順に従います。

1. プリントヘッドをクリーニングします。 詳細は、「114 ページの [プリントヘッドを修復 (クリーニング) するには]」を参照してください。
2. 印刷品質が改善されない場合は、問題があるプリントヘッドを交換してください。 詳細は、「107 ページの [プリントヘッドを取り外すには]」および「111 ページの [プリントヘッドを取り付けるには]」を参照してください。

問題が解決されない場合には

イメージ診断印刷の処理全体では不具合が検出されなかつてもかかわらず、印刷品質に問題がある場合は、以下の点を確認してください。

- 印刷品質オプションを今より高いレベルにしてみます。 詳細は、「129 ページの [印刷品質設定を選択するには]」および「129 ページの [印刷品質を変更するには]」を参照してください。
- 印刷に使用しているドライバを確認します。 HP製以外のドライバの場合は、<http://www.hp.com/go/designjet/> にアクセスして、適切なHP ドライバをダウンロードしてください。
- HP製以外のRIPを使用している場合、設定が不適切である可能性があります。 RIPに付属のマニュアルを参照してください。
- プリンタのファームウェアが最新版かどうかを確認します。 詳細は、「175 ページの [プリンタのファームウェアをアップデートするには]」を参照してください。
- ソフトウェア アプリケーションが正しく設定されているかどうかを確認します。
- 問題がページの上部でのみ発生する場合は、「198 ページの [印刷の開始近くで不具合が発生する]」を参照してください。

12 拡張精度キャリブレーションを実行するには

プリンタは出荷時にキャリブレーションが行われているため、サポートされている用紙であれば、通常の環境条件では高い精度で用紙を送ります。ただし、状況によっては、キャリブレーションを行ったほうがよい場合があります。

- サポートされていない用紙：他のメーカーから提供されている厚さや硬さの異なる用紙を使用する場合は、キャリブレーションを行うと効果的な場合があります。HPの推奨用紙を使用すると、最高の印刷品質を実現できます（「96 ページの [サポートされている用紙の種類を選択するには]」を参照してください）。
- 通常と異なるが安定した環境条件：温度または湿度（「253 ページの [動作環境の仕様について]」を参照）が通常と異なるものの、安定した条件下で印刷する場合は、キャリブレーションが効果的です。

ただし、拡張精度キャリブレーションは、イメージ品質に関する問題があり、適切なトラブルシューティング手順がすでに実行されていることを前提とした機能です。特に問題がない場合は、キャリブレーションを実行する必要はありません。

拡張精度キャリブレーションを実行する前に、イメージ診断印刷を使用して、プリントヘッドの軸合わせが正しく行われていることを確認してください（「177 ページの [イメージ診断印刷を印刷するには]」を参照してください）。



注記 理論上は、拡張精度キャリブレーションによって印刷品質が向上するはずです。ただし、キャリブレーションを実行しても品質が向上しない場合は、誤った用紙送り設定を選択したために、出力品質が低下している可能性があります。この場合は、フロントパネルで または アイコンを選択し、次に [**拡張精度キャリブレーション**] - [**描画/テキスト**] または [**イメージ**] - [**パターンの選択**] - [**工場出荷時のデフォルト**] を選択します。

キャリブレーション処理の概要

1. フロントパネルを使用して、プリンタに保存されているカラー パターンを7回印刷します。7回とも異なる用紙送り設定を使用します。
2. どのパターンが最も正常に印刷されたかを判断します。
3. フロントパネルを使用して、最適なパターンおよび今後使用される用紙送り設定をプリンタに通知します。



注記 1 フロントパネルに表示される用紙の種類ごとに用紙送りの設定が異なるため、キャリブレーションは個別に実行する必要があります。

拡張精度キャリブレーションを実行するには

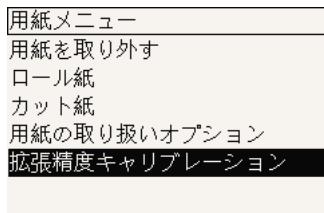
す。特定の用紙の種類のキャリブレーションが行われる場合、他の用紙の種類の設定はどれも影響を受けません。

注記 2 [最適化：描画/テキスト] および [最適化：イメージ] ではそれぞれ別の用紙送り設定が行われるため、キャリブレーションは個別に実行する必要があります。

注記 3 メーカーが異なる用紙は、同じ種類であっても、それぞれ別の用紙送り設定が必要な場合があります。そのため、キャリブレーションを行っていない用紙に対しては、その設定が効果的でない場合もあります。キャリブレーションを実行すると、その用紙の前の用紙送りの設定が上書きされます。

キャリブレーション処理の詳細

1. 印刷に使用する用紙をプリンタに取り付けます。幅41cm(16インチ)、長さ75cm(30インチ)以上の用紙を使用してください。
2. または アイコンを選択し、次に [拡張精度キャリブレーション] を選択します。

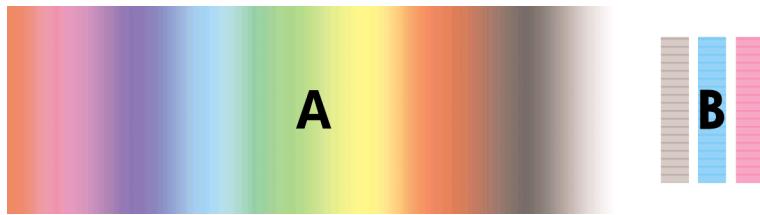


3. 印刷の種類に応じて、[描画/テキスト] または [イメージ] を選択します。

 **注記** ドライバ、内蔵Webサーバ、またはフロントパネルでは、必ず後で印刷に使用するのと同じ設定を選択してください ([最適化：描画/テキスト] または [最適化：イメージ])。同じでないものを選択した場合、キャリブレーションを行っても効果はありません。

4. [パターンを印刷します] を選択します。プリンタは、番号付きのパターン(1~7)を印刷します。[描画/テキスト] を選択した場合、各パターンは次のようになります。

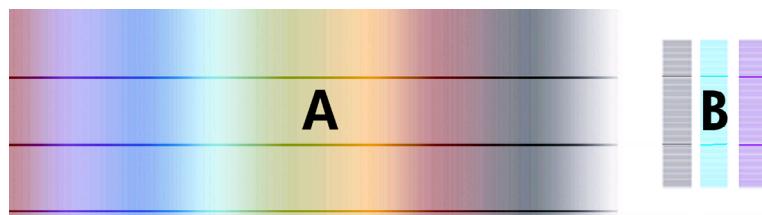
拡張精度キャリブレーションを実行するには



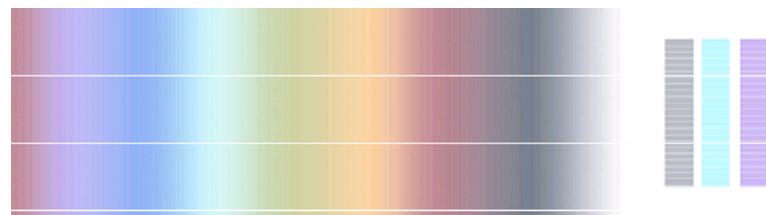
または【イメージ】を選択した場合、各パターンは次のようにになります。



5. 【描画/テキスト】の場合、印刷には約3分、【イメージ】の場合は約5分かかります。キャリブレーションの印刷が完了すると、プリンタは用紙をカットします。
6. 印刷された各パターン(1~7)を見て、どのパターンが最高品質かを判断します。各パターンには、左側に連続したカラー階調度(A)が表示され、右側に別の内容のもの(B)が表示されます。どちらも状況に合わせて、最適なパターンを判断するのに役立ちます。ただし、光沢紙またはキャンバスを使用している場合は、Aの部分を無視し、Bの部分のみを確認して選択することをお勧めします。
 - カラー階調度の部分Aでは、明るい(または暗い)水平方向の帯(帯状のムラ)がないかどうか確認してください。これは、用紙送りが適切ではないことを示します。通常は、最初のパターンに暗い帯、最後のパターンに明るい帯が印刷されます(以下の例を参照)。最適なパターンは、帯状のムラがないものです。判断できない場合は、暗い帯のある最後のパターンと、明るい帯のある最初のパターンの間にある、中央のパターンを選択してください。

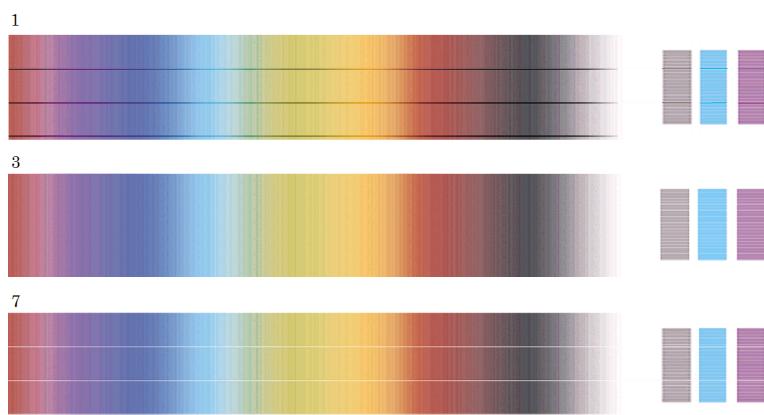


拡張精度キャリブレーションを実行するには



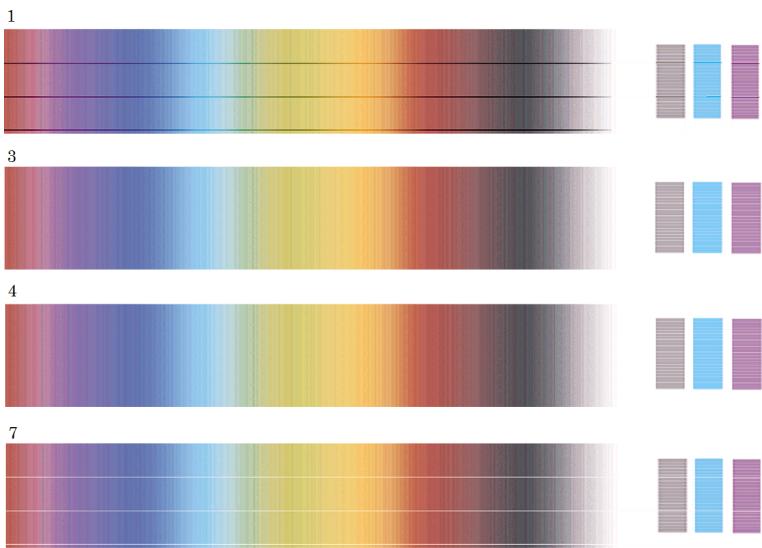
最適なパターンを特定できない場合は、以下の例の説明を参考にしてください。

- 明らかに最適なパターンが1つだけあり、上下のパターンには以下に示す明るい帯または暗い帯がある場合は、このパターンを選択してください。



- 以下に示すように、帯状のムラがない、隣り合った2つのパターンがある場合は、この2つのパターンの上下にあるパターンを参考にして、最適なパターンを選択してください。たとえば、同じパターンが2つあるときに、上のパターンの方が帯状のムラが少ない場合は、すぐ下のパターンを選択してください。

拡張精度キャリブレーションを実行するには



- 帯状のムラがない3つのパターンがある場合は、中央のパターンを選択してください。
- 印刷されたもののBの部分を見ると、一部のパターンが他のパターンよりも暗く見える場合があります。最適なパターンは、最も明るく、明るさが一定して、ざらつきが少なく見えるものです。

7. または アイコンを選択し、次に [拡張精度キャリブレーション] - [描画/テキスト] または [イメージ] - [パターンの選択] を選択します。
8. 最適な印刷のパターンの番号(1~7)を選択します。パターン3と4のように、2つのパターンから選択するのが難しい場合は、パターン3と4の間を選択します。

これで、キャリブレーションは完了です。

キャリブレーションを行ったあと

拡張精度キャリブレーションにより印刷品質の問題が小さくなっても完全に解決しない場合は、手順7を再試行して、別の番号を選択してください。明るい帯がある場合は、最初に選択した番号よりも小さい番号を選択してみてください。

暗い帯がある場合は、大きい番号を選択してみてください。キャリブレーション後の設定を、プリンタ出荷時の用紙送り設定に戻す場合は、 または アイコンを選択し、次に [拡張精度キャリブレーション] - [描画/テキスト] または [イメージ] - [パターンの選択] - [工場出荷時のデフォルト] を選択します。

拡張精度キャリブレーションを実行するには

拡張精度キャリブレーションを実行
するには

13 印刷品質の問題

- 191 ページの [一般的なヒント]
- 192 ページの [帯状のムラがある (イメージに横線)]
- 193 ページの [線が印刷されない、または細い印刷品質の問題]
- 193 ページの [イメージの上に帯状や線状の塗りつぶしが現れる]
- 195 ページの [ざらつきが発生する]
- 195 ページの [用紙が平らになっていない]
- 196 ページの [触れたときに印刷が汚れる]
- 196 ページの [用紙にインクが残る]
- 198 ページの [印刷の開始近くで不具合が発生する]
- 198 ページの [線が段状になる]
- 199 ページの [線が二重または間違った色で印刷される]
- 200 ページの [線が連続していない問題]
- 200 ページの [線がぼやけている (インクが線でにじむ)]
- 201 ページの [線が少しゆがんでいる]
- 201 ページの [カラー精度の問題]
- 201 ページの [PANTONEカラー精度の問題]
- 203 ページの [他のHP Designjetと色が一致しない]

一般的なヒント

印刷の品質に問題がある場合は、以下の項目を確認してください。

- プリンタで最高のパフォーマンスを実現するために、HP純正のサプライ品とアクセサリをお使いください。これは、純正品では信頼性とパフォーマンスが十分に検査されており、トラブルがなくパフォーマンスと最高品質の印刷を実現することができるためです。推奨する用紙の詳細については、「96 ページの [サポートされている用紙の種類を選択するには]」を参照してください。
- フロントパネルで選択されている用紙の種類が、プリンタに取り付けられている用紙の種類と同じであることを確認してください。これを確認するには、フロントパネルの または アイコンをハイライトさせます。
- 用紙の種類が同じである場合、一般的にカット紙よりロール紙の方が高い印刷品質を実現できます。カット紙を使用している場合は、印刷品質を常に【高品質】に設定することを強くお勧めします。
- 目的に最も適した印刷品質設定を使用しているかどうか確認します（「129 ページの [印刷品質設定を選択するには]」を参照してください）。印刷品質の問題が最も起こりやすいのは、印刷品質を【高速】に設定している場合です。

- 印刷速度を遅くしても最高の印刷品質を維持する場合は、[プリントヘッドのモニタ] 設定を [強化] に設定します。詳細は、「114 ページの [プリントヘッドのモニタ状況を管理するには]」を参照してください。
- 環境状況 (温度、湿度など) が高品質の印刷に適しているか確認します。詳細は、「253 ページの [動作環境の仕様について]」を参照してください。

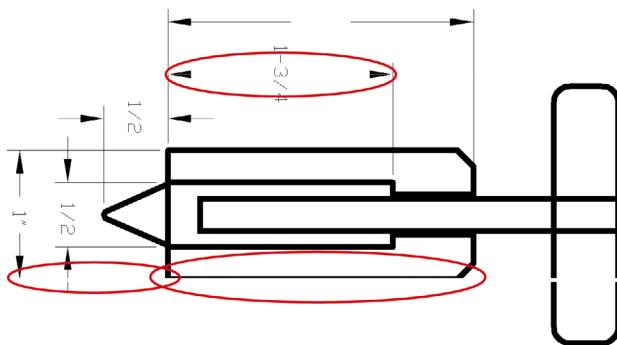
帯状のムラがある (イメージに横線)

以下のように、印刷イメージに横線が表示される場合 (色は異なる場合があります) は、以下の手順に従います。



1. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうか確認してください。詳細は、「129 ページの [印刷品質設定を選択するには]」を参照してください。
2. 問題が解決されない場合は、プリントヘッドをクリーニングしてください。詳細は、「114 ページの [プリントヘッドを修復 (クリーニング) するには]」を参照してください。
3. 厚い用紙に変更してみてください。濃い色を印刷する場合は、HP厚手コート紙またはHP光沢フォト用紙2をお勧めします。
4. 問題が解決されない場合は、イメージ診断印刷を使用して、問題の詳細を確認します。詳細は、「177 ページの [イメージ診断印刷を使用するには]」を参照してください。

線が印刷されない、または細い印刷品質の問題

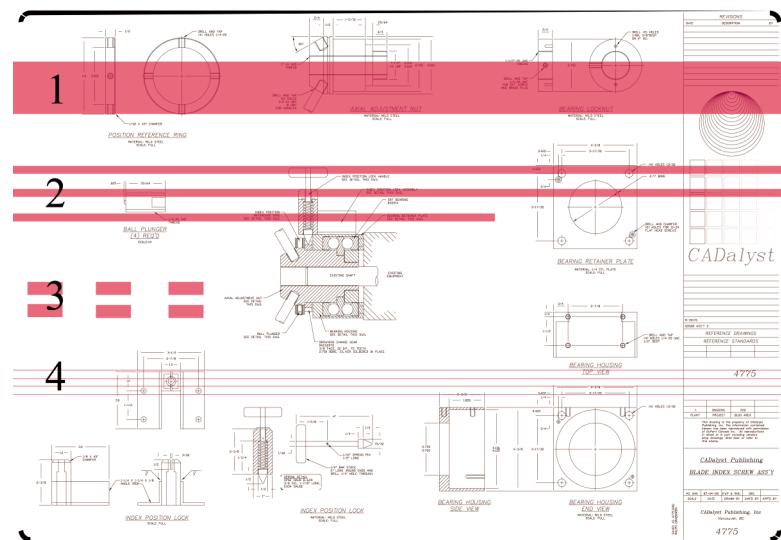


1. 線の太さおよび色の設定が正しいかどうかを、アプリケーションで確認します。
2. プリントヘッドをクリーニングします。詳細は、「114 ページの [プリントヘッドを修復 (クリーニング) するには]」を参照してください。
3. 問題が解決されない場合は、適切な印刷品質設定を使用しているかどうか確認して、イメージを印刷してください（「129 ページの [印刷品質設定を選択するには]」を参照してください）。
4. 厚い用紙に変更してください。濃い色を印刷する場合は、HP厚手コート紙またはHP光沢フォト用紙2をお勧めします。
5. 問題が解決されない場合は、イメージ診断印刷を使用して、問題の詳細を確認します。詳細は、「177 ページの [イメージ診断印刷を使用するには]」を参照してください。

イメージの上に帯状や線状の塗りつぶしが現れる

下の図のマゼンタ色で表示されている部分のように、この問題はさまざまな形状で現れます。

1. 太い色付きの帯
2. 細い色付きの帯
3. 不連続状の色付きのブロック
4. 細い線



いずれの場合でも、以下の手順に従うことをお勧めします。

1. 問題があると思われるプリントヘッドの電極部分をクリーニングします（この例では、マゼンタのプリントヘッド）。詳細は、「114 ページの [プリントヘッドの電極部分をクリーニングするには]」を参照してください。
2. プリントヘッドをクリーニングします。詳細は、「114 ページの [プリントヘッドを修復(クリーニング)するには]」を参照してください。
3. 前と同じ設定でイメージを印刷します。
4. 問題が解決しない場合は、問題の原因になっていると考えられるプリントヘッドを交換します。どのプリントヘッドが原因かわからない場合は、イメージ診断印刷を使用して、プリントヘッドを特定します。詳細は、「177 ページの [イメージ診断印刷を使用するには]」を参照してください。

ざらつきが発生する



1. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうか確認してください。 詳細は、「129 ページの [印刷品質設定を選択するには]」を参照してください。
2. イメージ診断印刷を使用して、問題の詳細を確認します。 詳細は、「177 ページの [イメージ診断印刷を使用するには]」を参照してください。

用紙が平らになっていない

プリンタから排紙された用紙が平らになっておらず、浅く波打っている場合、印刷されたイメージに縦の筋などの不具合が発生することがあります。

これは、インクが染み込んだ薄い用紙を使用した場合に発生する可能性があります。



厚い用紙に変更してみてください。濃い色を印刷する場合は、HP厚手コート紙またはHP光沢フォト用紙2をお勧めします。詳細は、「129 ページの [印刷品質設定を選択するには]」を参照してください。

触れたときに印刷が汚れる

黒の顔料は、指やペンで触れると汚れます。これは特に、ベラム紙、半透明ボンド紙、フィルム、フォト用紙、およびトレーシングペーパを使用した場合に顕著です。

汚れを少なくするには、以下の手順に従ってください。

- 湿度が高すぎない環境で印刷してみます。詳細は、「253 ページの [動作環境の仕様について]」を参照してください。
- イメージの純粋な黒のオブジェクトを、こげ茶などの暗い色に変更して、黒インクではなくカラーインクで印刷するようにします。
- HP厚手コート紙を使用します。
- 乾燥時間を増やします（「100 ページの [乾燥時間を変更するには]」を参照してください）。

用紙にインクが残る

この問題は、複数の理由で発生します。

コート紙の表面に汚れがある

コート紙に使用するインクが多すぎると、インクが用紙に吸収され広がります。プリントヘッドは、用紙の上を移動するときに用紙に触れるため、印刷イメージが汚れます。

この問題が発生した場合は、印刷ジョブをただちにキャンセルする必要があります。キャンセルボタンを押して、コンピュータ アプリケーションのジョブをキャンセルします。それ以外の場合、インクが染み込んだ用紙が原因で、プリントヘッドが損傷する可能性があります。

この問題を解消するには、以下を方法を試してください。

- 推奨する用紙の種類を使用します（「96 ページの [サポートされている用紙の種類を選択するには]」を参照してください）。
- 印刷するイメージに強い色彩が含まれている場合は、HP厚手コート紙を使用してみます。
- マージン設定を広くします（「132 ページの [マージンを調整するには]」を参照）。または、ソフトウェア アプリケーションを使用してページ内のイメージを移動し、マージンを大きくします。
- 必要に応じて、透明フィルムなどの紙以外の材質に変更してみます。

光沢紙の表面に汚れやキズがある

光沢紙は、スタッカなどの印刷直後に触れるものに対して非常に敏感な場合があります。これは、印刷したインクの量と、印刷時の環境条件によって異なります。用紙に触れないようにして、印刷物は注意深く扱ってください。

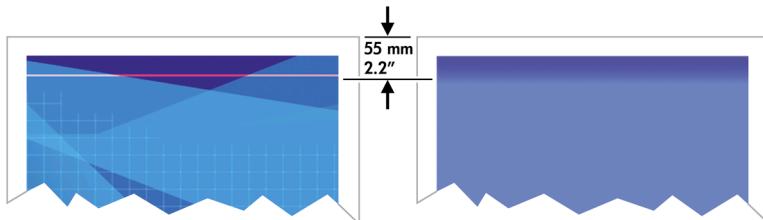
カット紙を1枚スタッカに入れて、印刷直後の用紙がスタッカと直接触れないようにすることをお勧めします。

用紙の裏面にインクが付着する

プラテンのインクが用紙の裏に付着する可能性があります。 詳細は、「171 ページの [プラテンのクリーニングを行うには]」を参照してください。

印刷の開始近くで不具合が発生する

用紙の端から5.5cm以内の、印刷の最初の部分にのみ不具合が発生することがあります。 色調がそろっていない細い帯または太い帯が現れます。

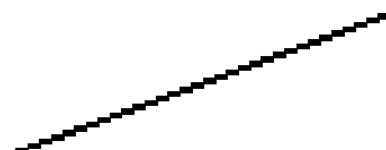


この問題を解消するには、以下の手順に従います。

1. 最も簡単な解決方法は、プリンタ ドライバ、内蔵Webサーバ、またはフロントパネルで、[マージン設定 - 広い] を選択します。これにより、問題の影響を受ける(ページの始まり)範囲が印刷されなくなります。 詳細は、「132 ページの [マージンを調整するには]」を参照してください。
2. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうか確認してください。 詳細は、「129 ページの [印刷品質設定を選択するには]」を参照してください。

線が段状になる

印刷時に、イメージの線が段状になるとか、またはぎざぎざになった場合、以下の手順に従ってください。



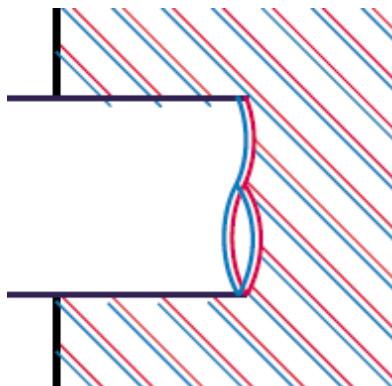
1. イメージ自体に問題がある場合もあります。 イメージの編集に使用しているアプリケーションで、イメージの品質を向上させてみます。
2. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうか確認してください。 詳細は、「129 ページの [印刷品質設定を選択するには]」を参照してください。

3. [高精細] オプションをオンにします。

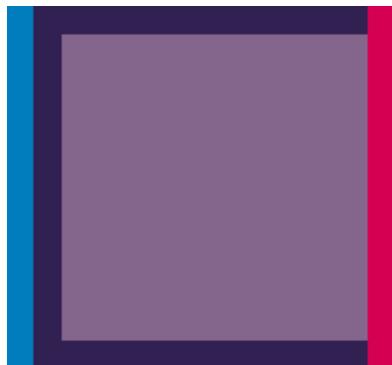
線が二重または間違った色で印刷される

以下に示すように、この問題にはさまざまな種類があります。

- 色付きの線が、別の色で二重に印刷される。



- 色付きのブロックの境界線の色が間違っている。



この問題を修正するには

1. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうか確認してください。詳細は、「129 ページの [印刷品質設定を選択するには]」を参照してください。
2. プリントヘッドの軸合わせを行います。詳細は、「120 ページの [プリントヘッドの軸合わせを行うには]」を参照してください。

線が連続していない問題

以下の図のように、線が連続していない場合は、以下の手順に従います。



1. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうか確認してください。 詳細は、「129 ページの [印刷品質設定を選択するには]」を参照してください。
2. カット紙よりもロール紙を使用したほうが、縦線を鮮明に印刷できます。 カット紙を使用する場合は、印刷品質を [高品質] に設定してください。
3. HP厚手コート紙またはHP光沢フォト用紙2などの厚い紙に変更してみてください。 詳細は、「129 ページの [印刷品質設定を選択するには]」を参照してください。
4. プリントヘッドの軸合わせを行います。 詳細は、「120 ページの [プリントヘッドの軸合わせを行うには]」を参照してください。

線がぼやけている (インクが線でにじむ)

インクが用紙に染み込んでいる場合、線がぼやけてあいまいになります。 これは、空気中の湿気が原因になっている可能性があります。

1. 環境状況 (温度、湿度) が高品質の印刷に適しているか確認します。 詳細は、「253 ページの [動作環境の仕様について]」を参照してください。
2. HP厚手コート紙またはHP光沢フォト用紙2などの厚い紙に変更してみてください。 詳細は、「129 ページの [印刷品質設定を選択するには]」を参照してください。



注記 既にこれを試している場合は、厚めの用紙で試してみてください。 特に、光沢フォト用紙は乾きにくい用紙なので、十分に注意してください。

3. フロントパネルで選択した用紙の種類が、実際に使用している用紙の種類と同じかどうか確認します。
4. プリンタの出力を早くするために、フロントパネルで乾燥時間を調整した可能性があります。 アイコンをクリックして、[乾燥時間の設定] - [乾燥時間] を選択し、[最適] に設定されていることを確認します。

5. 印刷物が個別に乾燥する時間を確保します。印刷物を覆ったり重ねたりしないでください。

線が少しうがんでいる

用紙自体がうがんでいる可能性があります。これは、用紙を不適切な環境で使用または保管している場合に発生します。詳細は、「253ページの[動作環境の仕様について]」を参照してください。

カラー精度の問題

カラー精度を実現するには、2つの基本的な要件があります。

1. 用紙の種類に対してキャリブレーションが実行済みであることを確認します。これにより、大量の印刷でも、またプリンタを変えても色の一貫性を実現できます。詳細は、「139ページの[カラー キャリブレーションを実行するには]」を参照してください。
2. アプリケーションで適切なオプションを選択します。「139ページの[プリンタで高いカラー精度を得るには]」を参照してください。



注記 PostScriptを使用している場合は、ソフトウェアのパレットではなく、内蔵のペンパレットの1つが使用される(デフォルト)ようにプリンタが設定されていることに注意してください。詳細は、「210ページの[ペンの設定が適用されない]」を参照してください。

ページレイアウトアプリケーションでEPSまたはPDFイメージを使用した場合のカラー精度

Adobe InDesignやQuarkXPressなどのページレイアウトアプリケーションは、EPS、PDF、またはグレースケールファイルのカラーマネージメントをサポートしていません。

このようなファイルを使用する必要がある場合は、Adobe InDesignまたはQuarkXPressで使用するのと同じカラースペースに、EPS、PDF、またはグレースケールイメージが既にあることを確認します。たとえば、SWOP標準に従った印刷機でジョブを印刷することを目標にしている場合は、EPS、PDF、またはグレースケールの作成時に、イメージをSWOPに変換する必要があります。

PANTONEカラー精度の問題

スポットカラーは、前もって混合された特殊なインクで、印刷機で直接使用されます。最も有名なスポットカラーは、PANTONEカラーです。

PostScriptモデルを使用している場合、プリンタには自動PANTONE(R)キャリブレーションという機能があります。これにより、ほとんどのPANTONEソリッドコーテッドスポットカラーと簡単に一致させることができます。アプリケーションがPANTONEカラーを印刷用に送信すると、該当する

CMYK値の推定値とPANTONE名が送信されます。自動PANTONE(R)キャリブレーション機能は、PANTONE名を認識して、プリンタ モデルおよび選択した用紙の種類に基づいて、CMYKに変換します。

これにより、アプリケーションによって送信された一般的なCMYK値よりも精度の高いカラーのレンダリングが可能になります。本機はPantoneで認定されていますが、PANTONEカラーを完全に再現できるわけではありません。

自動PANTONE(R)キャリブレーションの使用 (最良の選択)

自動PANTONE(R)キャリブレーションを使用するには、PANTONEカラーを認識するアプリケーションと、キャリブレーション実行済みのPostScriptプリンタが必要です。

自動PANTONE(R)キャリブレーション機能は、PANTONEソリッド コーティドカラー(サフィックスC)のみをエミュレートします。その他のPANTONEカラーは、アプリケーションによって送信されたCMYK値で印刷されます。

PANTONEカラーの手動変換

PostScript以外のプリンタを使用している場合、またはPANTONEカラーの名前をプリンタに送信しないアプリケーション(Adobe Photoshopなど)を使用している場合は、自動PANTONE(R)キャリブレーションを使用することはできません。代わりに、プリンタと用紙の種類別に作成された表を使用して、各PANTONEカラーをアプリケーションのCMYK値に手動で変換できます。

アプリケーションにPANTONEカラーをCMYK値に自動的に変換する機能がある場合でも、プリンタまたは用紙の種類は考慮されない可能性があるため、表を使用して手動で変換する方が、よい結果が得られます。

PANTONEキャリブレーションカラー チャートは、EPS、TIFF、およびPDF形式で入手することができます。このチャートは、アプリケーションに、インポートしたグラフィックからカラーを抽出するスポットツールが備わっている場合に便利です。

ヒント

- 自動PANTONE(R)キャリブレーションは、PostScriptプリンタでのみ機能します。
- 自動PANTONE(R)キャリブレーションがドライバでオンになっていることを確認してください。
- アプリケーションによっては、PANTONEカラーを完全にサポートしていない場合もあります。たとえば、Photoshop 7.0は、PANTONEカラーとその名前を送信しません。標準の表からCMYK値を抽出し、その値のみを送信します。
- 一部の色は色域の範囲外になるため、プリンタと用紙の種類に一致させることができない場合があります。

他のHP Designjetと色が一致しない

異なる2機種のプリンタ (HP Designjet 4000シリーズ プリンタとHP Designjet 1000シリーズ プリンタなど) でイメージを印刷した場合、2つの印刷物の色が一致しないことがあります。

それぞれの印刷デバイスで、インクの化学組成、用紙の化学組成、およびプリントヘッドが違っている場合、色を完全に一致させることはできません。ここでは、特定のプリンタを別のプリンタでエミュレートする最適な方法を説明します。その場合でも、印刷結果は完全に一致するとは限りません。

別々のPostScript ドライバ経由で印刷する場合

PostScript ドライバがそれぞれにインストールされたプリンタで、印刷を行う場合の手順を説明します。以下の例では、HP Designjet 4000シリーズ プリンタおよびHP Designjet 1000シリーズ プリンタを使用しているものとします。

1. どちらのプリンタにも、最新バージョンのファームウェアがインストールされていることを確認します。 詳細は、「175 ページの [プリンタのファームウェアをアップデートするには]」を参照してください。
2. どちらのプリンタにも、最新のプリンタ ドライバがインストールされていることを確認します。 HP製プリンタの最新のプリンタ ドライバは、<http://www.hp.com/go/designjet>にアクセスしてダウンロードできます。
3. カラー キャリブレーション機能がオンになっていることを確認します。 HP Designjet 4000シリーズ プリンタのフロントパネルで、アイコンを選択し、次に [設定メニュー] - [カラー キャリブレーション] - [オン] を選択します。
4. どちらのプリンタにも同じ種類の用紙を取り付けます。
5. フロントパネルの [用紙の種類] に、取り付けられた用紙に合った設定が選択されていることを確認します。
6. 通常の設定を使用して、HP Designjet 1000シリーズ プリンタで印刷を実行します。
7. 同じイメージを、今度はHP Designjet 4000シリーズ プリンタで印刷する準備を行います。
8. アプリケーションで、イメージのカラースペースを設定し、HP Designjet 1000シリーズ プリンタとそのプリンタで使用した特定の用紙の種類をエミュレートします。 ドライバに送信されるデータは、既にこのエミュレーションカラー スペース (CMYKカラー スペース) に変換されている必要があります。 変換方法の詳細については、アプリケーションのオンライン ヘルプを参照してください。 このようにして、この用紙の種類で印刷が行われたときに1000シリーズが作成した色が、4000シリーズによってエミュレートされます。
9. HP Designjet 4000シリーズ プリンタ用PostScript ドライバで [カラーマネージメント] セクションに移動し、CMYK入力プロファイルを、アプリケ

ーションで選択したものと同じHP Designjet 1000シリーズ プリンタのカラースペース (エミュレーションカラー スペース) に設定します。

 **注記** 別のプリンタのエミュレートを行う場合は、RGBカラーではなく必ずCMYKカラーを使用してください。

10. 用紙の白さをエミュレートする場合は、レンダリング用途を [相対カラーメトリック] または [絶対カラー メトリック] に設定します。
11. HP Designjet 4000シリーズ プリンタでイメージを印刷します。

別々のHP-GL/2 ドライバ経由で印刷する場合

HP-GL/2 ドライバがそれぞれインストールされているプリンタで、印刷を行う場合の手順を説明します。

1. どちらのプリンタにも、最新バージョンのファームウェアがインストールされていることを確認します。 詳細は、「175 ページの [プリンタのファームウェアをアップデートするには]」を参照してください。
2. どちらのプリンタにも、最新のプリンタ ドライバがインストールされていることを確認します。 HP製プリンタの最新のプリンタ ドライバは、<http://www.hp.com/go/designjet>にアクセスしてダウンロードできます。
3. カラー キャリブレーション機能がオンになっていることを確認します。 HP Designjet 4000シリーズ プリンタのフロントパネルで、アイコンを選択し、次に [設定メニュー] - [カラー キャリブレーション] - [オン] を選択します。
4. どちらのプリンタにも同じ種類の用紙を取り付けます。
5. フロントパネルの [用紙の種類] に、取り付けられた用紙に合った設定が選択されていることを確認します。
6. HP Designjet 4000シリーズ プリンタ用HP-GL/2 ドライバで、[カラー] タブを選択し、[カラー マッチングの方式] を [sRGB] に設定します。
7. HP Designjet 1000シリーズ プリンタ用HP-GL/2 ドライバで、[オプション] タブを選択して、[手動カラー] - [カラー コントロール] - [ディスプレイカラー] を選択します。 また、[用紙サイズ] タブを選択して、[用紙の種類] を選択し、[エンハンスド カラー] を選択します。

同一のHP-GL/2ファイルを印刷する場合

一方のプリンタにインストールされたHP-GL/2 ドライバを使用してHP-GL/2 ファイル (PLTファイルとも呼ばれます) を生成し、生成したファイルを両方のプリンタに送信する場合の手順を説明します。

1. どちらのプリンタにも、最新バージョンのファームウェアがインストールされていることを確認します。 詳細は、「175 ページの [プリンタのファームウェアをアップデートするには]」を参照してください。

2. カラー キャリブレーション機能がオンになっていることを確認します。
HP Designjet 4000シリーズ プリンタのフロントパネルで、アイコンを選択し、次に [設定メニュー] - [カラー キャリブレーション] - [オン] を選択します。
3. どちらのプリンタにも同じ種類の用紙を取り付けます。
4. フロントパネルの [用紙の種類] に、取り付けられた用紙に合った設定が選択されていることを確認します。
5. HP Designjet 1000シリーズ プリンタ用に生成したHP-GL/2ファイルを、HP Designjet 4000シリーズ プリンタで印刷する場合は、内蔵Webサーバまたはフロントパネルで以下の手順に従います。
 - 内蔵Webサーバを使用する場合 : [ジョブの送信] ページの [カラーマネージメント] セクションで、[入力プロファイル : RGB] を [なし(ネイティブ)] に設定します。
 - フロントパネルを使用する場合 : アイコンを選択し、次に [印刷デフォルトメニュー] - [カラー オプション] - [RGB入力プロファイル : なし(ネイティブ)] を選択します。

その他のHP Designjetプリンタを使用する場合は、画面の色がそれぞれのHP-GL/2ドライバを使用して印刷したときと一致するように(選択できる場合はsRGBに)、両方のプリンタを設定します。

14 イメージエラーの問題

- 207 ページの [まったく印刷されない]
- 207 ページの [一部しか印刷されない]
- 208 ページの [イメージの一部が印刷されない]
- 209 ページの [イメージが印刷可能の範囲に小さく印刷される]
- 209 ページの [イメージが誤った向きに回転される]
- 209 ページの [イメージが左右反対に印刷される]
- 210 ページの [印刷が歪むまたは不鮮明になる]
- 210 ページの [同じシート上でイメージが別のイメージと重なる]
- 210 ページの [ペンの設定が適用されない]

まったく印刷されない

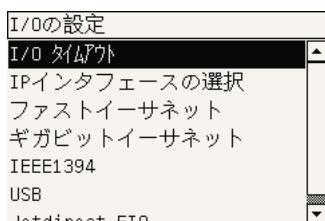
フロントパネルのグラフィック言語の設定が [**自動**] (デフォルト) の場合は、他の設定を試してください。たとえば、PostScriptファイルの場合は [**PostScript**] 、HP-GL/2ファイルの場合は [**HP-GL/2**] になります (「138 ページの [グラフィック言語の設定を変更するには]」を参照してください)。次に、再度ファイルを送信します。

この印刷が完了したら、グラフィック言語を [**自動**] に再設定します。

イメージエラーの問題

一部しか印刷されない

- プリンタがすべてのデータを受信する前に、**キャンセル** ボタンを押した可能性があります。押した場合は、データの送信が途中で終了したため、ページを印刷し直す必要があります。
- [**I/Oタイムアウト**] 設定が短すぎる可能性があります。この場合、フロントパネルで、 [**I/Oタイムアウト**] 設定を長くして、データを再度送信して印刷します。  アイコンを選択し、次に [**I/Oの設定**] - [**I/Oタイムアウト**] を選択します。



- コンピュータとプリンタの間の通信に問題がある可能性があります。インターフェースケーブルを確認してください。

- ソフトウェアの設定が現在のページサイズに適しているかどうかを確認してください(長尺印刷など)。
- ネットワーク ソフトウェアを使用している場合は、タイムアウトしていないかどうか確認してください。

イメージの一部が印刷されない

これは通常、取り付けられている用紙の実際の印刷可能な範囲と、ソフトウェアで認識されている印刷可能な範囲が一致していない場合に発生します。

- 取り付けた用紙サイズの、実際の印刷可能な範囲を確認します。
印刷可能な範囲 = 用紙サイズ - マージン
Windows の HP-GL/2 ドライバでは、[用紙/品質] タブに印刷可能な範囲が表示されます。
- ソフトウェアで認識される印刷可能な範囲(「印刷領域」または「印刷可能領域」と呼ばれることがあります)を確認してください。たとえば、ソフトウェア アプリケーションによっては、このプリンタで使用される印刷可能な範囲よりも広い範囲を標準と想定している場合があります。
- 非常に長いイメージをロール紙に印刷する場合は、ソフトウェアがそのサイズのイメージを印刷できるかどうか確認します。
- 用紙の方向が、ソフトウェアで想定されている方向と同じかどうかを確認します。フロントパネルの [印刷デフォルトメニュー] - [用紙オプション] - [回転] オプションを選択すると、印刷の方向とページの向きを変更できます。ロール紙で回転されたイメージは、正しいページサイズを保持するために、一部が印刷されない可能性があります。
- 幅が足りない用紙サイズの場合、縦置きから横置きにページを回転するように求めるメッセージが表示されることもあります。
- 必要に応じて、ソフトウェアの印刷可能な範囲を変更します。

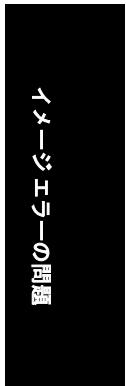
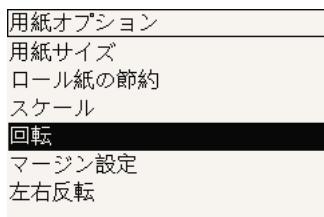
イメージの一部が印刷されない場合、別の原因も考えられます。Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、CorelDRAWなどのアプリケーションは、16ビットの内部座標系を使用するため、32,768ピクセルを超えるイメージを処理できません。これらのアプリケーションで、これより大きいイメージを印刷しようとすると、イメージの下部が印刷されません。この場合、イメージ全体を印刷するには、イメージ全体が32,768ピクセルより少なくなるよう解像度を下げるしかありません。HP-GL/2 プリンタ ドライバには、[16ビット アプリケーションとの互換性] というオプションがあり、このようなイメージの解像度を自動的に下げることができます。このオプションは、ドライバの [サービス] タブの [ソフトウェアのトラブルシューティング] ボタンをクリックすると表示されます。

イメージが印刷可能な範囲に小さく印刷される

- アプリケーションで選択したページ サイズが小さすぎる可能性があります。
- イメージがページの一部であるとアプリケーションで認識されている可能性があります。

イメージが誤った向きに回転される

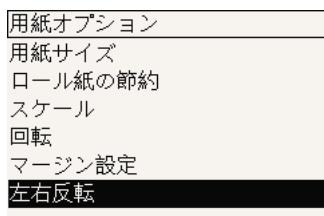
フロントパネルで  アイコンを選択し、次に [印刷デフォルト メニュー] - [用紙オプション] - [回転] を選択して、設定が正しいかどうかを確認してください。



PostScript以外のファイル：[ネスティング] が [オン] になっている場合、用紙を節約するためにページが自動的に回転することがあります。詳細は、「134 ページの [イメージを回転するには]」を参照してください。

イメージが左右反対に印刷される

フロントパネルで  アイコンを選択し、次に [印刷デフォルト メニュー] - [用紙オプション] - [左右反転] を選択して、設定が正しいかどうかを確認してください。



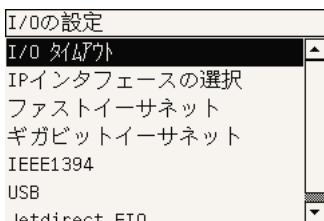


印刷が歪むまたは不鮮明になる

- プリンタをネットワーク（またはコンピュータ）に接続しているインターフェースケーブルに問題が発生した可能性があります。ケーブルを変えて試してみます。
- フロントパネルのグラフィック言語の設定が【自動】（デフォルト）の場合は、他の設定を試してください。たとえば、PostScriptファイルの場合は【PostScript】、HP-GL/2ファイルの場合は【HP-GL/2】になります（「138 ページの【グラフィック言語の設定を変更するには】」を参照してください）。次に、再度ファイルを送信します。
- プリンタで使用しているソフトウェア、ドライバ、およびRIPによっては、この問題を解決する方法があります。詳細については、販売元のマニュアルを参照してください。

同じシート上でイメージが別のイメージと重なる

【I/Oタイムアウト】設定が長すぎる可能性があります。フロントパネルで設定を小さくして、印刷し直してください。■アイコンを選択し、次に【I/Oの設定】-【I/Oタイムアウト】を選択します。



ペンの設定が適用されない

この場合、いくつかの原因が考えられます。

- ■アイコンを選択し、次に【印刷デフォルトメニュー】-【HP-GL/2の設定】-【パレットの定義】を選択してフロントパネルの設定を変更したが、【印刷デフォルトメニュー】-【HP-GL/2の設定】-【パレット】を選択していない場合が考えられます。
- ソフトウェアによるペンの自動設定を有効にする場合は、フロントパネルで ■アイコンを選択し、次に【印刷デフォルトメニュー】-【HP-GL/2の設定】-【パレット】を選択して、【ソフトウェア】に設定する必要があります。

15 インク システムの問題

- 211 ページの [インクカートリッジを取り付けられない]
- 211 ページの [プリントヘッドを取り付けられない]
- 211 ページの [プリントヘッドクリーナを取り付けられない]
- 212 ページの [フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される]
- 212 ページの [インクカートリッジのステータス メッセージが表示される]
- 212 ページの [プリントヘッドのステータス メッセージが表示される]
- 213 ページの [プリントヘッドクリーナのステータス メッセージが表示される]

インクカートリッジを取り付けられない

1. 正しいカートリッジ (モデル番号) を使用しているかどうかを確認してください。
2. カートリッジのラベルの色が、スロットのラベルと同じ色かどうかを確認します。
3. カートリッジの向きが正しいかどうか (色のラベルが上になっているか) を確認します。



注意 インクカートリッジ スロットの内部はクリーニングをしないでください。

プリントヘッドを取り付けられない

1. 正しいプリントヘッド (モデル番号) を使用しているかどうか確認します。
2. プリントヘッドから、青の保護キャップを取り外し、透明の保護テープを剥がしたかどうかを確認します。
3. プリントヘッドのラベルの色が、スロットのラベルと同じ色かどうかを確認します。
4. プリントヘッドの向きが正しいかどうか (他のプリントヘッドと比較して) を確認します。
5. プリントヘッドのカバーを閉じて、ラッチで固定されているかどうかを確認します。

プリントヘッドクリーナを取り付けられない

1. 正しいクリーナ (モデル番号) を使用しているかどうかを確認します。
2. クリーナのラベルの色が、スロットのラベルと同じ色かどうかを確認します。
3. クリーナの向きが正しいかどうか (他のクリーナと比較して) を確認します。



フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される

1. プリントヘッドを取り外し、保護フィルムが剥がされていることを確認します。
2. プリントヘッドとキャリッジ間の電極部分のクリーニングを行ってみます。詳細は、「114 ページの [プリントヘッドの電極部分をクリーニングするには]」を参照してください。
3. プリントヘッドをキャリッジに取り付け直して、フロントパネルのメッセージを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、新しいプリントヘッドを取り付けてみてください。

インクカートリッジのステータス メッセージが表示される

表示されるインクカートリッジのステータス メッセージには、以下のものがあります。

- [完了です]：カートリッジは問題なく正常に動作しています。
- [インクカートリッジがありません。インクカートリッジを取り付けて下さい]：カートリッジが全く取り付けられていないか、または正しく取り付けられていません。
- [カートリッジのインク量が僅かです]：インクの残量が少なくなっています。
- [カートリッジのインク量が僅かです]：インクの残量がきわめて少なくなっています。
- [インクがありません]：カートリッジが空です。
- [インクカートリッジエラー：再度取付けて下さい]：カートリッジをいったん取り外して、取り付け直してください。
- [交換して下さい]：カートリッジをいったん取り外して、取り付け直してください。それでもメッセージが消えない場合は、新しいカートリッジと交換してください。
- [変更済み]：インクの補充などカートリッジのステータスに予期しないことが起こりました。

プリントヘッドのステータス メッセージが表示される

表示されるプリントヘッドのステータス メッセージには、以下のものがあります。

- [完了です]：プリントヘッドは問題なく正常に動作しています。
- [プリントヘッドエラー：取り付けられていません]：プリントヘッドが全く取り付けられていないか、または正しく取り付けられていません。
- [再度取り付けて下さい]：フロントパネルでプリントヘッドを取り外す処理を行う（「107 ページの [プリントヘッドを取り外すには]」を参照）よ

うに推奨されますが、プリントヘッドは取り外さずに、フロントパネルの選択(チェックマーク)ボタンを押してください。

- [プリントヘッドエラー：交換して下さい]：プリントヘッドをいったん取り外して、取り付け直してください。それでもメッセージが消えない場合は、電極部分をクリーニングしてください。それでもメッセージが消えない場合は、新しいプリントヘッドと交換してください。
- [取り外して下さい]：このプリントヘッドは印刷用途に適していません(付属のプリントヘッドなど)。

プリントヘッドクリーナのステータスメッセージが表示される

表示されるプリントヘッドクリーナのステータスメッセージには、以下のものがあります。

- [完了です]：クリーナは問題なく正常に動作しています。
- [クリーナーエラー：取り付けられていません]：クリーナが全く取り付けられていないか、または正しく取り付けられていません。
- [再度取付けて下さい]：クリーナをいったん取り外して、取り付け直してください。
- [正しく取り付けられていません]：クリーナが間違った位置に取り付けられています。
- [寿命です]：クリーナが寿命になりました。
- [プリントヘッドは交換されていません]：新しいプリントヘッドを取り付けた際、付属の新しいクリーナが取り付けられていません。

プリントヘッドクリーナを取り外すか取り付け直す必要がある場合は、プリントヘッドを交換する処理を行う必要があります(「107ページの[プリントヘッドを取り外すには]」を参照してください)。フロントパネルに指示が表示されたら、ウィンドウを開きます。フロントパネルに表示されるプリントヘッドに点滅しているものが1つもない場合は、プリントヘッドを交換する必要はありません。ウィンドウを閉じると、プリントヘッドクリーナを交換する処理が開始されます。

インク システムの問題

16 用紙の問題

- 215 ページの [用紙が正しく取り付けられない]
- 217 ページの [紙詰まりの問題 (プリンタの紙詰まり)]
- 220 ページの [印刷物が用紙スタッカに正しく積み重ねられない]
- 220 ページの [プリントヘッドの軸合わせで大量の用紙が使用される]

用紙が正しく取り付けられない

- 用紙が斜めに取り付けられていることがあります。用紙の右端が、プラテンの右端にある半円に揃えられているかどうかを確認してください。特に、カット紙の場合には、先端がプラテンの金属バーに揃えられているかどうかを確認してください。
- 用紙がしわになっている、歪んでいる、または曲がっている可能性があります。

ロール紙

- プラテンへの用紙経路で紙詰まりが発生した場合は、用紙の先端が曲がっているかまたは汚れているため、用紙を整える必要がある場合があります。ロール紙の先端の2cm (1インチ) を切り取って、再度試してください。新しいロール紙の場合でも、この処理が必要な場合があります。
- スピンドルが正しく挿入されているかどうかを確認します。右側のスピンドルレバーは、水平になっている必要があります。
- 用紙がスピンドルに正しく取り付けられていて、ロールが手前になっているかどうかを確認します。
- 用紙がロールにしっかりと巻き取られているかどうかを確認します。

カット紙

- カット紙の先端がプラテンのカッターの溝に揃っているかどうかを確認します。
- 手で切った用紙は使用しないでください。形が揃わなくなります。購入したカット紙のみを使用してください。
用紙の取り付けに関連するフロントパネルメッセージと、推奨する補正処理の一覧を以下に示します。

フロントパネル メッセージ	推奨する処理
ロール紙の右端が取り付け線から離れています。	ロール紙が正しく取り付けられていないか、右端がプラテンの半円に合っていません。選択(チェックマーク)ボタンを押して、ロール紙を取り付け直してください。

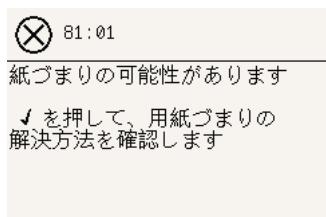
フロントパネル メッセージ	推奨する処理
カット紙の右端が取り付け線から離れています。	カット紙が正しく取り付けられていないか、右端がプラテンの取り付け線に合っていません。 選択(チェックマーク) ボタンを押して、カット紙を取り付け直してください。
右端が見つかりません。	用紙の右端が見つかりません。用紙が正しく取り付けられていない可能性があります。 選択(チェックマーク) ボタンを押して、ロール紙を取り付け直してください。
カット紙の端が見つかりません。	カット紙の端が見つかりません。用紙が正しく取り付けられていない可能性があります。 選択(チェックマーク) ボタンを押して、カット紙を取り付け直してください。
ロール紙の端が見つかりません。	用紙の取り付け中に、用紙が検出されませんでした。 選択(チェックマーク) ボタンを押して再試行してください。
取り付けた用紙にスキューが多すぎます。	用紙の取り付け中に、用紙のスキュー(歪み)が多すぎることが検出されました。 選択(チェックマーク) ボタンを押して、用紙を取り付け直してください。
用紙が小さすぎます。	用紙の取り付け中に、用紙の縦または横が短すぎると検出されたため、プリンタに取り付けることができません。 キャンセル ボタンを押して、用紙の取り付け処理を停止してください。詳細は、「249 ページの [プリンタ機能の仕様について]」を参照してください。
用紙が大きすぎます。	用紙の取り付け中に、用紙の縦または横が長すぎると検出されたため、正しく取り付けることができません(カット紙のみ)。 キャンセル ボタンを押して、用紙の取り付け処理を停止してください。詳細は、「249 ページの [プリンタ機能の仕様について]」を参照してください。
カット紙が長すぎます。	用紙の取り付け中に、カット紙が長すぎると検出されたため、正しく取り付けることができません。ロール紙ではなくカット紙として認識されていることを確認します。 選択(チェックマーク) ボタンを押して、用紙を取り付け直してください。

フロントパネル メッセージ	推奨する処理
	直してください。 詳細は、「249 ページの [プリンタ機能の仕様について]」を参照してください。
レバーが上がっています。	用紙の取り付け中に、用紙取り付けレバーが上がっていました。 この状態では、プリンタに用紙を取り付けることができません。 選択(チェックマーク)ボタンを押して、用紙を取り付け直してください。

紙詰まりの問題 (プリンタの紙詰まり)

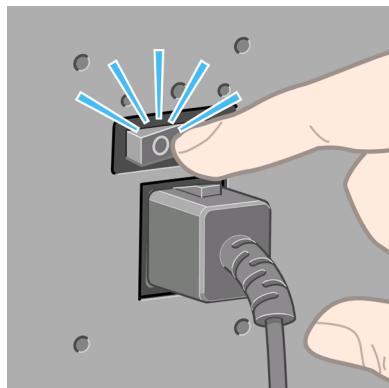
紙詰まりが発生した場合、通常は[紙詰まりの可能性があります]というメッセージがフロントパネルに表示されます。このメッセージには、次の2つのエラーコードのいずれかが表示されます。

- 「81:01」が表示された場合は、用紙がプリンタに送られていません。
- 「86:01」が表示された場合は、プリントヘッド キャリッジが左右に移動できません。

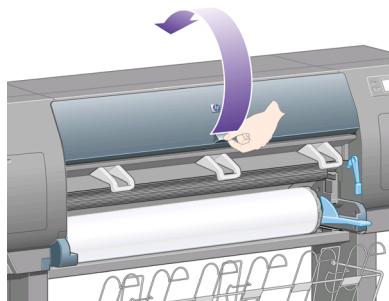


プリントヘッドの給紙経路を確認する

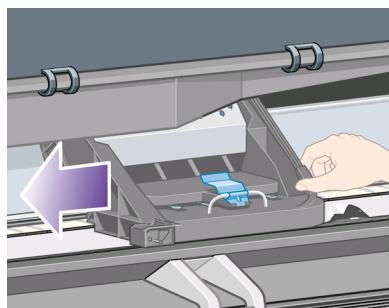
- 背面のスイッチを押して、プリンタの電源を切ります。



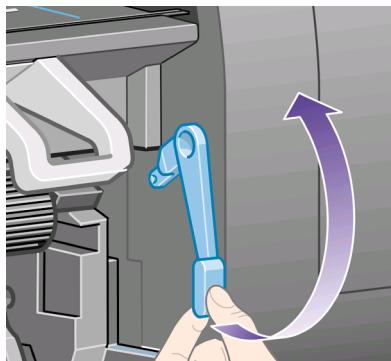
2. ウィンドウを開きます。



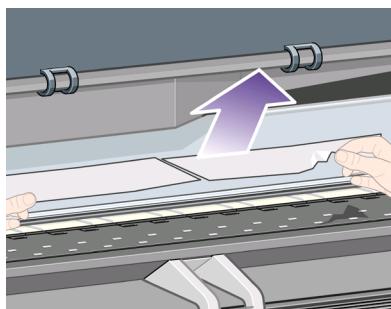
3. プリントヘッドキャリッジを邪魔にならない場所に移動してみます。



4. 用紙取り付けレバーを上がるところまで持ち上げます。



5. プリンタの上部から、詰まった用紙を取り除きます。



6. 残りのロール紙またはカット紙をプリンタから慎重に引き出します。
7. プリンタの電源を入れます。
8. ロール紙を取り付け直すか、新しいカット紙を取り付けます。 詳細は、「86 ページの [ロール紙をプリンタに取り付けるには]」または「92 ページの [カット紙を取り付けるには]」を参照してください。
9. プリンタ内の障害物が原因で詰まった用紙が残っている場合は、手差し用紙をプリンタに取り付けることで、取り除くことができる場合があります。
10. 紙詰まりが発生した後で印刷品質に問題がある場合は、プリントヘッドの軸合わせを再度行ってください。 詳細は、「120 ページの [プリントヘッドの軸合わせを行うには]」を参照してください。

用紙経路を確認する

- この問題は、ロール紙が終了したときに、ロール紙の端が厚紙の芯に張り付いている場合に発生します。 この場合は、ロール紙の端を芯から切り取ってください。 プリンタに用紙を給紙できるようにしてから、新しいロール紙を取り付けます。
- それ以外の場合は、前述の「217 ページの [プリントヘッドの給紙経路を確認する]」の項を参照してください。

印刷物が用紙スタッカに正しく積み重ねられない

- 小さいカット紙に印刷する場合は、3つのループ ストップを持ち上げます。
- 用紙はロールの端でカールすることが多いため、積み重ねの問題が発生します。新しいロールを取り付けるか、印刷が完了したら手で取り出します。
- 異なるサイズの印刷物が混じっていたり、ネスティングしている場合、スタッカに複数のサイズの用紙が積み重ねられるため、問題が発生することがあります。

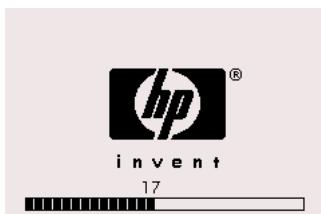
プリントヘッドの軸合わせで大量の用紙が使用される

プリントヘッドの軸合わせを正しく行うため、軸合わせ処理が開始される前に、最大3m (≈10フィート) の用紙が排出される場合があります。これは、正常な動作ですので、中断したり停止したりしないでください。詳細は、「120 ページの [プリントヘッドの軸合わせを行うには]」を参照してください。

17 その他の問題

- 221 ページの [プリンタのスタートアップが完了しない]
- 222 ページの [フロントパネルにメッセージが表示される]
- 225 ページの [「プリントヘッドのモニタリング中」というメッセージが表示される]
- 226 ページの [「プリントヘッドの品質が低下しています」というメッセージが表示される]
- 226 ページの [プリンタで印刷ができない]
- 227 ページの [印刷ジョブがタイムアウトまで待機している]
- 227 ページの [プリンタの印刷が遅い]
- 228 ページの [コンピュータとプリンタの間の通信に問題がある]
- 229 ページの [ブラウザから内蔵Webサーバにアクセスできない]
- 229 ページの [メモリ不足エラーが発生する]
- 230 ページの [AutoCAD 2000でメモリアロケーションエラーが発生する]
- 230 ページの [プラテン ローラーからきしみ音がする]

プリンタのスタートアップが完了しない



フロントパネルの表示が17の状態でプリンタのスタートアップが停止する場合は、プリンタのハードディスクのファイルシステムに問題があり、ファイルシステム全体の確認と、必要な修正が行われていることを示します。この問題は、プリンタの電源が入っている状態で電力の供給が停止した場合、またはプリンタのハードディスクに物理的な問題が起こった場合に発生します。

ファイルシステム全体の確認には、通常約30分かかります。この処理速度を速めることはできません。途中でプリンタの電源を切ると、再び電源を入れたときに、ファイルシステムの確認が最初から開始されます。

電力の供給が停止していないのに、この問題が繰り返し発生する場合は、カスタマ サービスにお問い合わせください。

フロントパネルにメッセージが表示される

フロントパネルには、プリンタの使用続行の許可、続行する前に必要な処理の指示など、さまざまなメッセージが表示されます。

- 注意が必要な状況が検出された場合、メッセージが表示されてその情報が通知されます。メッセージには、品質が低下している状態やプリンタの保守の必要性を通知するものもあります。メッセージを確認したら、**選択(チェックマーク)** ボタンを押すと表示が消去され、引き続きプリンタを使用することができます。
- プリンタでエラーが発生した場合、エラー コードと短いメッセージがフロントパネルに表示されます。以下の表は、このようなエラー状態から回復するために推奨する処理をまとめたものです。

コード	メッセージ	推奨する処理
13:01	すべてのカートリッジを再度取り付け下さい	すべてのプリントカートリッジを取り外して、取り付け直します。詳細については、「101 ページの [インクカートリッジを取り外すには]」および「105 ページの [インクカートリッジを取り付けるには]」を参照してください。問題が解決しない場合は、カスタマ サービスにお問い合わせください。
26.0:01	イエローのインクカートリッジを再度取り付けて下さい	イエローのカートリッジが見つかりません。取り付け直してください。詳細については、「101 ページの [インクカートリッジを取り外すには]」および「105 ページの [インクカートリッジを取り付けるには]」を参照してください。問題が解決しない場合は、カスタマ サービスにお問い合わせください。
26.1:01	マゼンタのインクカートリッジを再度取り付けて下さい	マゼンタのカートリッジが見つかりません。取り付け直してください。詳細については、「101 ページの [インクカートリッジを取り外すには]」および「105 ページの [インクカートリッジを取り付けるには]」を参照してください。問題が解決しない場合は、カスタマ サービスにお問い合わせください。

(続き)

コード	メッセージ	推奨する処理
26.2:01	黒のインクカートリッジを再度取り付けて下さい	黒のカートリッジが見つかりません。取り付け直してください。詳細については、「101 ページの [インクカートリッジを取り外すには]」および「105 ページの [インクカートリッジを取り付けるには]」を参照してください。問題が解決しない場合は、カスタマ サービスにお問い合わせください。
26.3:01	シアンのインクカートリッジを再度取り付けて下さい	シアンのカートリッジが見つかりません。取り付け直してください。詳細については、「101 ページの [インクカートリッジを取り外すには]」および「105 ページの [インクカートリッジを取り付けるには]」を参照してください。問題が解決しない場合は、カスタマ サービスにお問い合わせください。
27:03	プリンタを再起動し、それで問題が解決しない場合はHPサポートへご連絡下さい。	プリントヘッドの検出時にエラーが発生しました。すべてのプリントヘッドを取り付け直してください。詳細については、「107 ページの [プリントヘッドを取り外すには]」および「111 ページの [プリントヘッドを取り付けるには]」および「76 ページの [プリンタを再起動するには]」を参照してください。問題が解決しない場合は、カスタマ サービスにお問い合わせください。
61:01	ファイルフォーマットが間違っています。プリンタがジョブを処理できません。	ファイルフォーマットが間違っているため、プリンタがジョブを処理できません。プリンタのグラフィック言語設定を確認してください(詳細は、「138 ページの [グラフィック言語の設定を変更するには]」を参照してください)。Mac OS環境でUSB接続を使用してPostScriptを送信している場合、ドライバおよびアプリケーションの両方でASCIIエンコードを選択して

(続き)

コード	メッセージ	推奨する処理
		ください。また、最新リリースのファームウェアとドライバであることを確認してください。
61:04.1	ソフトウェア(ファームウェア)をアップデートします	プリンタに最新のバージョンがインストールされている場合でも、アップデート処理を繰り返して、このエラーを解決することができるか試してみるとをお勧めします。 詳細は、「175 ページの[プリンタのファームウェアをアップデートするには]」を参照してください。
61:08.1	パスワードで保護されたファイルは印刷できません。	このファイルのパスワードを外してプリンタに送信し直してください。
62:04	プリンタを再起動し、それで問題が解決しない場合はHPサポートへご連絡下さい。	パラレルポートでエラーが検出されました。 詳細は、「76 ページの[プリンタを再起動するには]」を参照してください。 問題が解決しない場合は、最新リリースのファームウェアであることを確認してください。
63:04	プリンタを再起動し、それで問題が解決しない場合はHPサポートへご連絡下さい。	LANポートでエラーが検出されました。 詳細は、「76 ページの[プリンタを再起動するには]」を参照してください。 問題が解決しない場合は、最新リリースのファームウェアであることを確認してください。
64:04	プリンタを再起動し、それで問題が解決しない場合はHPサポートへご連絡下さい。	USBポートでエラーが検出されました。 詳細は、「76 ページの[プリンタを再起動するには]」を参照してください。 問題が解決しない場合は、最新リリースのファームウェアであることを確認してください。
66:08	用紙の種類が変更されているため、ジョブを再送信してください	ジョブが送信された後に用紙の種類が変更されました。 取り付けられている用紙にジョブを印刷できません。 ジョブを送信し直すか、用紙を変更してください。
71:03	プリンタを再起動し、それで問題が解決しない場	メモリ不足によるエラーです。 内蔵Webサーバを使用して、ハードディ

(続き)

コード	メッセージ	推奨する処理
	合はHPサポートへご連絡下さい。	スクから不要なファイルを削除することをお勧めします。 詳細は、「76 ページの [プリンタを再起動するには]」を参照してください。
76:03	プリンタを再起動し、それで問題が解決しない場合はHPサポートへご連絡下さい。	ハードディスクに空き容量がありません。 問題が解決しない場合は、内蔵Webサーバを使用して、ハードディスクから不要なファイルを削除することをお勧めします。 詳細は、「76 ページの [プリンタを再起動するには]」を参照してください。
77:04	プリンタを再起動し、それで問題が解決しない場合はHPサポートへご連絡下さい。	内蔵Webサーバが動作していないと考えられます。 詳細は、「76 ページの [プリンタを再起動するには]」を参照してください。 問題が解決しない場合は、最新リリースのファームウェアであることを確認してください。
81:01	紙詰まりの可能性があります	詳細は、「217 ページの [紙詰まりの問題 (プリンタの紙詰まり)]」を参照してください。
86:01	紙詰まりの可能性があります	詳細は、「217 ページの [紙詰まりの問題 (プリンタの紙詰まり)]」を参照してください。

プリンタのフロントパネルに、上記以外のエラーコードが表示されている場合は、プリンタを再起動するか（「76 ページの [プリンタを再起動するには]」を参照）、ファームウェアとドライバが最新バージョンであることを確認するか（「175 ページの [プリンタのファームウェアをアップデートするには]」を参照）、またはその両方を実行してください。 問題が解決しない場合は、カスタマサービスにお問い合わせください。

「プリントヘッドのモニタリング中」というメッセージが表示される

これは、エラー メッセージではありません。 このメッセージは、[プリントヘッドのモニタ] オプションが [強化] に設定されている場合に表示されます。 設定を [最適化] に変更すると、メッセージは表示されません。 詳細

は、「114 ページの [プリントヘッドのモニタ状況を管理するには]」を参照してください。

「プリントヘッドの品質が低下しています」というメッセージが表示される

このメッセージは、プリンタが最適に機能していないプリントヘッドの存在を検出し、品質を維持するために特別なパスを作成する必要がある場合に、印刷中のフロントパネルに表示されます。このメッセージを消去するには、以下のいずれかを選択します。

- 印刷品質のレベルを上げます。詳細は、「129 ページの [印刷品質を変更するには]」を参照してください。
- プリントヘッドをクリーニングします。詳細は、「114 ページの [プリントヘッドを修復(クリーニング)するには]」を参照してください。
- イメージ診断印刷を使用して、問題の原因になっているプリントヘッドを特定します。詳細は、「177 ページの [イメージ診断印刷を使用するには]」を参照してください。

プリンタで印刷ができない

次のような原因が考えられます。詳細は、「227 ページの [印刷ジョブがタイムアウトまで待機している]」を参照してください。

- 電源に問題がある可能性があります。プリンタが動作せず、フロントパネルに何も表示されない場合は、電源ケーブルが正しく接続され、ソケットに電源が供給されているかどうかを確認してください。
- 強力な電磁場や重大な電気障害など、異常な電磁現象が発生している場合、プリンタが異常な動作をしたり、動作を停止することがあります。このような場合は、フロントパネルの **電源** ボタンを押してプリンタの電源を切り、電磁的な環境が正常に戻るまで待機してから、電源を入れ直してください。問題が解決しない場合は、カスタマサービスにお問い合わせください。
- グラフィック言語の設定が正しいことを確認します。詳細は、「138 ページの [グラフィック言語の設定を変更するには]」を参照してください。
- プリンタに適したドライバがコンピュータにインストールされているかどうかを確認します。詳細は、セットアップ手順を参照してください。
- Mac OS 環境で FireWire または USB 接続を使用している場合、データエンコードの変更が必要な場合があります。 アイコンを選択し、次に [印刷デフォルトメニュー] - [PostScript の設定] - [エンコード] - [ASCII] の順に選択します。ASCII データを送信するようにアプリケーションを設定します。

印刷ジョブがタイムアウトまで待機している

すべての手順を正しい順序で実行しても(用紙およびインク コンポーネントを正しく装着し、ファイルのエラーがない状態)、コンピュータから送信されたファイルが正しく印刷されない場合があります。

- 印刷ファイルに適切なファイルの終了コマンドがないため、プリンタが印刷が完了するまで、指定のI/Oタイムアウトまで待機しています。
Mac OS環境でFireWireまたはUSB接続を使用している場合、アイコンを選択し、次に [印刷デフォルトメニュー] - [PostScriptの設定] - [エンコード] - [ASCII] の順に選択します。 ASCIIデータを送信するようにアプリケーションを設定します。
- ネスティングがオンになっているため、適切なネスティングを計算する前に、指定のネスティング待ちのタイムアウトまで待機しています。この場合、プリンタには、ネスティングのタイムアウトまでの残り時間が表示されます。
- プリンタ ドライバから印刷プレビューの実行を要求した可能性があります。 プレビューは、イメージが目的のイメージになっているかどうかを確認するための機能です。 この場合、プレビューはWebブラウザのウィンドウに表示されるため、ボタンをクリックして、印刷を開始する必要があります。

プリンタの印刷が遅い

次のような原因が考えられます。

- 印刷品質を [高品質(最高画質)] に設定している場合。 [高品質(最高画質)] の場合は印刷に時間がかかります。
- 用紙を取り付けたときに、正しい用紙の種類を指定しなかった場合。 プリンタに現在設定されている用紙の種類を確認するには、「98 ページの [用紙に関する情報を表示するには]」を参照してください。
- プリンタをMacintoshコンピュータのAppleTalkシリアルポートに接続している場合。 通常、AppleTalkポートを使用している場合は印刷が遅くなります。 EtherTalkインターフェースを使用して、プリンタとMacintoshコンピュータを接続してみてください。
- プリンタをネットワーク経由で接続している場合。 ネットワーク上のすべてのコンポーネント(ネットワーク インタフェースカード、ハブ、ルータ、スイッチ、およびケーブル)が高速動作に対応しているかどうかを確認します。 ネットワーク上の他のデバイスのトラフィック量も確認してください。
- フロントパネルで乾燥時間を [長い] に設定している場合。 [最適] に変更してみてください。 詳細は、「248 ページの [乾燥時間について]」を参照してください。

- プリントヘッドの状態が悪い場合。プリントヘッドに問題があると、印刷品質を維持するために印刷速度は遅くなります。フロントパネルまたは内蔵Webサーバでプリントヘッドのステータスを確認し、必要に応じてプリントヘッドを修理するか交換してください。
- イメージにインク濃度の高い黒い領域がある場合。このような領域があると、品質を維持するため、一時的に遅い印刷品質オプションに切り替わることがあります。

コンピュータとプリンタの間の通信に問題がある

問題の例を以下に示します。

- プリンタにイメージを送信しても、フロントパネルのディスプレイに「受信中です」というメッセージが表示されない。
- 印刷しようとすると、コンピュータにエラー メッセージが表示される。
- 通信が確立された状態で、コンピュータまたはプリンタのいずれかが「ハング」している(アイドル状態)。
- 印刷結果に不規則なエラーまたは原因不明なエラーが発生する(線が正しく表示されない、グラフィックの一部だけ表示されるなど)。

通信の問題の解決するには、以下の手順に従います。

- ソフトウェアで正しいプリンタを選択していることを確認します。
- 他のソフトウェアで印刷した場合に、プリンタが正しく動作することを確認します。
- 大判印刷の場合は、受信、処理、印刷に時間がかかる場合があります。
- プリンタがネットワークに接続されている場合は、FireWire(IEEE1394)ケーブルまたはUSBケーブルでプリンタとコンピュータを直接接続して印刷してみます。
- プリンタとコンピュータの間に、スイッチ ボックス、バッファ ボックス、ケーブル アダプタ、ケーブル コンバータなどの中間デバイスがある場合は、それらを取り外し、プリンタとコンピュータを直接接続して印刷してみます。
- インタフェース ケーブルを別のものに変えて試してみます。サポートされているケーブルについての詳細は、「インターフェース仕様」を参照してください。
- グラフィック言語の設定が正しいことを確認します。詳細は、「138 ページの [グラフィック言語の設定を変更するには]」を参照してください。

ブラウザから内蔵Webサーバにアクセスできない

まだ目を通してない場合は、まず「77ページの[内蔵Webサーバにアクセスするには]」を参照してください。

- 内蔵Webサーバにパスワードを設定し、そのパスワードを忘れてしまった場合は、アイコンを選択し、[設定メニュー]-[内蔵Webサーバのパスワードをリセット]を選択します。
- プリンタのフロントパネルで、アイコンを選択し、次に[設定メニュー]-[内蔵Webサーバを使用]を選択します。このオプションがオフになっている場合は、オンにします。
- プリンタとの接続がTCP/IP(ネットワークまたはIEEE1394)であることを確認します。USBケーブルでプリンタに直接接続している場合は、内蔵Webサーバは使用できません。
- IEEE1394接続を使用している場合、コンピュータのオペレーティングシステムが「IP over IEEE-1394(FireWire)」に対応していることを確認します。たとえば、Windows XPおよびWindows 2003 Serverは「IP over FireWire」に対応していますが、Windows 2000は対応していません。Mac OS X 10.3も「IP over FireWire」に対応しています（「77ページの[内蔵Webサーバにアクセスするには]」を参照してください）。オペレーティングシステムが「IP over FireWire」を使用する設定になっていることを確認してください。
- プリンタのフロントパネルで、使用している接続に対してIPが有効になっていることを確認します。アイコンを選択し、次に[I/Oの設定]を選択します。使用している接続の種類を選択して、[IP有効]が表示されていることを確認します。表示されていない場合は、別の種類の接続を選択する必要があります。
- プロキシサーバ経由でWebにアクセスしている場合は、プロキシサーバを経由せずに内蔵Webサーバに直接アクセスします。直接アクセスするには、ブラウザの設定を変更します。たとえば、Windows版のInternet Explorer 6を使用している場合は、[ツール]-[インターネットオプション]-[接続]-[LANの設定]をクリックし、[ローカルアドレスにはプロキシサーバを使用しない]ボックスをオフにします。さらに高度な設定を行うには、[詳細設定]タブをクリックし、プロキシサーバを使用しないように、プリンタのIPアドレスを[例外]の一覧に追加します。
- フロントパネルの電源ボタンを押してプリンタの電源を切り、また入れ直します。

メモリ不足エラーが発生する

コンピュータでのファイルサイズと、そのファイルの印刷にプリンタで必要となるメモリ量には、直接の関係はありません。実際には、ファイル圧縮などのさまざまな要因があるため、必要なメモリ量を推定することは困難で

す。したがって、大きいファイルを以前に印刷できたとしても、メモリ不足のために印刷できないという可能性もあります。このような場合には、プリンタに対してメモリの追加が必要な場合もあります。

Windows HP-GL/2 ドライバを使用している場合は、プリンタのメモリの問題を解決する方法として、[サービス] タブを選択し、[ソフトウェアのトラブルシューティング] - [ビットマップとしてジョブを送信 (コンピュータで処理)] を選択します。

 **注記** このオプションを選択すると、コンピュータでのジョブの処理がかなり長くなる場合があります。

AutoCAD 2000でメモリアロケーションエラーが発生する

プリンタ ドライバのインストール後、AutoCAD 2000から最初に印刷しようとすると、[メモリアロケーションエラー]を示すメッセージが表示され、イメージが印刷されない場合があります。

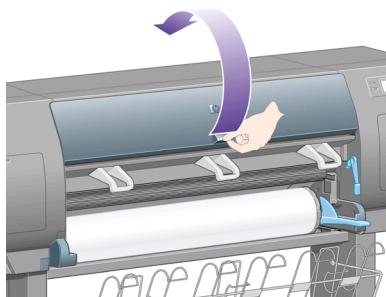
この問題の原因は、AutoCAD 2000です。この問題を解決するには、Plotting アップデートパッチ ([plotupdate.exe]) を、AutodeskのWebサイトである <http://www.autodesk.co.jp/> からダウンロードします。

このパッチは、AutoCAD 2000での印刷に関してその他の問題がある場合に、解決に役立つ可能性があります。

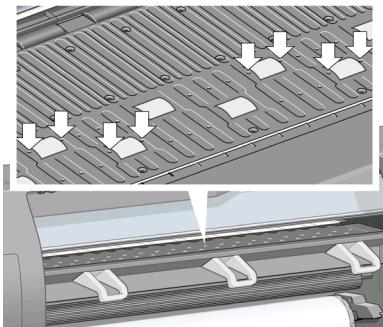
プラテンローラーからきしみ音がする

プラテンローラーには、ときどきオイルをさして潤滑する必要があります。プリンタに付属のメンテナンスキットには、製品に適したオイル1本が含まれています。

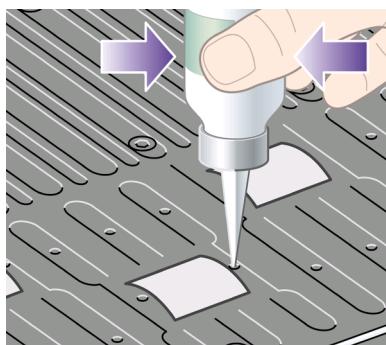
1. ウィンドウを開きます。



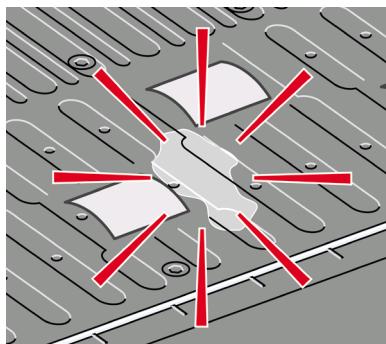
2. ローラーの横にあるプラテンに、小さい穴があります。



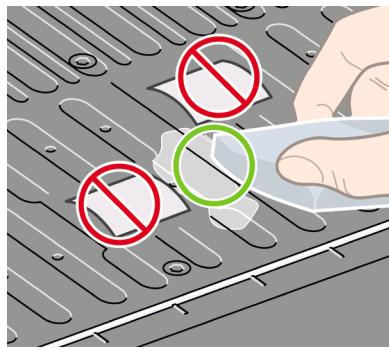
メンテナンス キット付属のオイルの容器を持ち、容器の先端を穴に差し込んで、オイルを3滴さします。



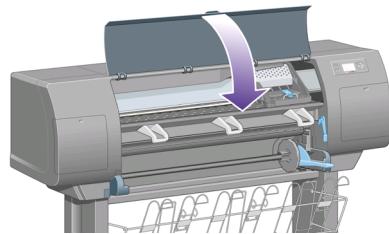
3. プラテンにある他の穴にも同じ手順を繰り返し、すべての穴にオイルを3滴ずつさします。
4. オイルがプラテンにこぼれないように注意してください。



5. こぼれてしまった場合は、キットに付属の布で拭き取ってください。



6. ウィンドウを閉じます。



18 プリンタについて

- 233 ページの [カラー エミュレーション モードについて]
- 235 ページの [プリンタの接続について]
- 236 ページの [プリンタ背面のランプについて]
- 236 ページの [プリンタの印刷メニューについて]
- 237 ページの [予防保守について]

カラー エミュレーション モードについて

このプリンタでは、モニタなどのRGBデバイスや、印刷機、プリンタのようなCMYKデバイスなど、他のデバイスで印刷した場合の色をエミュレートできます。 詳細は、「142 ページの [カラー エミュレーション モードを選択するには]」を参照してください。

このプリンタで別のHP Designjetプリンタをエミュレートできない場合は、「203 ページの [他のHP Designjetと色が一致しない]」を参照してください。

品質の良いエミュレーションを実現するために、プリンタには、これらのデバイスにより再現される色の仕様が必要になります。通常、この情報は、ICCプロファイルに格納されています。ICCプロファイルという最も一般的な標準規格を採用することによって、幅広いデバイスに対応することができます。適切なICCプロファイルを選択するほかに、ビジネス プрезентーション、写真、フルーフなど、印刷の用途に応じて、適切なレンダリング用途を選択する必要があります。 詳細は、「141 ページの [レンダリング用途を設定するには]」を参照してください。 カラー印刷に関する参考情報については、次のWebサイトを参照してください。http://www.hp.com/hpinfo/community/environment/productinfo/psis_inkjet.htm (英語サイト)

使用できるオプションは以下のとおりです。



注記 PDFおよびPostScriptファイルは、PostScriptプリンタのみで使用できます。

CMYKカラー エミュレーション

CMYKエミュレーションのオプションはすべて、PDFファイル、PostScriptファイル、TIFFファイル、およびJPEGファイルにのみ使用できます。

- **[なし (ネイティブ)]**：エミュレーションを行いません。アプリケーションまたはオペレーティング システムでカラー変換が行われ、プリンタに既にカラーマネジメント済みのデータを送る場合に使用します。
- **[HP CMYK Plus テクノロジ]**：HP独自の再レンダリング方式で、ほとんどの商業用のデジタル印刷で最適な印刷結果を得られます。限定された色域を拡張し、豊富な色彩を実現します。

- **[U.S. Sheetfed Coated v2]** は、インクの総使用量350%、ネガ版、普通オフセット用紙の印刷条件下で、米国製インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- **[U.S. Sheetfed Uncoated v2]** は、インクの総使用量260%、ネガ版、オフセット用上質紙の印刷条件下で、米国製インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠に準拠しています。
- **[U.S. Web Coated (SWOP) v2]** は、インクの総使用量300%、ネガ版、出版用コート紙の印刷条件下で、米国製インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- **[U.S. Web Uncoated v2]** は、インクの総使用量260%、ネガ版、オフセット用上質紙の印刷条件下で、米国製インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- **[Euroscale Coated v2]** : インクの総使用量350%、ポジ版、普通コート紙の印刷条件下で、Euroscaleインクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- **[Euroscale Uncoated v2]** : インクの総使用量260%、ポジ版、普通オフセット用紙の印刷条件下で、Euroscaleインクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- **[JMPA]** : オフセット印刷用の日本国内の規格です。
- **[Photoshop 4 Default CMYK]**
- **[Photoshop 5 Default CMYK]**
- その他の **[HP Designjet]** プリンタをエミュレートできます。

フロントパネルと内蔵Webサーバを使用する場合は、さらに以下のオプションを利用できます。

- **[Japan Color 2001 Coated]** : Japan Color 2001のタイプ3(コート紙)の仕様に準拠しています。これは、インクの総使用量350%、ポジ版、コート紙の印刷条件下で、高品質の色分解を行うように設計されています。
- **[Japan Color 2001 Uncoated]** : Japan Color 2001のタイプ4(普通紙)の仕様に準拠します。これは、インクの総使用量310%、ポジ版、普通紙の印刷条件下で、高品質の色分解を行うように設計されています。
- **[Japan Web Coated (Ad)]** : 日本国内の雑誌/広告業界向けにイメージのデジタル プルーフ用として日本雑誌協会が作成した仕様に準拠しています。
- **[TOYO]** : 高品質の色分解を行うための東洋印刷独自の仕様です。
- **[DIC]** : 高品質の色分解を行うための大日本インキ化学工業独自の仕様です。



注記 以上のオプションは、アプリケーションで独自のCMYKスペース(PostScriptではキャリブレートされたCMYKまたはCIEBasedDEFGと言います)が定義されている場合は無効になります。

RGBカラー エミュレーション

以下のオプションは、PDFファイル、PostScriptファイル、TIFFファイル、JPEGファイルに使用できます。HP-GL/2ファイルとRTLファイルの場合は、sRGBとAdobeRGBのみ使用できます。

RGBイメージを印刷する場合は、CMYKデータに変換する必要があります（アプリケーションまたはオペレーティング システムで変換できる場合もあります）。この変換を行うため、プリンタには以下のカラー プロファイルが用意されています。

- **[なし (ネイティブ)]**：エミュレーションを行いません。プリンタは、デフォルト設定の内部変換を使用してRGBをCMYKに変換します。特定のカラー標準には準拠しません。これは、結果が悪くなるということではありません。
- **[sRGB IEC61966-2.1]**：一般的なPCモニタの特性をエミュレートします。このカラー スペースは、多数のハードウェア メーカーとソフトウェア メーカーから支持されており、さまざまなスキャナ、プリンタ、ソフトウェア アプリケーションに標準装備されるカラー スペースになりつつあります。
- **[ColorMatch RGB]**：Radius Pressviewモニタ固有のカラー スペースをエミュレートします。このカラー スペースは、Adobe RGB (1998) よりも色域が狭く、印刷物に製作作業に使用することもできます。
- **[Apple RGB]**：一般的なAppleモニタの特性をエミュレートし、さまざまなDTPアプリケーションで使用されています。このカラー スペースは、Appleモニタでファイルを表示する場合、または古いDTPファイルを処理する場合に使用します。
- **[Adobe RGB (1998)]**：RGBカラーの広い色域を再現します。このカラー スペースは、印刷物に幅広い範囲の色が必要な場合に使用します。

プリンタの接続について

プリンタには、ネットワーク接続用の100base-TXネットワーク インタフェース（ファストイーサネット）と、コンピュータに直接接続するためのIEEE1394インターフェースが付属しています。

ほかに、USB 2.0インターフェース、1000base-T（ギガビットイーサネット）ネットワーク インタフェース、Jetdirectプリントサーバを、オプションのアクセサリとして追加できます。

どのインターフェースを使用するかが不明な場合は、「61 ページの [使用する接続方法を選択するには]」を参照してください。

プリンタのインターフェースに対応するソケットを確認するには、「53 ページの [プリンタを接続するには]」を参照してください。

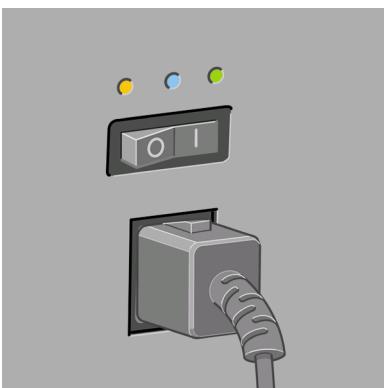
プリンタを使用できるようにオペレーティング システムを設定するには、以下のセクションから該当するものを参照してください。

- 62 ページの [プリンタをネットワークに接続するには (Windows)]
- 64 ページの [プリンタをネットワークに接続するには (Mac OS X)]
- 67 ページの [プリンタをネットワークに接続するには (Mac OS 9)]
- 69 ページの [プリンタをコンピュータに直接接続するには (Windows)]
- 69 ページの [プリンタをコンピュータに直接接続するには (Mac OS X)]
- 71 ページの [プリンタをコンピュータに直接接続するには (Mac OS 9)]

プリンタ背面のランプについて

プリンタ背面の電源スイッチの上に、3つの小さいランプがあります。

- 左側の黄色のランプは、プリンタがスリープ モードのときに点灯します。
- 中央の青のランプは、プリンタの電源が入っているときに点灯します。
- 右側の緑のランプは、プリンタが印刷中の場合に点灯します。



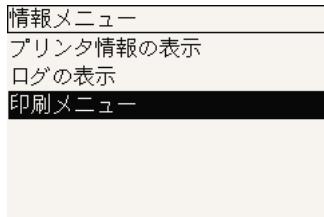
 **注記** プリンタはスリープ モードの状態では印刷できないため、この3つのランプがすべて同時に点灯することはありません。

プリンタの印刷メニューについて

印刷メニューには、プリンタに関するさまざまな情報が表示されます。印刷メニューは、コンピュータを使用しなくても、フロントパネルから呼び出すことができます。

印刷メニューを呼び出す前に、用紙(ロール紙またはカット紙)が取り付けられており、フロントパネルに[印刷可能です]のメッセージが表示されていることを確認します。

印刷メニューを印刷するには、アイコンを選択し、次に**[情報メニュー] - [印刷メニュー]**を選択し、必要な印刷メニューを選択します。



次の印刷メニューを使用できます。

- **[デモ印刷]**：プリンタの機能の一部を表示します。
- **[メニュー マップの印刷]**：すべてのフロントパネル メニューの詳細を表示します。
- **[現在の設定の印刷]**：現在のフロントパネルの設定をすべて表示します。
- **[使用状況レポートの印刷]**：印刷の合計数、用紙の種類別の印刷数、印刷品質オプション別の印刷数、および色ごとに使用されるインクの合計量を表示します。
- **[HP-GL/2パレットの印刷]**：現在選択されているカラー パレットのカラー定義またはグレースケール定義を表示します。
- **[PSフォント一覧の印刷]**：プリンタにインストールされているPostScript フォントを表示します (PostScript プリンタのみ)。
- **[イメージ診断の印刷]**：印刷品質の問題を解決する方法を表示します。
詳細は、「177 ページの [イメージ診断印刷を使用するには]」を参照してください。
- **[サービス情報の印刷]**：CEが必要とする情報を表示します。

予防保守について

プリンタを使用していると、常に使用されるコンポーネントは、時間とともに消耗していきます。

コンポーネントが消耗してプリンタが故障するのを防ぐために、プリンタは、プリンタ キャリッジがプリンタの軸を横切った周期の回数と、印刷に使用したインクの合計量を記録しています。

プリンタはこの数値を使用して、予防保守が必要なことを通知します。

その際には、フロントパネルに以下のメッセージが表示されます。

- 保守#1が必要です
- 保守#2が必要です

これらのメッセージは、コンポーネントの寿命が近づいていることを示します。プリンタの使用状況によっては、長期にわたって印刷を続行することができますが、カスタマ サービスに連絡して、オンラインの予防保守を依頼す

ることをお勧めします。サービスエンジニアは、消耗した部品を交換します。

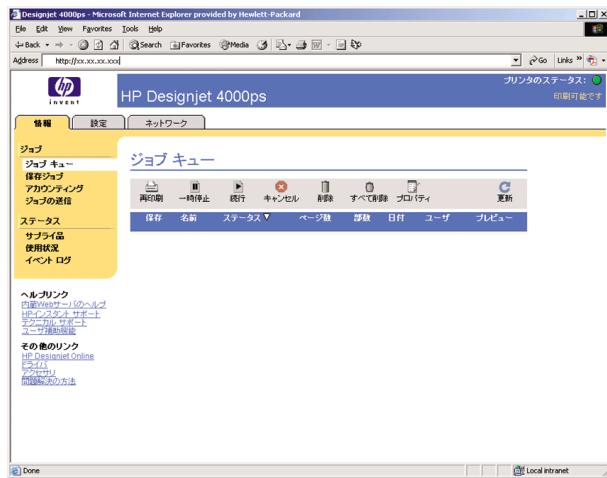
これにより、プリンタの寿命が長くなります。

フロントパネルにこれらのメッセージが表示されたときに、サービスエンジニアの派遣を手配すると、以下の2つの利点があります。

- プリンタ コンポーネントをお客様の都合に合わせて交換することができます。
- サービスエンジニアが予防保守を実行する場合、一度に複数の部品を交換するため、何度もお客様を訪問することはありません。

19 内蔵Webサーバについて

内蔵Webサーバを使用して、プリンタをリモートで管理することができます。どのコンピュータからでも、通常のWebブラウザを使用して、プリンタの内蔵Webサーバにアクセスできます（詳細については「77ページの[内蔵Webサーバにアクセスするには]」を参照してください）。



内蔵Webサーバを使用して、以下のことが実行できます。

- ドライバやアプリケーションを使用することなく、ジョブをさまざまなファイル形式 (HP-GL/2、HP-RTL、PostScript、PDF、JPEG、TIFF、およびCALS/G4) でプリンタに送信できます。詳細は、「163ページの[ジョブを送信するには]」を参照してください。
 **注記** PostScriptおよびPDF形式は、PostScriptプリンタのみで使用できます。
- 印刷ジョブのすべての段階を管理できます。詳細は、「165ページの[印刷キューを管理するには]」を参照してください。
- インクカートリッジ、プリントヘッド、プリントヘッドクリーナ、用紙のステータスを確認できます。詳細は、「124ページの[インクシステムのステータスを確認するには]」を参照してください。
- インクと用紙の使用状況を確認できます。詳細は、「126ページの[プリンタの使用状況に関する情報を確認するには]」を参照してください。
- 指定した警告またはエラーの条件（インク残量が少なくなったなど）が発生したときに、電子メールによる通知を要求できます。詳細は、「80ページの[特定のエラーが発生した際に電子メールで通知されるようにするには]」を参照してください。

- プリンタのファームウェアをアップデートできます。詳細は、「175 ページの [プリンタのファームウェアをアップデートするには]」を参照してください。
- [デバイスの設定] ページでさまざまなプリンタ設定を変更できます。
- パスワードを設定し、プリンタへのWebアクセスを制限できます。詳細は、「79 ページの [内蔵Webサーバをパスワードで保護するには]」を参照してください。

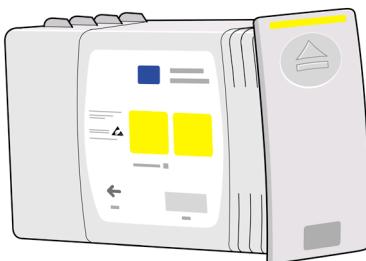
20 インク システムについて

- 241 ページの [インクカートリッジについて]
- 243 ページの [プリントヘッドについて]
- 244 ページの [プリントヘッドクリーナについて]
- 245 ページの [インク システムに関するヒント]

インクカートリッジについて

プリンタの4つのインクカートリッジから、イエロー、マゼンタ、黒、シアンの4種類のインクがプリントヘッドに供給されます。プリンタ付属のカラー カートリッジの容量は225cm³、黒のカートリッジの容量は400cm³です。容量400cm³のカラー カートリッジを別途購入して使用することもできます。

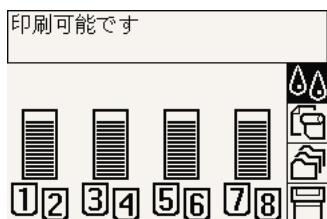
 **注記** これらのカートリッジの大きさはすべて同じで、内部の容量が異なるだけです。



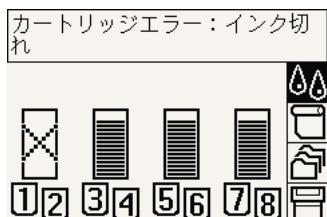
インクカートリッジには、保守またはクリーニングは必要ありません。各インクカートリッジをスロットにしっかりと差し込んでいれば、プリントヘッドにインクが供給されます。プリントヘッドでページに転写されるインクの量が調節されるため、インクの残量が少なくなった場合でも、高品質の印刷結果が得られます。

インクカートリッジの交換

アイコンをハイライトさせると、すべてのインクカートリッジのインク残量を確認できます(下図を参照)。



カートリッジのインク残量が少なくなると、フロントパネルに警告メッセージが表示されます。カートリッジが空になると、印刷が停止し、フロントパネルに原因を示すメッセージが表示されます。



カートリッジが空になった場合は、新しいHPのカートリッジと交換することをお勧めします。詳細は、「101 ページの [インクカートリッジを取り外すには]」および「105 ページの [インクカートリッジを取り付けるには]」を参照してください。

インクを補充したり、HP製以外のインクカートリッジを使用することも可能ですが、いずれの場合でも以下のようないくつかの重大な問題があります。

- プリンタが損傷する恐れがあります。この場合、カートリッジに関する修理、またインクの汚れによる問題は、プリンタの保証の対象になりません。
- インクチューブを含むインクシステム全体を交換しない限り、このプリンタで継続して使用する同色のプリントヘッドすべてに対する保証が無効になります。
- 印刷品質が低下する場合があります。
- プリンタがカートリッジ内のインク残量を判断できなくなり、インク残量が空として表示されます。

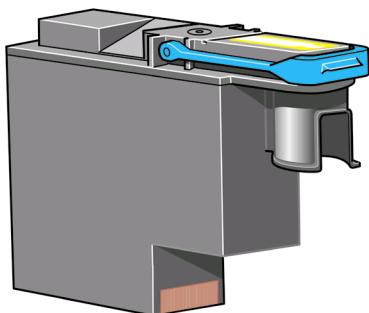
補充したカートリッジまたはHP製以外のカートリッジを使用する場合は、以下の手順に従い、プリンタがカートリッジを空として認識している状態でプリンタを使用します。

1. プリンタにカートリッジを取り付けます（「105 ページの [インクカートリッジを取り付けるには]」を参照してください）。
2. フロントパネルに、カートリッジが空であるというメッセージが表示され、カートリッジの自動取り外し処理が開始されます。キャンセルボタンを押し、自動取り外し処理を停止します。
3. フロントパネルで アイコンを選択し、次に [インクカートリッジ] を選択します。
4. [インクカートリッジの交換] をハイライトさせます。ただし、選択はしません。
5. キャンセルボタンと 上矢印ボタンを同時に押し、2秒以上押し続けます。
6. フロントパネルに、一連の警告メッセージが表示されます。メッセージが表示されるたびに、キャンセルボタンを押し、処理をキャンセルします。または、選択(チェックマーク)ボタンを押し、続行する必要のある処理があるかどうかを確認します。

すべての警告メッセージに対して、選択(チェックマーク)ボタンを押した場合、フロントパネルに通常のインクカートリッジのステータスが表示されますが、補充したカートリッジまたはHP製以外のカートリッジは空として表示され、警告マークが付きます。

プリントヘッドについて

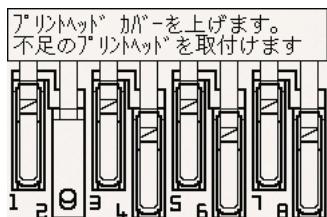
印刷速度の向上のため、1つのインクカートリッジに対して2つのプリントヘッドが接続されており、プリントヘッドは合計で8つになります。



プリントヘッドの耐久性は非常に優れており、インクカートリッジを交換するたびにプリントヘッドを交換する必要はありません。プリントヘッドにより、インクカートリッジのインク残量が少なくなった場合でも品質は高水準に維持されます。

最適な印刷品質を維持するため、自動的に一定の間隔でプリントヘッドがテストされ、必要に応じて修復されます。この処理には少し時間がかかり、印刷速度が遅くなる場合もあります。

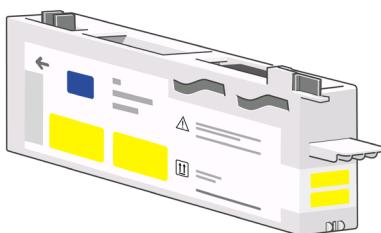
最終的にプリントヘッドの交換が必要になると、フロントパネルで、交換の必要なプリントヘッドの番号のところにXマークが表示されます。



△ 注意 新しいプリントヘッドを購入すると、新しいプリントヘッドクリーナもそれに付属しています。プリントヘッドを交換したときは、必ずプリントヘッドクリーナも同時に交換してください。古いプリントヘッドクリーナをプリンタに残したままの場合、新しいプリントヘッドの寿命が短くなり、プリンタが故障することがあります。

プリントヘッドクリーナについて

プリントヘッドにはそれぞれのプリントヘッドクリーナが付いており、1台のプリンタには合計で8つのクリーナがあります。プリントヘッドクリーナは、プリントヘッドのクリーニングと保守に使用し、印刷品質を最高水準に保ちます。また、プリントヘッドの未使用時に、プリントヘッドを保護して乾くのを防ぎます。



△ 注意 新しいプリントヘッドを購入すると、新しいプリントヘッドクリーナもそれに付属しています。プリントヘッドを交換したときは、必ずプリントヘッドクリーナも同時に交換してください。古いプリントヘッドクリーナをプリンタに残したままの場合、新しいプリントヘッドの寿命が短くなり、プリンタが故障することがあります。

インク システムに関するヒント

最高の結果を得るために、以下の説明に従ってください。

- インクカートリッジ、プリントヘッド、プリントヘッドクリーナは、パッケージに記載されている期限日より前に取り付けます。
- 新しいプリントヘッドを取り付けたら、必ずプリントヘッドクリーナも交換します。
- 取り付け作業中は、フロントパネルに表示される指示に従います。
- プリンタとプリントヘッドクリーナが、プリントヘッドを自動的にクリーニングできるようにします。
- インクカートリッジとプリントヘッドは、できる限り取り外さないでください。
- 印刷中は、インクカートリッジを決して取り外さないでください。必ずプリンタ側でインクカートリッジ取り外しの準備ができた状態で取り外してください。フロントパネルに、取り外しと取り付けの手順が表示されます(または、「101 ページの [インクカートリッジを取り外すには]」および「105 ページの [インクカートリッジを取り付けるには]」を参照してください)。

インク・システムについて

21 用紙について

- 247 ページの [用紙の使用方法について]
- 248 ページの [乾燥時間について]

用紙の使用方法について

良好な印刷品質を得るためにには、目的に合った適切な用紙を選択することが非常に重要です。最適な印刷結果を得るには、信頼性とパフォーマンスが高く、十分な検査を受けた推奨されている用紙（「96 ページの [サポートされている用紙の種類を選択するには]」を参照）のみを使用してください。すべてのプリンタ関連製品（プリンタ、インク システム、用紙）は、一緒に使用することで高性能を発揮し、最適な印刷品質を実現することができます。

用紙の使用方法に関するヒントを以下に示します。

- 用紙の変色を防ぐため、未使用のロール紙はプラスチックの巻き取り部に巻き取っておくようにしてください。ロール紙が部分的に使用済みで、未使用部分がある場合は、使用済みの部分を巻き直しておいてください。
- ロール紙は積み重ねないでください。
- 用紙の種類を問わず、印刷に使用する24時間前には、包装を外して、使用する環境に用紙を出しておくようにしてください。
- フィルムと光沢紙は、端を持つか綿製の手袋をして取り扱ってください。このような用紙には手の油分が付着しやすく、指紋が付く可能性があります。
- 用紙の取り付けと取り外しの際は、用紙をロールにしっかりと巻き付けておいてください。巻き付け方が緩いと、取り扱いにくくなります。
- ロール紙またはカット紙を取り付けた場合、取り付けた用紙の種類を指定するようにフロントパネルにメッセージが表示されます。印刷品質を高くするため、適切な用紙の種類を指定する必要があります。用紙が既に取り付けられている場合、用紙の種類を確認するには、フロントパネルで または アイコンをハイライトさせます。
- イメージに適さない用紙を使用した場合、イメージによっては品質が低下するものがあります。
- フロントパネルに、**スーパー厚手コート紙**と表示される用紙の種類（注記：現在この種類の推奨用紙はありません）を取り付けた場合は、カッターの故障を防ぐためにカッターをオフにします。そのためには、 アイコンを選択し、次に [用紙の取り扱いオプション] - [カッター] - [オフ] を選択します。
スーパー厚手コート紙の使用をやめ、別の種類の用紙を取り付ける際には、必ずカッターをオンに戻します。

- 適切な印刷品質設定(高速、標準、高品質)を選択していることを確認してください。印刷品質は、ドライバ、内蔵Webサーバ、またはフロントパネルで設定できます。ドライバまたは内蔵Webサーバの設定は、フロントパネルの設定よりも優先されます。用紙の種類と印刷品質設定の組み合わせによって、用紙に対するインクの転写方法が決定されます。たとえば、インク濃度、ハーフトーン、プリントヘッドの移動回数などが決定されます。詳細は、「129 ページの[印刷品質設定を選択するには]」を参照してください。
- プリンタに付属のインクシステムは光に対して優れた耐久性を備えていますが、日光に長期間さらされると最終的には退色または変色します。

乾燥時間について

印刷物や印刷する環境によっては、印刷物を取り外す前にインクを乾燥させる時間が必要になる場合があります。以下の設定から選択できます。

- [最適]：選択した印刷物と印刷時の温度および湿度に基づき、適切な乾燥時間が自動的に判断されます。乾燥時間が必要な場合は、乾燥時間の残り時間がフロントパネルに表示されます。
- [長い]：デフォルトの乾燥時間よりも長くなります。デフォルトの乾燥時間では十分にインクが乾燥しない場合は、この設定を選択します。
- [短い]：デフォルトの乾燥時間よりも短くなります。できるだけ早く印刷する必要があり、乾燥時間が短くても大きな問題がない場合は、この設定を選択します。
- [なし]：乾燥時間を設定しません。印刷物がプリンタから排紙されたらすぐに手で取り外す場合は、この設定を選択します。

乾燥時間を変更するには、「100 ページの[乾燥時間を変更するには]」を参照してください。

22 プリンタの仕様について

- 249 ページの [プリンタ機能の仕様について]
- 252 ページの [物理的仕様について]
- 252 ページの [メモリの仕様について]
- 252 ページの [電源の仕様について]
- 253 ページの [エコロジーに関する仕様について]
- 253 ページの [動作環境の仕様について]
- 253 ページの [動作音に関する仕様について]

プリンタ機能の仕様について

HP No. 90インク サプライ品

プリントヘッド	イエロー、マゼンタ、黒、シアン (各2個)
プリントヘッドクリーナ	イエロー、マゼンタ、黒、シアン (各2個)
インクカートリッジ	イエロー、マゼンタ、シアン(225または400cm ³)、黒(400cm ³)

用紙サイズ

	最小	最大
幅	279mm(11インチ)	1067mm(42インチ)
長さ	420mm(16.5インチ)	カット紙は1.5m(60インチ)、ロール紙は90m(300フィート)

印刷解像度

印刷品質	高精細	描画/テキスト用に最適化		イメージ用に最適化	
		レンダリング解像度 (dpi)	印刷解像度 (dpi)	レンダリング解像度 (dpi)	印刷解像度 (dpi)
高品質	オン	1200 × 1200	2400 × 1200 (光沢フォト用紙、キャンバス) 1200 × 1200 (その他の用紙)	1200 × 1200	2400 × 1200 (光沢フォト用紙 2、光沢フォト用紙、キャンバス) 1200 × 1200 (その他の用紙)
	オフ	600 × 600	1200 × 1200 (光沢フォト用紙、キャンバス) 1200 × 600 (その他の用紙)	600 × 600	1200 × 1200 (光沢フォト用紙、キャンバス) 1200 × 600 (その他の用紙)
標準	オン	600 × 600	1200 × 1200 (光沢フォト用紙、キャンバス) 1200 × 600 (その他の用紙)	600 × 600	1200 × 1200 (光沢フォト用紙、キャンバス) 1200 × 600 (その他の用紙)
	オフ	600 × 600	1200 × 1200 (光沢フォト用紙、キャンバス) 1200 × 600 (その他の用紙)	300 × 300	1200 × 1200 (光沢フォト用紙 2、光沢フォト用紙、キャンバス) 1200 × 600 (その他の用紙)
高速	オン	600 × 600	1200×1200 (光沢フォト用紙) 1200 × 600 (その他の用紙)	600 × 600	1200×1200 (光沢フォト用紙) 600 × 600 (インクジェット普通紙(最高速)、イ

プリントの仕様について

印刷解像度(続き)

印刷品質	高精細	描画/テキスト用に最適化		イメージ用に最適化	
		レンダリング解像度(dpi)	印刷解像度(dpi)	レンダリング解像度(dpi)	印刷解像度(dpi)
オフ	300 × 300	1200×1200(光沢フォト用紙) 600 × 600(高速印刷用) 1200 × 600(その他の用紙)	300 × 300	1200×1200(光沢フォト用紙) 600 × 600(インクジェット普通紙(最高速)、インクジェット普通紙、普通紙) 1200 × 600(その他の用紙)	インクジェット普通紙、普通紙) 1200 × 600(その他の用紙)

参考:用紙の仕様について

マージン

左右マージン	5mm(ふつう) 15mm(広い)
上マージン(用紙の上端)	11.5mm(ふつう) 55mm(広い)
下マージン(用紙の下端)	5mm(ロール紙) 25mm(カット紙、ふつう) 55mm(カット紙、広い)

機構的な精度

指定ベクトル長±0.1%または±0.1mm(いずれか大きい方)、気温23°C(73°F)、相対湿度50~60%、A0サイズの印刷物に[高品質]または[標準]でHPマットフィルムを使用して印刷。

サポートされているグラフィック言語

HP Designjet 4000および4000ps プリンタ	HP-GL/2、RTL、TIFF、JPEG、CALS G4
HP Designjet 4000ps プリンタのみ	Adobe PostScript 3、PDF 1.5

物理的仕様について

重量 (スタンド部を含む)	≈ 115kg
幅	< 1930mm
奥行き	< 800mm
高さ	≈ 1350mm

プリントの仕様について

メモリの仕様について

標準装備メモリ (DRAM)	256MB
最大メモリ (DRAM)	512MB
ハードディスク	40GB

電源の仕様について

電源	100~240V AC ±10% 自動判別
周波数	50~60 Hz
電流	< 6A
消費電力	< 1kW

エコロジーに関する仕様について

プリンタのエコロジーに関する仕様の最新情報については、
<http://www.hp.com/> にアクセスし、「ecological specifications」で検索してください。

動作環境の仕様について

イメージを最高品質で印刷するための相対湿度範囲	20~80% (用紙の種類により変動)
イメージを最高品質で印刷するための温度範囲	15~35°C (59~95°F) (用紙の種類により変動)
印刷時の温度範囲	5~40°C (41~104°F)
印刷時以外の温度範囲	-20~+50°C (-4~+122°F)
動作可能な最大高度	3000m

動作音に関する仕様について

アイドリング時の動作音	≤ 5.7B (A)
操作時の動作音	≤ 7.0B (A)
アイドリング時の音圧	≤ 39dB (A)
操作時の音圧	≤ 53dB (A)

プリントの仕様について

23 注文できるサプライ品とアクセサリについて

- 255 ページの [注文できるインク サプライ品について]
- 256 ページの [注文できる用紙について]
- 258 ページの [注文できるアクセサリについて]



注記 日本では販売されていない製品があります。ご購入の際には、ご確認ください。

注文できるインク サプライ品について

このプリンタ用にご注文いただけるインク サプライ品は以下のとおりです。

インクカートリッジ

カートリッジ	容量 (cm ³)	製品番号
HP 90シアン	225	C5060A
HP 90マゼンタ	225	C5062A
HP 90イエロー	225	C5064A
HP 90黒	400	C5058A
HP 90シアン	400	C5061A
HP 90マゼンタ	400	C5063A
HP 90イエロー	400	C5065A

注文できるサプライ品とアクセサリについて

プリントヘッドとプリントヘッドクリーナ

プリントヘッドおよびプリントヘッドクリーナ	製品番号
HP 90黒	C5054A
HP 90シアン	C5055A
HP 90マゼンタ	C5056A
HP 90イエロー	C5057A

注文できる用紙について

このプリンタに現在対応している用紙の種類は以下のとおりです。

 **注記** 以下の表の内容は、将来変更される場合があります。最新情報については、<http://www.hp.com/go/designjet>を参照してください。

高等技術を応用した用紙

名称	g/m ²	24インチ幅	36インチ幅	42インチ幅
HP インクジェット普通紙	90	C1860A* C6035A †	C1861A* C6036A †	なし
HP インクジェット普通紙(長尺)	90	なし	C6810A	なし
HP マットフィルム	163	51642A	51642B	なし
HP クリア フィルム	170	C3876A	C3875A	なし
HP モノクロ & カラー トレーシングペーパー	90	C3869A	C3868A	なし
HP 半透明ボンド紙	67	C3860A	C3859A	なし
HP Polyester Film Opaque White Glossy	170	C7955A	C7956A	C7957A
HP ベラム紙	75	C3862A	C3861A	なし
HP コート紙	91	C6019B	C6020B	C6559B * C6567B †
HP コート紙(長尺)	91	なし	C6980A	なし
HP 厚手コート紙	133	C6029C	C6030C	C6569C
HP 厚手コート紙 (long roll)	130	なし	なし	Q1956A †

プレミアム フォト用紙

名称	g/m ²	24インチ幅	36インチ幅	42インチ幅
HP光沢フォト用紙2	245	なし	Q1938A	Q1939A
HP半光沢フォト用紙2	245	なし	Q1943A	Q1944A
HP Photo Paper RC Matte	200	なし	C7946A	なし
HP Proofing Paper RC Satin	200	なし	C7952A	なし

Universal Line

名称	g/m ²	24インチ幅	36インチ幅	42インチ幅
HPスタンダード光沢フォト用紙	179	Q1426A	Q1427A	Q1428A
HPスタンダード半光沢フォト用紙	179	Q1420A	Q1421A	Q1422A
HPスタンダード普通紙	80	Q1396A †	Q1397A †	Q1398A †
HPスタンダードコート紙	95	Q1404A †	Q1405A †	Q1406A †
HPスタンダード厚手コート紙	120	Q1412A †	Q1413A †	Q1414A †
HPスタンダードスーパー厚手コート紙	160	C7929A*	C7930A*	C7931A*

表示用グラフィック

名称	g/m ²	24インチ幅	36インチ幅	42インチ幅
HPバナーマテリアル (Tyvek)	140	なし	C6787A	なし
HPビニール (粘着タイプ)	328	なし	C6775A	なし
HP Backlit Film Reverse Print Matte	160	なし	C7960A	なし
HPキャンバス	368	なし	C6771A	なし

注文できるサプライ品ヒヤクセナリ

表示用グラフィック(続き)

名称	g/m ²	24インチ幅	36インチ幅	42インチ幅
HP Outdoor Billboard Paper Blue Back	140	なし	C7949A	なし

グラフィックアート/屋内/ファインアート

名称	g/m ²	24インチ幅	36インチ幅	42インチ幅
HP Canvas Matte	340	C7966A	C7967A	C7968A
HP Outdoor Paper	145	なし	Q1730A	なし
HP Canvas Paper 140 gsm	140	なし	Q1718A	なし
HP Canvas Paper 180 gsm	180	なし	Q1724A	なし
HP Fine Art Paper、Aquarella	240	なし	Q1703A	なし
HP Fine Art Paper、Cream	140	なし	Q1709A	なし
HP Fine Art Paper、Sahara	140	なし	Q1715A	なし
HP Indoor Paper Self-Adhesive	170	なし	Q1733A	なし

* 北米および南米でのみ販売

† ヨーロッパ、中東、およびアフリカでのみ販売

注文できるアクセサリについて

このプリンタ用にご注文いただけるアクセサリは以下のとおりです。

名称	製品番号
HP Designjet 4000シリーズ プリンタ用のHP Jetdirect 40d Gigabitプリントサーバ(プリンタを大容量ネットワークに接続できます)	Q5679A
HP Designjet 4000シリーズ プリンタ用のUSB 2.0カード(プリンタに直接接続し、高速データ転送を実現します)	Q5680A
HP Jetdirect 620nファストイーサネットプリントサーバ	J7934A
HP Designjet 4000シリーズ プリンタ用の256MBメモリアップグレード(複雑なファイルを処理するために、プリンタのメモリを増設できます)	Q5673A

(続き)

名称	製品番号
HP Designjetロール フィード スピンドル42" (スペアのスピンドルがあれば、種類の異なるロール紙の交換作業が楽になります)	Q5675A

注文できるサプライ品ヒヤクセナリ

注文できるサプライ品とアクセサリ
について

24 困ったときにご利用できるサービスについて

- 261 ページの [HPインスタント サポートについて]
- 261 ページの [HPカスタマ・ケアについて]
- 263 ページの [HP Designjet Onlineについて]
- 263 ページの [その他の情報について]

HPインスタント サポートについて

HPインスタント サポートは、プリンタから診断情報を収集し、HPの知識ベースに蓄積された解決策と照合して迅速に問題を解決する、HPのトラブルシューティング用のツールです。

HPインスタント サポート セッションを開始するには、プリンタの内蔵Webサーバに表示されるリンクをクリックします。詳細は、「77 ページの [内蔵Webサーバにアクセスするには]」を参照してください。

HPインスタント サポートを使用するには、以下の条件を満たす必要があります。

- プリンタとTCP/IPで接続されていること。HPインスタント サポートには、内蔵Webサーバからのみアクセスできます。
- Webにアクセスできること。HPインスタント サポートは、Webベースのサービスです。

HPインスタント サポートは現在、英語、韓国語、簡体中国語、繁体中国語でご利用いただけます。

HPカスタマ・ケアについて

弊社はお客様を支えるパートナーとして、お客様のビジネスを円滑にするお手伝いをしたいと考えております。HPカスタマ・ケアは、優れたサポート内容により受賞経験もあります。お使いのHP Designjetから常に最高の結果を得られるようにサポートいたします。

HPカスタマ・ケアは、広範囲における信頼のおけるサポート専門知識を提供し、常に新しい技術を効果的に使用することで、ほかには類を見ないきめ細かなサポートを提供いたします。サービスには、セットアップおよびインストールのサポート、トラブル解決のための情報提供、アップグレード保証、修理および交換サービス、電話とWebによるサポート、ソフトウェアのアップデート、自己保守サービスなどがあります。HPカスタマ・ケアについての詳細は、以下の弊社Webサイトをご覧ください。

<http://www.hp.com/go/designjet/>

困ったときにご利用できるサービス
について

または、このプリンタに付属の [Customer Service Guide (カスタマ サービス ガイド)] に記載されている電話番号までお電話ください。

お問い合わせになる前に

- 本書の「トラブルシューティング」で紹介されている解決策を確認してください。
- 本製品のドライバ付属のマニュアル (PostScriptファイルを印刷する場合、またはMicrosoft Windowsのユーザの場合) を参照してください。
- サードパーティ社製のソフトウェア ドライバとRIPをインストールしている場合は、それらのマニュアルを参照してください。
- 問題がソフトウェア アプリケーションに関連していると思われる場合は、ソフトウェアの販売元にお問い合わせください。
- それでも問題が解決しない場合は、このプリンタに付属の『HPサポートサービス』ブックレットをご覧ください。このブックレットには、プリンタの問題を解決するのに役立つ、サポート サービスの総合的な一覧が記載されています。
- 弊社にお問い合わせの際は、お客様のご質問により迅速にお答えできるよう、下記の事項をご確認ください。
 - お使いのプリンタ (プリンタの背面のラベルに記載されている、製品番号およびシリアル番号)
 - プリンタのサービスID : アイコンを選択し、次に **[情報メニュー] - [プリンタ情報の表示] - [サービスID]** を選択します。
 - フロントパネルにエラー コードが表示される場合は、それをメモして、「ステータス コードとエラー メッセージ」を参照してください。
 - お使いのコンピュータ
 - お使いの特別な機器やソフトウェア (スプーラ、ネットワーク、スイッチボックス、モデム、特別なソフトウェア ドライバなど)
 - お使いのケーブル (製品番号) とご購入場所
 - プリンタでお使いのインターフェースの種類 (IEEE1394、USB、またはネットワーク)
 - 現在使用中のソフトウェアの名前とバージョン
 - 問題がシステム エラーの場合はエラー番号が表示されるので、そのエラー番号をメモしてご用意ください。
 - 可能であれば、[情報メニュー] - [印刷メニュー] - [サービス情報の印刷] から、[ネットワークとI/O設定]、[プリンタ使用状況の情報] の全ページを印刷しておいてください。サポートセンターからこれらのページのFAX送信をお願いする場合があります (詳細は、「236 ページの [プリンタの印刷メニューについて]」を参照してください)。

HP Designjet Onlineについて

専用のサービスとリソースを十分にご活用いただくことで、HP Designjet製品およびソリューションに関して最大級のパフォーマンスを実現することができます。

HP Designjet Onlineは、大判印刷に携わる方々のコミュニティです（<http://www.hp.com/go/designjet/>）。ご登録いただくと、以下のリソースを無制限でご利用になれます。

- ダウンロード：プリンタの最新のファームウェア、ドライバ、ソフトウェア、メディアプロファイルなど。
- 技術サポート：オンラインのトラブルシューティング、カスタマ・ケアへのご連絡など。
- HPの専門技術者や他の上級ユーザーと直接連絡することのできるフォーラム。
- オンラインでの保証の確認：いつでも確認できるので安心です。
- 技術資料およびトレーニング用のビデオ。
- 最新の製品情報：プリンタ、サプライ品、アクセサリ、ソフトウェアなど。
- インクと用紙に関するすべての情報を確認できる消耗品センター。

購入製品とビジネス分野に合わせて登録内容をカスタマイズし、ご希望の連絡方法を設定することができます。

最大パフォーマンスを実現するため、是非、HP Designjet Onlineにご登録ください。

HP Designjet Onlineは、日本語、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、韓国語、簡体中国語、繁体中国語でご覧いただけます。

その他情報について

その他に、以下の情報をご利用いただけます。

- 内蔵Webサーバから、プリンタのステータス、技術サポート、オンラインマニュアルなどをご利用いただけます。詳細は、「239ページの[内蔵Webサーバについて]」を参照してください。
- プリンタに同梱されている『セットアップ手順』

困ったときにご利用できるサービス
について

因ったときのご利用できるサービスについて

25 法律情報

- 265 ページの [全世界共通の無償保証 — HP Designjet 4000プリンタ シリーズ]
- 269 ページの [Hewlett-Packardソフトウェア使用許諾書]
- 270 ページの [オープンソースについて]
- 271 ページの [規格適合情報]
- 274 ページの [適合宣言 (DECLARATION OF CONFORMITY)]

全世界共通の無償保証 — HP Designjet 4000プリンタ シリーズ

HP製品	無償保証期間
プリンタおよび関連HPハードウェア	1年間(お客様の新規購入日から。ただし、中古機を除く。)
ソフトウェア	90日間(お客様の新規購入日から。ただし、中古機を除く。)
プリントヘッド	製品に印刷されている「保証期限日」に達するまで、あるいはプリントヘッドで1000cm ³ のHPインクを使い切るまでの、いずれか先に到達したとき。
インクカートリッジ	HPインクを消費するまで、または製品に印刷されている「保証期限日」に達するまでの、いずれか先に到達したとき。

A. HP無償保証の範囲、内容および条件

- このHewlett-Packard (HP) 無償保証は、本製品の製造者であるHP(以下「弊社」とします)が、明示的な無償保証の権利をお客様に供与するものです。これに加え、お客様は、居住地域の適用法または弊社との特別な書面による合意に基づく、その他の法的権利を有します。
- 弊社は、上記のHP製品について、上記に定める無償保証期間中、部品および製造上の理由により不具合が発生した場合に、無償で保証いたします。無償保証期間の開始日は、購入日になります。お手元にある日付の入った領収書または納品受領証など、本製品のご購入日が記載された書類が、ご購入日の証明書となります。保証サービスを受ける際には、ご購入日を証明する書類の提出が必要となる場合があります。お客様は、

無償保証期間内に上記HP製品の修理または交換が必要になった場合、本文書の条項に基づき保証サービスを受けることができます。

3. ソフトウェア製品について、弊社の無償保証は、プログラム命令が実行されない欠陥に対してのみ適用されます。弊社はいかなるソフトウェア製品についても、動作の中止について、あるいはエラーが発生しないという保証はいたしません。
4. 弊社の無償保証は、製品を通常の用法に従って使用した結果発生した不具合に対してのみ適用されます。以下のような場合には適用されません。
 - a. お客様の不適切または不十分な保守による場合。
 - b. 弊社が提供またはサポートしていないソフトウェア、インターフェース、メディア、サプライ品を使用した場合。
 - c. 製品仕様または本マニュアルの記載の範囲外での製品操作に起因する場合。

クリーニング サービス、保守メンテナンス サービス(保守メンテナンスキットに含まれる部品、および弊社サービス エンジニアによる作業を含む)など、HP Designjet 4000 シリーズの日常的なプリンタ保守作業は、無償保証の対象になりません。ただし、地域によっては、別途締結したサポート契約によってこのようなサービスを受けることができます。

5. 故障、変化、またはデータの喪失に備え、本プリンタのハード ディスクまたはその他のストレージ デバイスに格納されたデータのバックアップ コピーを定期的に作成してください。サービスを受けるために本製品のユニットを弊社に送付する場合、必ず事前にデータのバックアップを作成し、機密情報、社外秘情報、個人情報などは削除しておいてください。弊社は、本プリンタのハード ディスクまたはその他のストレージ デバイスに格納されたいかなるファイルまたはデータの破損または喪失に対しても責任を負いません。また、弊社は、喪失したファイルまたはデータの復元も行いません。
6. HPプリンタ製品について、補充用またはその後ご購入頂いたHPサプライ品(インク、プリントヘッド、インクカートリッジ)を使用頂いても、お客様へのHP無償保証またはお客様とのHPサポート契約には影響いたしません。ただし、HP製品以外のインクカートリッジ、またはHP製品以外の補充用のインクカートリッジその他HP製品以外のサプライ品の使用によるプリンタの故障や破損については、無償保証の範囲外とし、修理に必要とされる技術者派遣費、技術費および、材料費を請求させていただきます。
7. HP製品の不具合に対して適用される救済措置は、以下に限定されます。
 - a. 無償保証期間中、この無償保証の対象となるHPソフトウェア、メディア、または消耗品について、不具合のあるものを回収し、それに代わる別の製品をお届けします。
 - b. 無償保証期間中、弊社独自の判断に基づき、不具合のあるハードウェア製品またはコンポーネント部品を、技術者を派遣して修理するか、または交換します。コンポーネント部品の交換が必要と弊社が判断した場合、お客様に対し、(i) 不具合のある部品と引き換えに交

換部品を提供し、(ii) 必要に応じて電話等による部品取り付けのサポートを行います。

c. 万一、この無償保証の対象となっている不具合のある製品の修理または交換に対応ができない場合は、不具合の通知を受けてからしかるべき期間内に、製品の購入代金を返金いたします。

8. お客様から故障した製品またはコンポーネント部品を弊社にご返却いただくまで、弊社には交換または返金の義務はありません。この無償保証による交換によって返却されたコンポーネント、部品、またはハードウェア製品は、弊社の所有物となります。上記の内容にかかわらず、弊社は、故障した部品の返却をお客様に要求しない場合もあります。弊社は、ソフトウェア、メディア、消耗品等の代替品のお届け、または製品もしくはコンポーネント部品の修理、交換、またはその他のサポート等の正確な実施時期についてお約束することはできません。お客様からこれらの実施時期のご指定があった場合にも、当該ご指定の時期にこれらのサポート等が実施できることについて、弊社はいかなる責任も負いません。

9. 特に明記しない限り、地域の法律の定める範囲内において、パフォーマンスと信頼性の向上のため、同種類の製品について、新しい材料、または新しい材料と同等な使用済み材料を使用して製造する場合があります。弊社は、製品の修理または交換を行う際、(i) 修理または交換の対象となる製品と同等の製品またはその材料を使用しますが、再利用品になる場合があります。または、(ii) 元の製品が生産中止になっている場合、元の製品と同等の製品またはその材料を使用します。

10. この無償保証は、本文書に記載された条項に基づき、すべての国/地域に対して適用され、弊社または弊社認定のサービス プロバイダが保証サービスを提供し、弊社が本製品を販売したあらゆる国において実施されます。ただし、保証サービスの有効性と応答時間は、国/地域により異なる場合があります。弊社では、法律上または規制により、動作を想定していない国/地域で製品を動作させるために、弊社製品の形状、適合性、または機能を変更することはありません。

11. 本文書に記載されている弊社製品が、弊社または正規輸入業者によって提供されている地域では、弊社認定のサービス部門に対して、その他のサービス契約が適用される場合があります。

12. 法律の定める範囲において、この無償保証に明示的に規定される場合を除き、弊社および弊社指定の協力会社は、弊社の製品およびサービスに関する、上記以外のいかなる保証も、債務の負担もいたしません。弊社は、市場性、品質、特定目的に関する整合性について、いかなる保証も債務の負担もいたしません。

B. 責任の制限

法律の定める範囲において、この無償保証で特に明記されている責任を除き、契約、不法行為、その他の法的原因に基づいているか否かに問わらず、またそうした損害の可能性を予期または報告していたか否かに問わらず、弊社または弊社指定の協力会社は、直接的、間接的、偶発的または必然的な損

害、および通常のまたは特別な事情による損害その他一切の損害(収益または資金の損失を含む)に対していかなる責任も負いません。

C. 国/地域別の法律

1. この無償保証は、特定の法的権利をお客様に与えるものです。 その他の権利は、米国とカナダでは州によって、またはその他の国/地域ではその国/地域によって異なる可能性があります。 お客様が有するその他の権利については、国/地域の法律をご確認ください。
2. この無償保証の一部が特定の国/地域の法律と一致していない場合は、その国/地域の法律に合致するよう修正されます。 当該国/地域の法律上許されていない場合を除き、本保証の条件は除外、制限、または変更されません。 さらに、本保証の条件は、当該国/地域のお客様へのHP製品の販売に適用される、当該国/地域の法律の定める範囲内で法的拘束力のある権利義務となります。

改訂：2004年8月1日

Hewlett-Packardソフトウェア使用許諾書

注意：本ソフトウェアの使用にあたり、お客様は、以下に記載するHPソフトウェア使用許諾条件に従うものとします。本ソフトウェアを使用することによって、お客様はこれらの使用許諾条件に同意したものとみなされます。お客様がこれらの条件に同意しない場合であって、本ソフトウェアの購入金額の払い戻しを受けるためには、本ソフトウェアをご返却していただく必要があります。また、本ソフトウェアが他の製品と共に提供されている場合は、払い戻しのために、当該製品全てを未使用でご返却していただく場合があります。

HPソフトウェア使用許諾条件

HPと別途契約を締結しない限り、以下の条件が、HP Designjet 4000プリンタシリーズのソフトウェアの使用に適用されます。

定義 HP Designjet 4000プリンタシリーズ ソフトウェアには、HPソフトウェア製品(本ソフトウェア)およびオープンソースソフトウェアコンポーネントが含まれます。

「オープンソースソフトウェア」には、当該ソフトウェアの関連資料に記載されたオープンソース使用許諾契約の条項に基づいて使用許諾されるApache、Tomcat、MySQLおよびOmniORBを含むさまざまなオープンソースソフトウェアコンポーネントが含まれますが、これらに限定されません(下記の「オープンソースソフトウェア」の項を参照してください)。

使用許諾 HPは、お客様に、HP Designjet 4000プリンタシリーズにプレインストールされた本ソフトウェアの複製物ひとつを使用する権利を許諾します。「使用」とは、本ソフトウェアを保管、ロード、実行、または表示する行為をいいます。お客様は、本ソフトウェアの改変、ならびに本ソフトウェアの使用許諾する機能または使用をコントロールする機能を損なうような行為はできません。

所有権 本ソフトウェアの所有権および著作権は、HP、Hewlett-Packard Development Company L.P.または供給元である第三者に帰属します。お客様は、本使用許諾によって、本ソフトウェアに関し、これらの所有権または著作権を取得するものではありません。また、本使用許諾は、本ソフトウェアにおけるいかなる権利をも譲渡するものではありません。本使用許諾条件に違反した場合、本ソフトウェアの供給元である第三者は、当該第三者の有する権利を保護することができます。

複写および翻案 お客様は、保存目的ならびに本ソフトウェアを許諾された範囲内で使用するために複製または翻案が不可欠の手段であるときに限り、本ソフトウェアを複製または翻案することができます。本ソフトウェアに付されたすべての著作権表示は、すべての複製物または翻案物の上に表示されなければなりません。お客様は、本ソフトウェアをいかなる公衆ネットワーク上にも複製できません。

逆アセンブルまたは解読 HPの書面による事前の承諾を取得しない限り、お客様は、本ソフトウェアを逆アセンブルまたは逆コンパイルすることはできません。ただし、一部の地域の法律によっては、限定的な逆アセンブルまたは逆コンパイルに対しHPの合意が不要な場合があります。要求された場合、お客様は、逆アセンブルまたは逆コンパイルについて合理的な範囲の詳細情報をHPに提供しなければなりません。お客様は、本ソフトウェアの使用のために必要でない限り、本ソフトウェアを解読できません。

譲渡 本ソフトウェアを譲渡した時点で、お客様に対する本使用許諾は自動的に終了します。譲渡時には、お客様は、すべての複製物および関連文書を含めて、本ソフトウェアを譲受人に引き渡さなければならないものとします。また、譲受人は、当該譲受の条件としてHPソフトウェア使用許諾条件を承諾しなければなりません。

解除 本使用許諾条件のいずれかに違反した場合、HPは、通知をもって本使用許諾を終了することができます。当該終了をもって、お客様は、本ソフトウェア、その複製物、翻案物、およびいかなる形態であるかを問わず他の一部として統合されたものすべてを、直ちに破棄しなければなりません。

輸出時の条件 本ソフトウェア、その複製物または翻案物は、適用される法律や規則に違反して輸出または再輸出することはできません。

米国政府の権利制限 本ソフトウェアおよび付属する文書は、全て民間の費用負担により開発されたものです。これらは、DFARS 252.227-7013 (1988年10月)、DFARS 252.211-7015 (1991年5月)、またはDFARS 252.227-7014 (1995年6月)で規定された「商用コンピュータ ソフトウェア」、あるいは FAR 2.101(a)で規定された「商用品目」、あるいはFAR 52.227-19 (1987年6月)(あるいはこれに相当する関連官庁の規定または契約条項)で規定された「制限付きコンピュータ ソフトウェア」のいずれかが適用可能なものとして提供され使用許諾されます。お客様は、適用されるFARまたはDFARS条項、あるいは製品に付属するHP標準ソフトウェア契約によって当該ソフトウェアおよび付属文書に提供される権利のみを付与されるものとします。

オープン ソース ソフトウェア オープン ソース ソフトウェアは個別のソフトウェア コンポーネントから構成され、それぞれのソフトウェア コンポーネントに独立した著作権と使用許諾条件があります。お客様は個別のパッケージに含まれる使用許諾条件を確認し、お客様の権利を理解する必要があります。使用許諾書は、プリンタに同梱のプリンタの使い方 (Using your printer)CDの [licenses] フォルダに収録されています。オープン ソース ソフトウェアの著作権は、それぞれの著作権者が保有します。

オープン ソースについて

- 本製品には、Apache Software Foundation社 (<http://www.apache.org/>) が開発したソフトウェアが含まれています。
- com.oreilly.servletのパッケージに含まれるソース コード、オブジェクト コード、および文書は、Hunter Digital Ventures,LLCによって使用許諾されています。

規格適合情報

プリンタで使用されているインク システムの最新のMaterial Safety Data Sheets (MSDS) を取得するには、次の住所宛にご請求ください。Hewlett-Packard Customer Information Center, 19310 Pruneridge Avenue, Dept. MSDS, Cupertino, CA 95014, U.S.A.

また、次のWebページでもご請求いただけます。http://www.hp.com/hpinfo/community/environment/productinfo/msds_inkjet.htm

規制適合モデル番号

適合する規制を識別する目的上、製品には規制適合モデル識別番号が割り当てられています。この製品の規制適合モデル番号はBCLAA-0401です。この規制適合番号は、商品名 (HP Designjet 4000プリンタ シリーズ) または製品番号 (Q1273X、Q1274X、Xは任意の1文字) とは異なるものです。

電磁的両立性 (EMC)

 **警告** この製品はクラスA製品です。この製品をご家庭で使用する場合は、電波障害が発生する可能性があります。

この場合、ユーザは適切な措置を行うように求められることがあります。

FCCステートメント (米国)

The U.S. Federal Communications Commission (in 47 CFR 15.105) has specified that the following notices be brought to the attention of users of this product.

Shielded cables

Use of shielded data cables is required to comply with the Class A limits of Part 15 of the FCC Rules.

 **注意** Pursuant to Part 15.21 of the FCC Rules, any changes or modifications to this equipment not expressly approved by the Hewlett-Packard Company may cause harmful interference and void the FCC authorization to operate this equipment.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case users will be required to correct the interference at their own expense.

Normes de sécurité (カナダ)

Le présent appareil numérique n'émet pas de bruits radioélectriques dépassant les limites applicables aux appareils numériques de Classe A prescrites dans le règlement sur le brouillage radioélectrique édicté par le Ministère des Communications du Canada.

DOCステートメント (カナダ)

This digital apparatus does not exceed the Class A limits for radio noise emissions from digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications.

EMIステートメント (韓国)

사용자 안내문 : A 급 기기

이 기기는 업무용으로 전자파적합등록을 받은 기기이오니, 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의 하시기 바라며, 만약 잘못 구입 하셨을 때에는 구입한 곳에서 비업무용으로 교환 하시기 바랍니다.

VCCIクラスA (日本)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

電源コードの安全警告

製品には、同梱された電源コードをお使い下さい。
同梱された電源コードは、他の製品では使用出来ません。

EMIステートメント(台湾)

警告使用者：這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

EMIステートメント(中国)

此为A级产品，在生活环境巾，该产品可能会造成无线电干扰。在这种情况下，可能需要用户对其干扰采取切实可行的措施。

噪音

Geräuschemission (Germany) LpA < 70 dB, am Arbeitsplatz, im Normalbetrieb, nach DIN45635 T. 19.

適合宣言 (DECLARATION OF CONFORMITY)

according to ISO/IEC Guide 22 and EN 45014

Supplier's name:	Hewlett-Packard Company
Supplier's address:	Avenida Graells, 501 08174 Sant Cugat del Vallès Barcelona, Spain

declares that the product

Regulatory Model ⁽³⁾ :	BCLAA-0401
Product family:	HP Designjet 4000 Printer series
Product options:	All

conforms to the following product specifications

Safety:	IEC 60950-1:2001 / EN 60950-1:2001
EMC :	CISPR 22:1997 / EN 55022:1998 Class A ⁽¹⁾ EN 55024:1998 + A1 EN 61000-3-2:2000 EN 61000-3-3:1995 + A1:2001 FCC Title 47 CFR、Part 15 Class A ⁽²⁾

Additional information

The product herewith complies with the requirements of the Low-Voltage Directive 73/23/EEC and the EMC Directive 89/336/EEC, and carries the CE marking accordingly.

1. The product was tested in a typical configuration with HP Personal Computer systems and peripherals.
2. This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
 - This device may not cause harmful interference.
 - This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
3. The product is assigned a Regulatory Model Number which stays with the regulatory aspect of the design. The Regulatory Model Number is the main product identifier in the regulatory documentation and test reports;

this number should not be confused with the marketing name or the product numbers.



法律情報

Josep-Maria Pujol
Hardware Quality Manager
Sant Cugat del Vallès (Barcelona)
July 9th, 2004

規格適合に関する問い合わせ先

ヨーロッパ : Hewlett-Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140,
D-71034 Böblingen, Germany.

米国 : Hewlett-Packard Company, Corporate Product Regulations Manager,
3000 Hanover Street, Palo Alto, CA 94304, USA. Tel: (650) 857 1501

オーストラリア : Hewlett-Packard Australia Ltd, Product Regulations
Manager, 31-41 Joseph Street, Blackburn, Victoria, 3130, Australia.

索引

A
ArcGIS 159
AutoCAD 159

C
CALS/G4 138

D
Designjet Online 263

H
HP Designjet Online 263
HP-GL/2 138
HPインストント サポート 261
HPカスタマ・ケア 261
HP純正以外の用紙 99
HP製以外のインクカートリッジ 242

I
IEEE1394接続 53
InDesign 151

J
Jetdirectプリント サーバ 取り付ける 57
JPEG 138

M
Microsoft Office 159

P
PDF 138
Photoshop
 HP-GL/2 & RTL ドライバ 142
 PostScript ドライバ 147
PostScript 138

Q
QuarkXPress 156

T
TIFF 138

U
USB 2.0アクセサリ 取り付ける 57

あ
アクセサリ
 取り付ける 55
 注文 258

い
イメージが小さい 209
イメージの問題
 イメージが小さい 209
 ペンの設定が無効 210
 一部のみ印刷 207
 一部のイメージ 208
 印刷が不鮮明 210
 印刷が歪む 210
 左右反対のイメージ 209
 空白のページ 207
 誤った向きに回転 209
 重なっているイメージ 210
 イメージの回転 134
 イメージの拡大縮小 135
 イメージ診断印刷 177
 インク システムのステータス 124
 インク システムのヒント 245
 インクカートリッジ
 HP製以外 242
 仕様 249
 保守 175
 取り付けられない 211
 取り付ける 105
 取り外す 101
 情報の確認 125
 概要 241
 補充 242
 インクカートリッジ(単品)
 注文 255

え
エコロジーに関する仕様 253
エラー メッセージ 222

お
オーバーサイズの用紙サイズ 132

か
カスタマ・ケア 261
カスタム ページ サイズ 127
カット紙
 取り付ける 92
 取り外す 96
 カット紙を取り付ける 92
 カット紙を取り外す 96
 カラー エミュレーション モード
 概要 233
 選択する 142
 カラー キャリブレーション 139
 カラー精度
 PANTONE 201
 プリント間 203
 一般 201

き
キャリッジの潤滑 174
キャリブレーション
 カラー 139
 ギガビットイーサネット アクセサリ
 取り付ける 56

く
グラフィック言語 252

こ	Windowsでのアンインストール 72	軸合わせ 120
このガイドの使用方法 7	プリンタで印刷ができない 226	電極部分のクリーニング 114
コンポーネント(プリンタ) 9	プリンタのクリーニング 171	プリントヘッドクリーナ 114
さ	プリンタの主なコンポーネント 9	仕様 249
ざらつき 195	プリンタの主な機能 8	取り付けられない 211
サポートサービス	プリンタの保管 175	取り付ける 123
HP Designjet Online 263	プリンタの再起動 76	取り外す 121
HPインスタントサポート 261	プリンタの接続 71	概要 244
HPカスタマ・ケア 261	Mac OS 9でのネットワーク接続 67	プリントヘッドクリーナ(単品) 255
サポートされている用紙 96	Mac OS 9での直接接続 71	プリントヘッドの品質低下 226
す	Mac OS Xでのネットワーク接続 64	へ
スリープモード待ち時間 80	Mac OS Xでの直接接続 69	ペンの設定が無効 210
そ	Windowsでのネットワーク接続 62	ページサイズ 127
ソフトウェア 12	Windowsでの直接接続 69	カスタム 127
ソフトウェア使用許諾 269	ハードウェア 53	ほ
た	方法の選択 61	ぼやけた線 200
タイムアウトの待機 227	概要 235	ま
ね	プリンタの移動 175	マージン 251
ネスティング 167	プリンタの箱の記号 13	変更 132
は	プリンタの組み立て 13	幅なし 132
ハードディスクの仕様 252	プリンタの組み立てに要する時間 13	め
パレット	プリンタの設置に必要なスペース 14	メディアプロファイル 99
設定の変更 136	プリンタの開梱 14	メディアプロファイルのダウンロード 99
ふ	プリンタの電源のオン/オフの切り替え 75	メモリエラー 229
ファームウェアのアップデート 175	プリンタへのWebアクセス 239	メモリエラー(AutoCAD) 230
フロントパネル	プリントヘッド 114	メモリの仕様 252
エラーメッセージ 222	クリーニング 114	メモリ不足エラー 229
コントラスト 80	モニタ 114	メモリ拡張アクセサリ 60
単位 81	仕様 249	ゆ
言語 77	修復 114	ゆがんだ線 201
フロントパネルのコントラスト 80	取り付けられない 211	ら
ブザーのオン/オフ 80	取り付ける 111	ランプ(背面) 236
プラテンローラーを潤滑する 230	取り付け直し、取り付け直し 212	れ
プラテンのクリーニング 171	取り外す 107	レンダリング用途 141
プリンタソフトウェア 12	情報を確認する 126	
プリンタドライバ	概要 243	
Mac OS 9でのアンインストール 72	注文 255	

索引

ろ

- ローラーからきしみ音がする 230
- ローラーの潤滑 230
- ロール紙
 - スピンドルに取り付ける 83
 - プリンタに取り付ける 86
 - 取り外す 91
- ロール紙をスピンドルに取り付ける 83
- ロール紙をプリンタから取り外す 91
- ロール紙をプリンタに取り付ける 86

ん

- 『クイック リファレンス ガイド』 フォルダ 28
- 一部のみ印刷 207
- 一部のイメージ 208
- 乾燥時間
 - キャンセル 100
 - 変更 100
 - 概要 248
- 予防保守 237
- 仕様
 - インク サプライ品 249
 - エコロジー 253
 - グラフィック言語 252
 - ハードディスク 252
 - マージン 251
 - メモリ 252
 - 動作環境 253
 - 動作音 253
 - 印刷解像度 250
 - 機構的な精度 251
 - 物理的 252
 - 用紙サイズ 249
 - 電源 252
- 使用状況
 - インクカートリッジ 125
- 使用状況に関する情報
 - プリンタの使用状況 126
- 保守 237
- 保証 265
- 保証に関する注記 126
- 保証条項 265
- 内蔵Webサーバ
- アクセスする 77

- アクセスできない 229
- インク システムのステータス 124
- インクと用紙の使用状況 164
- キューの管理 165
- ジョブのキャンセル 165
- ジョブの送信 163
- ジョブを保存 164
- パスワード 79
- プリンタの使用状況に関する情報 126
- 保存したジョブを印刷 164
- 機能 239
- 言語 79
- 電子メールアラート 80
- 動作環境の仕様 253
- 動作音に関する仕様 253
- 印刷が不鮮明 210
- 印刷が歪む 210
- 印刷が遅い 227
- 印刷の向き 133
- 印刷ジョブ
 - インクの使用状況 164
 - キャンセル 165
 - キューの管理 165
 - ネスティング 167
 - 保存 164
 - 再印刷 164
 - 用紙の使用状況 164
 - 送信 163
- 印刷メニュー 236
- 印刷品質
 - 変更する 129
 - 選択する 129
- 印刷品質の問題
 - ざらつき 195
 - ぼけた線 200
 - ゆがんだ線 201
 - インクがにじむ 200
 - インクが残る 196
 - 一般 191
 - 印刷上部 198
 - 帯状/線状の塗りつぶし 193
 - 帯状のムラ 192
 - 横線 192
 - 段状になった線 198
 - 汚れる 196

- 用紙が平らになっていない 195
- 連続していない線 200
- 間違った色 199
- 印刷解像度 250
- 品質の問題
 - 細い線 193
- 左右反対のイメージ 209
- 左右反転 134
- 情報
 - プリントヘッド 126
- 推奨する用紙 96
- 最大速度 131
- 標高の調整 81
- 横置き 133
- 機構的な精度 251
- 機能(プリンタ) 8
- 段状になった線 198
- 汚れる 196
- 法定規格通知 271
- 注文
 - アクセサリ 258
 - インクカートリッジ(複数) 255
 - プリントヘッド 255
 - プリントヘッドクリーナ(複数) 255
 - 用紙 256
- 潤滑、キャリッジ 174
- 物理的仕様 252
- 用紙
 - HP純正以外 99
 - ヒント 247
 - 印刷の向き 133
 - 取り付けられない 215
 - 情報を表示する 98
- 用紙が平らにならない 195
- 用紙の取り付けの問題 215
- 用紙の種類
 - サポートされている用紙 96
 - フロントパネルでの表示名 96
 - 幅 256
 - 推奨する 96
 - 注文 256
 - 重量 256
- 用紙を取り付けられない 215
- 用紙サイズ(最大と最小) 249

用紙スタッカ
積み重ねの問題 220
用紙スタッカでの積み重ねの問
題 220
空白のページ 207
紙詰まり 217
細い線 193
縦置き 133
背面のランプ 236
芯アダプタ 84
解像度 250
言語 77
診断 177
誤った向きに回転 209
通信の問題 228
適合宣言 274
重なった線 137
重なっているイメージ 210
間違った色 199
電子メール アラート 80
電源の仕様 252
高速出力 131
黒点の補正 140